

平成 26 年 度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部歯学科

ま え が き

この教育要項は、歯学部専門科目の授業を受ける学生諸君に、平成26年度4月以降に行われる予定の専門教育科目を示し、それら授業計画および授業内容の概要を知らせるためのものです。加えて、学生周知事項、歯学科履修規則、試験規則、単位取得及び進級判定基準を掲載してあります。平成22年度以前専門科目履修開始者(D5以降)と平成23年度以降専門科目履修開始者(D4まで)で内容が異なりますので注意して下さい。

学生諸君が、本学における歯学教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを希望します。

モジュール情報、ユニット情報欄に必要自習時間数を示しました。各モジュールの学習目標と到達目標を達成するためには、学部の授業を出席するだけでは不十分であり、自学自習によって、自己の知識・技術を高める努力を惜しまないで下さい。

平成26年4月

歯学部歯学科教育委員会

東京医科歯科大学歯学部歯学科教育の基本的理念

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康の維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。
(指導者：歯科界の発展のために、いかなる分野においても牽引力をもって指導的役割を果たすことのできる人材)

一般教育目標

- 1) 幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。
- 2) 基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 3) 科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
- 4) 全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識および基本的技術を修得する。
- 5) 社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。

歯学部長あいさつ

歯学部長 森 山 啓 司

歯学科に進級した皆さん、おめでとう。いよいよ専門教育が本格的に始まります。ここに平成26年度の歯学科のシラバスをお届けします。各科目の内容がわかるようになっていますが、皆さんがこの中から受講科目を選択するということはほとんどありません。皆さんが歯科医師として、歯科医学研究者として活躍するために必要な内容です。皆さんの指導にあたる先生たちが、自分たちが学生のときに感じたこと、卒業して教育を担当する中で感じてきたこと、国際的に見て本学歯学部専門教育はどうあるべきか、これから歯科医師となる諸君のために何が必要か、そういうことを考えながら作られたカリキュラムです。

歯学科では平成23年度入学生より医歯学融合教育カリキュラムを実施しています。医学科学生と合同で授業を受ける科目が各学年にあります。これによって歯学科専門科目も従来以上に充実し、皆さんが卒業後に歯科医療人、歯科医学者としてリーダーシップを発揮し、歯科界の発展に貢献してゆくための根幹が形成されます。

1年次は「歯学入門」だけが専門科目で、ほぼ1年間は教養科目でしたが、2年次からは湯島キャンパスでの専門科目と医歯学融合教育科目が本格的に開始されます。また、3年次学生も2年間の教養部での勉強を修了し、本格的な専門科目が開始されます。新旧2つのカリキュラムが並行しますが、どちらも本学歯学科の教育理念、教育目標は変わりません。基礎と臨床の統合型講義と実習、歯科医療に必要な臨床医学が中心の専門科目のカリキュラムは、細分化された科目の講義や実習の形態ではなく、モジュール制という大きな枠組みの中で履修します。かつての専門科目ごとの縦割りの教育から、他の科目との関連も含めた、より包括的な知識の必要性から生まれたシステムです。

PBL、チュートリアルといった学習形式は既に諸君は訓練を受けていると思いますが、これからは歯科医学を学ぶために、こうした手法を多くのモジュールで利用してもらうことになります。3年次から5年次までの学生が学年を超えて興味のある内容を学べる学年混合選択セミナー、歯科に関するトピックを基礎と臨床の両面から同時に学べる課題統合セミナーなども特徴的なモジュールです。また、4年次に行う研究実習は自分の興味を持てる基礎あるいは臨床の研究分野での研究活動の入門編です。この実習は大学内および学外を含めて最長4ヶ月間行うことも可能です。全ては諸君の意向によるものです。すばらしい研究成果を挙げて、外国や国内の学会で発表する機会も提供されることがあります。5年次後期から開始する包括臨床実習は、本学歯学科の最大の特徴であり、最終学年の11月まで続きます。診療参加型の臨床実習を約1年間行いますので、臨床家として技術と知識の研鑽の場となります。出来るだけ多くの患者さんに積極的に接し、コミュニケーション、包括歯科医療の理論と実践を身につけて下さい。

本学歯学部は学生数に対して非常に多くの教員がいます。多くの教員が自らの研究の専門分野で国際的にもリーダーシップのとれる研究者でもあり、患者さんから信頼と尊敬を集める臨床家でもあります。このようなすばらしい先生方を目標として、将来はさらに自らが臨床家として、あるいは研究者として飛躍できるよう充実した学生生活にして下さい。

平成26年度歯学部歯学科専門科目授業計画表

第1学年

前期	学部専門科目「歯学入門」	26. 4. 15(火)
----	--------------	--------------

後期	学部専門科目「歯学入門」	26. 10. 7(火)～27. 2. 17(火) 毎週火曜日
----	--------------	------------------------------------

第3学年

区分	区 分	期 間
前期	春季休業	26. 4. 1(火)～26. 4. 3(木)
	ガイダンス	26. 4. 4(金)
	授業1	W26. 4. 7(月)～26. 7. 31(木)
	夏季休業	26. 8. 1(金)～26. 9. 12(金)
	前期試験再試験期間	26. 9. 16(火)～26. 9. 19(金)
後期	授業2	W26. 9. 22(月)～26. 9. 30(火)
	授業1	W26. 10. 1(水)～26. 12. 19(金)
	創立記念日	26. 10. 12(日)
	お茶の水祭準備のため休講	26. 10. 17(金)
	お茶の水祭	26. 10. 18(土)～26. 10. 19(日)
	国際シンポジウム	26. 10. 24(金)午後
	TOEFL試験	26. 12. 22(月)
	冬季休業	26. 12. 23(火)～27. 1. 2(金)
	授業8	W27. 1. 5(月)～27. 2. 27(金)
	再試及び進級判定期間	27. 3. 2(月)～27. 3. 6(金)
春季休業	27. 3. 9(月)～27. 3. 31(火)	

第2学年

区分	区 分	期 間
前期	春季休業	26. 4. 1(火)～26. 4. 3(木)
	ガイダンス	26. 4. 4(金)
	授業1	W26. 4. 7(月)～26. 7. 31(木)
	夏季休業	26. 8. 1(金)～26. 9. 5(金)
	授業4	W26. 9. 8(月)～26. 9. 30(火)
後期	実験動物慰霊式	26. 9. 20～9. 26の間に実施
	授業1	W26. 10. 1(水)～26. 12. 19(金)
	創立記念日	26. 10. 12(日)
	お茶の水祭準備のため休講	26. 10. 17(金)
	お茶の水祭	26. 10. 18(土)～26. 10. 19(日)
	解剖体追悼式	26. 10. 23(木)午後
	国際シンポジウム	26. 10. 24(金)午後
	TOEFL試験	26. 12. 22(月)
	冬季休業	26. 12. 23(火)～27. 1. 2(金)
	授業8	W27. 1. 5(月)～27. 2. 27(金)
遺骨返還式	27. 1. 20(火)午後	
再試及び進級判定期間	27. 3. 2(月)～27. 3. 6(金)	
春季休業	27. 3. 9(月)～27. 3. 31(火)	

第4学年

区分	区 分	期 間
前期	春季休業	26. 4. 1(火)～26. 4. 3(木)
	ガイダンス	26. 4. 4(金)
	授業1	W26. 4. 7(月)～26. 7. 31(木)
	夏季休業	26. 8. 1(金)～26. 9. 17(水)
	研究実習発表会(第1回)	26. 9. 19(金)
後期	授業2	W26. 9. 22(月)～26. 9. 30(火)
	授業1	W26. 10. 1(水)～26. 12. 19(金)
	創立記念日	26. 10. 12(日)
	お茶の水祭準備のため休講	26. 10. 17(金)
	お茶の水祭	26. 10. 18(土)～26. 10. 19(日)
	研究実習発表会(第2回)	26. 10. 20(月)
	国際シンポジウム	26. 10. 24(金)午後
	TOEFL試験	26. 12. 22(月)
	冬季休業	26. 12. 23(火)～27. 1. 2(金)
	授業8	W27. 1. 5(月)～27. 2. 27(金)
再試及び進級判定期間	27. 3. 2(月)～27. 3. 6(金)	
春季休業	27. 3. 9(月)～27. 3. 31(火)	

第5学年

区分	区 分	期 間		
前期	春季休業	26. 4. 1(火)～26. 4. 3(木)		
	ガイダンス	26. 4. 4(金)		
	授業1	W26. 4. 7(月)～26. 7. 31(木)		
	振替休業	26. 5. 15(木)26. 5. 16(金) (8月21日(木)、8月30日(土)の監督)		
	夏季休業	26. 8. 1(金)～26. 9. 2(火)		
後期	前期試験再試験期間	26. 9. 3(水)～26. 9. 5(金)		
	C	T25. 8. 21(木)		
	O	S	C	E26. 8. 30(土)
	C	B	T	(追・再試験)26. 9. 13(土)
	授業3	W26. 9. 8(月)～26. 9. 29(月)		
	授業・包括臨床実習	26. 9. 30(火)～26. 11. 6(木)		
	患者対応接遇セミナー	26. 10. 1(水)予定		
	合宿研修	26. 10. 2(木)～26. 10. 3(金)予定		
	お茶の水祭	26. 10. 18(土)～26. 10. 19(日)		
	オナープログラム	26. 11. 7(金)～26. 11. 26(水)		
授業・包括臨床実習	26. 11. 27(木)～26. 12. 19(金)			
TOEFL試験	26. 12. 22(月)			
冬季休業	26. 12. 23(火)～27. 1. 2(金)			
授業・包括臨床実習	27. 1. 5(月)～27. 3. 31(火)			

第6学年

区分	区 分	期 間
前期	包括臨床実習1	6 W26. 4. 1(火)～26. 7. 18(金)
	夏季休業	26. 7. 22(火)～26. 8. 15(金)
	包括臨床実習6	W26. 8. 18(月)～26. 9. 30(火)
	包括臨床実習9	W26. 10. 1(水)～26. 11. 28(金)
	D6終了時技能獲得確認試験	10月下旬予定
後期	オナープログラム	26. 11. 7(金)～26. 11. 26(水)予定
	器具返却	26. 11. 27(木)～26. 11. 28(金)
	自己研修	26. 12. 1(月)～27. 2. 6(金)
	冬季休業	26. 12. 22(月)～27. 1. 2(金)
	包括臨床実習※4	W27. 2. 9(月)～27. 3. 6(金)予定
卒業	式27. 3. 25(水)予定	

※卒業後臨床研修へのキャリアアップ研修

平成26年度 歯学部歯学科専門科目モジュール・コーディネーター 一覧

*平成23年度以降歯学科入学生		正 モジュール・コーディネーター	副 モジュール・コーディネーター
*D1	歯学入門	荒木孝二	
*D2	人体の構造と機能	高野吉郎	井関祥子、泰羅雅登、柴田俊一
*D2	患者と医療者	俣木志朗	礪波健一
*D2	社会と環境	川口陽子	佐々木好幸
*D2	生命の分子的基盤	森田育男	篠村多摩之
*D2-*D4	医歯学基盤教育	水口俊介	
*D2	頭頸部・基礎	井関祥子	
*D3	臨床歯学イントロダクション	若林則幸	青木和広、鶴田 潤
*D3-*D4	学年混合選択セミナー	倉林 亨	三輪全三、鈴木聖一、森尾郁子、豊福 明
*D3	感染と生体防御	東 みゆき	
*D3	臨床予備実習	新田 浩	
*D3	病理	山口 朗	坂本 啓
*D3	予防と健康管理	川口 陽子	植野 正之
*D3	生体と薬物	青木 和広	
*D3	歯科放射線基礎	倉林 亨	大林 尚人
*D3	病態科学演習	山口 朗	坂本啓
*D3	内科・小児・遺伝疾患	小長谷 光	
*D3	外科系疾患	原田 清	島本 裕彰
*D3	課題統合セミナー	小野卓史	隅田由香
*D3	頭頸部・臨床	島本 裕彰	
*D3	老年医学	水口俊介	
*D3-*D4	生体材料	宇尾基弘	
*D3-*D4	咬合回復	水口俊介	三浦宏之
*D4	研究実習	井関祥子	小野卓史、中川一路
*D4	歯と根尖歯周組織の疾患	大槻昌幸	池田英治
*D4	臨床体験実習	木下淳博	秀島雅之
*D4	歯周病	和泉雄一	渡辺 久
平成22年度以前歯学科入学生		正 モジュール・コーディネーター	副 モジュール・コーディネーター
D5	学年混合選択セミナー	倉林 亨	三輪全三、鈴木聖一、森尾郁子、豊福 明
D5	課題統合セミナー	小野卓史	隅田由香
D5	咬合回復Ⅱ	水口俊介	岡田大蔵
D5	歯周病	和泉雄一	渡辺 久
D5	臨床情報処理	佐々木好幸	
D5	全身と歯科治療	深山治久	小長谷 光
D5	顎口腔医療	原田 清	原田浩之、山口 聡
D5-D6	包括臨床実習	荒木孝二	小田 茂、秀島雅之
H26年授業なし (H27年D5開講)	咬合育成・発達	森山啓司	

目 次

まえがき

東京医科歯科大学歯学部歯学科教育の基本理念

一般教育目標

歯学部長あいさつ

平成26年度歯学部歯学科専門科目授業計画表

平成26年度歯学部歯学科モジュールコーディネーター一覧

学生周知事項等

〔歯科医師国家試験について〕

〔学生周知事項〕

〔災害関係連絡事項〕

〔建物案内図〕

平成23年度以降専門科目履修開始者

歯学科コンピテンシー	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則	3
東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規	6
歯学科教育課程	7
東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規	11
歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準	12
歯学科第1学年平成26年度火曜授業時間割	15
01. 歯学入門	16
02. 人体の構造と機能	27
03. 患者と医療者	56
04. 社会と環境	65
05. 生命の分子的基盤	70
06. 臨床歯学イントロダクション	80
07. 感染と生体防御	82
08. 臨床予備実習	91
09. 病理	97
10. 予防と健康管理	103
11. 生体と薬物	111
12. 歯科放射線基礎	120
13. 病態科学演習	125
14. 内科・小児・遺伝疾患	129
15. 外科系疾患	134
16. 課題統合セミナー	143
17. 学年混合選択セミナー	145
18. 歯科生体材料	170
19. 研究実習	176
20. 歯と根尖歯周組織の疾患	179
21. 咬合回復	196

22. 臨床体験実習	213
23. 歯周病	219
自由選択科目	
デンタルエクスターンシップ (2014年度)	228
医歯学融合教育・医歯学基盤教育	231
医歯学基盤教育および教養教育時間割	232
歯学系コンピテンシー	233
医歯学融合教育科目における成績評価判定について	235
臨床統計Ⅰ	236
グローバル・コミュニケーションⅠ	238
頭頸部基礎	240
生命倫理Ⅰ	244
臨床時計Ⅱ	249
グローバル・コミュニケーションⅡ	251
頭頸部臨床	254
老年医学	258
生命倫理Ⅱ	261
臨床統計Ⅲ	263
グローバル・コミュニケーションⅢ	265
平成22年度以前専門科目履修開始者	
東京医科歯科大学歯学部歯学科履修規則	267
東京医科歯科大学歯学部試験規則	276
歯学カリキュラム 単位取得及び進級判定基準	280
授業科目	
06. 学年混合選択セミナー	283
07. 課題統合セミナー	284
16. う蝕と歯髄疾患	288
18. 咬合回復Ⅱ	298
19. 歯周病	305
20. 臨床情報処理	314
21. 全身と歯科治療	319
22. 顎口腔医療	331
23. 包括臨床実習	343
平成26年度歯学科2年次学生	
平成26年度連携教育授業カレンダー	353
教養英語	354
情報科学演習	356
サイエンスPBL	358
生命科学 (人間の生物学)	359
生命科学 (生物物理化学)	360
人文社会科学総合講義	362

学生周知事項等

歯科医師国家試験について

歯科医師になろうとする者は、厚生労働大臣の行う歯科医師国家試験に合格し、歯科医師の免許を受けなければならない。

歯科医師国家試験は臨床上必要な歯科医学及び口腔衛生に関して歯科医師として具有すべき知識及び技能について毎年厚生労働大臣が行う。

[受験資格及び受験手続について]

(受 験 資 格)

歯科医師国家試験は、次の号のいずれかに該当する者でなければ、これを受けることができない。

- (1) 学校教育法に基づく大学において、歯学の正規の課程を修めて卒業した者
- (2) 歯科医師国家試験予備試験に合格した者で、合格した後1年以上の診療及び口腔衛生に関する実地修練を経たもの。
- (3) 外国の歯科医学校を卒業し、又は外国で歯科医師免許を得た者であって、厚生労働大臣が(1)又は(2)に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有し、かつ、適当と認定したもの。

(提 出 書 類)

ア. 受 験 願 書

イ. 写 真

ウ. 受験手数料 (収入印紙)

受験しようとする者は、上記に掲げられた書類を提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生へ告知、通知、連絡はすべて掲示板により掲示する。掲示の見落としのないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。(2～5学年用は7号館1階、6学年用は歯科棟北5階)

また、全学的な掲示は7号館1階の「歯学部学生掲示板」に掲示を行うので、こちらも併せて確認すること。

2. 学生証について

- (1) 学生証は常に携帯すること。
- (2) 学生証を紛失又は破損等したときは、学務企画課(1号館西1階)に届け出て再交付の手続きをすること。
再交付費用(2,200円)は学生本人の負担とする。
- (3) 学生証は卒業、退学または除籍のときは直ちに学務企画課へ返納すること。
返却出来ない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引証

- (1) 課外活動又は帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合旅客運賃の割引(2割)を受けることができる。
- (2) 学割証の不正使用(第三者への貸与等)は絶対にしないこと。
- (3) 年間使用限度枚数は1人10枚(1回につき2枚まで)
- (4) 私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙を貰い持参すること。
- (5) 学生が必要なときは5号館4階にある証明書自動発行機を使用すること。
(利用日時:月曜日～金曜日、8:30～21:00)
(問い合わせ先)学生支援課(内線5077)

4. 証明書等

証明書等は、教務課及び証明書自動発行機にて発行する。

- (1) 教務課(受付時間 8:30～17:15)
次に掲げるものは、教務課で発行する。
(交付は原則として交付願を受理した日から1週間程度要します。)
 - ①成績証明書
 - ②卒業見込証明書(第6学年在籍者のみ。)
 - ③調査書
 - ④英文の在学証明書
 - ⑤通学証明書(交通機関から請求された場合に限り。)
鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入してください。
- (2) 在学証明書は自動発行機で発行する。
- (3) 通学証明書(交通機関から請求された場合に限り)
バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。
問い合わせ先:学務企画課企画調査掛(内線5074)

5. 住所・氏名等の変更について

- (1) 本人又は保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む。）に変更が生じたときは、速やかに教務課へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 休学、復学、退学、欠席

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は、欠席届を教務課へ提出すること。

(病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。)

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を教務課へ提出し、学長の許可を得ること。(病気の場合は、必ず医師の診断書を添付してください。)

また、休学を許可される期間は、通算して2年以内。

(特別の事情があるときは、更に1年以内の休学が許可されることがある。)

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を教務課へ提出し、学長の許可を得ること。(病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付すること。)

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を教務課へ提出し、学長の許可を受けること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、学内では必ず着用すること。

プレートは貸与とし、紛失又は破損した場合は再交付を受けるものとする。この場合は実費負担すること。

8. ロッカーの貸与

各人にロッカーを貸与する。

ロッカーでの盗難が多発しているため、貴重品等の管理は厳重にすること。

また、各人の責による破損等については、各人の負担により現状回復すること。

9. 授業中（大学行事、課外授業を含む。）の事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」（学研災）および「医学生教育研究賠償責任保険」（医学賠）の対象となります。(詳細は「学生生活の手引き」を参照してください。)

10. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

- (1) 講義室、実習室、ロッカー室・・・学務部教務課（1号館西1階：内線5411）、歯学部防災センター（歯科棟北1階）
- (2) 上記（1）以外・・・歯学部総務課（歯科棟南2階：内線5406）

11. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は4月中に、後期分授業料は10月中に納付すること。

12. 湯島キャンパスにおける講義受講に際しての注意事項

- (1) 平日の午前8時30分から午後5時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止
- (2) 歯学部建物内へは以下のように出入りすること
 - 1) 聖門←→7号館（旧校舎棟）、2号館
 - 2) 正門←→7号館（旧校舎棟）、1号館、2号館
 - 3) 御茶ノ水門あるいは丸の内線出口←→歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用門）
- (3) 白衣又は実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。
- (4) 臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。

13. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にds@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

14. その他

- (1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認してください。
なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにお願いします。
- (2) 事務の窓口
教務事務・・・・・・・・学務部教務課歯学系教務掛（1号館西1階・内線5411）
授業料の納入・・・・・・・・財務施設部財務管理課収入管理掛（1号館西3階・内線5048）
奨学金・授業料免除・・学生支援課（5号館3階・内線5077）
- (3) 出席確認
各講義室及び実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されています。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行いますので、学生証を必ず忘れないようにすること。
なお、授業によりこの装置を使用しないことがあります。その場合は担当教員の指示に従ってください。
また、万が一、学生証を忘れた場合、教務掛でその日限りの貸出カードを一時的に貸与しますので申し出てください。

7号館（旧歯学部校舎棟）の管理、使用について

1. 7号館（旧校舎棟）の出入口の施錠について

7号館（旧校舎棟）出入口（1階聖門側1ヵ所、歯科棟北側6ヵ所、1号館東側2ヵ所）

歯科棟接続口（東側6ヵ所）

1号館東（2F、3F 2ヵ所）

解錠 7:30

施錠 19:00

※聖門側は7:00～18:00

消防法の規定により、歯科棟北側は避難口のため施錠しても建物内から外へはいつでも出られる。

ただし、1号館東接続部（2F、3F）は施錠すると出入りできない。

2. 7号館（旧校舎棟）内各室の施錠について

講義室は7:30に解錠し、17:00に施錠する。

学生更衣・控室はテンキーロックを行っているので解錠番号を忘れないこと。

3. 7号館（旧校舎棟）における講義室の目的外使用について

講義室は実習室兼用のため、原則として目的外使用は許可しない。

4. 学生の更衣・控室について

更衣・控室は、更衣の外、休憩室として利用する。

更衣・控室でサークルの集会をしたり、ゲーム等はしないこと。

5. その他

- * 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- * 黒板に学生間の連絡事項を書いたときは、あとで学生自身が消すこと。
- * 7階以上は実験施設なので感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止する。
- * 附属病院内の通行に際しては、特に患者さんに配慮すること。
- * 附属病院内の患者待合場所での休憩は差し控えること。
- * 講義室、実習室、更衣・控室等においては弁当、紙クズ等は散らさないように必ずゴミ箱にすてること。
- * 参考書、ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。
- * 室内は掲示物の貼付を禁ずる。
- * 講義室、実習室等においては、下駄ばきは厳禁する。
- * 白衣を着たまま大学外に出ることを禁ずる。

ロッカーの使用について

1. 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用すること。
第5学年までは、同一の更衣・控室（ロッカー室）を使用し、第6学年になってから移動する。
2. ロッカーの鍵は必ず閉め、盗難に注意すること。
3. ロッカーの上部に私物を置かないこと。
置いた場合は、教務掛で撤去する。
4. ロッカーの内外部にシール、ポスター等をはらないこと。
はった場合は、教務掛ではがします。

学生用掲示板使用について

1. 掲示物の内容について関知しないが、良識をもって掲示すること。
2. 掲示期間を過ぎることのないよう自主的に撤去すること。
(掲示板の設置場所……7号館1階・2階)

歯学部リフレッシュルームについて

7号館1F及び6Fには、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられている。
この施設では無線LANを利用して、学内LANへの接続も可能である。
施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守すること。

1. 利用時間
平日 午前8時30分～午後7時30分
2. 利用する上での注意事項
 - (1) きれいに、清潔に利用すること。
 - (2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
 - (3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任となる）。
 - (4) 禁煙とする。
 - (5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用すること。
 - (6) 他に使用している学生を考慮し、騒がないこと。
 - (7) ゴミの始末は各自で行うこと。

視聴覚研修スペースについて

7号館6F「視聴覚研修室・歯学部学生リフレッシュルーム」の半分は、自己学習等に使用できるよう、備付PCが10台設置されている。また、無線LAN付の個人PCにより学内LANへの接続も可能である。施設を利用する場合、下記の注意事項を厳守すること。

1. 利用時間

平日 午前8時30分～午後7時30分

2. 利用する上での注意事項

- (1) きれいに、清潔に利用すること。
- (2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- (3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任となる）。
- (4) 禁煙とする。
- (5) 備付の機器の使用にあたっては丁寧に行い、故障・不具合があった場合は、教務課に連絡すること。
- (6) 共同利用施設であることを認識し、他の利用者の迷惑になるような行為をしないこと。
- (7) 無線LAN等による学内LANへの接続方法については本学HP、図書館情報メディア機構内のマニュアルを参照すること。

http://www2.tmd.ac.jp/cmnl/lib/using_lan.pdf

<付記>

本スペースの他、図書館情報メディア機構内「情報検索室」にも同様に使用できるPCがある。

歯学部附属病院の機構

歯学部附属病院は、患者の診療を通じて歯学の教育と研究を行う場である。しかし、最近では社会の要請にも答える必要から、歯科医療における模範的診療機関としての使命も課せられている。

1. 診療科

歯科病棟	8階
インプラント外来 歯科麻酔外来	7階
口腔外科外来 顎顔面外科外来 顎義歯外来・言語治療外来	6階
むし歯外来 歯周病外来	5階
第一総合診療室 第二総合診療室 歯科心身外来 顎関節治療部 快眠歯科（いびき無呼吸）外来	4階
クリーンルーム歯科外来 スポーツ歯科外来 歯科アレルギー外来 義歯外来	3階
矯正歯科外来 小児歯科外来 ペインクリニック 口腔ケア外来	2階
歯科総合診療部 スペシャルケア外来（高齢者） スペシャルケア外来（障害者） 息さわやか外来	1階
歯科放射線外来	地下1階

2. 病棟（8階）

入院患者のために、60床のベッドとそれに必要な処置室、記録室等附帯施設が完備され、基準看護のもとに、日夜に亘る診療体制が敷かれている。

3. 薬剤部（1階）

ここには数名の薬剤師が配置されており、薬剤に関する業務、すなわち、調剤、製剤をはじめ、薬品の管理と情報の収集、伝達のみならず、臨床実習を行う学生に対して処方箋の取扱いその他の教育も行われている。

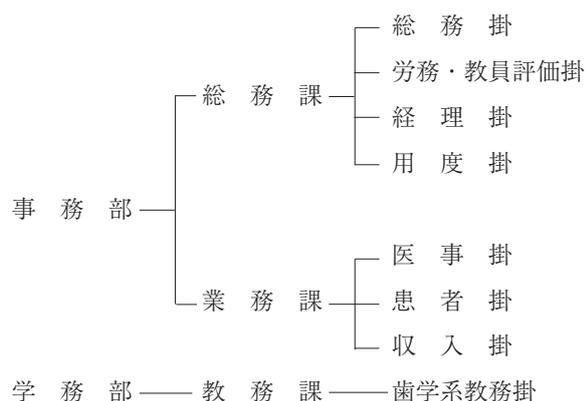
4. 医療技術部門

医療技術部門として次の2つが設けられている。

(1) 看護部	病院の看護業務を一本化するために看護部として独立させ、看護部長の統率のもとに80数名の看護婦が各診療科や病棟等に配置されている。
(2) 歯科衛生保健部	歯科診療における歯科健康教育・歯科予防処置および歯科診療補助を行うために部として位置づけ、30数名の歯科衛生士が口腔ケア外来など関係診療部門に配置されている。

5. 事務部門

事務部門は次のような組織になっている。



歯学部の手務業務は総務課と業務課の両者の協力によって遂行される。また学生は学務部教務課歯学系教務掛を通じて病院内で勉強できるようになっている。また、患者は全て業務課を経て受診するように決められている。なお、患者の歯科技工に用いる歯科材料は医事掛材料室から給付される。

6. 病院の管理運営

病院長が病院の管理運営を統括し、病院は病院長、各科長、各部長等によって構成される病院運営会議によって運営される。また、学生の臨床教育については、各臨床系教授で構成される臨床教育会議および歯学科教育委員会において討議される。

7. 第1、第2総合診療室（4階）

第1総合診療室は学生臨床実習の場として、成人における一口腔単位の総合歯科診療が行われている。学生には歯科診療用ユニットと技工機（総合技工室、5階）が配当される。なお、第2総合診療室では、臨床研修医の総合研修が行われている。

8. クリーンルーム歯科外来（3階）

血液・唾液・その他を媒体として院内感染を引き起こす可能性のある病原微生物（肝炎ウイルス、HIV、MRSAなど）を有して、本院を訪れる患者の数は極めて多い。そこで院内感染のリスクを分散しないために、これらの患者のうち、内科主治医等により疾患の管理がなされており、外来診療に耐え得る患者の一般歯科診療を行う施設としてクリーンルーム歯科外来が設けられている。

災害関係連絡事項

1. 「大規模地震ポケットマニュアル」の及び「安否確認システム」について

(1) 「大規模地震ポケットマニュアル」について

入学時に配布した大規模地震（震度5強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載した「大規模地震ポケットマニュアル」は、常時携帯し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立ててください。もし、マニュアルを紛失した場合は教務課窓口に取りに来てください。

なお、マニュアルは、ホームページ(下記URL)からも確認できます。

(教職員学生向け情報サイト 危機感理に関する情報)

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

(2) 「安否確認システム」について

大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力できる安否確認システムを導入しました。

大規模地震や風水害の際には、本システムにより大学からの情報を確認し、安否情報の入力をお願いします。

本システムへは「大規模地震ポケットマニュアル」7ページの「安否確認システムによる報告」に掲載のQRコードの読み取り又はURL (<https://anpi.tmd.ac.jp/>) を直接入力することによりアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値はIDと同じ）によりログインして自身の安否を入力してください。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページ（下記URL）から確認してください。

(教職員学生向け情報サイト 危機感理に関する情報)

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

2. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄（URL：<http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>）に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。
- ・夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

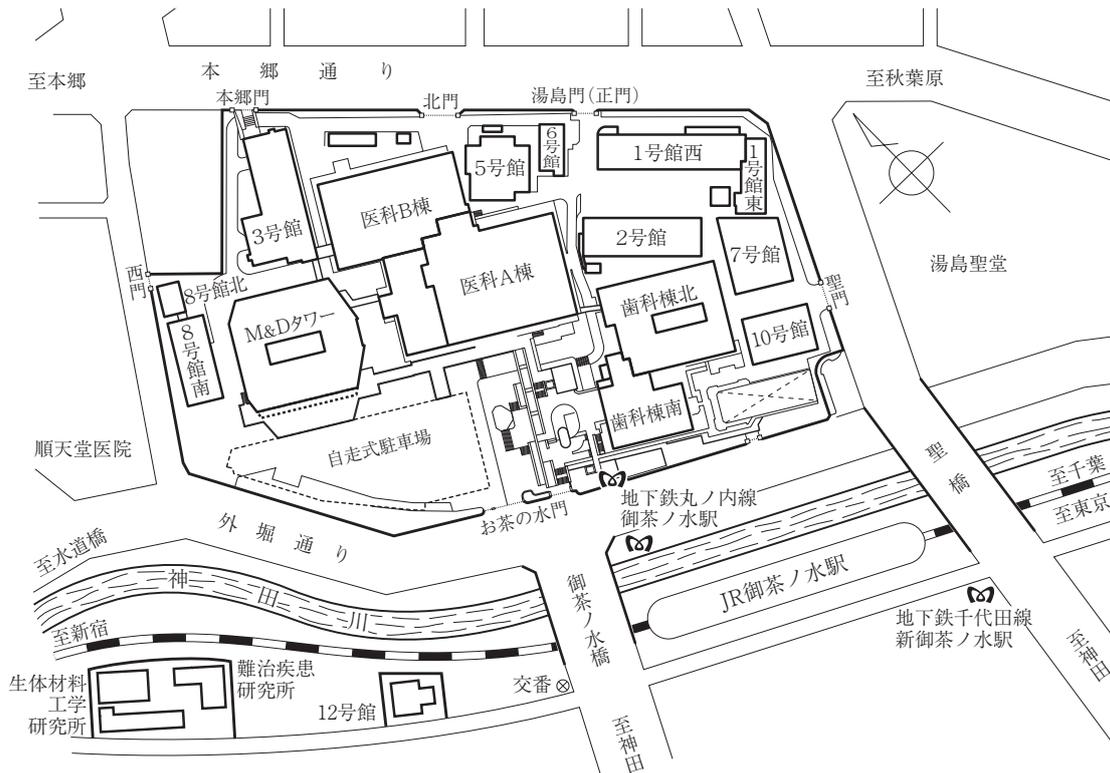
○首都圏における交通機関（JR、大手私鉄・地下鉄等）が全面的に運転を休止している場合

- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。
- ・夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

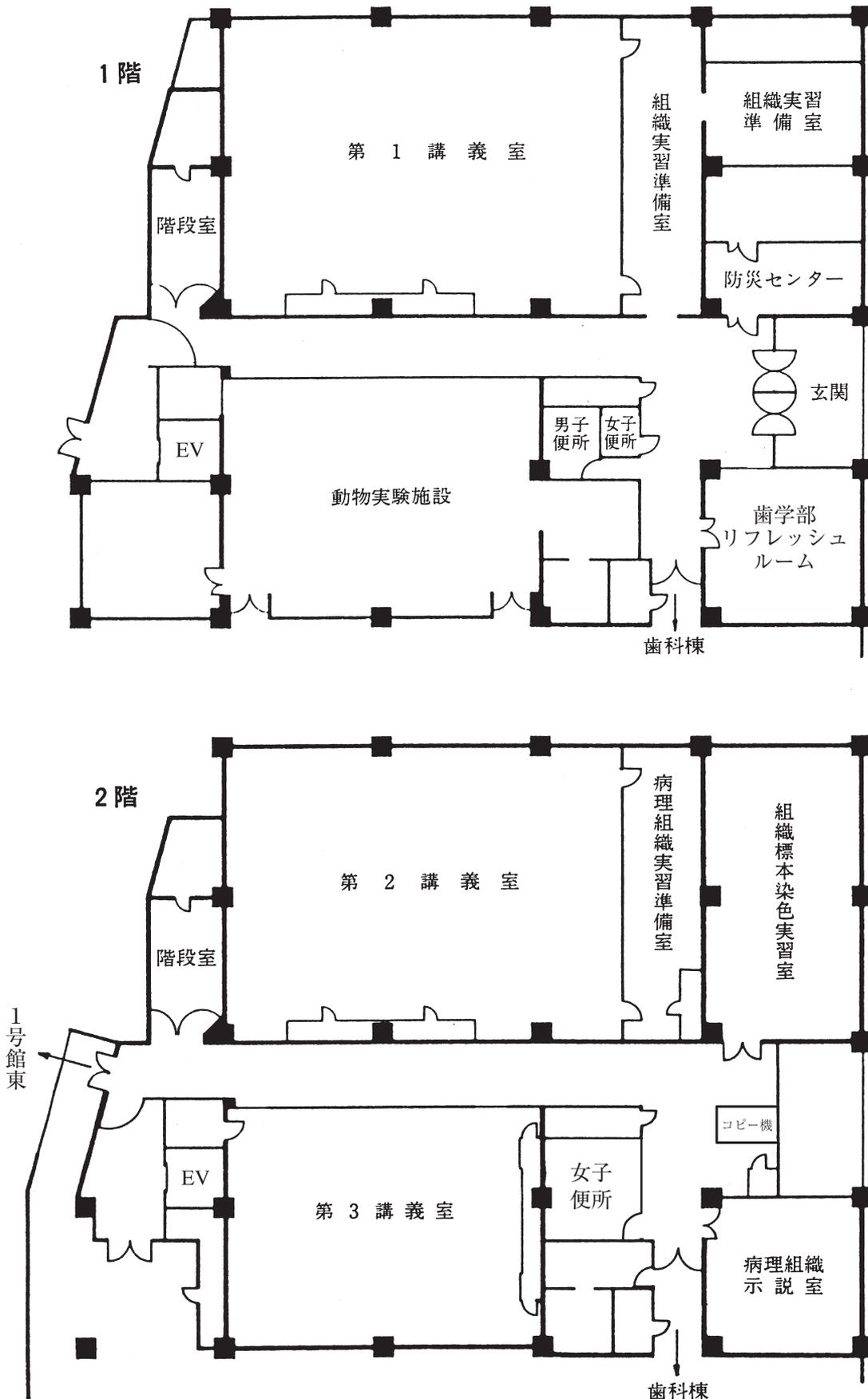
湯島キャンパス案内

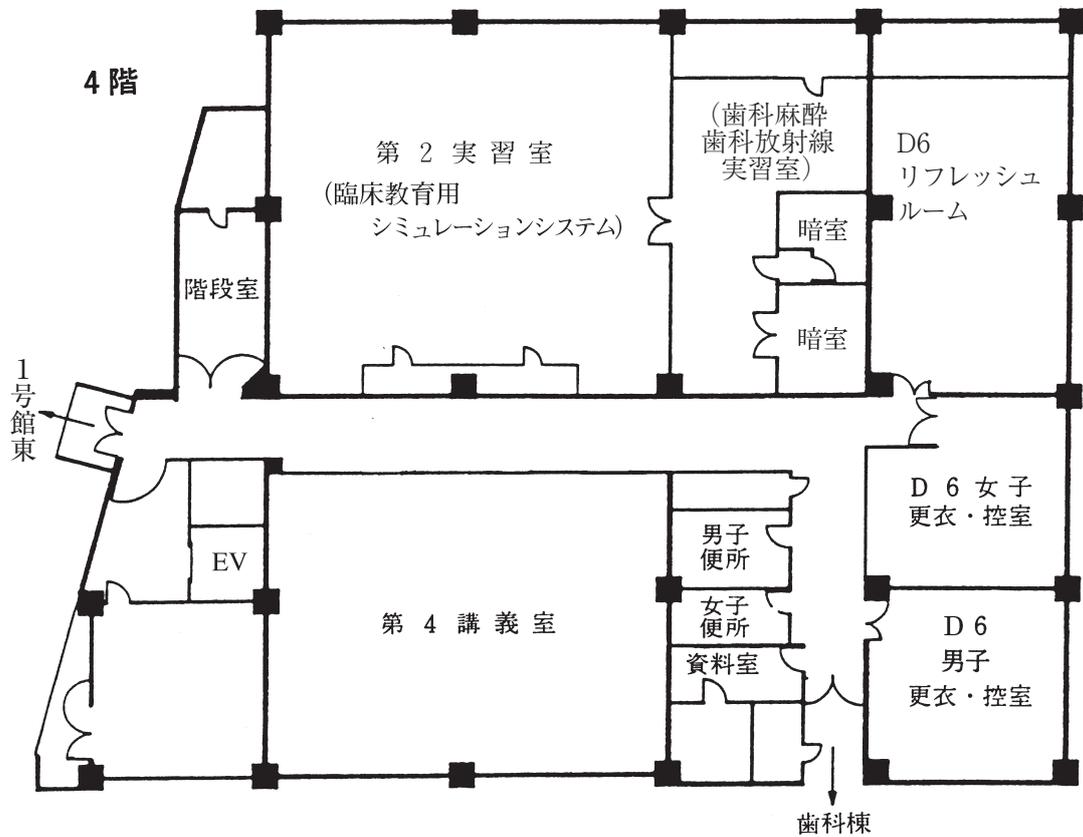
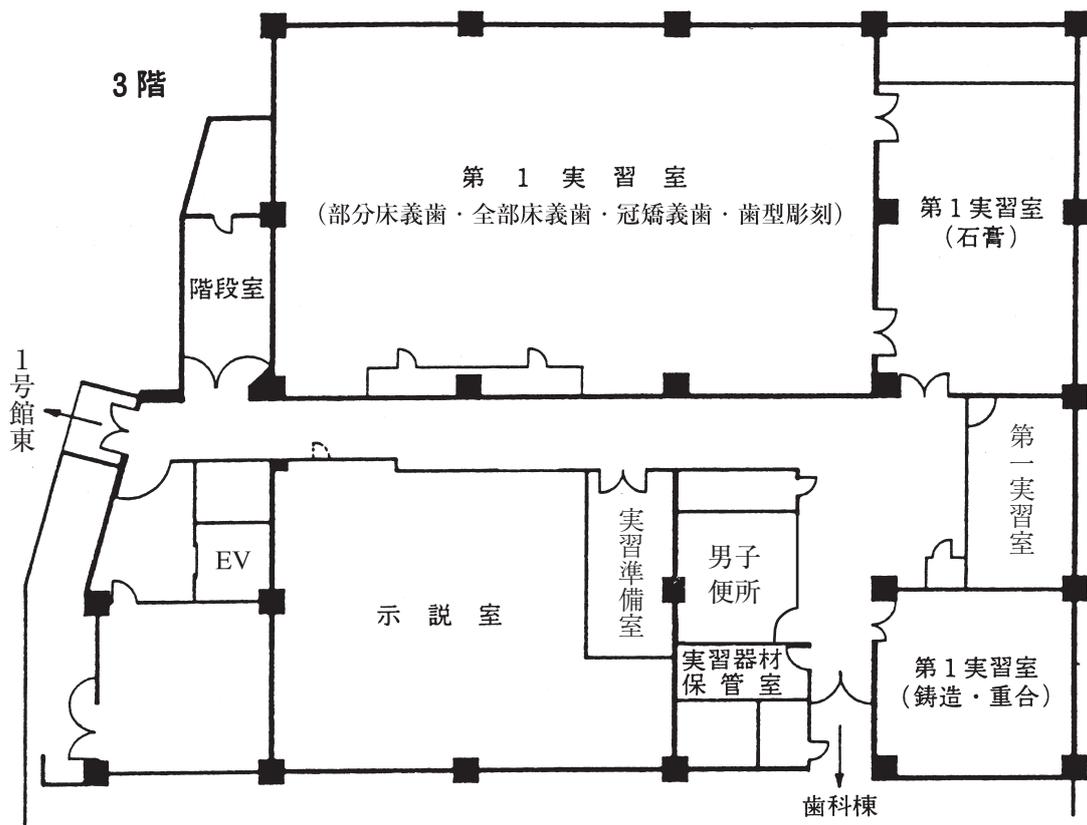


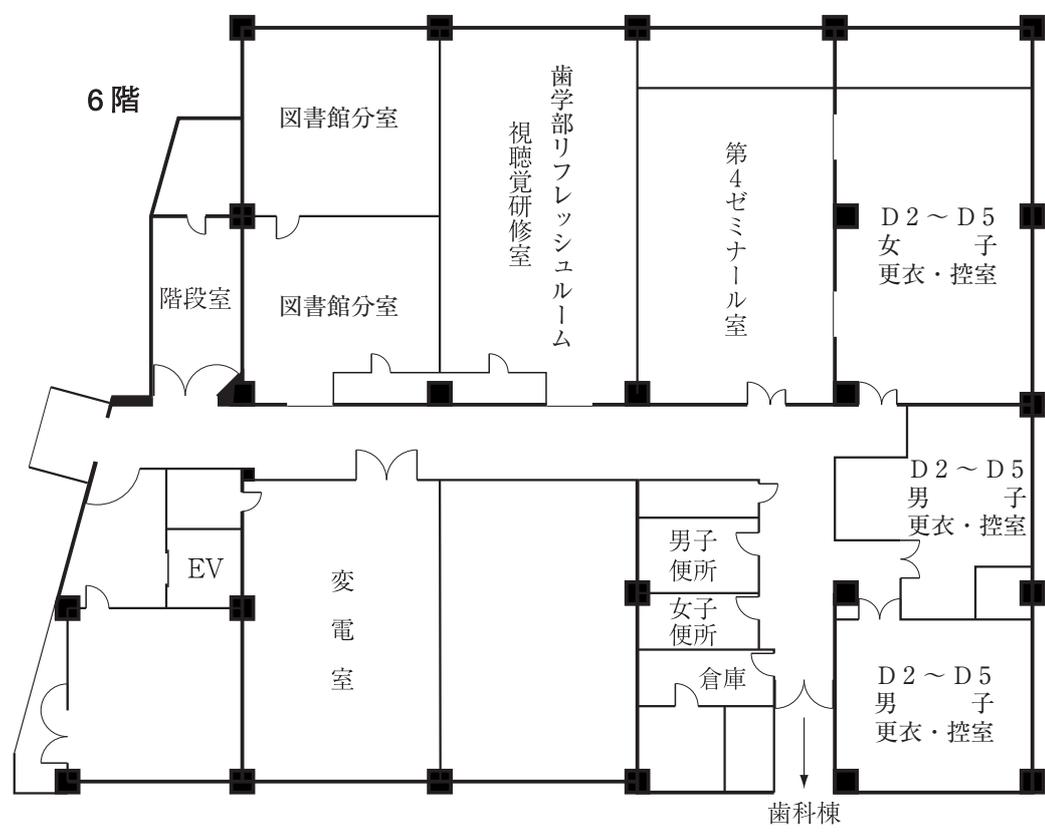
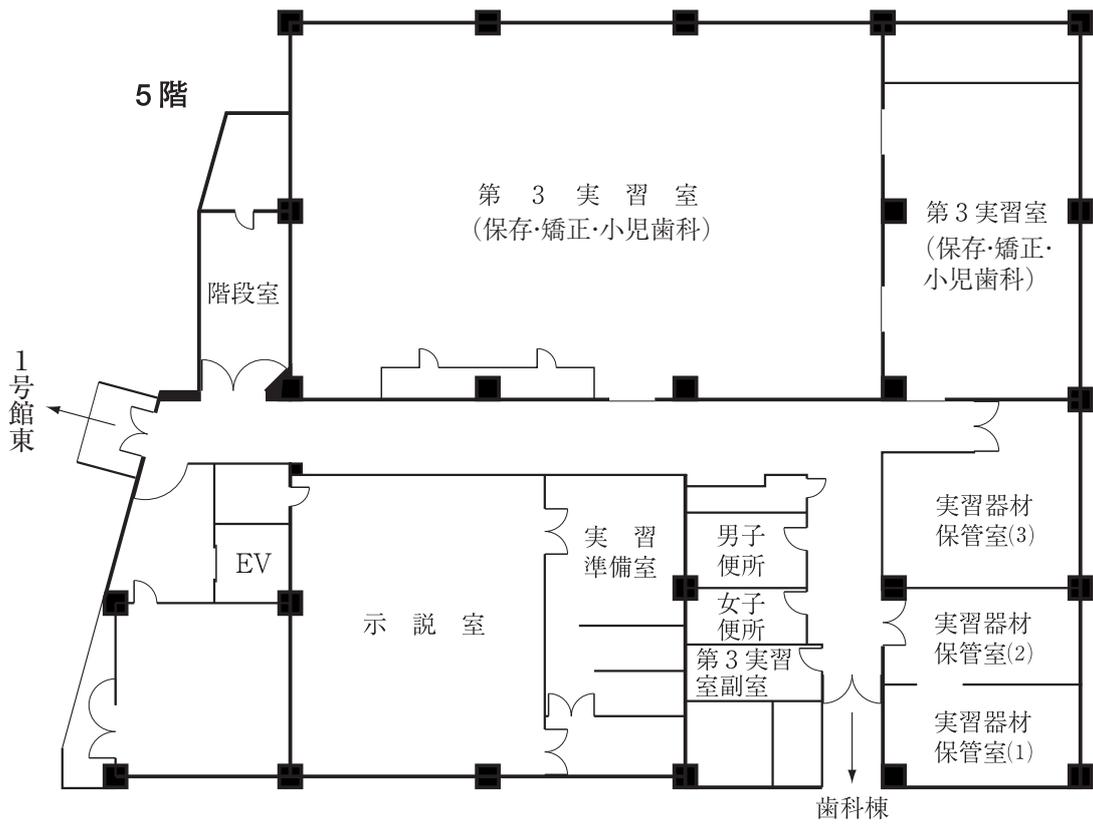
- | | | |
|---------------------|----------------------------|--------------------------|
| 1. 1号館西【1号館・管理棟】 | 9. 医科A棟【歯科新棟】 | 15. 8号館南【共同研究棟】 |
| 2. 2号館【2号館・附属教育施設等】 | 10. 医科B棟【医科新棟】 | 16. 8号館北【RI実験施設棟】 |
| 3. 1号館東【歯科研究棟】 | 11. 3号館【医歯学総合研究棟（I期棟）】 | 17. 21号館【生体材料工学研究所】 |
| 4. 7号館【歯学部校舎棟】 | 12. M&Dタワー【医歯学総合研究棟（II期棟）】 | 18. 22号館【難治疾患研究所駿河台棟】 |
| 5. 歯科棟北【歯科棟】 | 13. 5号館 | 19. 12号館【駿河台臨床研究棟】 |
| 6. 歯科棟南【歯科外来事務棟】 | 14. 6号館 | 20. 23号館【看護師宿舎】（レジデンス茗芳） |
| 7. 10号館【総合教育研究棟】 | | |



7号館（歯学部校舎棟）平面図

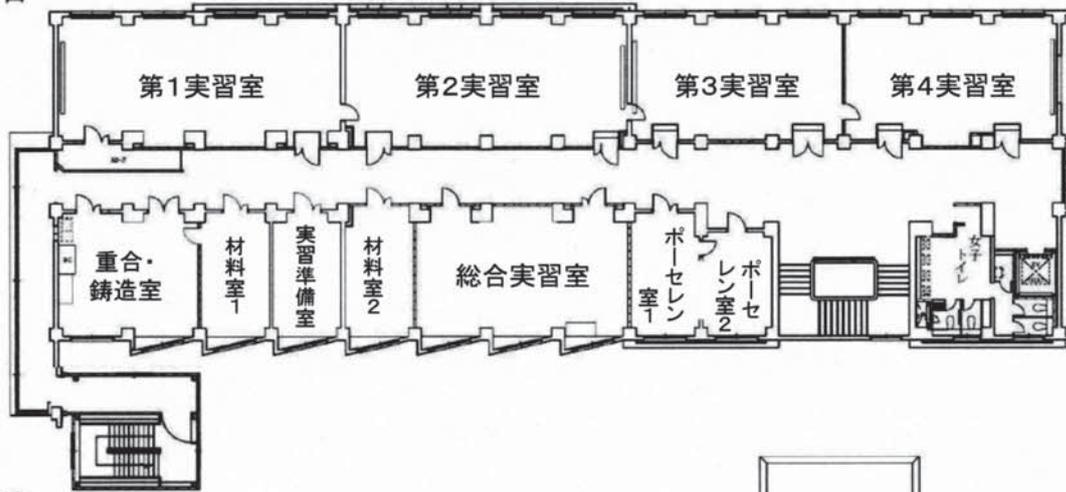




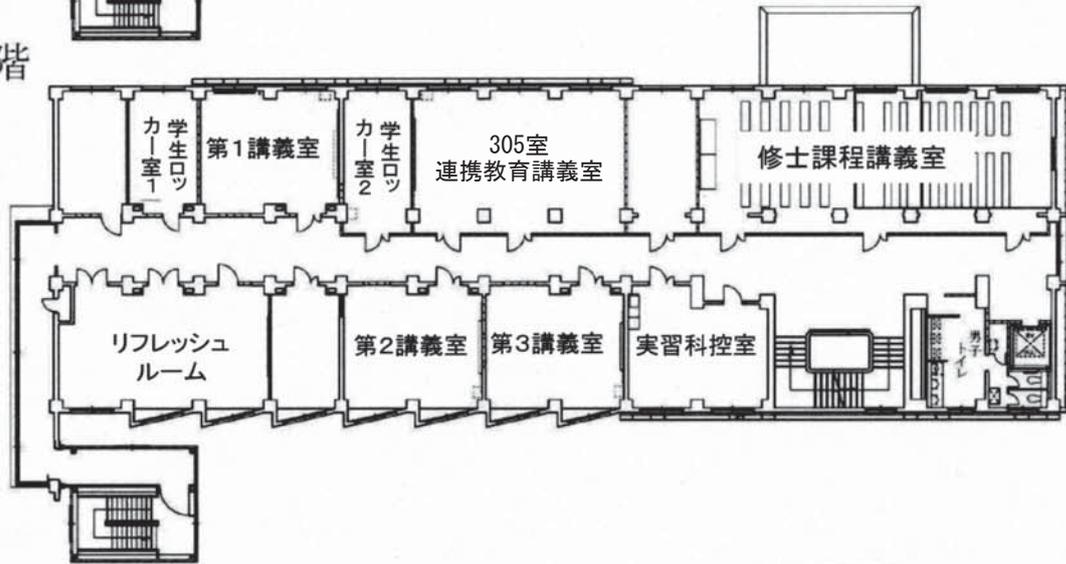


2号館見取図

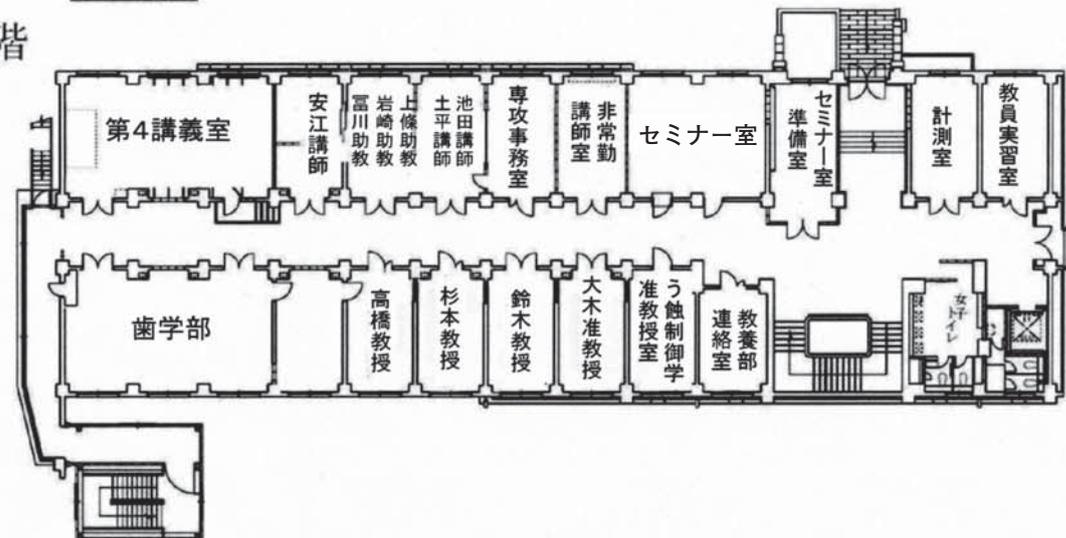
4階



3階



2階



2階
 歯科棟
 連絡口

1号館西5, 6, 7, 8階 見取図

8階



7階



6階



5階



1号館西・東研究室等の配置

階	実習室	分野	教授室等	その他
9				歯科同窓会事務室 (1号館西)
8	(1号館西) 口腔保健学科 講義室・実習室	(1号館西) 口腔保健学科 口腔保健衛生学専攻	(1号館西) 荒遠品吉白寺 川藤田増田岡	
7	(1号館西) 口腔保健学科 講義室・実習室	(1号館西) 口腔保健学科 口腔保健衛生学専攻		会議室 (1号館東) 第1、2ゼミナール室 (1号館東)
6	(1号館西) 歯学部演習室 基礎実習室	先端材料評価学 (1号館西) インプラント・口腔再生医学 (1号館東)	宇尾 (1号館西)	第3ゼミナール室 (1号館東)
5	(1号館西) 医歯学教育システム研究センター スキルスラボラトリーII	インプラント・口腔再生医学 (1号館西・東)	春日井 (1号館東) 荒木 (1号館西)	
4		口腔病理学 (1号館東)	山口 (1号館東)	国際交流センター (1号館西)
3		高齢者歯科学 (1号館東)	水口 (1号館東)	財務管理課収入管理掛 (1号館西)
2		高齢者歯科学 (1号館東)		
1				教務課 学生支援課 学務企画課 (1号館西)

歯科棟北の配置

階	分 野	教 授 室 等	外 来 等	医 局	そ の 他
12	咬合機能矯正学 顎顔面矯正学	小 野 森 山			
11	部分床義歯補綴学 摂食機能保存学 小児歯科学	若 林 三浦(宏)			
10	う蝕制御学 歯髄生物学 健康推進歯学	田 上 川 口			歯科衛生保健部
9	顎口腔外科学 口腔放射線医学 顎関節咬合学	倉 林 木 野		顎関節咬合学	
8			病 棟		医員当直室(男)
7			歯科麻酔外来 インプラント外来 手術室	麻酔・生体管理学	医員当直室(女) 滅菌材料室
6	口腔病態診断科学		口腔外科外来 顎顔面外科外来 顎義歯外来 言語治療外来 検査部	顎顔面外科学 顎口腔外科学	
5			むし歯外来 歯周病外来	う蝕制御学 歯髄生物学 歯周病学	総合技工室
<歯科棟南>					
4			第1総合診療室 第2総合診療室 顎関節治療部 歯科心身外来 快眠歯科(いびき無呼吸)外来		ヘッドライター室 器材準備室 歯学部特別講堂 演習室 歯科臨床研修センター 材料室 和同会売店
3			義歯外来 スポーツ歯科外来 歯科アレルギー外来 クリーンルーム歯科外来 技工部	部分床義歯補綴学 高齢者歯科学 摂食機能保存学	大会議室 小会議室 看護部 研修医技工室
2			小児歯科外来 矯正歯科外来 ペインクリニック 口腔ケア外来	小児歯科学 咬合機能矯正学 顎顔面矯正学	歯学部総務課
1			歯科総合診療部 スペシャルケア外来 息さわやか外来 薬剤部	歯科総合診療部	電 算 室 防 災 センター 器 材 薬 剤 センター 研 修 医 控 室
B1			歯科放射線外来		低 温 室 ポ イ ラ ー 室
					談 話 室
					B2 食 堂

M & Dタワーの配置

		分野	教授室等			分野	教授室等
(北側)	8階	硬組織構造生物学	高野	(南側)	8階	細菌感染制御学	中川
	8階	分子情報伝達学	中島		7階	硬組織薬理学	
	7階	硬組織病態生化学			7階	認知神経生物学	泰羅
	7階	歯学教育開発学	森尾		6階	医療経済学	川渕
	7階	口腔放射線腫瘍学	三浦(雅)		6階	顎顔面解剖学	柴田
	7階	硬組織再生学	篠村		6階	分子免疫学	東
	6階	分子発生学	井関				
	6階	ナノメディスン(DNP)					
	6階	分子細胞機能学	森田				

10号館（総合教育研究棟）の配置

	分野	教授室等	その他
7階	歯 周 病 学	和 泉	
6階	顎 顔 面 外 科 学	原 田	
5階	高 齢 者 歯 科 学 疼 痛 制 御 学	嶋 田	
4階	疼 痛 制 御 学 麻 酔・生 体 管 理 学 ス ポ ー ツ 医 歯 学	深 山	
3階	ス ポ ー ツ 医 歯 学 障 害 者 歯 科 学 歯 科 医 療 行 動 科 学	上 野 篠 塚 俣 木	
2階	顎 顔 面 補 綴 学 歯 科 心 身 医 学 総 合 診 療 歯 科 学	谷 口 豊 福	

3号館の配置

	分野	教授室等
5階	教 育 メ デ ィ ア 開 発 学	木 下

(平成23年度以降専門科目履修開始者)

歯学科コンピテンシー

専門科目履修規則 (改定予定あり)

履 修 内 規

試 験 内 規

単位取得及び進級判定基準

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

〔平成22年3月30日〕
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の履修)

第2条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|--------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習 | 30時間 |
| (3) 実習 | 45時間 |

2 前項第3号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|-------------|------|
| (1) 看護学専攻 | 45時間 |
| (2) 検査技術学専攻 | 30時間 |

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）におい

て行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。

5 学習の評価は、別表2のとおりとする。

6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。

7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規

平成 23 年 2 月 2 日
歯 学 部 長 制 定

(趣旨)

第 1 条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 4 1 号。以下「履修規則」という。）第 1 1 条に基づき、歯学部歯学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第 2 条 定期試験及び追試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が 100 点満点で採点し、履修規則別表 2 のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の成績は、0 点とする。
- 3 第 1 項及び前項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

(必修科目及び仮進級)

第 3 条 履修規則別表 3 (3) に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

(G P)

第 4 条 G P (Grade Point) で成績を評価する場合は次のとおりとする。

成績評価	秀	優	良	可	不可
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0
成績区分	90 点以上	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下

附 則

- 1 この内規は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年 3 月 31 日において現に歯学部歯学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 22 年 4 月 1 日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

歯学科教育課程

1) 必修科目

授業科目	単位数	履修学年											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
歯学入門	4		○										
人体の構造と機能	19			○	○	○							
患者と医療者	3			○	○								
医歯学基盤教育 (生命倫理Ⅰ)	7			○	○	○	○						
医歯学基盤教育 (臨床統計Ⅰ)				○	○								
医歯学基盤教育 (グローバルコミュニケーションⅠ)				○	○								
医歯学基盤教育 (生命倫理Ⅱ)								○					
医歯学基盤教育 (臨床統計Ⅱ)						○	○						
医歯学基盤教育 (グローバルコミュニケーションⅡ)						○	○						
医歯学基盤教育 (臨床統計Ⅲ)								○					
医歯学基盤教育 (グローバルコミュニケーションⅢ)								○					
頭頸部基礎		4			○								
社会と環境	1				○								
生命の分子的基盤	5				○								
臨床歯学イントロダクション	2					○							
感染と生体防御	4					○							
臨床予備実習	3					○	○						
病理	4					○							
予防と健康管理	3					○	○						
生体と薬物	3					○	○						
歯科放射線基礎	1						○						
病態科学演習	3						○						
内科・小児・遺伝疾患	3						○						
外科系疾患	2						○						
課題統合セミナー	3						○		○				
学年混合選択セミナー	1					○		○	○				
頭頸部臨床	4						○						

授業科目	単位数	履修学年											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
老年医学	2						○						
歯科生体材料	3						○	○					
研究実習	4							○					
歯と根尖歯周組織の疾患	5								○				
咬合回復	12						○	○	○				
臨床体験実習	1							○	○				
歯周病	3								○				
咬合育成・発達	4									○			
顎口腔医療	3									○			
全身と歯科医療	3									○			
発展歯科医療	4									○			
臨床情報処理	1									○			
包括臨床実習	43										○	○	○
包括医療統合教育	1											○	
計	168												

2) 自由選択科目

デンタルエクスターンシップ※	1~6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	1~6												

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

歯学科

<p>(1) 第1学年次末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年次に進級することができない。</p> <p>歯学入門</p>
<p>(2) 第2学年次末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年次に進級することができない。</p> <p>患者と医療者、医歯学基盤教育（臨床統計Ⅰ）、社会と環境、生命の分子的基盤、頭頸部基礎、 （2学年次に開講される授業科目内のユニットを対象とする）人体の構造と機能、医歯学基盤教育（生命倫理Ⅰ）、医歯学基盤教育（グローバルコミュニケーションⅠ）</p>
<p>(3) 第3学年次末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年次に進級することができない。</p> <p>人体の構造と機能、医歯学基盤教育（生命倫理Ⅰ）、医歯学基盤教育（グローバルコミュニケーションⅡ）、医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）、臨床歯学イノベーション、感染と生体防御、臨床予備実習、病理、予防と健康管理、生体と薬物、歯科放射線基礎、病態科学演習、内科・小児・遺伝疾患、外科系疾患、頭頸部臨床、老年医学、 （3学年次に開講される授業科目内のユニットを対象とする）課題統合セミナー、学年混合選択セミナー、歯科生体材料、咬合回復</p>
<p>(4) 第4学年次末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第5学年次に進級することができない。</p> <p>歯科生体材料、研究実習、歯と根尖歯周組織の疾患、咬合回復、臨床体験実習、歯周病、医歯学基盤教育（生命倫理Ⅱ）、医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）、医歯学基盤教育（グローバルコミュニケーションⅢ） （4学年次に開講される授業科目内のユニットを対象とする）学年混合選択セミナー</p>

(5) 第5学年次前期末までに次の授業科目の単位を修得し、かつ、共用試験に合格しなければ、第5学年次後期の授業科目を履修することができない。

課題統合セミナー、学年混合選択セミナー、咬合育成・発達、顎口腔医療、全身と歯科医療、発展歯科医療、臨床情報処理、

(5学年次に開講される授業科目内のユニットを対象とする) 共用試験 (CBT、OSCE)

(6) 第5学年次末までに次の授業科目の単位を修得しなければ第6学年次に進級することができない。

(5学年次に開講される授業科目内のユニットを対象とする) 包括臨床実習

注：医歯学基盤教育はグローバルコミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、臨床統計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、生命倫理Ⅰ、Ⅱから成り立っており、全ての授業科目に合格しなければ、単位を修得することができない。

東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規

平成23年2月2日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第6条第3項及び第12条に基づき、歯学部歯学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、ユニット試験及び臨床能力判定試験とする。

(ユニット試験)

第3条 ユニット試験とは、専門科目履修規則別表(4)において定める授業科目におけるユニット終了時に行う試験をいう。

2 ユニット試験の実施日時は、原則として各ユニットの最終日に行う。

(臨床能力判定試験)

第4条 臨床能力判定試験とは、歯学部歯学科の第6学年末に行う包括臨床実習終了時技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（OSCE）及び臨床推論能力試験（症例発表会）をいう。

2 臨床能力判定試験の合格基準は、別に定める。

(共用試験)

第5条 試験規則第6条第1項に規定する共用試験は、第5学年前期の授業終了後に実施する。

2 共用試験を受験できる者は、第5学年前期に開講される授業科目内のユニット試験の受験資格を有する者とする。

3 共用試験の合格基準は、別に定める。

(追試験)

第6条 ユニット試験に係る追試験の実施時期は、担当教員と追試験を受験しようとする者が相談して決めることができるものとする。

(再試験)

第7条 ユニット試験に係る再試験は、原則として学年末の再試験期間において実施する。

2 共用試験及び臨床能力判定試験の再試験合格基準は、別に定める。

(成績の報告)

第8条 ユニット成績提出用紙には、科目責任者の確認印を必要とする。

2 ユニット成績及び授業科目成績の最終責任者は、教授であるものとする。

3 ユニット責任者と科目責任者の両名が教授でない場合、第1項の用紙には、歯学科教育委員会が指定した教授の確認印を必要とする。

附 則

1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学歯学部歯学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

歯学カリキュラム（平成23年度以降入学者）単位取得及び進級判定基準

1. 総則

- 1) 教養教育の進級判定は、教養部がこれを定める。
- 2) 専門科目の進級判定は、1 学年終了時、2 学年終了時、3 学年終了時、4 学年終了時、5 年前期終了時および5 年後期終了時に行う。履修内規別表に示す各終了時まで実施されるモジュール単位を全て修得した場合に進級を認める。進級が認められなかった場合は当該学年に留年とする。
- 3) 5 学年後期に実施される包括臨床実習の成績判定については、出席日数及び平常学習態度を対象とし、包括臨床実習リクワイヤメント達成度については6 学年の包括臨床実習に含むものとする。
- 4) 6 学年に実施される包括臨床実習モジュールの単位判定、および6 学年修了判定については別途定める。
- 5) 留年した場合は、修得できなかったモジュールの一部または全部のユニットを次年度に再履修しなければならない。
- 6) 共用試験が不合格で留年した場合は、次年度の共用試験（C B T, O S C E）に合格しなければならない。共用試験の合格基準は別に定める。

2. モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

3. ユニット試験の受験資格

各ユニットの受験資格はユニットごとに判定する。

各ユニットの全授業時間数のうち、授業形態が「実習」では4分の3以上、「講義」、「演習」、および「講義＋演習」では3分の2以上、出席していなければならない。また、「講義＋実習」では講義部分の全授業時間数の3分の2以上の出席、かつ実習部分の全授業時間数の4分の3以上の出席をしなければならない。

ただし、時間数の少ないユニットにおいては、別途定める。

なお、受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

4. 包括臨床実習の単位判定

包括臨床実習モジュールの単位判定は、以下の成績によるものとする。

- 1) 包括臨床実習リクワイヤメント達成度
- 2) 臨床能力判定試験結果：包括臨床実習終了時臨床技能確認試験（終了時 O S C E を含む）
臨床推論能力（症例発表会）
- 3) 平常点（ポートフォリオ提出状況、D 6 臨床実習ライター、専門（特殊）診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録）

なお、包括臨床実習モジュールの単位が取得できずに留年した場合の再履修に関しては、同モジュールの履修状況を勘案し、別途定める。

5. 学年混合選択セミナーの単位判定

単位取得のためには、すべてのユニット（＝6 ユニット）に合格しなければならない。

ユニットの合格基準は以下の1), 2)を満たすこととする。

- 1) 授業回数の2/3以上（5 回中4 回以上）に出席すること。
- 2) ユニットごとに定める試験（レポート提出を含む）に合格すること。

6. 課題統合セミナーの単位判定

単位取得のためには、すべてのユニット (=7ユニット)に合格しなければならない。
ユニットの合格基準は以下の1),2)を満たすこととする。

- 1) 授業回数の2/3以上に出席すること。
- 2) ユニットごとに定める試験(レポート提出を含む)に合格すること。

7. この規程は平成23年度入学者から施行するが、それ以前の入学者に対してはこの規程に合わせて単位取得を行い、従前の必要単位取得をしたものとする。

8. その他

以上に定めがない事項については、教育委員会で審議し、歯学部長及び歯学部歯学科教授会の承認を得るものとする。

専 門 科 目

(平成23年度以降歯学部歯学科入学者)

歯学科第1学年 平成26年度火曜授業時間割

前期						は湯島地区
日時	8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40	
4/15	火	カリキュラム提示(水口、荒木) 歯学概説-1	歯学概説(水口) (歯学部及び歯学部附属病院見学) 演習室(歯科棟南4階)	12:00～14:00 保健管理センター抗体検査	歯学概説(水口) (歯学部及び歯学部附属病院見学) 演習室(歯科棟南4階)	
日時	9:10～10:40	10:50～12:20	13:10～14:40	14:50～16:20	16:30～18:00	
4/22	火	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2 物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2 物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2		
5/13	火	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2 物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2 物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2		オリエンテーション 16:00～17:30 鈴木章夫記念講堂
5/20	火	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2 物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2 物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学入門 (中野・産賀)1/7 化学入門 (勝又)2	化学入門 (勝又)2	
5/27	火	健康診断	健康診断	健康診断	教養総合講座 (全教員)鈴木章夫記念講堂	教養総合講座 (全教員)鈴木章夫記念講堂
6/3	火	物理学入門 (千葉・水谷)8/9 化学入門 (勝又)2	物理学入門 (千葉・水谷)8/9 生物学入門 (中野・産賀)1/7	生物学入門 (中野・産賀)1/7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
6/10	火	物理学入門 (千葉・水谷)8/9	物理学入門 (千葉・水谷)8/9 生物学入門 (中野・産賀)1/7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
6/17	火	物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
6/24	火	物理学入門 (千葉・水谷)8/9	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
7/1	火		生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
7/8	火		生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
7/15	火		生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
7/22	火		生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
7/29	火		生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
7/30	水		生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	生物学(細胞・遺伝子D・T) (松本・伊藤)7	教養総合講座 (全教員)全教室	教養総合講座 (全教員)全教室
夏季休業	平成26年8月1日～9月5日					
前期試験	平成26年9月9日～9月12日					

後期						
日時	8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40	
9/30	火	歯学概説-2(水口) 歯学科第4講義室	歯学概説-3(水口) 歯学科第4講義室	最新の歯学-1(荒木) 歯学科第4講義室	最新の歯学-2(荒木) 歯学科第4講義室	
10/7	火	早期臨床体験実習(俣木)				
10/14	火	早期臨床体験実習(歯学部附属病院各診療科長)				
10/21	火	学生臨床総合実習見学				
10/28	火	各診療科外来見学・病棟見学				
11/4	火	(10/7 - 11/4 まで第4講義室)				
11/11	火	(11/11 は歯学部特別講堂)				
11/18	火	歯学史-1(鈴木) 歯学科第4講義室	歯学史-2(鈴木) 歯学科第4講義室	歯学概説-4(水口) 歯学科第4講義室	最新の歯学-3 歯学科第4講義室	
11/25	火	最新の歯学-4(荒木) 歯学科第4講義室	最新の歯学-5(荒木) 歯学科第4講義室	歯学概説-5(水口) 歯学科第4講義室	歯学史-3(鈴木) 歯学科第4講義室	
12/2	火	最新の歯学-6(荒木) 歯学科第4講義室	医の倫理-1(田中・森本) 歯学科第4講義室	歯学概説-6(水口) 歯学科第4講義室	歯学史-4(鈴木) 歯学科第4講義室	
12/9	火	最新の歯学-7(荒木) 歯学科第4講義室	医の倫理-2(田中・森本) 歯学科第4講義室	歯学概説-7(水口) 歯学科第4講義室	歯学史-5(鈴木) 歯学科第4講義室	
12/16	火	最新の歯学-8(荒木) 歯学科第4講義室	医の倫理-3(田中・森本) 歯学科第4講義室	歯学概説-8(水口) 歯学科第4講義室	歯学史-6(鈴木) 歯学科第4講義室	
冬季休業	平成26年12月24日～平成27年1月2日					
1/6	火	歯学概説-9(水口) 歯学科第4講義室	医の倫理-4(田中・森本) 歯学科第4講義室	基礎情報医歯学-1 (木下他)	図書館情報検索室(M&Dタワー4階)	
1/13	火	歯学概説-10(水口) 歯学科第4講義室	医の倫理-5(田中・森本) 歯学科第4講義室	基礎情報医歯学-2 (木下他)	図書館情報検索室(M&Dタワー4階)	
1/20	火	最新の歯学-9(荒木) 歯学科第4講義室	医の倫理-6(田中・森本) 歯学科第4講義室	基礎情報医歯学-3 (木下他)	図書館情報検索室(M&Dタワー4階)	
1/27	火	最新の歯学-10(荒木) 歯学科第4講義室	医の倫理-7(田中・森本) 歯学科第4講義室	基礎情報医歯学-4 (木下他)	図書館情報検索室(M&Dタワー4階)	
火曜補講	平成27年2月3日					
後期試験	平成27年2月10日～2月17日					
春季休業	平成27年2月18日～3月31日					

時間割番号	021001				
科目名	歯学入門				
担当教員	荒木 孝二				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	4
モジュール番号:1					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 歯学概説 02 歯学史 03 最新の歯学 04 早期臨床体験実習 05 医の倫理 06 基礎情報医歯学					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 karaki.gend@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月～金 16:30～18:00 1号館西5階教室(必ず事前にメール連絡をすること)					

時間割番号	021002																																																																																						
科目名	歯学概説																																																																																						
担当教員	水口 俊介																																																																																						
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																				
<p>モジュール名: 歯学入門 英語名: Introduction to Dentistry コマ数: 授業形態: 講義及び見学 ユニット番号: 01</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>●授業の目的 (Primary goal) 歯学部に進学する学生の多くが抱いているこのような疑問に答え、全学共通科目履修の間、しっかり将来を見据えて、はっきりとした方向性と自覚を持って学習を組織し、教養部での生活を充実した有意義なものにすることを目的とする。</p> <p>●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 東京医科歯科大学歯学部とは一体どんなところだろうか、歯学部ではどんな先生からどんなことを学ぶのだろうか、歯科医師として社会からどんなことを期待されているのだろうか、歯科医学界の将来はどのようなのだろうか。この科目の教育項目は、次のように構成されている。第一は、本学歯学部の教育課程に関する項目である。これに関連してまず、本学歯学部の建学の精神について学び、その後の発展の跡を辿り、諸君が本学歯学部の歴史の中でどのような位置を占めているかを理解する。さらに、本学歯学部における教育の理念、方針及び教科課程の構成を把握した上で、専門科目の履修および卒後の学習、研修、研究の場となる歯学部の研究室及び附属病院を見学して、歯学部の実際の教育・研究・診療の諸活動の一端を体験学習する。第二は、職業人として社会から期待されている事柄を、歯科医療を取り巻く環境や職業倫理と関連させて把握することを目的とする項目である。ここでは、第一線の医療現場から講師を迎え、歯科医と患者の両方の立場から、歯科医療の諸問題を論じ、歯科医のあるべき姿について考える。また、歯科医療への美的感覚の必要性といった意外な側面にも触れて、歯科医に要求されることの多様性を理解する。第三に、歯科医学の研究の最近の動向を紹介する。ここでは、多数の先輩が留学を経験しているアメリカの歯学研究の実態と、最新の研究技術を駆使して行われている本学歯学部の研究その他を紹介する。歯科医学における研究が、世界的な視野で様々な魅力的な主題について行われていることを理解する。最後に我が国の歯科医学と歯科医療の現状に関する展望を知り、職業人としての諸君を取り巻く環境を把握する。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/15</td> <td>08:50-10:20</td> <td>病院演習室</td> <td>カリキュラム提示</td> <td>荒木 孝二</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:30-12:00</td> <td>病院演習室</td> <td>歯学部及び歯学部附属病院見学</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/15</td> <td>12:50-14:20</td> <td>病院演習室</td> <td>保健管理センター抗体検査</td> <td>荒木 孝二</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/15</td> <td>14:30-16:00</td> <td>病院演習室</td> <td>歯学部及び歯学部附属病院見学</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/30</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学概説のオリエンテーション</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>9/30</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>病院歯科の役割</td> <td>佐野 晴男</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/18</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯科医療の現場から「開業医として、先輩として」</td> <td>国光 隆史</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/25</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>インフォームドコンセントについて</td> <td>植村 研一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/2</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>海外の歯学の研究</td> <td>小野 卓史</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/9</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯科医療とアート「顔面美について」</td> <td>宮永 美知代</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/16</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>補綴学の立場からみた歯科医学</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/6</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>患者と心</td> <td>佐藤 貢悦</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/13</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>本学歯学部附属病院の役割について</td> <td>嶋田 昌彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/15	08:50-10:20	病院演習室	カリキュラム提示	荒木 孝二	2	4/15	10:30-12:00	病院演習室	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介	3	4/15	12:50-14:20	病院演習室	保健管理センター抗体検査	荒木 孝二	4	4/15	14:30-16:00	病院演習室	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介	5	9/30	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学概説のオリエンテーション	俣木 志朗	6	9/30	10:30-12:00	歯学科第4講義室	病院歯科の役割	佐野 晴男	7	11/18	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療の現場から「開業医として、先輩として」	国光 隆史	8	11/25	12:50-14:20	歯学科第4講義室	インフォームドコンセントについて	植村 研一	9	12/2	12:50-14:20	歯学科第4講義室	海外の歯学の研究	小野 卓史	10	12/9	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療とアート「顔面美について」	宮永 美知代	11	12/16	12:50-14:20	歯学科第4講義室	補綴学の立場からみた歯科医学	水口 俊介	12	1/6	08:50-10:20	歯学科第4講義室	患者と心	佐藤 貢悦	13	1/13	08:50-10:20	歯学科第4講義室	本学歯学部附属病院の役割について	嶋田 昌彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																		
1	4/15	08:50-10:20	病院演習室	カリキュラム提示	荒木 孝二																																																																																		
2	4/15	10:30-12:00	病院演習室	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介																																																																																		
3	4/15	12:50-14:20	病院演習室	保健管理センター抗体検査	荒木 孝二																																																																																		
4	4/15	14:30-16:00	病院演習室	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介																																																																																		
5	9/30	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学概説のオリエンテーション	俣木 志朗																																																																																		
6	9/30	10:30-12:00	歯学科第4講義室	病院歯科の役割	佐野 晴男																																																																																		
7	11/18	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療の現場から「開業医として、先輩として」	国光 隆史																																																																																		
8	11/25	12:50-14:20	歯学科第4講義室	インフォームドコンセントについて	植村 研一																																																																																		
9	12/2	12:50-14:20	歯学科第4講義室	海外の歯学の研究	小野 卓史																																																																																		
10	12/9	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療とアート「顔面美について」	宮永 美知代																																																																																		
11	12/16	12:50-14:20	歯学科第4講義室	補綴学の立場からみた歯科医学	水口 俊介																																																																																		
12	1/6	08:50-10:20	歯学科第4講義室	患者と心	佐藤 貢悦																																																																																		
13	1/13	08:50-10:20	歯学科第4講義室	本学歯学部附属病院の役割について	嶋田 昌彦																																																																																		
<p>成績評価の方法</p> <p>講義ごとにレポートを課し、担当教員が評価する。</p>																																																																																							
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>																																																																																							
<p>連絡先</p> <p>s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p>																																																																																							
<p>オフィスアワー</p> <p>随時</p>																																																																																							

時間割番号	021003																																												
科目名	歯学史																																												
担当教員	鈴木 聖一																																												
開講時期	後期	対象年次	1																																										
モジュール名: 歯学入門 英語名: History of Dentistry コマ数: 授業形態: 講義 ユニット番号: 02																																													
主な講義場所 第4講義室																																													
授業の目的、概要等 ●授業の目的 (Primary goal) 歯科医学、歯科医療の歴史的発達について学ぶ。先人達の今日の歯科医学を築き上げるに至った 努力、研鑽の跡を知ることは、未曾有の歯科医師過剰時代に、過ちのない対応で乗り切り、歯科 医学を探求し新しい知識を拓いてゆくのである。 ●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 今日に至る歯科医学および歯科医療発展の経緯について歴史的事象をふまえて解説する。授業は講義形式で行う。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯学史を学ぶ意義を理解する。 2) 基本的な医学および歯科医学の歴史を知る。 3) 義歯の誕生と改良、保存、矯正など歯科各科の進歩について知る。 4) 木床義歯など日本固有の技術、歯科医療における先人の工夫の跡を知る。 5) 近代における歯学教育の発展と東京医科歯科大学の歴史を知る。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/18</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学入門 歯学史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/18</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学入門 歯学史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/25</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学入門 歯学史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/2</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学入門 歯学史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/9</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学入門 歯学史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/16</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学入門 歯学史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	11/18	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一	2	11/18	10:30-12:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一	3	11/25	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一	4	12/2	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一	5	12/9	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一	6	12/16	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																								
1	11/18	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一																																								
2	11/18	10:30-12:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一																																								
3	11/25	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一																																								
4	12/2	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一																																								
5	12/9	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一																																								
6	12/16	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学入門 歯学史	鈴木 聖一																																								
授業内容 1) 11月18日 歯学史を学ぶ意義 基礎医学、臨床医学の発展 2) 11月18日 医学の発展、歯科医学の誕生 3) 11月25日 歯科医学の発展、 歯科各科の誕生と発展 4) 12月2日 木床義歯 木床義歯の誕生、江戸時代の歯科医術 5) 12月9日 楊子と歯磨 楊子と歯磨の歴史、歯科医療の発展(江戸から明治) 6) 12月16日 歯学教育 近代日本の歯学教育、東京医科歯科大学の歴史																																													
成績評価の方法 授業態度、必要に応じてレポートにより総合的に評価する。																																													
準備学習などについての具体的な指示																																													
連絡先 s-suzuki.mort@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 水・木 16:00-17:30																																													

時間割番号	021004				
科目名	最新の歯学				
担当教員	荒木 孝二				
開講時期	後期	対象年次	1		
モジュール名: 歯学入門 英語名: The introduction to dentistry — Up to date dentistry— コマ数: 授業形態: 講義 ユニット番号: 03					
主な講義場所					
7号館第4講義室(変更がある場合は事前に連絡する)					
授業の目的、概要等					
<p>●授業の目的 (Primary goal) 歯科研究・歯科臨床の最新トピックスを理解する。科学研究のおもしろさや重要性を理解する。歯科研究・歯科臨床が国民・社会にどこまで貢献しているかを理解する。</p> <p>●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 大学院歯医学総合研究科(歯学系)の分野長(基礎系および臨床系教授)が専門分野の最新トピックスについて説明する。基礎系は科学研究のおもしろさや重要性、臨床系は歯科臨床がどこまで国民あるいは社会に貢献しているかを分かりやすく説明し、将来学生諸君がこのような歯科研究者あるいは歯科臨床家になりたいという夢と希望を与える。講師は毎週異なり、各講師が一つのテーマについてそれぞれの立場から分かりやすく講義を行う。</p>					
授業の到達目標(SBOs)					
最新の歯科研究・歯科臨床の内容を説明出来る。学部専門科目内容の緒を掴む。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	12:50-14:20	歯学科第4講義室	接着歯学:世界との戦い	田上 順次
2	9/30	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯科と脳科学研究	泰羅 雅登
3	11/18	14:30-16:00	歯学科第4講義室	最新の歯科矯正	小野 卓史
4	11/25	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯の痛みの治療-西洋医学と東洋医学の融合	嶋田 昌彦
5	11/25	10:30-12:00	歯学科第4講義室	バーチャルリアリティで体験する匠の技	木下 淳博
6	12/2	08:50-10:20	歯学科第4講義室	顔のでき方	井関 祥子
7	12/9	08:50-10:20	歯学科第4講義室	口腔外科の進歩	原田 清
8	12/16	08:50-10:20	歯学科第4講義室	咬合(噛み合わせ)の回復と義歯治療	若林 則幸
9	1/20	08:50-10:20	歯学科第4講義室	ここまで出来る顎顔面補綴	谷口 尚
10	1/27	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯周病と全身疾患との関係	和泉 雄一
授業内容					
1. 9月30日 接着歯学:世界との戦い	田上 順次 (う蝕制御学)				
2. 9月30日 歯科と脳科学研究	泰羅 雅登 (認知神経生物学)				
3. 11月18日 最新の歯科矯正	小野 卓史 (咬合機能矯正学)				
4. 11月25日 歯の痛みの治療-西洋医学と東洋医学の融合	嶋田 昌彦 (疼痛制御学)				
5. 11月25日 バーチャルリアリティで体験する匠の技	木下 淳博 (教育メディア開発学)				
6. 12月 2日 顔のでき方	井関 祥子 (分子発生学)				
7. 12月 9日 口腔外科の進歩	原田 清 (顎顔面外科学)				
8. 12月16日 咬合(噛み合わせ)の回復と義歯治療	若林 則幸 (部分床義歯補綴学)				
9. 1月20日 ここまで出来る顎顔面補綴	谷口 尚 (顎顔面補綴)				
10. 1月27日 歯周病と全身疾患との関係	和泉 雄一 (歯周病学)				
成績評価の方法					
出席とレポートによる評価を行う。全10回中2/3以上の出席が履修の条件である。					
準備学習などについての具体的な指示					
2年次以降の学部教育内容の紹介的な授業なので、特に準備学習の必要性はない。各回の授業テーマについて既に興味を持っている学生は、事前に2年次以降の当該科目のシラバス内容の確認、インターネットなどでの専門的内容の予習をしておく、より授業内容を深く理解出来ると思われる。					

試験の受験資格

試験は行わない。

連絡先

k.araki.gend@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 16:30～18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)

時間割番号	021005					
科目名	早期臨床体験実習					
担当教員	俣木 志朗					
開講時期	後期	対象年次	1			
<p>モジュール名: 歯学入門 英語名: Introduction to Clinical Dentistry コマ数: 授業形態: ユニット番号: 04</p>						
<p>主な講義場所 各診療科に関連した研究室等。</p>						
<p>授業の目的、概要等 今後6年間にわたって歯科医学を学んでいくにあたり、今後の学習への強い動機を獲得するために、歯科医学 ならびに歯科医療の現状を認識するとともに、医の原則を理解し、医療人としての基本的態度を修得する。</p>						
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科医療従事者に求められる基本的態度(挨拶、時間厳守、言葉づかい)を身につける。 2) 歯科医療が人々の健康の維持・増進に果たす社会的役割を認識する。 3) 1口腔単位として歯科疾患を理解する。4:基礎医学、一般教養科目の重要性を説明できる。 5) 自分自身の将来像を具体的に述べることができる。 6) 自分の将来像を具現化するための具体的な目標設定ができる。 7) 自分自身で問題を提起し、自ら解決する能力を養う習慣を身につける。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/7	09:00-09:50	歯学科第4講義室	早期臨床体験実習	概要説明	俣木 志朗, 大槻 昌幸
2	10/7	10:00-10:50		早期臨床体験実習	外来等見学	
3	10/7	11:00-11:50		早期臨床体験実習	研究室見学	
4	10/7	12:50-13:40		早期臨床体験実習	テーマ抽出	
5	10/7	13:50-14:40		早期臨床体験実習	テーマ決定	
6	10/7	14:50-15:40		早期臨床体験実習	テーマ発表の準備	
7	10/14	09:00-09:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	俣木 志朗
8	10/14	10:00-10:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	大槻 昌幸
9	10/14	11:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	俣木 志朗, 大槻 昌幸
10	10/14	12:50-13:40		早期臨床体験実習	テーマ再検討	
11	10/14	13:50-14:40		早期臨床体験実習	研究演習	
12	10/14	14:50-15:40		早期臨床体験実習	研究演習	
13-18	10/21	09:00-15:40		早期臨床体験実習	研究演習	
19	10/28	09:00-09:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	俣木 志朗
20	10/28	10:00-10:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	大槻 昌幸
21	10/28	11:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	俣木 志朗, 大槻 昌幸
22	10/28	12:50-13:40		早期臨床体験実習	テーマ再検討	
23	10/28	13:50-14:40		早期臨床体験実習	研究演習	
24	10/28	14:50-15:40		早期臨床体験実習	研究演習	
25-30	11/4	09:00-15:40		早期臨床体験実習	研究演習	
31-36	11/11	09:00-15:40	特別講堂	研究成果発表	研究成果発表	俣木 志朗, 大槻 昌幸
授業方法						
<p>1グループ2～3人で各臨床の診療科あるいは専攻分野に配属され、自ら研究テーマを設定し、実施する。必要に応じて助言するために、各グループには各診療科のチューターが配置されている。テーマ決定、中間発表会を経て最終的には研究成果発表会で発表する。</p>						

<p>授業内容</p> <p>研究テーマを自ら選定し、研究結果を 成果発表会で発表する。</p> <p>10月7日(火)全体の概要説明、外来見学、研究室見学、テーマ抽出、テーマ発表の準備</p> <p>10月14日(火)テーマ発表会(1組5分)、テーマ再検討、演習</p> <p>10月21日(火)演習、中間発表の準備</p> <p>10月28日(火)中間発表会、</p> <p>11月4日(火)演習、成果発表会の準備</p> <p>11月11日(火)成果発表会</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>出席、遅刻の有無、受講態度、実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、発表の態度等を総合的に評価する。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>プレレポート、ポストレポートの提出。実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、態度等の総合評価と学生同士の相互評価結果、報告書の内容を総合的に評価する。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>本学のHPから「2014年度大学案内」を通読し、6年間の歯学部カリキュラムにおけるこのカリキュラムの位置づけについて理解しておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>4分の3以上の出席</p>
<p>構成ユニット</p> <p>2～3名で1グループを構成し、各診療科に配属される。6週間にわたり、毎週火曜日に9時～16時まで実習を行う。</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内のすべてのユニットに合格しなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出物の内容および平常学習態度等が評価に加味される。</p>
<p>教科書</p> <p>歯科医療のおもしろさ：後輩たちへ贈る28のドラマ／橋本光二、升谷滋行、飯野文彦 編：口腔保健協会、2013</p> <p>医の現在／高久 史磨 編：岩波書店</p> <p>歯の健康学／江藤 一洋 編：岩波書店</p>
<p>連絡先</p> <p>mataki.diag@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>水 16:00～18:00</p>

時間割番号	021006																																																		
科目名	医の倫理																																																		
担当教員	水口 俊介, 田中 智彦																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																
<p>モジュール名: 歯学入門 英語名: Medical Ethics and Bioethics コマ数: 授業形態: ユニット番号: 05</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>●授業の目的 (Primary goal) 医療者にとって必須である「医の倫理」の入門編。</p> <p>●授業の概要 (Outline of content and teaching method) この講義では、歯学部歯学科の学生諸君が歯科医療・歯学研究の「専門家」として従うべき規範について理解を深めるとともに、「医歯学総合」という幅広い視座から現代医学の諸問題を把握し、分析するための基本的な能力を身につけることが目指されます。ところで一口に「医の倫理」と言っても、その舞台となるのが現代の... 医歯学である以上、はるか昔の「ヒポクラテスの誓い」を引き合いに出すだけではもはや十分ではありません。実際、20世紀の後半に「バイオエシックス(生命倫理)」が成立し、「患者の権利」が確立されてゆくきっかけとなったのは、第二次世界大戦後の医学・医療における人体実験の問題でした。そしてそれゆえに、現代の「医の倫理」にあっては、「倫理的な思考」と「法的な思考」とが分かたつことのできない関係になっています。現代の医歯学はそれを「職業」とする人々に、従来の「医の心」や「医師の良心」にはとどまらない倫理規範と思考とを求めているのです。そこでこの講義も、現代の医療や医歯学のあれこれの「約束事」についてただ解説するという形はとりません。むしろ、現代の「医の倫理」の由来を歴史のうちに探りながら、他方ではその意義と課題とを具体的な諸問題 から検討する、という形で進めてゆきます。それゆえこの講義では、いわゆる「座学」による基本的な知識の提供だけでなく、さまざまな問題提起にもとづいた学生諸君によるプレゼンテーションとディスカッションの機会 も設けられています。したがって学生諸君には、何よりもまず、自らの頭脳で思考することが求められます。講義への、そして、そこで提示される諸問題への積極的なコミットメントを期待します。</p>																																																			
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>上記のテーマに関して、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的な理解を得ること。 2) 基本的な文献を自分で読めるようになること。 3) さらなる問いを自分で立て、自分で考えられるようになること。 																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>12/2</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>なぜ「医の倫理」を学ばねばならないのか——倫理学および法学の視点から</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>12/9</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>生命倫理の基礎(1)——「治療するとはどういうことか」を考える①</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/16</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>生命倫理の基礎(2)——「治療するとはどういうことか」を考える②</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/6</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>生命倫理の基礎(1)——「自己決定権」について考える①</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/13</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>生命倫理の基礎(2)——「自己決定権」について考える②</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/20</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>生命倫理の基礎(1)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える①</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/27</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>生命倫理の基礎(2)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える②</td> <td>田中 智彦, 森本 直子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	12/2	10:30-12:00	歯学科第4講義室	なぜ「医の倫理」を学ばねばならないのか——倫理学および法学の視点から	田中 智彦, 森本 直子	2	12/9	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「治療するとはどういうことか」を考える①	田中 智彦, 森本 直子	3	12/16	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「治療するとはどういうことか」を考える②	田中 智彦, 森本 直子	4	1/6	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「自己決定権」について考える①	田中 智彦, 森本 直子	5	1/13	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「自己決定権」について考える②	田中 智彦, 森本 直子	6	1/20	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える①	田中 智彦, 森本 直子	7	1/27	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える②	田中 智彦, 森本 直子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																														
1	12/2	10:30-12:00	歯学科第4講義室	なぜ「医の倫理」を学ばねばならないのか——倫理学および法学の視点から	田中 智彦, 森本 直子																																														
2	12/9	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「治療するとはどういうことか」を考える①	田中 智彦, 森本 直子																																														
3	12/16	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「治療するとはどういうことか」を考える②	田中 智彦, 森本 直子																																														
4	1/6	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「自己決定権」について考える①	田中 智彦, 森本 直子																																														
5	1/13	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「自己決定権」について考える②	田中 智彦, 森本 直子																																														
6	1/20	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える①	田中 智彦, 森本 直子																																														
7	1/27	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える②	田中 智彦, 森本 直子																																														
<p>授業内容</p> <p>講義の計画は以下のとおりです。(内容・順序等が一部変更になることもあります。)</p> <p>第1回 なぜ「医の倫理」を学ばねばならないのか——倫理学および法学の視点から</p> <p>第2-3回 生命倫理の基礎(1)——「治療するとはどういうことか」を考える</p> <p>第4-5回 生命倫理の基礎(2)——「自己決定権」について考える</p>																																																			

第6-7回 生命倫理の基礎(3)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える

成績評価の方法

期末試験、プレゼンテーションとディスカッションへの参加、講義への出席等をもとに総合的に評価します。

準備学習などについての具体的な指示

連絡先

水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水口 俊介: 随時

田中 智彦: 毎週月曜日 11:00-13:00 管理研究棟 2階 哲学研究室

時間割番号	021007																																												
科目名	基礎情報医歯学																																												
担当教員	木下 淳博																																												
開講時期	後期	対象年次	1																																										
<p>モジュール名: 歯学入門 英語名: Medical and Dental Informatics コマ数: 授業形態: ユニット番号: 06</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>●授業の目的 (Primary goal) 医学・歯学の研究・調査に必要な情報技術を理解し、その利用方法を習得する。ワープロ、メール、インターネットといった基本的な情報技術に加えて、研究・調査に実際に使用する情報技術について実習を行いながら学ぶ。ファイル操作など OS の基本的操作、e-learning の操作は習得済みであることを前提として講義・実習を行うので、事前に自身の知識を確認すること。</p> <p>●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 医歯学に関連する基礎的情報技術の知識・操作について講義および実習を行う。実習は図書館のパソコンを使用する。毎回、課題の提出を行う。また、全講義終了後に CBT 試験を行う。</p>																																													
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>1) コンピューターを使用したプレゼンテーションの作成ができる。 2) 生物医学画像の取り扱いと解析ができる。 3) 動画画像の編集ができる。 4) オリジナル・ホームページを作ることができる。</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>1/6</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>基礎情報医歯学概説、インターネット・セキュリティと著作権 メディアコンテンツ作成 1 静止画像処理</td> <td>木下 淳博</td> <td>メディア情報掛</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>1/13</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>研究における画像解析</td> <td>青木 和広</td> <td>メディア情報掛</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>1/20</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>メディアコンテンツ作成 2 動画画像処理</td> <td>木下 淳博、須永 昌代</td> <td>メディア情報掛</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>1/27</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>オリジナル・ホームページの作成 (著作権遵守、画像、ファイル操作、HTML の基礎)</td> <td>田畑 純</td> <td>メディア情報掛</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2/3</td> <td>12:50-14:20</td> <td>情報検索室</td> <td>試験(CBT 試験)</td> <td>木下 淳博</td> <td>メディア情報掛</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-2	1/6	12:50-16:00	情報検索室	基礎情報医歯学概説、インターネット・セキュリティと著作権 メディアコンテンツ作成 1 静止画像処理	木下 淳博	メディア情報掛	3-4	1/13	12:50-16:00	情報検索室	研究における画像解析	青木 和広	メディア情報掛	5-6	1/20	12:50-16:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成 2 動画画像処理	木下 淳博、須永 昌代	メディア情報掛	7-8	1/27	12:50-16:00	情報検索室	オリジナル・ホームページの作成 (著作権遵守、画像、ファイル操作、HTML の基礎)	田畑 純	メディア情報掛	9	2/3	12:50-14:20	情報検索室	試験(CBT 試験)	木下 淳博	メディア情報掛
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1-2	1/6	12:50-16:00	情報検索室	基礎情報医歯学概説、インターネット・セキュリティと著作権 メディアコンテンツ作成 1 静止画像処理	木下 淳博	メディア情報掛																																							
3-4	1/13	12:50-16:00	情報検索室	研究における画像解析	青木 和広	メディア情報掛																																							
5-6	1/20	12:50-16:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成 2 動画画像処理	木下 淳博、須永 昌代	メディア情報掛																																							
7-8	1/27	12:50-16:00	情報検索室	オリジナル・ホームページの作成 (著作権遵守、画像、ファイル操作、HTML の基礎)	田畑 純	メディア情報掛																																							
9	2/3	12:50-14:20	情報検索室	試験(CBT 試験)	木下 淳博	メディア情報掛																																							
<p>授業内容</p> <p>1. インターネットセキュリティ、著作権 / 医歯学プレゼンテーション入門(画像の扱い方): 講義・実習 2. メディアコンテンツ作成1(静止画像処理): 講義・実習 3. メディアコンテンツ作成2(動画画像処理): 講義・実習 4. オリジナル・ホームページの作成: 講義・実習</p>																																													
<p>成績評価の方法</p> <p>評価方法 (その他) 再評価 (有) 実習における課題の達成度、CBT 試験の成績を評価する。</p>																																													
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。</p>																																													

備考

実習では一人一台のコンピューターを使用する。

USB メモリーを持参すること。

動画画像処理実習の際は、各自のステレオイヤホンを持参することが望ましい。

遅刻しないこと。

連絡先

kinoshita.emdv@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部

時間割番号	021008				
科目名	人体の構造と機能				
担当教員	高野 吉郎, 井関 祥子, 泰羅 雅登, 柴田 俊一				
開講時期	通年	対象年次	2~3	単位数	19
コマ数:308(38) 授業形態:講義・実習 モジュール番号:02					
授業の到達目標(SB0s) 人体を構成する組織、器官の構造と生理的機能および発生の仕組みを知るとともに、成長、発育・発達、加齢の過程でそれらがどのように変化するかを理解する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 人体の構造 I (解剖学総論、運動系) 02 人体の構造 II (脈管系、末梢神経系、器官系) 03 人体の発生 04 人体の基本要素 (人体組織総論) 05 人体の組織構造 (人体組織各論) 06 神経系の機能 I (神経生理学総論、運動機能) 07 神経系の機能 II (知覚、情動、本能、睡眠、高次機能) 08 生命維持のための生体機能 09 人体解剖実習 10 中枢神経解剖 11 生理学実習 12 口腔生理 13 歯の発生と組織 14 医療と造形 15 歯の解剖 16 歯型彫刻					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 高野 吉郎: takanoy.bss@tmd.ac.jp 井関 祥子: s.iseki.emb@tmd.ac.jp 柴田 俊一: sshibata.mfa@tmd.ac.jp 泰羅 雅登: masato.cnb@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 高野 吉郎: 随時(必ず事前に連絡のこと) 井関 祥子: 随時 (必ず事前に連絡すること) 柴田 俊一: 随時(必ず事前に連絡の事) 泰羅 雅登: 随時(必ず事前に連絡のこと)					

時間割番号	021009					
科目名	人体の構造 I (解剖学総論、運動系)					
担当教員	寺島 達夫					
開講時期	前期	対象年次	2			
<p>モジュール名: 人体の構造と機能</p> <p>ユニット名: 人体の構造 I (解剖学総論、運動系)</p> <p>ユニット責任者: 寺島達夫</p> <p>ユニット番号: 01</p> <p>開設時期: 2年 前期</p> <p>コマ数(授業コマ数+試験コマ数): 32+3(必要自習時間20時間)</p> <p>授業形態: 講義・実習</p>						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>解剖学用語を正確に使える。</p> <p>人体の正常構造が系統的にどのように構成されているかを3次的に理解する。</p> <p>人体を構成する骨・関節・筋の正常構造と機能を理解する。</p>						
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>1) 人体の基本構造について解剖学用語を用いて説明できる。</p> <p>2) 系統を構成する臓器とそれらのつながりを説明できる。</p> <p>3) 人体を構成する骨と関節を体系的に分類し、その特徴について説明できる。</p> <p>4) 人体を構成する主要な筋の起始停止・走向・作用・神経支配を説明できる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/8	09:00-09:50	解剖学実習室	解剖学総論	柴田 俊一	講義:SBOs 1, 2
2-3	4/8	10:00-11:50	解剖学実習室	骨学実習1: 体幹の骨	鹿野 俊一, 寺島 達夫, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
4-6	4/8	12:50-15:40	解剖学実習室	骨学実習2: 上肢の骨	鹿野 俊一, 寺島 達夫, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
7-9	4/9	09:00-11:50	解剖学実習室	骨学実習3: 下肢の骨	鹿野 俊一, 寺島 達夫, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
10-12	4/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	骨学実習4: 頭蓋の骨1	寺島 達夫, 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
13-15	4/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	骨学実習5: 頭蓋の骨2	寺島 達夫, 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
16-18	4/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	骨学実習6: 頭蓋の骨3	寺島 達夫, 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
19-21	4/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学1 頭部、頸部の筋1	寺島 達夫	講義:SBOs:4
22-24	4/23	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学2 頭部、頸部の筋2	寺島 達夫	講義:SBOs:4
25	4/30	11:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学3 頭部、頸部の筋3	寺島 達夫	講義:SBOs:4
26	5/7	11:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学4 頭部、頸部の筋4	寺島 達夫	講義:SBOs:4
27-29	5/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学5 体幹の筋、上肢の筋	寺島 達夫	講義:SBOs:4
30-32	5/23	09:00-11:50	歯学科第2講義室	筋学6 上肢の筋、下肢の筋	寺島 達夫	講義:SBOs:4
33-35	9/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の構造 I 試験	寺島 達夫	
<p>成績評価の方法</p> <p>・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。</p> <p>・ユニット最終日に、筆記試験と実習試験を行い、総括的評価を行う。</p>						

準備学習などについての具体的な指示

骨学は人体の構造を理解する上での基礎となります。解剖名を覚えるのではなく、その構造が身体にとってどのような役割を果たしているかを理解することが重要です。そのためには事前の予習が必須です。骨実習の時間が短いために、予習したことを実習で確認することで、効果的に実習を進めて、学習内容を理解してください。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

- ・解剖実習室内では、専用の解剖実習衣、実習室専用の靴の使用が必要となります。

備考

柴田俊一 教授 随時（必ず事前に連絡のこと）sshibata.mfa@tmd.ac.jp

鹿野俊一 助教 随時（必ず事前に連絡のこと）shika.mfa@tmd.ac.jp

連絡先

t.terashima.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(事前に連絡を取る)

時間割番号	021010					
科目名	人体の構造Ⅱ(脈管系、末梢神経系、器官系)					
担当教員	柴田 俊一					
開講時期	前期	対象年次	2			
モジュール名:人体の構造と機能 コマ数:48+3(必要自習時間40時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:02						
主な講義場所 第1講義室						
授業の目的、概要等 人体を構成する各器官系(脈管系、末梢神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系)の正常構造と機能を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 末梢神経系の構成と基本機能を説明できる。 2) 体性神経系と自律神経系の構造的、機能的相違を説明できる。 3) 脊髄と脊髄神経の構成と機能を説明できる。 4) 脳神経の構成と機能を説明できる。 5) 大循環、肺循環、胎児循環を説明できる。 6) 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 7) 心臓の構造と機能を説明できる。 8) 主な動脈、静脈、リンパ管を説明できる。 9) 頭頸部の血管とリンパ管の走行および血流路、リンパ流路を説明できる。 10) 消化器系の構成を概説できる。 11) 気道と肺の構成と構造を説明できる。 12) 縦隔と胸膜を説明できる。 13) 泌尿器の構成、位置と形態を説明できる。 14) 生殖器の構成、位置と形態を説明できる。 15) 内分泌器官を列挙し、構造と機能を説明できる。 16) 口唇・口腔の基本構造が説明できる。 17) 唾液腺の種類、構造が説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/11	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系1 概説、神経線維の種類	柴田 俊一	講義:SBOs 1-4,6
4-6	4/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系1 概説、頭頸部の動脈(1)	鹿野 俊一	講義:SBOs 5,7-9
7-9	4/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系2 脳神経1(三叉神経)	柴田 俊一	講義:SBOs 6
10-12	4/21	09:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系2 頭頸部以外の動脈	鹿野 俊一	講義:SBOs 5,7-9
13-15	4/23	12:50-15:40	歯学科第1講義室	末梢神経系3 脳神経2(顔面神経)	柴田 俊一	講義:SBOs 6
16	4/25	11:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系3 模擬試験と解説	鹿野 俊一	講義:SBOs 5,7-9
17-19	4/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系4 脳神経3(舌咽、迷走、副、舌下神経)	柴田 俊一	講義:SBOs 4
20-22	5/2	09:00-11:50	歯学科第2講義室	末梢神経系5 脳神経4(その他の脳神経)	柴田 俊一	講義:SBOs 4
23-25	5/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	脈管系4 静脈 リンパ系	鹿野 俊一	講義:SBOs 5,7-9
26	5/12	11:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系1 消化器系1(口腔、食道、胃)	田巻 玉器	講義:SBOs 10, 16, 17
27-29	5/16	09:00-11:50	歯学科第2講義室	脈管系5 胎生期の血液循環、心臓	鹿野 俊一	講義:SBOs5,7-9
30	5/19	11:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系2 消化器系2(小腸、大腸、肝臓、膵臓)	田巻 玉器	講義:SBOs 10

31	5/26	11:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系6 脊髄神経1	柴田 俊一	講義:SBOs 2, 3
32-34	5/30	09:00-11:50	歯学科第2講義室	脈管系6 模擬試験と解説まとめ	鹿野 俊一	講義:SBOs 5,7-9
35	6/2	11:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系7 脊髄神経2	柴田 俊一	講義:SBOs 2, 3
36-38	6/4	09:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系3 呼吸器系1(鼻腔、咽頭、喉頭)	柴田 俊一	講義:SBOs 11
39-40	6/6	13:50-15:40	歯学科第1講義室	末梢神経系8 自律神経系	柴田 俊一	講義:SBOs 2
41	6/9	11:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系4 呼吸器系2(気管、気管支、肺)	柴田 俊一	講義:SBOs 11
42-44	6/11	09:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系5 泌尿器系(腎臓、尿管、膀胱)	柴田 俊一	講義:SBOs 13
45-46	6/13	13:50-15:40	歯学科第2講義室	器官系6 生殖器系(精巣、陰茎、卵巣、子宮)	柴田 俊一	講義:SBOs 14
47-48	6/20	13:50-15:40	歯学科第1講義室	器官系7 内分泌系(下垂体、甲状腺他)	柴田 俊一	講義:SBOs 15
49-51	9/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室	試験 人体の構造Ⅱ試験	柴田 俊一	講義:SBOs1-14

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書中の講義範囲に相当する部分に眼を通しておく。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

分担解剖学 2/平沢 興他:金原出版, 1982

分担解剖学 3/平沢 興他:金原出版, 1992

口腔解剖学/井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修.:医歯薬出版, 2009

解剖学講義/伊藤隆 原著.:南山堂, 2012

グレイ解剖学/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011

参考書

グレイ解剖学アトラス/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2008

プロメテウス解剖学アトラス: 口腔・頭頸部/Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳.:医学書院, 2012

ネッター解剖学アトラス/Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス/Neil S. Norton 著,前田健康 監訳.:医歯薬出版, 2012

プロメテウス解剖学アトラス/Anne M.Gilroy, Jonas Broman, Anna Josephson [編],Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄 監訳,市村浩一郎, 澤井直 訳.:医学書院, 2011

備考

担当教員の Office Hour

鹿野俊一 助教 随時(必ず事前に連絡の事) shika.mfa@tmd.ac.jp

田巻玉器 助教 随時(必ず事前に連絡の事) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp

連絡先

sshibata.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡の事)

時間割番号	021011				
科目名	人体の発生				
担当教員	井関 祥子				
開講時期	前期	対象年次	2		
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 20+3+2 (必要自習時間 10 時間) 授業形態: 講義+実習 ユニット番号: 03					
授業の目的、概要等					
人体の発生とその基本的な仕組みについて、初期発生から器官形成の過程を理解する。また、頭頸部融合ブロック基礎の前に、口腔・頭蓋・顎顔面領域の形成について概要を把握する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 人体における初期発生の仕組みを説明できる。 2) 減数分裂の過程を概説できる。 3) 生殖細胞(卵子・精子)形成および受精の過程を概説できる。 4) 三胚葉の形成過程と分子機構を説明できる。 5) 三胚葉から形成される器官の器官形成の概要を説明できる。 6) 各器官の器官形成に重要な分子を列挙し、分子機構を説明できる。 7) 胚性幹細胞と組織幹細胞を区別し、その特徴を説明できる。 8) 発生過程の異常と先天異常との関連を概説できる。 9) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 10) 頭部神経堤細胞の役割について説明できる。 11) 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 12) 特殊感覚器と中枢神経系の発生を概説できる。 13) 初期発生期や器官形成期のニワトリ胚を観察し、からだの成り立ちについて説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/25	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生1 初期発生	井関 祥子
3-4	4/30	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生2 三胚葉形成 器官形成概要	池田 正明
5-6	5/7	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生3 幹細胞	二宮 洋一郎
7-8	5/12	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生4 骨格・筋系	武智 正樹
9-10	5/19	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生5 心臓脈管系	中島 裕司
11-12	5/26	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生6 尿生殖器系	鈴木 仁美
13-14	6/2	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生7 呼吸器・消化器系	池田 正明
15-16	6/6	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生8 神経系	武智 正樹
17-18	6/9	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生9 形態形成と先天異常 頭頸部発生導入	井関 祥子
19-20	6/13	09:00-10:50	歯学科第2講義室	人体の発生10 感覚器系	太田 正人
21-22	6/20	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生 試験	
23-25	7/30	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	ニワトリ胚観察実習	武智 正樹
成績評価の方法					
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・小テスト、筆記試験結果、実習レポートをもとに包括的評価を行う。

連絡先

s.iseki.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時（必ず事前に連絡すること）

時間割番号	021012																																																																															
科目名	人体の基本要素																																																																															
担当教員	高野 吉郎																																																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																																																													
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 27+3(必要自習時間18時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 04																																																																																
主な講義場所 第1講義室																																																																																
授業の目的、概要等 人体の最小構成単位である細胞とそれが分化して形成される諸組織の形態的、機能的特徴を修得する。																																																																																
授業の到達目標(SBOs) 1) 組織標本作成法、観察法の概要を説明できる。 2) 細胞の基本構造を説明できる。 3) 細胞接着の概念、接着装置の構造と機能を説明できる。 4) 人体を構成する4つの組織を列挙し、概説できる。 5) 組織と器官を類別し、説明できる。 6) 上皮組織を形態的、機能的に分類できる。 7) 腺の概念と基本構造、種類を説明できる。 8) 結合組織の概念と構成(線維性要素、基質、細胞要素)を説明できる。 9) 骨の形成と改造の仕組み、構造を説明できる。 10) 軟骨の区分、構造と機能を説明できる。 11) 造血の場としての骨髄と血球の特徴を説明できる。 12) 筋の区分、組織構造の特徴と機能を説明できる。 13) 神経系の構成要素とそれらの構造の特徴を説明できる。																																																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>5/2</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>細胞概説</td> <td>高野 吉郎</td> <td>講義:SBOs 1</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/9</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>組織研究法、上皮組織</td> <td>高野 吉郎</td> <td>講義:SBOs 6,7</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>5/14</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>細胞・上皮組織 実習</td> <td>高野 吉郎、田畑 純</td> <td>実習:SBOs 1-7</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/15</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>結合組織・支持組織 I</td> <td>高野 吉郎</td> <td>講義:SBOs 8-11</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/16</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>結合組織・支持組織 II</td> <td>高野 吉郎</td> <td>講義:SBOs 8-11</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>5/21</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筋組織</td> <td>高野 吉郎</td> <td>講義:SBOs 12</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>5/21</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>結合組織・支持組織 実習</td> <td>高野 吉郎、田畑 純</td> <td>実習:SBOs 8-11</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>5/23</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>神経組織</td> <td>高野 吉郎</td> <td>講義:SBOs 13</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>5/27</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筋組織・神経組織 実習</td> <td>高野 吉郎、田畑 純</td> <td>実習:SBOs 12,13</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>9/16</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>ユニット試験</td> <td>高野 吉郎</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-3	5/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞概説	高野 吉郎	講義:SBOs 1	4-6	5/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	組織研究法、上皮組織	高野 吉郎	講義:SBOs 6,7	7-9	5/14	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞・上皮組織 実習	高野 吉郎、田畑 純	実習:SBOs 1-7	10-12	5/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織・支持組織 I	高野 吉郎	講義:SBOs 8-11	13-15	5/16	12:50-15:40	歯学科第2講義室	結合組織・支持組織 II	高野 吉郎	講義:SBOs 8-11	16-18	5/21	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋組織	高野 吉郎	講義:SBOs 12	19-21	5/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織・支持組織 実習	高野 吉郎、田畑 純	実習:SBOs 8-11	22-24	5/23	12:50-15:40	歯学科第2講義室	神経組織	高野 吉郎	講義:SBOs 13	25-27	5/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	筋組織・神経組織 実習	高野 吉郎、田畑 純	実習:SBOs 12,13	28-30	9/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	ユニット試験	高野 吉郎	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																																										
1-3	5/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞概説	高野 吉郎	講義:SBOs 1																																																																										
4-6	5/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	組織研究法、上皮組織	高野 吉郎	講義:SBOs 6,7																																																																										
7-9	5/14	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞・上皮組織 実習	高野 吉郎、田畑 純	実習:SBOs 1-7																																																																										
10-12	5/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織・支持組織 I	高野 吉郎	講義:SBOs 8-11																																																																										
13-15	5/16	12:50-15:40	歯学科第2講義室	結合組織・支持組織 II	高野 吉郎	講義:SBOs 8-11																																																																										
16-18	5/21	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋組織	高野 吉郎	講義:SBOs 12																																																																										
19-21	5/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織・支持組織 実習	高野 吉郎、田畑 純	実習:SBOs 8-11																																																																										
22-24	5/23	12:50-15:40	歯学科第2講義室	神経組織	高野 吉郎	講義:SBOs 13																																																																										
25-27	5/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	筋組織・神経組織 実習	高野 吉郎、田畑 純	実習:SBOs 12,13																																																																										
28-30	9/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	ユニット試験	高野 吉郎																																																																											
準備学習などについての具体的な指示																																																																																
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・実習はすべて出席が前提である。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																																
備考 ・顕微鏡観察実習ではスケッチを行うので、実習日には 12色程度の鉛筆セットを持参すること。 ・スケッチ用紙として A4 普通紙を用意するが、A4ケント紙を持参してもいい。																																																																																

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm>

連絡先

takanoy.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	021013					
科目名	人体の組織構造					
担当教員	田畑 純					
開講時期	前期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 45+3(必要自習時間22時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 05						
授業の目的、概要等 <p>解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、解剖学は肉眼観察、組織学は顕微観察による機能形態学である。このため解剖学と組織学の理解は、全ての医歯学系専門科目の基盤となるもので、生理学、病理学、発生学、口腔組織学(=歯の組織と発生)と関連が深く、全ての臨床科目の理解の前提でもある。</p> <p>組織学は、大きく総論と各論に分かれる。総論は4大組織(上皮組織・結合組織・神経・筋)とその構成細胞を学び、各論はその詳細を体の各部位ごとに学ぶものである。本科目は後者の各論にあたるものであり、循環系、リンパ系、消化管系、内分泌系、呼吸器、泌尿器、生殖器、感覚器を順にとりあげ、それぞれの組織と機能を学習し、各器官ごとの特徴や役割を学ぶ。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。</p>						
授業の到達目標(SBOs) <ol style="list-style-type: none"> 1) 循環器の発生を説明できる。 2) 動脈、静脈、毛細血管、リンパ管の組織構造を説明できる。 3) リンパ組織とリンパ器官の構造と機能を説明できる。 4) 毛細血管の組織構造と物質交換を説明できる。 5) 消化器系の発生と構成を概説できる。 6) 口腔粘膜の特徴を説明できる。 7) 舌の構造と機能、支配神経を説明できる。 8) 唾液腺の名称と局在、組織構造を説明できる。 9) 消化管(食道、胃、小腸、大腸、肛門)の組織構造と機能を説明できる。 10) 消化管の付属腺の組織構造と機能を説明できる。 11) 肝臓・胆嚢・膵臓の組織構造と機能を説明できる。 12) 呼吸器の発生、組織構造、機能を説明できる。 13) 皮膚、毛、爪の組織構造と感覚器としての機能を説明できる。 14) 内分泌器の発生と組織構造を説明できる。 15) 脳下垂体、視床下部などの神経内分泌機能を説明できる。 16) 甲状腺、副腎、膵臓、消化器、生殖器などの内分泌機能を説明できる。 17) 泌尿器の発生、組織構造、機能を説明できる。 18) 腎臓の尿管と尿管、腎単位と尿細管の構造を説明できる。 19) 男性生殖器の発生、組織構造、機能を説明できる。 20) 男性生殖器の付属腺、尿路、精路の構造や働きを説明できる。 21) 女性生殖器の発生、組織構造、機能を説明できる。 22) 性周期、卵胞の成熟、黄体の形成過程を説明できる。 23) 精子と卵の形成過程、受精のプロセスを説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	5/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室	循環器とリンパ器官	田畑 純	講義:SBOs 1-4
4-6	5/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	循環器とリンパ器官 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 1-4
7-9	5/30	12:50-15:40	歯学科第2講義室	消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺	田畑 純	講義:SBOs 5-8
10-12	6/3	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 5-8

13-15	6/4	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(2) 腸管	田畑 純	講義:SBOs 5,9,10
16-18	6/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(2) 腸管 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 5,9,10
19-21	6/11	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(3) 肝胆膵	田畑 純	講義:SBOs 5,10,11
22-24	6/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(3) 肝胆膵 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 5,10,11
25-27	6/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	呼吸器・皮膚	田畑 純	講義:SBOs 12, 13
28-30	7/14	12:50-15:40	歯学科第2講義室	内分泌器【中間試験】	田畑 純	講義:SBOs 14-16
31-33	7/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	内分泌器 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 14-16
34-36	7/17	12:50-15:40	歯学科第2講義室	泌尿器	田畑 純	講義:SBOs 17,18
37-39	7/22	12:50-15:40	歯学科第2講義室	生殖器	田畑 純	講義:SBOs 19-23
40-42	7/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室	泌尿器 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 17,18
43-45	7/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	呼吸器・生殖器 [実習]	田畑 純 高野 吉郎	実習:SBOs 12, 13, 19-23
46-48	9/24	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筆記試験、実習試験	田畑 純	試験:SBOs 1-23

成績評価の方法

- ・適宜小テストもしくは中間試験を行う。
- ・組織実習の提出課題は、A～Eで判定をする。D以下の場合、未提出扱いとする。
- ・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。
- ・最終判定は、中間試験、実習課題、最終筆記試験等を総合し、100点満点の60点以上を合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、解剖学は肉眼観察、組織学は顕微鏡による機能形態学である。このため解剖学と組織学の理解は、全ての医歯学系専門科目の基盤となるもので、生理学、病理学、発生学、口腔組織学(=歯の組織と発生)と関連が深く、全ての臨床科目の理解の前提ともなっている。

組織学は基本的には細胞と組織の構造や機能を学ぶ。これを実際に観察して学習するのが、組織実習である。ヒトや動物を使った組織切片を顕微鏡で観察して組織スケッチを描画する。この作業は、目的の細胞や組織を見つけ出し、それをリアルにスケッチするというもので、講義の理解と物を見るスキル、絵を描くスキルが必要である。従って実習時間中に自分の理解不足や間違った理解に気づくことも多いはずで、こうした点を教科書等で調べたり、指導教員にたずねることで正しく理解できるようになる。従って、実習を軽視してはならない。有効な復習時間と位置づけるべきである。加えて正常組織の観察を前提に、病理観察や理解が成り立つのであり、将来の臨床スキルの基盤ともなるので、得るものは大きいはずである。

教科書等は以下に挙げる教科書以外にも講義の中で随時、紹介する予定であり、急いで購入する必要はない。自分の理解度や興味に応じて購入するのがのぞましい。例えば、組織実習などに難しさを感じたら、組織学系のアトラス(=写真やスケッチがたくさん掲載されている)などの購入も必要になるかもしれない。本科目の講義・実習はどの教科書にも偏らずに構成しているが、全範囲をカバーできるわけではなく、学生全員が完全に理解できるように講義できるわけでもない。講義にはどうしても不足部分が生じるはずで、これを各自の学習によって補って欲しい。そのためには「よい教科書」の助けが必要ははずである。教科書を選ぶ際には、こうしたことから、自分によく合った教科書を探すこと、そして他の科目でも役立つものをよく吟味して探してほしい。

試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。組織や解剖の図説については、いかに簡略化した図を描けるかが重要である。また、記述の際にも重要なものを順番に記載できる能力が要求される。日頃から、ひとつひとつをきちんと理解する積み重ねが重要であり、のぞましい組織学の学習態度である。

以上、学生諸君は本科目を単なるひとつの科目として見るのではなく、他の科目にも広く関連する科目ということをよく理解し、積極的に取り組むことを強く望む。単なる暗記科目ではなく、なぜそうなのか、なぜそういう細胞や構造があるのか、という踏み込んだ理解ができるようになれば、組織学の面白さに気づく第一歩であり、他の基礎科目・臨床科目にとどまらず、将来の基礎研究や臨床研究にもつながる道が開かれるはずである。

試験の受験資格

- ・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
- ・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

標準組織学 各論 第4版／藤田尚男, 藤田恒夫 共著.:医学書院, 2010

入門組織学 第2版／牛木辰男 著.:南江堂, 2013

最新カラー組織学／LP.ガートナー, J.L.ハイアット 著,石村和敬, 井上貴央 監訳.:西村書店, 2003

新組織学 改訂5版／野上晴雄 編著,野上晴雄, 権五徹 執筆.:日本医事新報社, 2011

参考書

標準組織学総論 第4版／藤田尚男, 藤田恒夫 共著.:医学書院, 2002

分担解剖学 2(脈管学・神経系):金原出版, 1982

分担解剖学 3(感覚器学・内臓学):金原出版, 1982

ネッター解剖学アトラス／Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011

カラー人体解剖学：構造と機能ミクロからマクロまで／F.H.マティーニ, M.J.ティモンズ, M.P.マッキンリ 著,井上貴央 監訳,新井良八 [ほか] 訳.:西村書店, 2003

新解剖学 第6版／加藤征, 福島統, 國府田稔 執筆,加藤征 監修.:日本医事新報社, 2011

カールソン人体発生学：分子から個体へ／カールソン 著,白井敏雄 監訳,熊木克治 [ほか]訳.:西村書店, 2002

履修上の注意事項

＜実習の注意＞ ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・実習は全てに出席し、全ての課題を提出することが必要。不足がある場合は、ユニット最終日の筆記試験の受験資格を得られない。 ・実習は最初の10分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ・組織のスケッチは評価して返却する。一定評価以下のもは提出と認めない。 <追試・再試について> ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。 ・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合っ決めてもらう(必ず行うものではない)。 ・再試の試験結果は、規定に従い、100点満点の60点以上を合格とするが、最終成績は60点以上の点は与えられない(満点でも60点が最終成績となる)。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/dent/oa2/index.htm>

連絡先

tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時 (メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。)

時間割番号	021014					
科目名	神経系の機能 I (神経生理学総論、運動機能)					
担当教員	泰羅 雅登					
開講時期	前期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 17+3(必要自習時間10時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 06						
授業の目的、概要等						
神経系の基本の作動原理と運動制御の神経機構を修得する						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 2) シナプスの構造と興奮伝達の仕組みを説明できる。 3) 骨格筋の収縮のメカニズムを説明できる。 4) 筋の伸展受容器の構造と機能を説明できる。 5) 脊髄・脳幹反射について説明できる。 6) 小脳の機能について説明できる。 7) 大脳基底核の機能について説明できる。 8) 皮質運動野の機能について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	6/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	神経生理学総論・一般神経生理	泰羅 雅登	関連 SBOs 1, 2
4-6	6/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	一般神経生理	泰羅 雅登	関連 SBOs 1, 2
7-8	7/16	13:50-15:40	歯学科第2講義室	骨格筋の収縮メカニズム	泰羅 雅登	関連 SBOs 3, 4
9-10	7/18	13:50-15:40	歯学科第1講義室	反射	泰羅 雅登	関連 SBOs 4, 5
11-12	7/23	13:50-15:40	歯学科第1講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登	関連 SBOs 6, 7, 8
13-15	7/24	12:50-15:40	歯学科第2講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登	関連 SBOs 6, 7, 8
16-17	7/25	13:50-15:40	歯学科第1講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登	関連 SBOs 6, 7, 8
18-20	9/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登	
成績評価の方法						
ユニット終了後に筆記試験を行い包括的評価を行う。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
masato.cnb@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡のこと)						

時間割番号	021015					
科目名	神経系の機能Ⅱ(知覚、情動、本能、睡眠、高次機能)					
担当教員	泰羅 雅登					
開講時期	前期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 30+3(必要自習時間16時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 07						
授業の目的、概要等						
感覚、知覚、情動、本能、睡眠、高次機能にかかわる神経系の機能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 体性感覚系の機能について説明できる。 2) 聴覚系の機能について説明できる。 3) 前庭系の機能について説明できる。 4) 味覚、嗅覚系の機能について説明できる。 5) 視覚系の機能について説明できる。 6) 情動、本能、睡眠の神経機構について説明できる。 7) 高次脳機能について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/8	09:00-11:50	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	関連 SBOs 1, 2, 3, 4, 5
4-6	9/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	関連 SBOs 1, 2, 3, 4, 5
7-9	9/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	関連 SBOs 1, 2, 3, 4, 5
10-12	9/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	関連 SBOs 1, 2, 3, 4, 5
13-15	9/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	情動、本能、睡眠	泰羅 雅登	関連 SBOs 6
16-18	9/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	情動、本能、睡眠	泰羅 雅登	関連 SBOs 6
19-21	9/11	09:00-11:50	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	関連 SBOs 7
22-24	9/11	12:50-15:40	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	関連 SBOs 7
25-27	9/12	09:00-11:50	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	関連 SBOs 7
28-30	9/12	12:50-15:40	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	関連 SBOs 7
31-33	9/26	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登	
成績評価の方法						
ユニット終了後に筆記試験を行い包括的評価を行う。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
masato.cnb@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡のこと)						

時間割番号	021016					
科目名	生命維持のための生体機能					
担当教員	泰羅 雅登					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 21+3 授業形態: 講義 ユニット番号: 08						
授業の目的、概要等						
人体生命維持システムの機能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 自律神経の構造と機能について説明できる。 2) 循環の機能について説明できる。 3) 呼吸の機能について説明できる。 4) 消化と吸収の機能について説明できる。 5) 体液、体温調節、代謝の機能について説明できる。 6) 排泄と体液調節の機能について説明できる。 7) 内分泌と生殖の機能について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/31	12:50-15:40	歯学科第1講義室	自律神経の構造と機能	小島 久幸	関連 SBOs 1
4-6	11/5	12:50-15:40	歯学科第1講義室	循環の機能	勝山 成美	関連 SBOs 2
7-9	11/7	12:50-15:40	歯学科第1講義室	呼吸の機能	小島 久幸	関連 SBOs 3
10-12	11/12	09:00-11:50	歯学科第1講義室	消化と吸収の機能	勝山 成美	関連 SBOs 4
13-15	11/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	体液、体温調節、代謝機能	勝山 成美	関連 SBOs 5
16-18	11/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	排泄と体液調節機能	勝山 成美	関連 SBOs 6
19-21	12/1	09:00-11:50	歯学科第1講義室	内分泌と生殖の機能	小島 久幸	関連 SBOs 7
22-24	12/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	筆記試験	小島 久幸, 勝山 成美	
成績評価の方法						
ユニットの最終講義時間に筆記試験を行ない、包括的評価を行なう。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
masato.cnb@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡のこと)						

時間割番号	021017					
科目名	人体解剖実習					
担当教員	柴田 俊一					
開講時期	前期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 71+3(必要自習時間66時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 09						
授業の目的、概要等						
修得した解剖学的、生理学的知識を、実際にご遺体に触れ、身体の内部構造を剖出する作業を通して、人体の正常な構造を肉眼的なレベルで三次元的に観察することにより、人体の構造の形態学的特徴と機能的特性を有機的に修得する。 実習を通して生命の尊厳に触れ、将来の歯科医師を目指す歯学生としての自覚を促し、倫理観の養成につとめるとともに、献体の意義についても考える。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 人体の体表に現れる形態的特徴を認識し、それらに直接触れることで内部構造を類推することができる。 2) 人体解剖によって剖出される人体の基本構造の解剖学的名称と相互の位置関係を述べることができる。 3) 人体を構成する諸器官の位置・形態・機能・内部構造、それらの神経、血管支配、相互のつながりについて、剖出結果をもとに述べる ことができる。 4) 主要な血管の枝・走行・支配領域について、剖出結果をもとに説明できる。 5) 主要な神経の枝・走行・神経叢・神経節・支配領域について、剖出結果をもとに説明できる。 6) 主要なリンパ管の枝・走行・支配領域、リンパ節の分布について、剖出結果をもとに説明できる。 7) 主要な筋の起始・停止・走行・支配神経について、剖出結果をもとに説明できる。 8) 主要な骨や関節の名称と機能について、剖出結果をもとに説明できる。 9) 基本的な解剖学的構造の変異を指摘することができる。 10) 実習中に会える疑問点についてグループ内で自発的に調べ、説明することができる。 11) 強い精神力と柔軟性を身に付けて心のバランス 保ち、人体解剖にグループの一員として協調的に参加し、規律ある倫理的態度を保って意欲的に実習を遂行できる。 12) 生命の尊厳について考え、その重要について 自分の意見を述べる ことができる。 13) 人体解剖実習が献体により支えられていることを実感し、感謝の念と使命感を抱き、態度を律することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/11	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 1 頸胸の皮下	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
4-6	4/14	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 2 頸の中層	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
7-9	4/16	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 3 頸の中層	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
10-12	4/18	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 4 背の皮下、背の上肢筋	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
13-15	4/21	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 5 頸部のまとめ 脳硬膜	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
16-18	4/25	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 6 頭部の切断	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
19-21	4/28	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 7 胸の上肢筋 大腿伸側 表層	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
22-24	4/30	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 8 腹・上肢の皮下 頸から 腋窩 開胸	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13

25-27	5/7	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 9 肺の解剖 大腿伸側 上腕屈側	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
28-30	5/12	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 10 縦隔 大腿伸側 腹壁 心臓	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
31-33	5/19	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 11 上肢切断 固有背筋 殿部 大腿屈側	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
34-36	5/22	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 12 前腕屈側 固有背筋 下腿屈側	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
37-39	5/26	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 13 手掌 腹腔 胃・腸の血 管 下腿伸側	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
40-42	5/29	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 14 前腕屈側 腹部内臓 下腿伸側	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
43-45	6/2	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 15 腹膜後器官 腹腔・胸 腔の後壁	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
46-48	6/5	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 16 上腕伸側 体幹の神 経・血管	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
49-51	6/9	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 17 肩甲骨側 脊髄と脊柱 下肢筋の停止	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
52-54	6/12	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 18 手・前腕伸側 足底 外 陰部	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
55-57	6/16	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 19 上肢、下肢筋の起始・ 停止 骨盤腔	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13
58-60	6/19	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 20 上肢、下肢の連結 骨 盤内臓 股関節	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1-13 この後 6月23日-7月11日まで 融合ブロックの「頭頸部 解剖実習」および融合ブ ロック試験が行われる。 医歯学融合カリキュラム のシラバスを参照の事。
61-63	7/14	09:00-11:50	歯学科第2講義室	頭頸部局所解剖 1 画像による頭頸 部臨床解剖	倉林 亨	講義:SBOs1-13
64-65	7/16	09:00-10:50	歯学科第2講義室	頭頸部局所解剖 2 口腔周囲の壁の 構造	寺島 達夫	講義:SBOs1-13
66-67	7/18	09:00-10:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 3 頭頸部の筋間隙 と連絡路	寺島 達夫	講義:SBOs1-13
68-69	7/23	09:00-10:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 4 頭頸部の脈管・ 神経	寺島 達夫	講義:SBOs1-13
70-71	7/25	09:00-10:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 5 顎関節の構造	柴田 俊一	講義:SBOs1-13
72-74	9/22	09:00-11:50	歯学科第1講義室	試験 解剖実習試験	柴田 俊一	

成績評価の方法

・解剖実習は解剖実習態度、口頭試問による形成的評価とともに、解剖実習終了時の筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に配布する資料、実習書に必ず目を通しその日の実習の手順および観察する構造物をまとめておく事。

試験の受験資格

- ・人体解剖実習の4分の3以上出席していなければならない。
- ・毎回の実習に先立ち、実習の進め方と重要事項に対する講義を聴取しなければ、実習に参加できない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳:エルゼビア・ジャパン, 2011

実習人体解剖図譜／浦 良治:南江堂, 2008

プロメテウス解剖学アトラス : 口腔・頭頸部／Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳:医学書院, 2012

ネッター解剖学アトラス／Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳:エルゼビア・ジャパン, 2011

グレイ解剖学アトラス／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平 訳:エルゼビア・ジャパン, 2008

参考書

口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修:医歯薬出版, 2009

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S. Norton 著,前田健康 監訳:医歯薬出版, 2012

プロメテウス解剖学アトラス／Anne M.Gilroy, Jonas Broman, Anna Josephson [編],Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄 監訳市村浩一郎, 澤井直 訳:医学書院, 2011

備考

人体解剖実習用具ならびに実習着等が必要となる。

(詳細については担当教員から指示ある予定)

担当教員の Office Hour

倉林 亨 教授 火・木 16:00-17:00 kura.oral@tmd.ac.jp

寺島達夫 准教授 随時(ただし必ず事前に連絡の事)tterashima.mfa@tmd.ac.jp

鹿野俊一 助教 随時(ただし必ず事前に連絡の事)shika.mfa@tmd.ac.jp

田巻玉器 助教 随時(ただし必ず事前に連絡の事)ttamaki.mfa@tmd.ac.jp

連絡先

sshibata.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡の事)

時間割番号	021018																																																																	
科目名	中枢神経系																																																																	
担当教員	寺島 達夫																																																																	
開講時期	後期	対象年次	2																																																															
<p>モジュール名: 人体の構造と機能 ユニット名: 中枢神経系 ユニット責任者: 寺島達夫 コマ数(授業コマ数+試験コマ数): 20+3(必要自習時間10時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 10</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等 中枢神経系 中枢神経系の構成を理解し、それらの構造と機能を修得する。 脳解剖実習 人体における脳の系統的観察法を修得し、これらの構造と機能について統合的に理解する。</p>																																																																		
<p>授業の到達目標(SBOs) 中枢神経系 1) 中枢神経系の構成と基本機能を説明できる。 2) 脊髄の構造と機能を説明できる。 3) 脳幹の構造と機能を説明できる。 4) 脳と脳被膜の関係を説明できる。 5) 脳の外観と内部構造を、機能と関連づけて説明できる。 6) 脳の主な線維連絡と伝導路を説明できる。 7) 脳の血流と脳脊髄液の流れを説明できる。 脳解剖実習 1) 神経系の発生の知識を基に脳の区分を説明し、同定することができる。 2) 脳の基本構造を実際の脳において剖出・同定し、それらの解剖学的名称と相互の位置関係、機能について述べることができる。 3) 脳の主要な血管の走向とその支配領域を、剖出結果をもとに説明することができる。 4) 脳幹と脳神経を同定し、その構造と機能を説明することができる。 5) グループでの脳実習に協動的に参加することができる。 6) 脳と脊髄の内部構造を説明することができる。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 1</td> <td>寺島 達夫</td> <td>講義:SBOs 1-7</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/29</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 2</td> <td>寺島 達夫</td> <td>講義:SBOs 1-7</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>11/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系組織実習</td> <td>寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器</td> <td>講義・実習:SBOs 4, 6</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>11/20</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 3</td> <td>寺島 達夫</td> <td>講義:SBOs 1-7</td> </tr> <tr> <td>12-14</td> <td>12/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>解剖学実習室</td> <td>脳解剖実習 1</td> <td>寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器</td> <td>講義・実習:SBOs 1-5</td> </tr> <tr> <td>15-17</td> <td>12/10</td> <td>12:50-15:40</td> <td>解剖学実習室</td> <td>脳解剖実習 2</td> <td>寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器</td> <td>講義・実習:SBOs 1-5</td> </tr> <tr> <td>18-20</td> <td>12/12</td> <td>12:50-15:40</td> <td>解剖学実習室</td> <td>脳解剖実習 3</td> <td>寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器</td> <td>講義・実習:SBOs 1-5</td> </tr> <tr> <td>21-23</td> <td>12/19</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系筆記試験</td> <td>寺島 達夫</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-3	10/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 1	寺島 達夫	講義:SBOs 1-7	4-6	10/29	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 2	寺島 達夫	講義:SBOs 1-7	7-9	11/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系組織実習	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 4, 6	10-11	11/20	12:50-14:40	歯学科第1講義室	中枢神経系 3	寺島 達夫	講義:SBOs 1-7	12-14	12/8	09:00-11:50	解剖学実習室	脳解剖実習 1	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 1-5	15-17	12/10	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 2	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 1-5	18-20	12/12	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 3	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 1-5	21-23	12/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	中枢神経系筆記試験	寺島 達夫	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																												
1-3	10/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 1	寺島 達夫	講義:SBOs 1-7																																																												
4-6	10/29	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 2	寺島 達夫	講義:SBOs 1-7																																																												
7-9	11/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系組織実習	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 4, 6																																																												
10-11	11/20	12:50-14:40	歯学科第1講義室	中枢神経系 3	寺島 達夫	講義:SBOs 1-7																																																												
12-14	12/8	09:00-11:50	解剖学実習室	脳解剖実習 1	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 1-5																																																												
15-17	12/10	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 2	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 1-5																																																												
18-20	12/12	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 3	寺島 達夫 鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 1-5																																																												
21-23	12/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	中枢神経系筆記試験	寺島 達夫																																																													
<p>成績評価の方法 ・ユニット最終日に筆記試験を行い、包括的評価を行う。但し、筆記試験の中に実習試験を含むものとする。 ・脳解剖実習は口頭試問、レポート等で形成的評価をする。</p>																																																																		

準備学習などについての具体的な指示

中枢神経系(脳実習を含む)の講義実習は短時間で実施されるため、脳(中枢神経系を含む)に関する簡単な概説書を読んでおくことにより、中枢神経系の概要を理解しておくこと。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

柴田俊一 教授 随時(ただし必ず事前に連絡のこと) sshibata.mfa@tmd.ac.jp

鹿野俊一 助教 随時(ただし必ず事前に連絡のこと) shika.mfa@tmd.ac.jp

田巻玉器 助教 随時(ただし必ず事前に連絡のこと) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp

連絡先

t.terashima.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(事前に連絡を取る)

時間割番号	021019					
科目名	生理学実習					
担当教員	泰羅 雅登					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 24+3(必要自習時間12時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 11						
授業の目的、概要等 人体が正常に機能する「しくみ」を実験をとおして実体験し、得られたデータを正確な解釈のもとに組み立てて現象を論理的に修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 神経が機能する現象を観測してそのメカニズムを解釈し説明できる。 2) 運動器官が機能する現象を観測してそのメカニズムを解釈し説明できる。 3) 味覚の特性についての実験をおこないそのメカニズムを解釈し説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/1	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
4-6	10/2	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
7-9	10/8	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
10-12	10/9	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
13-15	10/15	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
16-18	10/16	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
19-21	10/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
22-24	10/30	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸 勝山 成美 神代 真理 山下 晶子	関連 SBOs 1, 2, 3
25-27	11/6	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	筆記試験	小島 久幸 勝山 成美	
授業方法 1) 神経の興奮と伝導 …………… 実験1回、データ整理1回 2) 咬合と咀嚼…………… 実験1回、データ整理1回 3) 誘発筋電図 (H波・M波)…… 実験1回、データ整理1回						

4) 味覚・・・・・・・・・・・・・・ 実験1回、データ整理1回
成績評価の方法 ・実習項目毎のレポート(個人または班単位:実習項目による)と筆記試験による評価
準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 ・実習期間中(試験日は含まない)は、毎回の開始時と終了時に出席をとる。 ・全日出席は出席点を1とし、無断遅刻・早退の場合は0.5を減じる。 ・合計の出席点が全出席点(8点:実習期間8日間、試験日は含まない)75%未満の者は筆記試験を受けることができない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
連絡先 masato.cnb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	021020					
科目名	口腔生理					
担当教員	泰羅 雅登					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 12+2(必要自習時間6時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 12						
授業の目的、概要等						
口腔領域の感覚と運動にかかわる神経機構を理解する						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 口腔領域の体性感覚機能が説明できる。 2) 正常な咀嚼の神経制御機構について説明できる。 3) 正常な嚥下の神経制御機構について説明できる。 4) 唾液の分泌機構について説明できる。 5) 口腔領域の痛みについて説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔領域の体性感覚機能	泰羅 雅登	関連 SBOs 1
4-6	10/15	09:00-11:50	歯学科第1講義室	咀嚼と嚥下の神経機構	泰羅 雅登	関連 SBOs 2, 3
7-9	10/20	09:00-11:50	歯学科第1講義室	唾液分泌	勝山 成美	関連 SBOs 4
10-12	10/27	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔領域の痛み	泰羅 雅登	関連 SBOs 5
13-14	12/17	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登	
成績評価の方法						
ユニットの最終講義時間に筆記試験を行い包括的評価を行う。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
masato.cnb@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡のこと)						

時間割番号	021021					
科目名	歯の発生と組織					
担当教員	高野 吉郎					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 24+3(必要自習時間12時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 13						
主な講義場所						
第1講義室						
授業の目的、概要等						
歯と歯周組織の組織構造およびそれらの発生の仕組みを学び、顎顔面の発達に伴う咀嚼器の発生と発達、経年的変化の過程を包括的に修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯と歯周組織の発生の仕組みを説明できる。 2) 歯胚の構成要素と役割を説明できる。 3) 歯の硬組織の構造と組成および形成機構の概要を説明できる。 4) 歯髄の特徴と役割、経年変化を説明できる。 5) 歯周組織の構造と機能を説明できる。 6) 歯の萌出と交換の仕組みを説明できる。 7) 歯牙歯肉境の構造と機能を説明できる。 8) 歯と歯周組織の脈管と神経の特徴、それらの経年変化を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/29	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の発生	高野 吉郎	講義:SBOs 1,2
4-6	10/3	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の発生 実習	高野 吉郎, 田畑 純	講義:SBOs 1-3
7-9	10/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	エナメル質、象牙質・歯髄複合体	高野 吉郎	実習:SBOs 1-4
10-12	10/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	エナメル質、象牙質・歯髄複合体 実習	高野 吉郎, 田畑 純	講義:SBOs 1-4
13-15	10/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯周組織	高野 吉郎	講義:SBOs 5,8
16-18	11/12	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯周組織 実習	高野 吉郎, 田畑 純	講義:SBOs 5,8
19-21	11/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の萌出/交換/歯牙歯肉境	高野 吉郎	実習:SBOs 6-8,1
22-24	11/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の萌出/交換/歯牙歯肉境 実習	高野 吉郎, 田畑 純	講義:SBOs 6-8
25-27	12/19	09:00-11:50	歯学科第1講義室	ユニット試験	高野 吉郎	
成績評価の方法						
・筆記試験、実習試験の結果をもとに包括的評価をする。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
備考						
・顕微鏡観察実習ではスケッチを行うので、実習日には 12色程度の鉛筆セットを持参すること。 ・スケッチ用紙として A4 普通紙を用意するが、A4ケント紙を持参してもいい。						
連絡先						
takanoy.bss@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡のこと)						

時間割番号	021022					
科目名	医療と造形					
担当教員	三浦 宏之, 高野 吉郎, 岡田 大蔵					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 42+0 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 14						
主な講義場所 美術解剖学講義: 第1講義室 塑像製作実習: 2号館305室						
授業の目的、概要等 人の頭部顔面を観察し、立体構造と特徴を理解し、審美医療を行うための基本的技法を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 人モデルを観察し、塑像制作の基本的操作を理解し、行うことができる。 2) 人体外部からの観察により、頭頸部の骨・筋肉の形態が理解できる。 3) 歯科領域における美的感覚の重要性を説明できる。 4) 人体解剖における芸術と医学の共通の時代背景を説明できる。 5) 芸術的視点からの人体の観察法を理解する。 6) 人体の頭部・顔面領域のサイズを計測し、分類・比較を行うことにより、人体の特徴を深く理解できる。 7) 骨の特徴から性差を説明できる。 8) 頭蓋骨から個人を特定する方法を説明できる。 9) 警察の身元調査に歯科が重要な所見を与えることが理解できる。 10) 歯の形態と人の顔貌の関連性を説明できる。 11) 顔貌が人に与える心理的影響を説明できる。 12) 歯の審美的な治療方法の概要を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(医療と造形の接点としての美術解剖学)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
4-6	10/27	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(課題説明、クロッキー)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
7-9	11/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(顔をどう見るか)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
10-12	11/10	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(心棒の制作、粘土練り、制作)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
13-15	11/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(頭蓋と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
16-18	11/17	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
19-21	12/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(表情と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
22-24	12/1	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(制作)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
25-27	12/8	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(制作)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
28-30	12/15	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(仕上げ)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
31-33	1/5	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(課題説明、クロッキー)	館山 拓人, 藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
34-36	1/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯と顔貌(全体講義)	三浦 宏之	講義:SBOs 10-12
37-39	1/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	科学捜査と復顔(全体講義)	宮坂 祥夫	講義:SBOs 7-9
40-42	1/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(医療と造形の接点としての美術解剖学)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6

43-45	1/26	12:50-15:40	305 室 連携教育講義室	塑像制作実習(心棒の制作、粘土練り、制作)	舘山 拓人、藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
46-48	2/2	12:50-15:40	305 室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	舘山 拓人、藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
49-51	2/2	12:50-15:40	歯学科第1 講義室	美術解剖学(顔をどう見るか)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
52-54	2/9	12:50-15:40	305 室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	舘山 拓人、藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
55-57	2/9	12:50-15:40	歯学科第1 講義室	美術解剖学(頭蓋と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
58-60	2/16	12:50-15:40	305 室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	舘山 拓人、藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
61-63	2/23	12:50-15:40	305 室 連携教育講義室	塑像製作実習(仕上げ)	舘山 拓人、藤原 彩人	実習:SBOs 1-3
64-66	2/23	12:50-15:40	歯学科第1 講義室	美術解剖学(表情と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6

成績評価の方法

・講義出席状況、レポート内容および適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・4分の3以上出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

三浦 宏之: h.miura.fpro@tmd.ac.jp
 岡田 大蔵: d.okada.fpro@tmd.ac.jp
 高野 吉郎: takanoy.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三浦 宏之: 水 10:30 ~ 12:00
 岡田 大蔵: 随時
 高野 吉郎: 随時(必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	021023					
科目名	歯の解剖					
担当教員	柴田 俊一					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 16+3 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 15						
授業の目的、概要等						
ヒトの乳歯と永久歯の正常形態を学び、歯の形態の特徴と機能の関係を修得し、臨床科目との関連性を理解する。 歯の英語用語を理解するとともに、自己能力を認識し振り返りを通じた自己研鑽に務める。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 乳歯と永久歯の名称と、個々の歯の形態的特徴を説明できる。 2) 歯を正しく鑑別できる。 3) 歯列と咬合について説明できる。 4) 永久歯の形態異常を説明できる 5) 歯の英語用語を使用できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/22	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯の解剖総論 前歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1,2,3,4
4-6	11/5	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯の解剖 小臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1,2
7-9	11/14	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の解剖 上顎大臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1,2
10	11/20	14:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の解剖 下顎大臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1,2
11-13	11/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の解剖 乳歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs1,2
14-16	12/3	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯の解剖 歯列および歯の異常	柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs3,4
17-19	12/15	09:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	柴田 俊一	
成績評価の方法						
・歯のスケッチ、レポートで形式的評価をするとともに、筆記試験、実習試験の結果をもとに包括的評価をする。						
準備学習などについての具体的な指示						
講義で対象になった歯の鑑別を次の講義までに出来るようにしておくこと。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
教科書						
歯の解剖学／藤田 恒太郎／原著.: 金原出版, 1995						
参考書						
簡明歯の解剖学／三好作一郎 編著.: 医歯薬出版, 1996 歯の解剖学入門／赤井三千男 編.: 医歯薬出版, 1990						
備考						
担当教員の Office Hour 田巻玉器 助教 随時(ただし必ず事前に連絡の事) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp						
連絡先						
sshibata.mfa@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡の事)						

時間割番号	021024					
科目名	歯型彫刻					
担当教員	三浦 宏之, 岡田 大蔵, 吉田 恵一					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 27+0 授業形態: 実習 ユニット番号: 16						
授業の目的、概要等						
永久歯の歯冠の解剖学的形態を正確に理解し、歯冠形態を回復するための基本的技法を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) ワックス棒を彫刻し、直線、曲線、点および面によって構成される種々の立体を造ることができる。 2) 解剖学的歯冠形態を描画できる。 3) ワックス棒を彫刻し、解剖学的歯冠形態を造ることができる。 4) 歯牙石膏半切模型にワックスを築盛し、歯冠形態を回復できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	6/13	09:00-11:50	補綴実習室	歯型彫刻 上顎右側中切歯近心側 ワックス修復	田上 順次, 島田 康史	実習:SBOs 1,2,3,4
4-6	6/20	09:00-11:50	補綴実習室	上顎右側第1大臼歯近心側ワックス修復	田上 順次, 島田 康史	実習:SBOs 1,2,3,4
7-9	6/27	09:00-11:50	補綴実習室	上顎右側第1小臼歯近心側ワックス修復	田上 順次, 島田 康史	実習:SBOs 1,2,3,4
10-12	7/4	09:00-11:50	保存矯正実習室	下顎右側第2大臼歯頬側ワックス修復	田上 順次, 島田 康史	実習:SBOs 1,2,3,4
13-15	7/11	09:00-11:50	保存矯正実習室	上顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 犬飼 周佑, 佐藤 佑介, 吉田 恵一	吉田隆義, 清水正裕実 習:SBOs 1,2,3,4
16-18	7/18	09:00-11:50	保存矯正実習室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 犬飼 周佑, 吉田 恵一	吉田隆義, 清水正裕実 習:SBOs 1,2,3,4
19-21	7/25	09:00-11:50	補綴実習室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 犬飼 周佑, 佐藤 佑介, 吉田 恵一	吉田隆義, 南 孝, 能木場公彦, 馬場史郎, 清水正裕実習:SBOs 1,2,3,4
22-24	9/19	09:00-11:50	補綴実習室	下顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義	南 孝, 清水正裕実 習:SBOs 1,2,3,4
25-27	9/26	09:00-11:50	補綴実習室	下顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義	南 孝, 清水正裕実 習:SBOs 1,2,3,4
成績評価の方法						
・実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。						
準備学習などについての具体的な指示						
事前に配布される指導書を熟読の上、臨むこと。また歯の解剖学など、歯冠、歯根形態に関連する講義に関して十分復習を行い、知識を整理しておくこと。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

モジュールの単位判定

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総括的評価を行う。

連絡先

三浦 宏之: h.miura.fpro@tmd.ac.jp
岡田 大蔵: d.okada.fpro@tmd.ac.jp
吉田 恵一: k.yoshida.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三浦 宏之: 水 10:30 ~ 12:00
岡田 大蔵: 随時
吉田 恵一: 月・水 16:30 ~ 17:30

時間割番号	021025				
科目名	患者と医療者				
担当教員	俣木 志朗, 礪波 健一				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	3
コマ数: 45(5) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 3					
授業の目的、概要等					
将来、歯科医療、歯科医学にたずさわりたい社会に貢献するために、歯科医療に関わる基本的な知識、技能、態度を養う。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 行動科学基礎					
02 医の倫理					
03 インフォームドコンセント					
04 医療面接					
05 チーム医療					
06 医療安全と危機管理の基礎					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
俣木 志朗: mataki.diag@tmd.ac.jp					
礪波 健一: ken1.gend@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
俣木 志朗: 水 16:00-18:00					
礪波 健一: 毎週水曜日 16:00-18:00 10号館2階総合診療歯科学研究室					

時間割番号	021026					
科目名	行動科学基礎					
担当教員	礪波 健一					
開講時期	前期	対象年次	2			
モジュール名:患者と医療者 コマ数:37(37+0) 授業形態:講義・演習・実習 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等 体験実習を通して「人間観」を獲得し、さらに自己理解を深めることで、全人的医療を実践する能力を修得する。						
授業の到達目標(SB0s) 1) 他者と関わる中で、自分自身の中に起こってくる考えや感情とその変化を意識する。 2) 自分の中に起こってくる感情を、必要なときには言葉で表現する。 3) 必要に応じて、その感情を相手に伝える。 4) 相手の話を聴き、確かめ、相手をそのまま理解する体験する。 5) 人と互いに理解しあう、あるいは「人との出会い」の意味を体験的に理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	6/6	11:00-13:40	歯学科第1講義室	オリエンテーション	侯木 志朗, 礪波 健一, 中村千賀子, 各務仁美, 久田 登志子	講義:SB01-5
3-4	6/13	11:00-13:40	歯学科第2講義室 演習室1-4	歯科医師と行動科学	礪波 健一, 中村千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5
5-6	6/20	11:00-13:40	歯学科第1講義室 演習室1-4	書き綴ることとリフレクション	遠山 由美, 礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グルー プワーク:SB02
7-8	7/16	11:00-13:40	歯学科第2講義室 演習室1-4	他者理解とは	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5
9-10	7/18	11:00-13:40	歯学科第1講義室 演習室1-4	障害者と社会	長瀬 修, 礪波 健一, 中 村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グルー プワーク:SB01-5
11-12	7/23	11:00-13:40	歯学科第1講義室 演習室1-4	知・情・意のダイナミクス	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5
13-14	7/25	11:00-13:40	歯学科第1講義室	体験学習準備	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義:SB01-5
15-17	10/3	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	体験学習振り返り	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5
18-20	10/24	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	体験学習振り返り	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5:
21-22	10/31	10:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	訪問歯科診療	五島 朋幸, 礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グルー プワーク:SB01-5:
23-25	11/7	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	チーム医療	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5:
26-28	11/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	よりそうことの意味	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5:
29-31	11/21	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	本学歯学部附属病院では	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5:

32-34	11/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	行動科学基礎から全人的医療へ	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5:
35-37	12/5	09:00-11:50	歯学科第1講義室 演習室1-4	グループ発表・総括	礪波 健一, 中村 千賀子, 各務 仁美 久田 登志子	講義・グループワー ク:SB01-5:

成績評価の方法

授業の参加状況、レポートの提出状況、体験実習先での態度等を担当教員・指導者間で協議し、成績評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

「人間観」とはなにか理解しておくこと。

「汝自身ヲ知レ」の出典を調べ、なぜこのことが医療者に必要か考察し、自分なりの考えを構築したうえで授業に臨むこと。

モジュールの単位判定

全授業時間の3分の2以上、体験実習の全出席、レポートの遅滞ない提出を単位認定の条件とする。特に体験実習は原則として欠席を認めず、病気などを理由に欠席する者は別日に補講を行う。また、大学の担当教員に無断で体験実習先を欠席・遅刻・早退・実習日程の変更を行ったものは即実習停止とし、単位を認めないこととする。

参考書

思索と経験をめぐって／森有正:講談社, 1979

創造的に生きる—人格的成長への期待／小林 純一:金子書房, 1986

失われた物語を求めて キッチン・テーブルの知恵／レイチェル・ナオミ・リーメン 著,藤本和子 編訳:埼玉県立熊谷点字図書館, 2002

星子が居る:言葉なく語りかける重複障害の娘との20年／最首悟 著:世織書房, 1998

学びの身体技法／佐藤学 著:太郎次郎社, 1997

管理される心:感情が商品になるとき／A. R. ホックシールド 著,石川 准 訳,室伏 亜希 訳:世界思想社

死にざまの医学／永田勝太郎:NHK ブックス, 2006

バリエーション療法:全人的医療入門／永田勝太郎 編:医歯薬出版, 1992

バリエーション療法:全人的医療入門／永田勝太郎 編:医歯薬出版, 1992

反哲学入門／木田元 著:新潮社, 2010

「治らない」時代の医療者心得帳:カスガ先生の答えのない悩み相談室／春日 武彦 著,吉野 朔実 画:医学書院

履修上の注意事項

本授業は、ひとりひとりの学生の積極的参加があって初めてクラス全体としての学習効果があがる。したがって、遅刻・欠席がないよう心掛けること。本授業の根幹は夏の体験実習にある。体験実習であるがゆえに、学生ひとりひとりの学習内容詳細の均一性は担保されない。むしろ、自己の体験を活かしかに成長するかは、各学生の感性に依存するところが多い。学生は己の置かれた実習先に最大限の状況参加をすることが求められる。

連絡先

ken1.gend@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 16:00-18:00 10号館2階総合診療歯科学研究室

時間割番号	021027																																																			
科目名	医の倫理																																																			
担当教員	俣木 志朗																																																			
開講時期	後期	対象年次	2																																																	
モジュール名: 患者と医療者 コマ数: 5+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 02																																																				
授業の目的、概要等 将来、適切な歯科医療あるいは歯学研究を实践、遂行するために、医療・歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。																																																				
授業の到達目標(SBOs) 1) 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 2) ヒポクラテスの誓いを説明できる。 3) ジュネーブ宣言を説明できる。 4) 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 5) シドニー宣言を説明できる。 6) 患者の権利を説明できる。 7) リスボン宣言を説明できる。 8) 患者の自己決定権を説明できる。																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/29</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>倫理、道徳、法について</td> <td>ヒポクラテスの誓い</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/29</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医の倫理、ヘルシンキ宣言等</td> <td>扶氏医戒之略</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/29</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>患者—医療者関係の歴史の変遷</td> <td></td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/1</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>患者の権利、</td> <td>リスボン宣言など</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/1</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>生と死に関わる倫理的問題</td> <td>シドニー宣言、脳死</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/23</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td></td> <td>俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/29	09:00-09:50	歯学科第1講義室	倫理、道徳、法について	ヒポクラテスの誓い	俣木 志朗	2	9/29	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医の倫理、ヘルシンキ宣言等	扶氏医戒之略	俣木 志朗	3	9/29	11:00-11:50	歯学科第1講義室	患者—医療者関係の歴史の変遷		俣木 志朗	4	10/1	09:00-09:50	歯学科第1講義室	患者の権利、	リスボン宣言など	俣木 志朗	5	10/1	10:00-10:50	歯学科第1講義室	生と死に関わる倫理的問題	シドニー宣言、脳死	俣木 志朗	6	10/23	10:00-10:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	9/29	09:00-09:50	歯学科第1講義室	倫理、道徳、法について	ヒポクラテスの誓い	俣木 志朗																																														
2	9/29	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医の倫理、ヘルシンキ宣言等	扶氏医戒之略	俣木 志朗																																														
3	9/29	11:00-11:50	歯学科第1講義室	患者—医療者関係の歴史の変遷		俣木 志朗																																														
4	10/1	09:00-09:50	歯学科第1講義室	患者の権利、	リスボン宣言など	俣木 志朗																																														
5	10/1	10:00-10:50	歯学科第1講義室	生と死に関わる倫理的問題	シドニー宣言、脳死	俣木 志朗																																														
6	10/23	10:00-10:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗																																														
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																				
準備学習などについての具体的な指示 参考書を読んでおくこと。																																																				
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																				
参考書 胡蝶の夢／司馬遼太郎 著: 新潮社, 1983 医療の倫理／星野一正／著: 岩波書店, 1992																																																				
備考 ・チュートリアル 4コマ(1 課題・方法の説明、2 自己学習日 3 自己学習日 4 発表・質疑応答)																																																				
連絡先 mataki.diag@tmd.ac.jp																																																				
オフィスアワー 水 16:00-18:00																																																				

時間割番号	021028																																																			
科目名	インフォームドコンセント																																																			
担当教員	俣木 志朗																																																			
開講時期	後期	対象年次	2																																																	
モジュール名: 患者と医療者 コマ数: 5+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 03																																																				
授業の目的、概要等 将来、患者本位の歯科医療を実践するために、インフォームドコンセントに関する基礎的な知識、技能、態度を修得する。																																																				
授業の到達目標(SBOs) 1) インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。 2) インフォームドコンセントの歴史的経過を説明できる。 3) インフォームドチョイスを説明できる。 4) ヘルシンキ宣言を説明できる。 5) インフォームドコンセントの問題点を説明できる。 6) 患者の自己決定権を説明できる。 7) 患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 8) インフォームドコンセントについて、患者さんに解りやすい言葉で説明できる。																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントについて(1)</td> <td>実習:ダックスの場合</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/6</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントについて(2)</td> <td>実習:ダックスの場合</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/8</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯科医療におけるインフォームドコンセント</td> <td>グループ討議</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/8</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントの実際</td> <td>グループ討議</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/8</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントの問題点</td> <td>発表</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/31</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td></td> <td>俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:00-09:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(1)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗	2	10/6	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(2)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗	3	10/8	09:00-09:50	歯学科第1講義室	歯科医療におけるインフォームドコンセント	グループ討議	俣木 志朗	4	10/8	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの実際	グループ討議	俣木 志朗	5	10/8	11:00-11:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの問題点	発表	俣木 志朗	6	10/31	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	10/6	09:00-09:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(1)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗																																														
2	10/6	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(2)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗																																														
3	10/8	09:00-09:50	歯学科第1講義室	歯科医療におけるインフォームドコンセント	グループ討議	俣木 志朗																																														
4	10/8	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの実際	グループ討議	俣木 志朗																																														
5	10/8	11:00-11:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの問題点	発表	俣木 志朗																																														
6	10/31	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗																																														
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																				
準備学習などについての具体的な指示 参考書を読んでおくこと。																																																				
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																				
参考書 インフォームド・コンセント：医療現場における説明と同意／水野肇／著：中央公論社、1993 インフォームド・コンセント／森岡恭彦 著：日本放送出版協会、1994 胡蝶の夢／司馬遼太郎 著：新潮社、1983 医療の倫理／星野一正／著：岩波書店、1992																																																				
備考 ・チュートリアル 4コマ(1 課題・方法の説明、2 自己学習日 3 自己学習日 4 発表・質疑応答)																																																				
連絡先 mataki.diag@tmd.ac.jp																																																				
オフィスアワー 水 16:00-18:00																																																				

時間割番号	021029																																																																																																																									
科目名	医療面接																																																																																																																									
担当教員	俣木 志朗																																																																																																																									
開講時期	後期	対象年次	2																																																																																																																							
モジュール名: 患者と医療者 コマ数: 15+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 04																																																																																																																										
授業の目的、概要等 患者との信頼関係を築くために、コミュニケーション、医療面接に関する基本的知識、技能、態度を修得する。																																																																																																																										
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者との信頼関係の構築に必要な要素を列挙できる。 2) 信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 3) コミュニケーションの目的と技法を概説できる。 4) 医療面接の役割を説明できる。 5) 言語的、非言語的、準言語的コミュニケーションを説明できる。 6) 言語的、非言語的、準言語的コミュニケーションを使い分けられることができる。 7) 患者の心理状態や社会的背景に配慮できる。 8) 基本的質問法を説明できる。 9) 医療面接に先立ち、身だしなみを整えることができる 10) 歯科医学生にふさわしい言葉遣いができる。																																																																																																																										
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>1/7</td><td>09:00-09:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>医療面接とは</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>2</td><td>1/7</td><td>10:00-10:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>医療におけるコミュニケーション</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>3</td><td>1/7</td><td>11:00-11:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>コミュニケーションの基本</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>4</td><td>1/14</td><td>09:00-09:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>コミュニケーション技法</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>5</td><td>1/14</td><td>10:00-10:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>効果的な質問法</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>6</td><td>1/14</td><td>11:00-11:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>正しい敬語の使い方</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>7</td><td>1/19</td><td>09:00-09:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>シナリオ作成</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>8</td><td>1/19</td><td>10:00-10:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>ロールプレイ(1)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>9</td><td>1/19</td><td>11:00-11:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>ロールプレイ(2)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>10</td><td>1/21</td><td>09:00-09:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>模擬患者実習(1)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/21</td><td>10:00-10:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>模擬患者実習(2)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/21</td><td>11:00-11:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>模擬患者実習(3)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/26</td><td>09:00-09:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>模擬患者実習の振り返り(1)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/26</td><td>10:00-10:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>模擬患者実習の振り返り(2)</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/26</td><td>11:00-11:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>医療面接のまとめ</td><td></td><td>俣木 志朗</td></tr> <tr><td>16</td><td>2/9</td><td>09:00-09:50</td><td>歯学科第1講義室</td><td>試験</td><td>試験</td><td>俣木 志朗</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	1/7	09:00-09:50	歯学科第1講義室	医療面接とは		俣木 志朗	2	1/7	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療におけるコミュニケーション		俣木 志朗	3	1/7	11:00-11:50	歯学科第1講義室	コミュニケーションの基本		俣木 志朗	4	1/14	09:00-09:50	歯学科第1講義室	コミュニケーション技法		俣木 志朗	5	1/14	10:00-10:50	歯学科第1講義室	効果的な質問法		俣木 志朗	6	1/14	11:00-11:50	歯学科第1講義室	正しい敬語の使い方		俣木 志朗	7	1/19	09:00-09:50	歯学科第1講義室	シナリオ作成		俣木 志朗	8	1/19	10:00-10:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(1)		俣木 志朗	9	1/19	11:00-11:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(2)		俣木 志朗	10	1/21	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(1)		俣木 志朗	11	1/21	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(2)		俣木 志朗	12	1/21	11:00-11:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(3)		俣木 志朗	13	1/26	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(1)		俣木 志朗	14	1/26	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(2)		俣木 志朗	15	1/26	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療面接のまとめ		俣木 志朗	16	2/9	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	試験	俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																																				
1	1/7	09:00-09:50	歯学科第1講義室	医療面接とは		俣木 志朗																																																																																																																				
2	1/7	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療におけるコミュニケーション		俣木 志朗																																																																																																																				
3	1/7	11:00-11:50	歯学科第1講義室	コミュニケーションの基本		俣木 志朗																																																																																																																				
4	1/14	09:00-09:50	歯学科第1講義室	コミュニケーション技法		俣木 志朗																																																																																																																				
5	1/14	10:00-10:50	歯学科第1講義室	効果的な質問法		俣木 志朗																																																																																																																				
6	1/14	11:00-11:50	歯学科第1講義室	正しい敬語の使い方		俣木 志朗																																																																																																																				
7	1/19	09:00-09:50	歯学科第1講義室	シナリオ作成		俣木 志朗																																																																																																																				
8	1/19	10:00-10:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(1)		俣木 志朗																																																																																																																				
9	1/19	11:00-11:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(2)		俣木 志朗																																																																																																																				
10	1/21	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(1)		俣木 志朗																																																																																																																				
11	1/21	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(2)		俣木 志朗																																																																																																																				
12	1/21	11:00-11:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(3)		俣木 志朗																																																																																																																				
13	1/26	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(1)		俣木 志朗																																																																																																																				
14	1/26	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(2)		俣木 志朗																																																																																																																				
15	1/26	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療面接のまとめ		俣木 志朗																																																																																																																				
16	2/9	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	試験	俣木 志朗																																																																																																																				
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																																																																																										
準備学習などについての具体的な指示																																																																																																																										
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																																																																										

参考書

メディカルインタビュー：三つの機能モデルによるアプローチ／Steven A.Cole, Julian Bird [著], 飯島克巳, 佐々木将人 訳: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2003

でんたるこみゆにけーしょん：歯科医療面接総論／山田隆文 著,: 学建書院, 2002

連絡先

mataki.diag@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水 16:00-18:00

時間割番号	021030				
科目名	チーム医療				
担当教員	俣木 志朗				
開講時期	後期	対象年次	2		
モジュール名: 患者と医療者 コマ数: 5+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 05					
授業の目的、概要等					
将来歯科医師として社会に貢献するために、社会における歯科医療とその重要性を理解し、医療が組織として実践されることを学ぶ。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。 2) 歯科医師に関する法律を概説できる。 3) 歯科医師の法的義務を説明できる。 4) 医療チームのメンバーの役割と連携を説明できる。 5) 高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 6) ノーマライゼーションの考え方を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	2/2	09:00-09:50	歯学科第1講義室	チーム医療とは	俣木 志朗, 岩上 好伸
2	2/2	10:00-10:50	歯学科第1講義室	歯科診療所におけるチーム医療の実際(1)	俣木 志朗, 岩上 好伸
3	2/2	11:00-11:50	歯学科第1講義室	歯科診療所におけるチーム医療の実際(2)	俣木 志朗, 岩上 好伸
4	2/9	10:00-10:50	歯学科第1講義室	大学病院におけるチーム医療の実際	鈴木 聖一
5	2/9	11:00-11:50	歯学科第1講義室	歯科におけるチーム医療	遠藤 圭子
6	2/23	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗
成績評価の方法					
・筆記試験とレポートにより評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
参考書等で予習しておくこと。					
試験の受験資格					
・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
参考書					
スタンダード社会歯科学／石井拓男, 岡田真人, 尾崎哲則, 平田幸夫 編: 学建書院, 2010					
連絡先					
mataki.diag@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
水 16:00-18:00					

時間割番号	021031																																																			
科目名	医療安全と危機管理の基礎																																																			
担当教員	三輪 全三																																																			
開講時期	後期	対象年次	2																																																	
モジュール名:患者と医療者 コマ数:5+1 授業形態:講義・実習 ユニット番号:06																																																				
授業の目的、概要等 将来安全で信頼される歯科医療を実践するために、歯科医療における安全性への配慮と危機管理に関する基本的な知識、考え方を学ぶ。																																																				
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 2) 医療事故はどのような状況で起こりやすいかを説明できる。 3) 医療事故防止のためのリスク管理を説明できる。 4) フェイルセーフの必要性を説明できる。 5) 医療機関における安全管理体制を概説できる。 6) 医療事故とニアミスの違いを説明できる。 7) 医療事故やニアミスの事例の原因を分析できる。 8) 医療事故やニアミスの防止対策を説明できる。 9) 医療事故やニアミスの可能性とその対応を説明できる。 10) 医療事故に関連した法律・規則の基本的事項を説明できる。																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2/18</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医療事故はなぜ起こる</td> <td>俣木 志朗, 三輪 全三</td> <td>講義:SBOs1,2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2/18</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医療事故防止対策</td> <td>俣木 志朗, 三輪 全三</td> <td>講義:SBOs3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2/18</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>フェイルセーフ・フルプルーフ</td> <td>俣木 志朗, 三輪 全三</td> <td>講義:SBOs4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2/23</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>リスク管理</td> <td>俣木 志朗, 三輪 全三 宮本 智行</td> <td>グループ:SBOs3-10</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2/23</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医療機関における安全管理対策</td> <td>俣木 志朗, 三輪 全三 宮本 智行</td> <td>全体発表:SBOs3-10</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2/26</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td>俣木 志朗, 三輪 全三</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	2/18	09:00-09:50	歯学科第1講義室	医療事故はなぜ起こる	俣木 志朗, 三輪 全三	講義:SBOs1,2	2	2/18	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療事故防止対策	俣木 志朗, 三輪 全三	講義:SBOs3	3	2/18	11:00-11:50	歯学科第1講義室	フェイルセーフ・フルプルーフ	俣木 志朗, 三輪 全三	講義:SBOs4	4	2/23	10:00-10:50	歯学科第1講義室	リスク管理	俣木 志朗, 三輪 全三 宮本 智行	グループ:SBOs3-10	5	2/23	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療機関における安全管理対策	俣木 志朗, 三輪 全三 宮本 智行	全体発表:SBOs3-10	6	2/26	12:50-13:40	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗, 三輪 全三	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																														
1	2/18	09:00-09:50	歯学科第1講義室	医療事故はなぜ起こる	俣木 志朗, 三輪 全三	講義:SBOs1,2																																														
2	2/18	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療事故防止対策	俣木 志朗, 三輪 全三	講義:SBOs3																																														
3	2/18	11:00-11:50	歯学科第1講義室	フェイルセーフ・フルプルーフ	俣木 志朗, 三輪 全三	講義:SBOs4																																														
4	2/23	10:00-10:50	歯学科第1講義室	リスク管理	俣木 志朗, 三輪 全三 宮本 智行	グループ:SBOs3-10																																														
5	2/23	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療機関における安全管理対策	俣木 志朗, 三輪 全三 宮本 智行	全体発表:SBOs3-10																																														
6	2/26	12:50-13:40	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗, 三輪 全三																																															
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																				
準備学習などについての具体的な指示 ・家庭用電化製品や自動車などで、事故が起きないように工夫、事故が起きても被害を最小限にする工夫がなされているものを探してみる。																																																				
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																				
参考書 医療事故：なぜ起こるのか、どうすれば防げるのか／山内桂子, 山内隆久 著:朝日新聞社, 2005 人は誰でも間違える：より安全な医療システムを目指して／L.コーン, J.コリガン, M.ドナルドソン 編,米国内科医療の質委員会, 医学研究所 著,医学ジャーナリスト協会 訳:日本評論社, 2000 一から学ぶ歯科医療安全管理／海野雅浩, 小谷順一郎, 洪井尚武, 森崎市治郎 編:医歯薬出版, 2005																																																				
連絡先 miwa.dohs@tmd.ac.jp																																																				
オフィスアワー 月・水・木 16:30-18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室																																																				

時間割番号	021032				
科目名	社会と環境				
担当教員	川口 陽子, 佐々木 好幸				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
コマ数:33(30+3) 授業形態:講義・演習 モジュール番号:04					
主な講義場所					
各ユニットの講義場所を参照のこと					
授業の目的、概要等					
健康と社会制度、環境、生活習慣、栄養との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を取得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各ユニットの到達目標を参照のこと					
成績評価の方法					
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと					
準備学習などについての具体的な指示					
各ユニットの指示を参照のこと					
構成ユニット					
01 環境・社会と健康 講義・実習					
02 ライフスタイルと健康 講義					
03 食生活と健康 講義					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
川口 陽子: yoko.ohp@tmd.ac.jp					
佐々木 好幸: sasaki.prev@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
川口 陽子: 火・水 16:00-18:00					
佐々木 好幸: 毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00					

時間割番号	021033																																												
科目名	環境・社会と健康																																												
担当教員	佐々木 好幸																																												
開講時期	後期	対象年次	2																																										
モジュール名: 社会と環境 コマ数: 13(12+1)(必要自習時間5時間) 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 01																																													
授業の目的、概要等 健康と社会制度や環境との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を修得する。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 健康の概念を説明できる。 2) 環境による健康への影響を説明できる。 3) 環境基準と環境汚染を説明できる。 4) 主な保健医療統計を説明できる。 5) 主な健康指標を説明できる。 6) 調査方法と統計的分析法を説明できる。 7) 疫学とEBMの概念を説明できる。 8) スクリーニング検査を説明できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>11/19</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>衛生の主要指標、人口問題、生命表</td> <td>佐々木 好幸</td> <td>講義:4-8</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>11/26</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>疾病・異常の発生要因、疫学</td> <td>佐々木 好幸</td> <td>講義:1-8</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>12/3</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>環境保健</td> <td>佐々木 好幸</td> <td>講義:2,3</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>12/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>廃棄物、食品衛生、感染対策</td> <td>佐々木 好幸</td> <td>講義:2,3</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/17</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td>佐々木 好幸</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-3	11/19	09:00-11:50	歯学科第1講義室	衛生の主要指標、人口問題、生命表	佐々木 好幸	講義:4-8	4-6	11/26	09:00-11:50	歯学科第1講義室	疾病・異常の発生要因、疫学	佐々木 好幸	講義:1-8	7-9	12/3	09:00-11:50	歯学科第1講義室	環境保健	佐々木 好幸	講義:2,3	10-12	12/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	廃棄物、食品衛生、感染対策	佐々木 好幸	講義:2,3	13	12/17	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	佐々木 好幸	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1-3	11/19	09:00-11:50	歯学科第1講義室	衛生の主要指標、人口問題、生命表	佐々木 好幸	講義:4-8																																							
4-6	11/26	09:00-11:50	歯学科第1講義室	疾病・異常の発生要因、疫学	佐々木 好幸	講義:1-8																																							
7-9	12/3	09:00-11:50	歯学科第1講義室	環境保健	佐々木 好幸	講義:2,3																																							
10-12	12/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	廃棄物、食品衛生、感染対策	佐々木 好幸	講義:2,3																																							
13	12/17	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	佐々木 好幸																																								
成績評価の方法 ・平成26年12月17日の筆記試験を総括的評価とする。																																													
準備学習などについての具体的な指示 シラバスに沿った内容を参考書で予習しておくこと。 配布プリントの記載内容のすべてを講義できないため復習が必要である。																																													
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
参考書 衛生学・公衆衛生学／宮武光吉、渡邊達夫、雫石聰、川口陽子 編:医歯薬出版, 2008 歯科国試必修 KEY WORDS TOPICS／DES 歯学教育スクール 編集,岸光男 著:医学評論社, 2013 図説国民衛生の動向／厚生労働統計協会／編集:厚生労働統計協会, 2013																																													
履修上の注意事項 ・各コマの開始時刻までに出席管理システムに学生証を読ませること。(読ませた時刻により出席・遅刻・欠席の判定をする) ・講義の途中で無断退出した者は欠席とする。																																													
連絡先 sasaki.prev@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00																																													

時間割番号	021034																																												
科目名	ライフスタイルと健康																																												
担当教員	川口 陽子																																												
開講時期	後期	対象年次	2																																										
モジュール名: 社会と環境 コマ数: 10(9+1)(必要自習時間3時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02																																													
授業の目的、概要等 健康とライフスタイル・生活習慣との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を習得する。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 健康の概念を説明できる。 2) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 3) 疾病の概念、種類および予防を概説できる。 4) 健康日本 21 を説明できる。 5) 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 6) プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 7) プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 8) 主な保健医療統計を説明できる。 9) 主な健康指標を説明できる。 10) 国際保健医療活動を説明できる。 11) 大災害時の歯科保健医療を説明できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>2/4</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>健康の定義、ライフスタイルと健康、口腔保健法、第1,2,3次予防、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ、ヘルスプロモーションとプライマリヘルスケア</td> <td>川口 陽子</td> <td>講義:SBOs 1-7</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>2/10</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯科医師の任務、保健指導と健康教育、健康行動と健康行動理論、健康日本21、健康増進法、ヘルスリテラシー</td> <td>植野 正之</td> <td>講義:SBOs 1-9</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2/10</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>国際歯科保健協力活動</td> <td>田中 健一</td> <td>講義:SBOs 7,10</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>2/17</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>WHOの健康戦略、国際保健、健康観と健康指標、QOL、口腔と全身の健康、大災害時の保健医療、保健医療統計からみた国民の健康状態の変化</td> <td>川口 陽子</td> <td>講義:SBOs 1-4,7-11</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>2/26</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td>川口 陽子</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-3	2/4	09:00-11:50	歯学科第1講義室	健康の定義、ライフスタイルと健康、口腔保健法、第1,2,3次予防、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ、ヘルスプロモーションとプライマリヘルスケア	川口 陽子	講義:SBOs 1-7	4-5	2/10	09:00-10:50	歯学科第1講義室	歯科医師の任務、保健指導と健康教育、健康行動と健康行動理論、健康日本21、健康増進法、ヘルスリテラシー	植野 正之	講義:SBOs 1-9	6	2/10	11:00-11:50	歯学科第1講義室	国際歯科保健協力活動	田中 健一	講義:SBOs 7,10	7-9	2/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	WHOの健康戦略、国際保健、健康観と健康指標、QOL、口腔と全身の健康、大災害時の保健医療、保健医療統計からみた国民の健康状態の変化	川口 陽子	講義:SBOs 1-4,7-11	10	2/26	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	川口 陽子	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1-3	2/4	09:00-11:50	歯学科第1講義室	健康の定義、ライフスタイルと健康、口腔保健法、第1,2,3次予防、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ、ヘルスプロモーションとプライマリヘルスケア	川口 陽子	講義:SBOs 1-7																																							
4-5	2/10	09:00-10:50	歯学科第1講義室	歯科医師の任務、保健指導と健康教育、健康行動と健康行動理論、健康日本21、健康増進法、ヘルスリテラシー	植野 正之	講義:SBOs 1-9																																							
6	2/10	11:00-11:50	歯学科第1講義室	国際歯科保健協力活動	田中 健一	講義:SBOs 7,10																																							
7-9	2/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	WHOの健康戦略、国際保健、健康観と健康指標、QOL、口腔と全身の健康、大災害時の保健医療、保健医療統計からみた国民の健康状態の変化	川口 陽子	講義:SBOs 1-4,7-11																																							
10	2/26	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	川口 陽子																																								
成績評価の方法 ・平成27年2月26日の筆記試験(9割)とレポート(1割)を総合的に評価とする。																																													
準備学習などについての具体的な指示 健康と社会制度や環境との関連を理解し、人々の健康増進を支援するために必要な知識、手法、制度、活動など講義での履修範囲が広い。そのため、学生は教科書などを用いあらかじめ準備学習しておくこと。																																													
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

衛生学・公衆衛生学／宮武光吉, 渡邊達夫, 雫石聰, 川口陽子 編:医歯薬出版, 2008

The Strategy of preventive medicine／Geoffrey Rose,:Oxford University Press, 1994

連絡先

yoko.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・水 16:00-18:00

時間割番号	021035					
科目名	食生活と健康					
担当教員	品田 佳世子					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 社会と環境 コマ数: 9+1 (必要自習時間 2 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 03						
主な講義場所						
歯学科 第1 講義室						
授業の目的、概要等						
健康づくりの基本となる栄養・食生活を理解し、口腔の健康との関連を概説できる。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 日本人の栄養・食生活の現状を説明できる。 2) 栄養・食生活の診断・評価法を説明できる。 3) 基礎疾患を有する患者の臨床栄養について説明できる。 4) 口腔の健康と栄養・食生活との関連を説明できる。 5) 栄養・食生活の改善方法を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	1/16	09:00-11:50	歯学科第1 講義室	日本人の栄養・食生活の現状と課題	品田 佳世子	講義 SBOs 1,2,5
4-6	1/23	09:00-11:50	歯学科第1 講義室	栄養アセスメント・食形態・臨床栄養	豊島 瑞枝	講義 SBOs 2,3,5
7-9	2/13	09:00-11:50	歯学科第1 講義室	口腔と栄養、食生活との関連について	品田 佳世子	講義 SBOs 4
10	2/26	09:00-09:50	歯学科第1 講義室	試験	品田 佳世子	
成績評価の方法						
・レポート(1割)および筆記試験(9割)を総合的に評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
食事バランスガイドについて、1年次(教養科目)の講義を復習しておく。						
試験の受験資格						
・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
食品成分表／香川 芳子／監修: 女子栄養大学出版部, 2011 口腔保健推進ハンドブック: 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井穂博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編: 医歯薬出版, 2009						
備考						
担当教員(3時間): 豊島瑞枝 東京医科歯科大学歯学部附属病院 管理栄養士						
参照ホームページ						
厚生労働省ホームページ 国民健康・栄養調査結果の概要 農林水産省ホームページ 食育、食事バランスガイド等						
連絡先						
shinada.pvoh@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時						

時間割番号	021036				
科目名	生命の分子的基盤				
担当教員	森田 育男, 篠村 多摩之				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	5
コマ数: 105+4 授業形態: 講義・演習・実習 モジュール番号: 05					
授業の目的、概要等 生命現象の物質的基盤を細胞という生命単位を中心に理解する。生命を構成する分子とその代謝を理解し、各種疾患の分子的基盤を理解する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 生命を構成する分子とその代謝 02 遺伝の分子的基盤 03 細胞機能の分子的基盤 04 疾患の分子的基盤 05 生命の分子的基盤実習					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
教科書 生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著], 清水孝雄, 工藤一郎 訳: 東京化学同人, 2007					
連絡先 森田 育男: morita.cell@tmd.ac.jp・・・ あらかじめメール連絡を 篠村 多摩之: t.shinomura.trg@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 森田 育男: 随時 篠村 多摩之: 月・水・金 16:00 - 18:00 M&D タワー7階(北側) 結合組織再生学分野					

時間割番号	021037					
科目名	生命を構成する分子とその代謝					
担当教員	中濱 健一					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 生命の分子的基盤 コマ数: 27+1 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 生命を構成する分子とその代謝を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 生命と物質の関係-概説。 2) 生化学を理解する上で必要な知識を説明できる。 3) タンパク質の構造と生物学的機能の関係について酵素を例として理解し、説明できる。 4) 糖代謝とエネルギー生成の仕組みを説明できる。 5) 脂質代謝の仕組みを説明できる。 6) アミノ酸、核酸の代謝の仕組みを説明できる。 7) 物質代謝の制御による生体機能の調節について説明できる。 8) 生命を構成する分子の代謝について討論をおこない、また質問に答えることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	生命の物質的基盤概説	森田 育男, 中濱 健一, 篠原 正浩	森田育男、中濱健一、篠原正浩: 講義: SBOs1、4~6時限目連続の3コマの授業
4-6	12/5	12:50-15:40	歯学科第1講義室	基礎生化学演習	中濱 健一, 篠原 正浩	中濱健一、篠原正浩: 演習: SBOs2、4~6時限目連続の3コマの授業
7-9	12/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	タンパク質の構造と機能	中濱 健一	中濱健一: 講義: SBOs3、4~6時限目連続の3コマの授業
10-12	1/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	酵素	中濱 健一	中濱健一: 講義: SBOs3、4~6時限目連続の3コマの授業
13-15	1/8	09:00-11:50	歯学科第1講義室	糖代謝とエネルギーの生成	中濱 健一	中濱健一: 講義: SBOs4、1~3時限目連続の3コマの授業
16-18	1/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	脂質代謝	中濱 健一	中濱健一: 講義: SBOs5、4~6時限目連続の3コマの授業
19-21	1/23	12:50-15:40	歯学科第1講義室	アミノ酸、核酸の代謝	田中 裕二郎	田中裕二郎: 講義: SBOs6、4~6時限目連続の3コマの授業
22-24	1/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室	物質代謝の制御による生体機能の調節	中濱 健一	中濱健一: 講義: SBOs7、1~3時限目連続の3コマの授業
25-27	1/30	09:00-11:50	歯学科第1講義室	代謝の総合演習及び実習講義	中濱 健一, 中島 友紀, 井上 カタジナアンナ	中濱健一、中島友紀、井上 Katarzyna: 演習: SBOs8、1~3時限目連続の3コマの授業
28	2/3	12:50-13:40	歯学科第1講義室	試験	中濱 健一	中濱健一: 試験: SBOs1-7、4時限目のみ1コマの授業
成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 27 年 2 月 3 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						

準備学習などについての具体的な指示

授業前に必ず予習を行い、積極的に授業に望むこと。具体的には、教科書指定されている図書を参照しながら、配布されたプリントの概略の理解に努める事。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著],清水孝雄, 工藤一郎 訳:東京化学同人, 2007

参考書

ストライヤー生化学／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著,入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳:東京化学同人, 2004

生化学／キャンベル, ファーレル [著],川崎敏祐 監訳:廣川書店, 2004

カラー図解人体の正常構造と機能／坂井建雄, 河原克雅 総編集:日本医事新報社, 2008

連絡先

nakacell@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水・木曜日 17:00 以降 M&D タワー6階 分子細胞機能学准教授室 (N-609)

時間割番号	021038					
科目名	遺伝の分子の基盤					
担当教員	篠村 多摩之					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 生命の分子の基盤 コマ数: 15+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
遺伝情報の物質的な基盤とその流れについて説明できる。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 細胞構造と遺伝情報の流れについて相互の関係が説明できる。 2) DNA の構造とその複製機構が説明できる。 3) RNA の構造と転写の機構が説明できる。 4) タンパク質の合成とその分配機構が説明できる。 5) 遺伝子発現の制御機構が説明できる。 6) ヒトゲノム DNA の特徴とその異常について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	1/5	09:00-11:50	歯学科第1講義室	セントラルドグマ、DNA	篠村 多摩之	講義:SBOs 1,2
4-6	1/7	12:50-15:40	歯学科第1講義室	RNA	篠村 多摩之	講義:SBOs 3
7-9	1/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	タンパク質	篠村 多摩之	講義:SBOs 4
10-12	1/14	12:50-15:40	歯学科第1講義室	遺伝子発現制御	篠村 多摩之	講義:SBOs 5
13-15	1/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	がんゲノム・エピゲノム異常	小崎 健一	講義:SBOs 6
16	2/3	14:50-15:40	歯学科第1講義室	遺伝の分子の基盤 試験	篠村 多摩之	講義:SBOs 1-6
成績評価の方法						
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 27 年 2 月 3 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
高校の教科書、化学 IB & II および生物 I & II に書かれている内容を十分に理解していることが前提で講義を行います。従って、理解が不十分と思われる場合は十分に復習しておくこと。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
構成ユニット						
ユニット名: 遺伝の分子の基盤						
モジュールの単位判定						
各ユニットごとに成績判定を行い、その上でモジュールの単位判定を行う。						
教科書						
生化学・分子生物学 / William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著], 清水孝雄, 工藤一郎 訳: 東京化学同人, 2007						
参考書						
ストライヤー生化学 / Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著, 入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳: 東京化学同人, 2013 分子細胞生物学 / H.LODISH [ほか著], 石浦章一, 榎森康文, 堅田利明, 須藤和夫, 仁科博史, 山本啓一 訳: 東京化学同人, 2010 がんの生物学 / ワインバーグ [著], 武藤誠, 青木正博 訳: 南江堂, 2008						

備考

指定された教科書に必ず一度は目を通すこと。

Office Hour: 小崎健一 准教授 随時 ken-1.cgen@mri.tmd.ac.jp

連絡先

t.shinomura.trg@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水・金 16:00 - 18:00 M&D タワー7階(北側) 結合組織再生学分野

時間割番号	021039				
科目名	細胞機能の分子的基盤				
担当教員	横山 三紀				
開講時期	後期	対象年次	2		
モジュール名: 生命の分子的基盤 コマ数: 21+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 03					
授業の目的、概要等 生命現象を理解するために生体膜の構造と機能に関連づける。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 生体膜の基本構造を説明できる。 2) 生体分子(低分子)が膜を横切って移動する仕組みを説明できる。 3) タンパク質が細胞内の異なったコンパートメントに局在化・移動する仕組みを説明できる。 4) 細胞骨格の構造と役割を説明できる。 5) 細胞外マトリックスの構造と役割を説明できる。 6) 細胞内情報伝達経路の仕組みを説明できる。 7) 細胞周期、細胞分裂、細胞死の仕組みを説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	11/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	生体膜の基本構造	横山 三紀
4-6	12/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	低分子の膜輸送	横山 三紀
7-9	12/12	09:00-11:50	歯学科第1講義室	細胞内輸送	横山 三紀
10-12	1/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞骨格と細胞運動	横山 三紀
13-15	1/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞外マトリックス	篠村 多摩之
16-18	1/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞内情報伝達	横山 三紀
19-21	1/30	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞周期・細胞死	横山 三紀
22	2/27	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	横山 三紀
成績評価の方法 ・小テストを行い、形成的評価を行う。 ・平成 27 年 2 月 27 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示 前回の講義内容を復習して、次回講義の冒頭でおこなうミニテストに臨むようにする。					
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
教科書 生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著], 清水孝雄, 工藤一郎 訳: 東京化学同人, 2007					
連絡先 myokoyama.bch@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月-金 16:00 ~ 18:00					

時間割番号	021040					
科目名	疾患の分子的基盤					
担当教員	森田 育男					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:24+1 授業形態:講義 ユニット番号:04						
授業の目的、概要等 生体の恒常性維持のしくみを理解し、その破綻に伴う各種疾患の発症機序を分子レベルで理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) ホルモンの役割と、その異常により発症する病態を説明できる。 2) ホルモンをはじめとする生理活性物質の作用機序を説明できる。 3) オータコイド、サイトカインやケモカインの役割とその作用機序を説明できる。 4) 歯・骨に関連したミネラルの代謝について説明できる。 5) 細胞機能の異常により発症する病態を説明できる。 6) メタボリックシンドロームの病態と発症機序を説明できる 7) 幹細胞および再生医療について説明できる。 8) 発がんの仕組みとがん細胞の性質を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	2/6	09:00-11:50	歯学科第1講義室	ホルモン(1)	森田 育男	森田育男:講義:SBOs1、1~3 時限目連続の3コマの授業
4-6	2/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	ホルモン(2)	森田 育男	森田育男:講義:SBOs2、1~3 時限目連続の3コマの授業
7-9	2/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	オータコイド、サイトカイン、ケモカイン	中島 友紀	中島友紀:講義:SBOs3、4~6 時限目連続の3コマの授業
10-12	2/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	ミネラルの代謝	竹内 靖博	竹内靖博:講義:SBOs4、4~6 時限目連続の3コマの授業
13-15	2/19	09:00-11:50	歯学科第1講義室	先天性代謝疾患	森尾 友宏	森尾友宏:講義:SBOs5、1~3 時限目連続の3コマの授業
16-18	2/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	メタボリックシンドローム	小川 佳宏	小川佳宏:講義:SBOs6、4~6 時限目連続の3コマの授業
19-21	2/20	09:00-11:50	歯学科第1講義室	再生医療	森田 育男、 鹿川 哲史	森田育男:講義:SBOs7、1~3 時限目連続の3コマの授業
22-24	2/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	発がんの仕組み	池田 正明	池田正明:講義:SBOs8、4~6 時限目連続の3コマの授業
25	2/27	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	森田 育男	森田育男:試験:SBOs1-7、3時 限目のみ1コマの授業
成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成27年2月27日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 積極的に授業に参加するため、講義が予定されている授業題目に関して予習を行ってから授業に臨む事。						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

連絡先

morita.cell@tmd.ac.jp・・・ あらかじめメール連絡を

オフィスアワー

随時

時間割番号	021041					
科目名	生命の分子的基盤実習					
担当教員	森田 育男					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:18+0 授業形態:実習 ユニット番号:05						
授業の目的、概要等 生命を構成する主要な分子(タンパク質、核酸)の性質について実習を通して知る。						
授業の到達目標(SBOs) 1) タンパク質の代表としての酵素の機能を知る。 2) 核酸の性質を知り、核酸の抽出方法を知る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	2/4	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアンナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之	篠原正浩、桑井康宏、 穂山雅子、信久幾夫: 実習: SBOs1、4~6時限 目連続の3コマの授業
4-6	2/5	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアンナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之	篠原正浩、桑井康宏、 穂山雅子、信久幾夫: 実習: SBOs1、4~6時限 目連続の3コマの授業
7-9	2/6	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアンナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之	篠原正浩、桑井康宏、 穂山雅子、信久幾夫: 実習: SBOs1、4~6時限 目連続の3コマの授業
10-12	2/10	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアンナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之	篠原正浩、桑井康宏、 穂山雅子、信久幾夫: 実習: SBOs1、4~6時限 目連続の3コマの授業
13-15	2/12	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアンナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之	篠原正浩、桑井康宏、 穂山雅子、信久幾夫: 実習: SBOs1、4~6時限 目連続の3コマの授業
16-18	2/13	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアンナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之	篠原正浩、桑井康宏、 穂山雅子、信久幾夫: 実習: SBOs1、4~6時限 目連続の3コマの授業
成績評価の方法						
・レポート作成						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

連絡先

morita.cell@tmd.ac.jp・・・ あらかじめメール連絡を

オフィスアワー

随時

時間割番号	021049					
科目名	臨床歯学イントロダクション					
担当教員	若林 則幸, 青木 和広, 鶴田 潤					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
<p>モジュール: 臨床歯学イントロダクション 英語科目名: Introduction to Clinical Dentistry モジュールコマ数: 46 ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数): 46 授業形態: 講義, グループ学習 モジュール番号: 06 ユニット番号: 01</p>						
授業の目的、概要等						
<p>主要な歯科疾患とそれに対する治療方法の特徴, および治療の流れを理解する。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 臨床歯学の主要専門用語の理解/表記/発音ができる。 2) 患者中心の医療とインフォームドコンセントについて説明できる。 3) 患者の要望や懸念, 社会的背景を認識することができる。 4) 歯科臨床科目の対象とする疾病の特徴を説明できる。 5) 歯科臨床科目の治療の特徴を説明できる。 6) 各歯科臨床科目のつながりと治療の流れを説明できる。 7) 臨床上の疑問を定義でき, 治療のエビデンスを認識できる。 8) 患者の全身状態と歯科診療との関連の強さを知る。 9) 歯科臨床におけるチーム医療の重要性を知る。 10) 医療の質と医療アクセスに関する知識を身につける。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/7	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	若林 則幸	講義SBOs 1-10
4-6	4/7	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	佐藤 佑介, 竹内 周平	講義SBOs 1-10
7-9	4/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	岡田 大蔵	講義SBOs 1-10
10-12	4/8	12:50-15:40	補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	若林 則幸	講義SBOs 1-10
13-15	4/9	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	島田 康史	講義SBOs 1-10
16-17	4/10	12:50-14:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	和達 礼子	講義SBOs 1-10
18-20	4/11	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	新田 浩, 須田 智也	講義SBOs 1-10
21-23	4/11	12:50-15:40	補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	島田 康史, 若林 則幸	講義SBOs 1-10
24-26	4/14	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	佐藤 豊	講義SBOs 1-10
27-29	4/14	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	島本 裕彰	講義SBOs 1-10
30-32	4/15	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	小長谷 光	講義SBOs 1-10
33-35	4/15	12:50-15:40	補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	鶴澤 成一, 若林 則幸	講義SBOs 1-10
36-38	4/16	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	鈴木 聖一	講義SBOs 1-10
39-40	4/17	12:50-14:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	宮新 美智世	講義SBOs 1-10
41-43	4/18	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	松本 芳郎	講義SBOs 1-10
44-46	4/18	12:50-15:40	補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	松本 芳郎, 若林 則幸	講義SBOs 1-10
成績評価の方法						
<p>・ユニットの合格判定には, グループ学習の成績(個人テストおよびグループテスト)を基にして, 出席日数及び平常学習態度等が評価に 加味される。</p>						
準備学習などについての具体的な指示						
<p>事前学習として必要な資料, 課題, ビデオなどは, 授業3日前までにWeb Class上に掲示するので, 必ず閲覧し, 指示に従うこと。</p>						

<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット終了時の筆記試験は行わないが、合格には3分の2以上の授業の出席を必要とする。 ・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>構成ユニット</p> <p>01 臨床歯学イントロダクション</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、含まれるユニットに合格していなければならない。ユニットの合格判定には、グループ学習の成績を基に出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される。</p>
<p>教科書</p> <p>患者の診かたと歯科診療／黒崎紀正 [ほか]編：医歯薬出版，2001</p>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年学生を、ユニット責任者が決めた8つのグループに分け、同一のグループ編成で全てのグループ学習を行う。 ・グループ学習は個人テスト、グループごとの討論、グループテスト、アピールと総合討論、教員からのフィードバックから構成される TBL (チーム基盤型学習)により行われ、それぞれのテストの標点が成績に反映される。
<p>参照ホームページ</p> <p>http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html</p>
<p>連絡先</p> <p>若林 則幸: wakabayashi.rpyo@tmd.ac.jp 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>若林 則幸: 随時(メールにて面談の日程を調整すること) 青木 和広: 火 16:00-18:00</p>

時間割番号	021050				
科目名	感染と生体防御				
担当教員	東 みゆき, 中川 一路				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	4
コマ数: 89+6 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 07					
授業の目的、概要等					
感染症の原因となる病原生物の性状および作用を学ぶとともに、生体防御機構を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各モジュールを参考にすること					
成績評価の方法					
ユニット毎に評価が変わるため、各ユニットに記載されている内容を確認すること					
準備学習などについての具体的な指示					
授業の範囲をシラバスに記載しているため、当該授業の前に、相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。					
試験の受験資格					
履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない					
構成ユニット					
01 感染と免疫概論					
02 病原性細菌と感染症					
03 病原性ウイルスと感染症					
04 バイオインフォマティクス概論					
05 生体免疫応答					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席が単位取得に必要である。 また、各ユニットにおける再試験は1回のみしか行わない。					
履修上の注意事項					
本モジュールでは、全ユニットを合格してモジュールを合格とする。そのため、1ユニットでも合格とならなかった場合は、モジュールとして不合格となるので、注意すること。					
連絡先					
東 みゆき: miyuki.mim@tmd.ac.jp					
中川 一路: ichiro-n.bac@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
東 みゆき: 月～金 PM.16:00-PM.18:00 M&D タワー6階南 教員・教授室					
中川 一路: 月～金 16:00～18:00					

時間割番号	021051					
科目名	感染と免疫概論					
担当教員	中川 一路					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 14+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 感染と生体防御の基礎的機構を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 感染症と人類の歴史について概説できる。 2) 微生物学の歴史を概説できる。 3) 滅菌と消毒の意義と代表的な方法について原理を説明できる。 4) 微生物の多様性について説明できる。 5) 免疫学の歴史を概説できる微生物の多様性について説明できる。 6) 微生物の生理代謝について説明できる。 7) 細菌の構造について説明できる。 8) 環境中の微生物分布や病原性微生物の侵入経路について説明できる。 9) 人と微生物の共生について説明できる。 10) リンパ球循環について説明できる。 11) サイトカイン・ケモカインについて説明できる。 12) 血液の構成成分を列挙できる。 13) 血液・免疫系細胞の分化について説明できる。 14) 免疫担当細胞の種類が列挙でき、その機能が説明できる。 15) 抗原受容体の多様性獲得のしくみが説明できる。 16) Bリンパ球の分化と機能について説明できる。 17) 抗体の役割について説明できる。 18) 化学療法と耐性獲得の仕組みについて説明できる。 19) Tリンパ球の分化と抗原認識について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/21	09:00-09:50	歯学科第2講義室	感染症と微生物学の歴史	中川 一路	SBOs: 1,2,3
2	4/21	10:00-10:50	歯学科第2講義室	微生物の多様性と分類	中川 一路	SBOs: 4
3	4/21	11:00-11:50	歯学科第2講義室	免疫システム概論	東 みゆき	SBOs: 1,5
4	4/23	12:50-13:40	歯学科第2講義室	環境と微生物(1)	丸山 史人	SBOs: 6
5	4/23	13:50-14:40	歯学科第2講義室	環境と微生物(2)	丸山 史人	SBOs: 7
6	4/23	14:50-15:40	歯学科第2講義室	微生物の構造	丸山 史人	SBOs: 8
7	4/25	09:00-09:50	歯学科第2講義室	微生物の病原因子	中川 一路	SBOs: 9
8	4/25	10:00-10:50	歯学科第2講義室	リンパ組織とリンパ球循環	東 みゆき	SBOs: 10,11
9	4/25	11:00-11:50	歯学科第2講義室	免疫担当細胞	東 みゆき	SBOs: 12,13,14
10	4/28	09:00-09:50	歯学科第1講義室	Bリンパ球の分化と抗原受容体の多様性の獲得	烏山 一	SBOs: 15,16
11	4/28	10:00-10:50	歯学科第1講義室	抗体の役割	烏山 一	SBOs: 16,17
12	4/28	11:00-11:50	歯学科第1講義室	化学療法と薬剤耐性	中川 一路	SBOs: 18
13	4/30	12:50-13:40	歯学科第2講義室	Tリンパ球の分化と選択	東 みゆき	SBOs: 15,19
14	4/30	13:50-14:40	歯学科第2講義室	バイオセーフティーの概念: 滅菌と消毒	中川 一路	SBOs: 3,18

15	5/12	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット1試験	中川 一路, 東 みゆき, 丸山 史人	SBOs: 1-19
成績評価の方法 ・小テスト(4回)により形成的評価を行う。 ・小テスト(30%)および平成26年5月12日に筆記試験(70%)を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。						
試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。						
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席が単位取得に必要である。						
連絡先 ichiro-n.bac@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 月—金 16:00 ~ 18:00						

時間割番号	021052					
科目名	病原性細菌と感染症					
担当教員	中川 一路					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 19+2 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 感染予防と治療の基礎を、微生物の特性に着眼して理解するとともに、その方法と限界について知る。 到達目標(SBOs):						
授業の到達目標(SBOs) 1) 細菌の生活環について説明できる。 2) 細菌の代謝経路の特徴と呼吸について説明できる。 3) 細菌の遺伝発現の制御機構について説明できる。 4) 細菌の遺伝子伝播の特徴とその機構と病原性との関わりについて説明できる。 5) 細菌の病原性について説明できる。 6) 細菌の感染・発症にかかわる病原体側の因子、宿主側の因子、感染経路を説明できる。 7) グラム陽性球菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 8) グラム陽性桿菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 9) グラム陰性球菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 10) グラム陰性桿菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 11) 真菌感染症について説明できる。 12) 口腔フローラの成立過程を説明できる。 13) 歯垢の成立過程を理解し、バイオフィルムとしての歯垢を説明できる。 14) う蝕および歯周疾患に関与する細菌についてその発症過程と病原性因子を説明できる。 15) 口腔細菌により起こる全身疾患について説明できる。 16) 細菌の分離培養とその細菌の鑑別ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/30	14:50-15:40	歯学科第2講義室	細菌のライフサイクルと遺伝	丸山 史人	SBOs: 1
2	5/2	09:00-09:50	歯学科第1講義室	細菌の代謝と呼吸	丸山 史人	SBOs: 2
3	5/2	10:00-10:50	歯学科第1講義室	細菌の遺伝子発現の制御	丸山 史人	SBOs: 3
4	5/2	11:00-11:50	歯学科第1講義室	プラスミド	丸山 史人	SBOs: 4
5	5/7	12:50-13:40	歯学科第2講義室	トランスポゾン	丸山 史人	SBOs: 4
6	5/7	13:50-14:40	歯学科第2講義室	バクテリオファージ	丸山 史人	SBOs: 4
7	5/7	14:50-15:40	歯学科第2講義室	細菌の病原性	中川 一路	SBOs: 5
8	5/9	12:50-13:40	歯学科第2講義室	細菌感染と感染の経路	中川 一路	SBOs: 6
9	5/9	13:50-14:40	歯学科第2講義室	グラム陽性菌と疾患とその感染症(1)	中川 一路	SBOs: 7
10	5/9	14:50-15:40	歯学科第2講義室	グラム陽性菌と疾患とその感染症(2)	中川 一路	SBOs: 7
11	5/12	10:00-10:50	歯学科第2講義室	グラム陽性菌と疾患とその感染症(3)	中川 一路	SBOs: 7,8
12	5/12	11:00-11:50	歯学科第2講義室	グラム陰性菌と疾患とその感染症(1)	中川 一路	SBOs: 9
13	5/14	12:50-13:40	歯学科第2講義室	グラム陰性菌と疾患とその感染症(2)	中川 一路	SBOs: 9,10
14	5/14	13:50-14:40	歯学科第2講義室	グラム陰性菌と疾患とその感染症(3)	中川 一路	SBOs: 9,10
15	5/14	14:50-15:40	歯学科第2講義室	真菌のライフスタイルと真菌感染症	中川 一路	SBOs: 11
16	5/16	12:50-13:40	歯学科第1講義室	ユニット 2-1 試験	中川 一路, 丸山 史人	SBOs: 1-6
17	5/16	13:50-14:40	歯学科第1講義室	口腔内フローラとバイオフィルム	中川 一路	SBOs: 12,13,14

18	5/16	14:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔内グラム陽性菌とその感染症	中川 一路	SBOs: 12,13,14
19	5/19	09:00-09:50	歯学科第2講義室	口腔内グラム陰性菌とその感染症	中川 一路	SBOs: 12,13,14
20	5/19	10:00-10:50	歯学科第2講義室	口腔内真菌感染症・実習の説明	中川 一路	SBOs: 1-16
21	5/26	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット2-2 試験	中川 一路	SBOs: 7-14

成績評価の方法

・レポート(20%) および平成 26 年 5 月 16 日および 26 日の2回にわけて筆記試験(80%)を行い、総合的評価を行う。この2回の試験はそれぞれ 60%以上の得点が必要

準備学習などについての具体的な指示

当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席が単位取得に必要である。

履修上の注意事項

本ユニットでは、試験が2回あり、それぞれで合格点に達する必要がある。

連絡先

ichiro-n.bac@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月—金 16:00 ~ 18:00

時間割番号	021053					
科目名	病原性ウイルスと感染症					
担当教員	中川 一路					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 16+1 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 ウイルスの構造と性状を学び、ウイルス感染症の病態を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) ウイルスの形態、構造および分類について説明できる。 2) ウイルスの増殖および感染の概略を説明できる。 3) DNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる。 4) RNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる。 5) レトロウイルス(HIV, HTLV-I)とその感染症および予防法について説明できる。 6) 肝炎ウイルスとその感染症と予防法について説明できる。 7) ウイルス感染の予防と治療の基礎を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/19	11:00-11:50	歯学科第2講義室	ウイルスのライフスタイル	中川 一路	SBOs: 1
2-4	5/21	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	中川 一路, 丸山 史人, 野澤 孝志	SBOs: 1-16
5	5/23	12:50-13:40	歯学科第1講義室	ウイルスの形態と構造	中川 一路	SBOs: 2
6	5/23	13:50-14:40	歯学科第1講義室	DNA ウイルスとその感染症(1)	中川 一路	SBOs: 3
7	5/23	14:50-15:40	歯学科第1講義室	DNA ウイルスとその感染症(2)	中川 一路	SBOs: 3
8	5/26	10:00-10:50	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(3)	中川 一路	SBOs: 3,5
9	5/26	11:00-11:50	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(1)	中川 一路	SBOs: 4,5
10-12	5/28	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	中川 一路, 丸山 史人, 野澤 孝志	SBOs: 1-16
13	5/30	12:50-13:40	歯学科第1講義室	RNA ウイルスとその感染症(2)	中川 一路	SBOs: 4,5
14	5/30	13:50-14:40	歯学科第1講義室	RNA ウイルスとその感染症(3)	中川 一路	SBOs: 4,5,7
15	5/30	14:50-15:40	歯学科第1講義室	ウイルス疾患に対する感染制御	中川 一路	SBOs: 3,8
16	6/2	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ワクチンによるウイルス疾患の防御	中川 一路	SBOs: 3,8
17	6/9	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット3試験	中川 一路	SBOs: 1-8
成績評価の方法 ・実習レポート(20%)および平成 26 年 6 月 9 日に筆記試験(80%)を行い、総合的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。						
試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席総数の 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。						
連絡先 ichiro-n.bac@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 月—金 16:00 ~ 18:00						

時間割番号	021054					
科目名	バイオインフォマティクス概論					
担当教員	丸山 史人					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 16+1 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 04						
授業の目的、概要等 生物学の理解に不可欠な遺伝子情報を効率的に扱うための情報処理技術であるバイオインフォマティクスについて理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1. バイオインフォマティクスとは何かを理解する。 2. DNA 塩基配列情報を解析するための基礎となる情動的な処理方法を説明できる。 3. アミノ酸配列情報を解析するための基礎となる情動的な処理方法を説明できる。 4. 多量の情報を処理するための基本的な方法を説明できる。 5. ゲノム配列決定を行うための基本的な方法を説明できる。 6. 塩基配列を多量に解析するための基本的な技術について説明できる。 7. 得られた配列情報から生物学的な意味を引き出す基本的な記述について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/2	10:00-10:50	歯学科第2講義室	バイオインフォマティクス概論	丸山 史人	SBOs: 1
2	6/2	11:00-11:50	歯学科第2講義室	塩基配列・ゲノム配列決定の技術	丸山 史人	SBOs: 2
3-5	6/4	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	中川 一路 丸山 史人 野澤 孝志	SBOs: 1-16
6	6/9	10:00-10:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(1)	丸山 史人	SBOs: 2,3
7	6/9	11:00-11:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(2)	丸山 史人	SBOs: 3,4
8-10	6/11	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	中川 一路 丸山 史人 野澤 孝志	SBOs: 1-16
11	6/16	09:00-09:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(3)	野澤 孝志	SBOs: 4,5
12	6/16	10:00-10:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(4)	野澤 孝志	SBOs: 5,6
13	6/16	11:00-11:50	歯学科第2講義室	バイオインフォマティクスの応用	野澤 孝志	SBOs: 6,7
14-16	6/18	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	中川 一路 丸山 史人 野澤 孝志	SBOs: 1-16
17	6/23	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット4試験	丸山 史人 野澤 孝志	SBOs: 1-8
成績評価の方法 ・実習レポート(20%)および平成 26 年 6 月 23 日に筆記試験(80%)を行い、総合的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。						
試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席総数の3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。						
連絡先 fumito-m.bac@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 月—金 16:00 ~ 18:00						

時間割番号	021055					
科目名	生体免疫応答					
担当教員	東 みゆき					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 21+1 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 05						
主な講義場所 第2講義室						
授業の目的、概要等 病原生物や様々な刺激に対して生体の免疫系がどのように応答するか、また免疫系により引き起こされる疾患を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 抗原提示細胞について説明できる。 2) Tリンパ球の機能と特徴を説明できる。 3) 抗原特異的な免疫応答の成立を説明できる。 4) 免疫寛容を説明できる。 5) 細胞性免疫と液性免疫が説明できる。 6) 免疫関連疾患とその発症機序を説明できる。 7) 移植片拒絶について説明できる。 8) アレルギーの分類とその内容が説明できる。 9) 粘膜免疫の特徴について説明できる。 10) 自然免疫と適応免疫が説明できる。 11) 細菌・ウイルスに対する免疫応答が説明できる。 12) 自己免疫疾患について説明できる。 13) 免疫不全について説明できる。 14) 癌に対する免疫応答について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/23	1000-1050	歯学科第2講義室	抗原提示細胞と MHC	東 みゆき	SBOs: 1,2
2	6/23	1100-1150	歯学科第2講義室	Tリンパ球のエフェクター機能	東 みゆき	SBOs: 2,3
3	6/25	1250-1340	歯学科第2講義室	免疫寛容	東 みゆき	SBOs: 3,4
4	6/25	1350-1440	歯学科第2講義室	細胞性免疫と液性免疫	東 みゆき	SBOs: 3,5,6
5	6/25	1450-1540	歯学科第2講義室	移植免疫	東 みゆき	SBOs: 1,3,5,7
6-8	7/3	1250-1540	歯学部基礎実習室	実習	東 みゆき, 永井 重徳, 大野 建州	SBOs: 5,6,8; 齊藤潔、 塗谷達、櫻井仁享、 上條達央、伊東大典、 朴今花
9	7/7	0900-1020	歯学科第2講義室	アレルギー	横関 博雄	SBOs: 6,8
10	7/7	1030-1150	歯学科第2講義室	粘膜免疫	清野 宏	SBOs: 6,8
11	7/8	1250-1340	歯学科第2講義室	感染免疫(1) 先天免疫	東 みゆき	SBOs: 6,10,11
12	7/8	1350-1440	歯学科第2講義室	感染免疫(2) 適応免疫	東 みゆき	SBOs: 5,6,10,11
13	7/8	1450-1540	歯学科第2講義室	感染免疫(3) ワクチン	東 みゆき	SBOs: 6,10,11
14-16	7/9	1250-1540	歯学部基礎実習室	実習	大野 建州, 永井 重徳, 東 みゆき	SBOs: 5,6,8

17-19	7/14	09:00-11:50	歯学部基礎実習室 M&D タワー4 階図書館 情報検索室	実習	大野 建州, 永井 重徳, 東 みゆき	SBOs: 5,6,9:
20	7/16	12:50-14:10	歯学科第2 講義室	自己免疫	東 みゆき	SBOs: 6,12,13
21	7/16	14:20-15:40	歯学部基礎実習室	腫瘍免疫	神奈木 真理	SBOs: 6,13,14
22	7/22	09:00-09:50	歯学部基礎実習室	ユニット5 試験	東 みゆき, 永井 重徳, 大野 建州	SBOs: 1-14

成績評価の方法

- ・小テスト (4 回) により形成的評価を行う。
- ・小テスト (20%)、レポート (20%) および平成 26 年 7 月 22 日に筆記試験 (60%) を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

ユニット5開始前に、ユニット1で学習したことを復習しておくこと。また、講義2、3コマ終了ごとに、学習確認のための小テストを実施する。講義資料およびプリントは、事前に Web システムにアップロードされる。

試験の受験資格

- ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

連絡先

miyuki.mim@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 16:00-18:00 M&D タワー6 階南 教員・教授室

時間割番号	021056				
科目名	臨床予備実習				
担当教員	新田 浩				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	3
コマ数:72 授業形態:講義・実習・SGD・発表 モジュール番号:08					
授業の目的、概要等					
将来の歯科医師としての自覚を高めるために、歯科臨床の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。 2) 患者さんを安全に誘導する。 3) 患者さんの問題点に配慮する。 4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。 5) 各診療室で基本的な診療補助をする。 6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。 7) 安全に配慮した行動をする。 8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。 9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。 10) 歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。					
成績評価の方法					
1) 毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価) 2) 毎回の実習記録(形成的評価) 3) レポート(形成的評価)					
準備学習などについての具体的な指示					
ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。 ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。					
構成ユニット					
01 各診療科における診療の補助Ⅰ 02 各診療科における診療の補助Ⅱ					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
履修上の注意事項					
・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
備考					
※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。 欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。					

連絡先

nitta.behd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木 16:00- 17:00 歯科棟南4階歯科臨床研修センター

時間割番号	021057					
科目名	各診療科における診療の補助I					
担当教員	新田 浩					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名:臨床予備実習 コマ数:36+0 授業形態:講義・実習 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等 将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。 2) 患者さんを安全に誘導する。 3) 患者さんの問題点に配慮する。 4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。 5) 各診療室で基本的な診療補助をする。 6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。 7) 安全に配慮した行動をする。 8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。 9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。 10) 歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	ガイダンス	新田 浩, 俣木 志朗	講義:SBOs 1-10
4-6	4/16	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I・相互実習	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
7-9	4/23	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I・相互実習	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
10-12	4/30	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
13-15	5/7	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
16-18	5/14	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
19-21	5/21	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
22-24	5/28	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
25-27	6/4	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
28-30	6/11	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
31-33	6/18	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
34-36	6/25	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助I	新田 浩, 俣木 志朗	実習:SBOs 1-10
成績評価の方法 1) 毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価) 2) 毎回の実習記録(形成的評価)						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 ・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 統括責任者は歯科医療行動科学分野の新田 浩准教授が担当する。

連絡先

nitta.behd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木 16:00- 17:00 歯科棟南4階歯科臨床研修センター

時間割番号	021058					
科目名	各診療科における診療の補助Ⅱ					
担当教員	新田 浩					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:臨床予備実習 コマ数:36+0 授業形態:実習・SGD・発表 ユニット番号:02						
授業の目的、概要等 将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。 2) 患者さんを安全に誘導する。 3) 患者さんの問題点に配慮する。 4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。 5) 各診療室で基本的な診療補助をする。 6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。 7) 安全に配慮した行動をする。 8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。 9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。 10) 歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/3	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	講義: SBOs 1-10
4-6	10/10	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
10-12	10/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
13-15	10/31	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
16-18	11/7	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
19-21	11/14	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
22-24	11/21	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
25-27	11/28	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
28-30	12/5	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
31-33	12/12	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
34-36	12/19	09:00-11:50	歯学部演習室 演習室 1-11	各診療科における診療補助Ⅱ(SGD・発表)	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
37-39	1/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ(予備日)	新田 浩, 俣木 志朗	実習: SBOs 1-10
成績評価の方法 1) 毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価) 2) 毎回の実習記録(形成的評価) 3) SGD 後の課題(レポート)(形成的評価)						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 ・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出しなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 統括責任者は歯科医療行動科学分野の新田 浩准教授が担当する。

連絡先

nitta.behd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木 16:00- 17:00 歯科棟南 4 階歯科臨床研修センター

時間割番号	021059				
科目名	病理				
担当教員	山口 朗, 坂本 啓				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	4
コマ数: 88+6 授業形態講義・実習 モジュール番号: 9					
授業の目的、概要等					
疾病の原因、病態に関する基本的知識を体系的に修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 病理学総論					
02 口腔病理学					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
山口 朗: akira.mpa@tmd.ac.jp					
坂本 啓: s-kei.mpa@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
山口 朗: 水 16:30~18:00					
坂本 啓: 水 16:30-18:00					

時間割番号	021060					
科目名	病理学総論					
担当教員	山口 朗, 坂本 啓, 出雲 俊之, 栢森 高					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 病理 コマ数: 50+3 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 近代医学発展の根幹をなし、基礎医学と臨床医学の架け橋である病理学の重要性を認識し、病因論と病態生理を正しく理解し、臨床医学を科学的に理解する能力を体得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 疾病の原因となる変化が遺伝子、タンパク、細胞、組織、器官、器官系、個体の各レベルにあり、相互に密接に関連していることを説明できる。 2) 遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。 3) 変性を含む細胞傷害と組織傷害について説明できる 4) 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 5) アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 6) 萎縮と仮性肥大を説明できる。 7) 修復と再生について説明できる。 8) 化生を説明できる。 9) 創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 10) 器質化を説明できる。 11) 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 12) 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 13) 血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 14) 塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 15) 梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 16) 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 17) ショックの成因と種類を説明できる。 18) 炎症の定義と発症機序を説明できる。 19) 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 20) 滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 21) 肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。 22) 腫瘍の定義を説明できる。 23) 腫瘍の病因を説明できる。 24) 異形成を説明できる。 25) 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 26) 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 27) 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/21	12:50-13:40	歯学科第2講義室	病理学序論	山口 朗, 木下 淳博	講義SBOs 1
2-3	4/21	13:50-15:40	歯学科第2講義室	染色体・遺伝子および発生の異常	飯村 忠浩, 木下 淳博	講義SBOs 2
4-6	4/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞傷害の機序とその修復	栢森 高, 木下 淳博	講義・実習:SBOs 3-10
7-9	4/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞傷害の機序とその修復	栢森 高	講義・実習:SBOs 3-10
10-12	5/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	代謝障害	栢森 高	講義・実習:SBOs 1-3
13-15	5/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	代謝障害、内分泌障害	栢森 高	講義・実習:SBOs 1-3

16-18	5/12	12:50-15:40	歯学科第1講義室	循環障害	坂本 啓	講義・実習:SBOs 1,11-17
19-21	5/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	循環障害	坂本 啓	講義・実習:SBOs 1,11-17
22-24	5/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	炎症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 18-21
25-27	5/23	09:00-11:50	歯学科第1講義室	炎症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 18-21
28-30	5/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	感染症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 1,20,21
31-32	5/29	12:50-14:40	歯学科第1講義室	感染症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 1,20,21
33-35	5/30	09:00-11:50	歯学科第1講義室	免疫異常	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 1
36-38	6/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	山口 朗	講義・実習:SBOs 22-27
39-40	6/5	12:50-14:40	歯学科第1講義室	腫瘍	山口 朗	講義:SBOs 22-27
41	6/6	09:00-09:50	歯学科第2講義室	腫瘍	山口 朗	講義:SBOs 22-27
42-44	6/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	山口 朗	講義・実習:SBOs 22-27
45-47	6/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	山口 朗	今村 健志講義・実習:SBOs 22-27
48-50	6/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	山口 朗	講義・実習:SBOs 22-27
51-53	6/23	12:50-15:40	歯学科第1講義室 歯学科第2講義室	病理学総論 (病理 ユニット1)試験	山口 朗	第2講義室も使用

成績評価の方法

平成 26 年 6 月 23 日にユニット試験(筆記および実習)を行う。提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習などについての具体的な指示

教科書を所持していることを前提として授業を行う。各自で教科書を熟読の上で授業に臨むこと。

試験の受験資格

ユニット試験の受験資格は、講義部分の授業コマ数合計の 3 分の 2 以上と、実習部分の授業コマ数合計の 4 分の 3 以上出席していなければならない。

受験資格を得られなかった学生はユニット 1 未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット 1 病理学総論

ユニット 2 口腔病理学

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

標準病理学／坂本穆彦, 北川昌伸, 仁木利郎 編: 医学書院, 2010

参考書

ロビンス基礎病理学／Vinay Kumar, Abul K.Abbas, Nelson Fausto, Richard N.Mitchell 原著, 豊國伸哉, 高橋雅英 監訳: エルゼビア・ジャパン, 2011

Robbins Basic Pathology: With STUDENT CONSULT Online Access, 8e (Robbins Pathology)／Vinay Kumar MBBS MD FRCPPath (著), Abul K. Abbas MBBS (著), Nelson Fausto MD (著), Richard Mitchell MD PhD (著): Saunders, 2012

履修上の注意事項

実習で病理組織標本のスケッチを行う。色鉛筆を使用するので各自持参のこと。

連絡先

山口 朗: akira.mpa@tmd.ac.jp

栢森 高: kayamori.mpa@tmd.ac.jp

出雲 俊之: izumo.dlab@tmd.ac.jp

坂本 啓: s-kei.mpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

山口 朗: 水 16:30 -18:00

栢森 高: 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

出雲 俊之: 水 16:30 - 18:00

坂本 啓: 水 16:30-18:00

時間割番号	021061					
科目名	口腔病理学					
担当教員	山口 朗, 坂本 啓, 出雲 俊之, 栢森 高					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 病理 コマ数: 38+3 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
口腔領域に生じる主な疾患の病因、病理発生、病理像について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯牙硬組織病変の臨床像と病理像について説明できる。 2) 歯髄炎の病理像について説明できる。 3) 歯周炎の病理像について説明できる。 4) 口腔領域の奇形について、その臨床像と病理像を説明できる。 5) 口腔粘膜病変の主なものについて、その病因と病理像を説明できる。 6) 顎骨、顎関節疾患の主なものについて、その病因と病理像を説明できる。 7) 唾液腺疾患の主なものについて、その病因と病理像を説明できる。 8) 全身疾患に伴う口腔病変について、その臨床像と病理像を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	6/30	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯牙の病理、う蝕、歯髄炎	木下 淳博	中西正一講義:SBOs 1,2
4	6/30	12:50-13:40	歯学科第1講義室	歯周炎	木下 淳博	中西正一講義:SBOs 3
5-6	6/30	13:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔領域の奇形	勝部 憲一, 木下 淳博	勝部憲一講義・実習:SBOs 4
7-12	7/2	09:00-15:40	歯学科第1講義室	口腔粘膜病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 5
13-15	7/4	12:50-15:40	歯学科第1講義室	顎骨の病変	勝部 憲一	勝部憲一講義・実習:SBOs 6
16-18	7/7	12:50-15:40	歯学科第1講義室	嚢胞	栢森 高	講義・実習:SBOs 6
19-21	7/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯原性腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6
22-24	7/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯原性腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6
25-27	7/14	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔粘膜上皮の腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 5
28-30	7/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔軟組織・顎骨の腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 5,6
31-33	7/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	唾液腺の非腫瘍性の病変	栢森 高	講義・実習:SBOs 7
34-36	7/22	10:00-13:40	歯学科第1講義室	唾液腺腫瘍	栢森 高	講義・実習:SBOs 7
37-38	7/22	13:50-15:40	歯学科第1講義室	全身性疾患に伴う口腔病変	山口 朗	講義・実習:SBOs 8
39-41	7/24	12:50-15:40	歯学科第1講義室 歯学科第2講義室	ユニット2 口腔病理学 試験	山口 朗	
成績評価の方法						
平成 26 年 7 月 24 日にユニット試験(筆記および実習)を行う。提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。						
準備学習などについての具体的な指示						
参考図書「口腔病理アトラス」の購入と学習への利用を薦める。						
試験の受験資格						
ユニット試験の受験資格は講義部分の授業コマ数合計の3分の2以上と、実習部分の授業コマ数合計の4分の3以上出席していなければならない。						
受験資格を得られなかった学生はユニット2未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
構成ユニット						
ユニット1 病理学総論						
ユニット2 口腔病理学						

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書

口腔病理アトラス／高木實 監修、山本浩嗣、坂井英隆、高田隆 編：文光堂、2006

履修上の注意事項

実習で病理組織標本のスケッチを行う。色鉛筆を使用するので各自持参のこと。

連絡先

山口 朗: akira.mpa@tmd.ac.jp

栢森 高: kayamori.mpa@tmd.ac.jp

出雲 俊之: izumo.dlab@tmd.ac.jp

坂本 啓: s-kei.mpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

山口 朗: 水 16:30-18:00

栢森 高: 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

出雲 俊之: 水 16:30 - 18:00

坂本 啓: 水 16:30-18:00

時間割番号	021068				
科目名	予防と健康管理				
担当教員	川口 陽子, 植野 正之				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	3
コマ数: 74+4 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 10					
授業の目的、概要等					
口腔疾患の予防と健康管理を行うために必要な基本的知識、技術、態度を身につけ、さらに我が国の歯科保健医療制度や歯科法医学に関する基本的知識を習得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各ユニットの到達目標を参照のこと					
成績評価の方法					
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと					
準備学習などについての具体的な指示					
各ユニットの指示を参照のこと					
試験の受験資格					
各ユニットの受験資格を参照のこと					
構成ユニット					
01 口腔疾患の予防 講義					
02 口腔疾患の予防 実習					
03 歯科医療と社会 講義					
04 歯科法医学 講義					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
教科書					
予防歯科実践ハンドブック					
連絡先					
川口 陽子: yoko.ohp@tmd.ac.jp					
植野 正之: ueno.ohp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
川口 陽子: 火・水 16:00-18:00					
植野 正之: 毎週月・火曜日 16:00-18:00 歯科棟北10階 健康推進歯学分野第2研究室					

時間割番号	021069					
科目名	口腔疾患の予防 I (講義)					
担当教員	川口 陽子					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 26 (24+2) (必要自習時間 10時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 日本の歯科保健・医療制度を説明できる。 2) 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。 3) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 4) 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。 5) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 6) 口腔疾患の第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 7) 口腔疾患のプロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 8) ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。 9) 主な口腔疾患の予防を説明できる。 10) 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。 11) 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。 12) 大災害時の歯科保健医療を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/22	09:00-11:50	歯学科第2講義室	総論、口腔疾患の第1,2,3次予防、母子保健、母子歯科保健	川口 陽子	講義: SBOs1,5,6,8-10
4-6	5/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室	学校保健、学校歯科保健、口臭・不正咬合等の予防	川口 陽子	講義: SBOs1,5,8-10
7-9	5/20	09:00-11:50	歯学科第2講義室	成人保健、成人歯科保健、産業歯科保健、大災害時の歯科保健医療、老人歯科保健、訪問歯科診療	川口 陽子	講義: SBOs1,5,8-10,12
10-12	5/27	09:00-11:50	歯学科第2講義室	口腔の不潔物、ブラークコントロール、リスクテスト、歯磨剤・洗口剤	植野 正之	講義: SBOs6-10
13-15	6/3	09:00-11:50	歯学科第2講義室	う蝕の予防	植野 正之	講義: SBOs6-10
16	6/10	09:00-09:50	歯学科第2講義室	企業における成人の歯周病対策	加藤 元	講義: SBOs6-10
17-18	6/10	10:00-11:50	歯学科第2講義室	歯周疾患の予防	植野 正之	講義: SBOs6-10
19-20	6/17	09:00-10:50	歯学科第2講義室	口腔疾患の疫学、日本と海外の歯科保健状況	植野 正之	講義: SBOs1-5,10,11
21	6/17	11:00-11:50	歯学科第2講義室	宇宙・南極における口腔健康管理	財津 崇	講義: SBOs1,5,8-10
22	6/24	09:00-09:50	歯学科第2講義室	口腔ケアと口腔機能	佐々木 忠勝	講義: SBOs1,5,8-10
23-24	6/24	10:00-11:50	歯学科第2講義室	地域保健の実践、保健医療福祉の連携	川口 陽子	講義: SBOs1,5,8-10
25-26	7/1	10:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	川口 陽子	
成績評価の方法						
・平成26年7月1日の筆記試験を総合的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
本ユニットで履修する内容の領域は、自然科学のみならず、社会科学、人文科学の分野を包含するものである。したがって、講義内容についての準備学習をすることはもちろんのこと、関連する社会学、政治学、経済学、心理学、行動科学、人間科学などについても幅広く学習することが望まれる。						

試験の受験資格

- ・3分の2以上の出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

- 01 口腔疾患の予防 講義
- 02 口腔疾患の予防 実習
- 03 歯科医療と社会 講義
- 04 歯科法医学 講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

新予防歯科学／米満正美, 小林清吾, 宮崎秀夫, 川口陽子, 鶴本明久 編: 医歯薬出版, 2010

予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編: 医歯薬出版, 2004

オーラルヘルスプロモーション : 21世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著, 川口陽子, 中村千賀子 監訳: 口腔保健協会, 1994

連絡先

yoko.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・水 16:00-18:00

時間割番号	021070					
科目名	口腔疾患の予防Ⅱ(実習)					
担当教員	植野 正之					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 24(24+0)(必要自習時間 10時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 日本の歯科保健・医療制度を説明できる。 2) 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。 3) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 4) 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。 5) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 6) 口腔疾患の第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 7) 口腔疾患のプロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 8) ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。 9) 主な口腔疾患の予防を説明できる。 10) 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。 11) 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。 12) 大災害時の歯科保健医療を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/22	12:50-15:40	歯学科第2講義室 歯学部演習室 基礎実習室	乳幼児の歯科保健指導	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子	実習: SBOs4-10;
4-6	5/13	12:50-15:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室	集団歯科健康診断／口臭検査, 唾液検査	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈, 森 智恵子	実習: SBOs4-10
7-9	5/20	12:50-15:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室	集団歯科健康診断／口臭検査, 唾液検査	川口 陽子, 植野 正之, 田村 道子, 南郷 里奈, 安川 由里子	実習: SBOs4-10
10-11	5/27	12:50-14:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室	フッ化物の応用／プラークコントロール, リスクテスト	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈	実習: SBOs4-10
12	5/27	14:50-15:40	歯学部演習室	疫学課題演習1(TBL: Team Based Learning)	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈	実習: SBOs1-5,11,12
13-14	6/3	12:50-14:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室	フッ化物の応用／プラークコントロール, リスクテスト	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈	実習: SBOs4-10
15	6/3	14:50-15:40	歯学部演習室	疫学課題演習2(TBL: Team Based Learning)	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈	実習: SBOs1-5,11,12
16-18	6/10	12:50-15:40	歯学科第2講義室, 歯学科第3講義室	疫学課題演習3 全体発表	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子	実習: SBOs1-5,11,12
19-21	6/17	12:50-15:40	歯学科第2講義室 歯学部演習室	栄養指導, 味覚検査／嗅覚検査	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子	実習: SBOs4-10

22-24	6/24	12:50-15:40	歯学科第2講義室 基礎実習室 歯学部演習室	歯科健康教育	川口 陽子, 植野 正之 半田 紀穂子	実習:SBOs4-10
成績評価の方法						
・ レポート(9割)および実習態度(1割)を総合的に評価とする。なお、実習を休んだ場合も課題レポートは提出すること。						
準備学習などについての具体的な指示						
口腔疾患の予防(講義)の内容を十分理解したうえで実習に臨むこと。						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
構成ユニット						
01: 口腔疾患の予防 講義						
02: 口腔疾患の予防 実習						
03: 歯科医療と社会 講義						
04: 歯科法医学 講義						
モジュールの単位判定						
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。						
教科書						
新予防歯科学／米満正美, 小林清吾, 宮崎秀夫, 川口陽子, 鶴本明久 編: 医歯薬出版, 2010						
予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編: 医歯薬出版, 2004						
オーラルヘルスプロモーション : 21世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著, 川口陽子, 中村千賀子 監訳: 口腔保健協会, 1994						
履修上の注意事項						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習書は、毎回必ず持参する。 2. 実習時間は延長することがある。実習 4, 5, 7~10 では、白衣を着用する。爪を清潔に保って、高いヒールの着用などは避ける。白衣を着用しない場合、実習への参加を認めない場合がある。 3. 班によって実施する内容、集合場所が異なる場合があるので、注意する。 4. 実習 4, 9 では、昼食後は、必ず口腔清掃を行ってくる。 5. 実習 5, 7, 8 では、昼食後は口腔清掃、飲食、喫煙はしない。また、歯ブラシ、組織実習用色鉛筆、実習 1 で配布されたミラーを持参する。 6. 実習 7 では、組織実習用色鉛筆・マーカー・のり・はさみを持参する。 7. 実習 8, 9 では、歯ブラシを持参する。 8. 実習 10 では 1 人 1 種類以上の飲み物を持参する。 9. 実習終了後は、提出用紙に必要事項を記入し、切り取って提出する。記入内容、提出方法については、毎回指示を出す。 10. 本実習では、全ての提出用紙ならびにレポートを提出していることが必須条件となる。実習を休んだ場合は、必ず担当者に連絡を取り、指示された課題を提出する。また、レポート内容によっては再提出を指示されることがある。その際は、指定された期限までに、新規にレポートを作成し、再提出を指示されたレポートとあわせて提出する。 						
連絡先						
ueno.ohp@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週月・火曜日 16:00-18:00 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野第 2 研究室						

時間割番号	021071					
科目名	歯科医療と社会					
担当教員	大原 里子					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 16(15+1) 授業形態: 講義 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等						
歯科医師法および関連法規、保健、医療、福祉、介護に関する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医師法および関連法規等を概説できる。 2) 保健・医療・福祉・介護に関連する社会制度を概説できる。 3) 保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、その必要性を説明できる。 4) 歯科医師需給、歯科医療関係者の資質向上等を説明できる。 5) 地域医療における歯科医師の役割を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	7/15	12:50-15:40	歯学科第2講義室	保健・医療・福祉・介護関連制度 および地域における連携	大原 里子	講義:SBOs2,3
4-6	7/25	12:50-15:40	歯学科第2講義室	地域医療における歯科医師の役 割、歯科医療関係者の資質向上	大原 里子	講義:SBOs4,5
7-9	7/29	12:50-15:40	歯学科第2講義室	医事法制1	宮原 勇治	講義:SBOs1
10-12	9/30	12:50-15:40	歯学科第2講義室	医事法制2	五十嵐 公	講義:SBOs1
13-15	10/7	12:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科医療の需要と供給	五十嵐 公	講義:SBOs4
16	10/14	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験	大原 里子	筆記試験
成績評価の方法						
・各講義での小テスト(3割)、および平成26年10月14日の筆記試験(7割)を総合的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
保健、医療、福祉、介護に関する課題や制度改正の方向性等について、日ごろから新聞、テレビ等の情報を積極的に得るようにすること。前回の講義内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと。						
試験の受験資格						
・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
スタンダード社会歯科学第5版／石井拓男他編:学建書院, 2014						
連絡先						
ohara.gend@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週火曜日 16:30-18:00 10号館 総合教育研究棟 2階 部屋番号 201 総合診療歯科学講師室						

時間割番号	021072					
科目名	歯科法医学					
担当教員	五十嵐 公					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 13(12+1) 授業形態: 講義 ユニット番号: 04						
授業の目的、概要等 歯科医師として必要な法医学の知識と、法医学的視点から問題解決できる能力を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科医師が担当する法医学の活動及び関連する法規を説明できる。 2) 我が国における死因究明の制度や根拠法について説明できる。 3) 法医学上の傷害の発生原因と病態並びに各種の死体所見について説明できる。 4) 個人識別の種類と原理について説明できる。 5) 歯科による個人識別の有用性や手法について説明できる。 6) 医療過誤に関連して歯科医師に科せられた社会的責任と罰則規定(行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖)の基本的事項、歯科医療事故の特性を説明できる。 7) 大規模災害時における歯科医師による身元確認に関する業務について理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/17	12:50-13:40	歯学科第2講義室	歯科法医学的活動と死因究明制度	佐藤 慶太	講義SBOs 1
2	9/17	13:50-14:40	歯学科第2講義室	死後変化の原理と特徴	佐藤 慶太	講義SBOs 3
3	9/17	14:50-15:40	歯学科第2講義室	損傷の鑑別1	佐藤 慶太	講義SBOs 1,3
4	9/26	12:50-13:40	歯学科第2講義室	損傷の鑑別2	佐藤 慶太	講義SBOs 1,3
5	9/26	13:50-14:40	歯学科第2講義室	窒息の種類と病態	佐藤 慶太	講義SBOs 3,6
6	9/26	14:50-15:40	歯学科第2講義室	異常環境下での生体障害	佐藤 慶太	講義SBOs 3
7	10/1	12:50-13:40	歯学科第2講義室	遺伝標識と個人識別	佐藤 慶太	講義SBOs 4
8	10/1	13:50-14:40	歯学科第2講義室	硬組織の特徴による個人識別	佐藤 慶太	講義SBOs 4
9	10/1	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科所見による個人識別	佐藤 慶太	講義実習SBOs 1,2,4,5
10	10/8	12:50-13:40	歯学科第2講義室	大規模災害における身元確認	佐藤 慶太	講義SBOs 1,2,5,7
11	10/8	13:50-14:40	歯学科第2講義室	虐待の発見と防止	佐藤 慶太	講義SBOs 1,3
12	10/8	14:50-15:40	歯学科第2講義室	医療事故と医事紛争	五十嵐 公	講義SBOs 1,6
13	10/15	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	五十嵐 公	
成績評価の方法 ・平成26年10月15日の筆答試験を総括的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示 講義内容を配布資料に基づいて十分に復習し、次の講義に備えること。						
試験の受験資格 ・全講義時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書 臨床のための法医学／澤口彰子、高木徹也、一杉正仁、大澤資樹、黒崎久仁彦、青木康博、澤口聡子、池田典昭、遠藤任彦、吉田武美、赤根敦、小室歳信、佐藤啓造 共著、朝倉書店、2010						
備考 佐藤慶太 sato-k@tsurumi-u.ac.jp						

連絡先

igarashi.hce@tmd.ac.jp

オフィスアワー

オフィスアワーは特に定めませんが、メール連絡の上、訪問すること。

時間割番号	021073				
科目名	生体と薬物				
担当教員	青木 和広				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	3
コマ数: 69+3 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 11					
授業の目的、概要等					
生体における薬物作用に関する知識と、歯科治療における薬物使用に関する基本的な知識を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。 					
構成ユニット					
01 薬理学概説(薬理Ⅰ)					
02 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)					
03 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)					
04 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
kazu.hpha@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
火 16:00-18:00					

時間割番号	021074					
科目名	薬理学概説(薬理1)					
担当教員	青木 和広					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名:生体と薬物 コマ数:12+1(必要自習時間12時間) 授業形態:講義 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
生体における薬物作用に関する基本的知識と、薬物を安全に使用するための基本的な考え方を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 薬理作用の種類を説明できる。 2) 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 3) 薬物の構造活性相関について説明できる。 4) 薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 5) 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 6) 薬理作用を規定する要因について説明できる。 7) 薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 8) 新薬の開発とその臨床応用について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/24	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬理学概論・作用様式	青木 和広	講義SBOs 1
2	4/24	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物受容体	青木 和広	講義SBOs 2
3	5/1	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬物の化学構造と薬理作用	青木 和広	講義SBOs 3
4	5/1	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の適応方法	青木 和広	講義SBOs 4
5	5/8	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬物の動態(吸収と分布、排泄、代謝)1	青木 和広	講義SBOs 5
6	5/8	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の動態(吸収と分布、排泄、代謝)2	青木 和広	講義SBOs 5
7	5/15	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬物の毒性と副作用	青木 和広	講義SBOs 7
8	5/15	13:50-14:40	歯学科第2講義室	新薬の開発と臨床応用	原澤 秀樹	講義SBOs 8
9	5/22	12:50-13:40	歯学科第2講義室	生物学的検定法、用量反応曲線	青木 和広	講義SBOs 7
10	5/22	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の反復投与・規定要因	青木 和広	講義SBOs 6
11	6/6	10:00-10:50	歯学科第2講義室	薬物の併用・相互作用	青木 和広	講義SBOs 6
12	6/6	11:00-11:50	歯学科第2講義室	小児・高齢者の薬用量	青木 和広	講義SBOs 6
13	7/29	09:00-09:50	情報検索室	試験	青木 和広, 原澤 秀樹	
成績評価の方法						
・各講義での小テスト(1割)と、平成26年7月29日におこなう筆答試験(9割)を総合的に評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に資料配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。						
試験の受験資格						
・3分の2以上出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編加藤有三, 篠田壽 監修:医歯薬出版, 2012 NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編:南江堂, 2011						

薬理書：薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／〔原編〕ギルマン／〔原編〕高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店，2013

薬理書：薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／〔原編〕ギルマン／〔原編〕高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店，2013

臨床歯科薬理学ビジュアル／川口充，岡部栄逸朗 編：学建書院，2006

コアリーダー歯科薬理学／大浦清 編大谷啓一 〔ほか〕執筆：学建書院，2002

病態生理に基づく臨床薬理学：ハーバード大学テキスト／デービッド E.ゴーラン，アーメン H.タジジアン 編清野裕 日本語版監修：メディカル・サイエンス・インターナショナル，2006

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他：Lippincott Williams & Wilkins，2011

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他：Lippincott Williams & Wilkins，2011

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。

歯学部 e-learning ホームページ：<http://lib02.tmd.ac.jp/>

連絡先

kazu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火 16:00-18:00

時間割番号	021075					
科目名	神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)					
担当教員	青木 和広					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 生体と薬物 コマ数: 18+1 (必要自習時間 18 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 中枢神経系および末梢神経系に作用する代表的な薬物と麻酔薬、鎮痛薬、抗炎症薬、免疫調節薬などを理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 中枢神経系に作用する薬物について説明できる。 2) 自律神経系に作用する薬物について説明できる 3) 運動神経系に作用する薬物について説明できる。 4) 全身麻酔薬、局所的麻酔薬について説明できる。 5) 抗炎症薬、鎮痛薬について説明できる。 6) 免疫系作用薬物の種類と作用について概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/12	12:50-13:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(麻薬性鎮痛薬)1	青木 和広	講義:SBOs 1
2	6/12	13:50-14:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(麻薬性鎮痛薬)2	青木 和広	講義:SBOs 1
3	6/19	12:50-13:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(抗不安薬、向精神薬) 1	田村 幸彦	講義:SBOs 1
4	6/19	13:50-14:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(抗不安薬、向精神薬) 2	田村 幸彦	講義:SBOs 1
5	6/26	12:50-13:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(パーキンソン病治療薬)	田村 幸彦	講義:SBOs 1
6	6/26	13:50-14:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(興奮薬、抗痙攣薬)	田村 幸彦	講義:SBOs 1
7	7/1	12:50-13:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(全身麻酔薬) 1	青木 和広	講義:SBOs 1、4
8	7/1	13:50-14:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(全身麻酔薬) 2	青木 和広	講義:SBOs 1、4
9	7/1	14:50-15:40	歯学科第2講義室	局所麻酔薬	青木 和広	講義:SBOs 4
10	7/8	09:00-09:50	歯学科第2講義室	自律神経系総論	青木 和広	講義:SBOs 2
11	7/8	10:00-10:50	歯学科第2講義室	自律神経系に作用する薬物(アドレナリン作動性、抗アドレナリン作動性薬) 1	青木 和広	講義:SBOs 2
12	7/8	11:00-11:50	歯学科第2講義室	自律神経系に作用する薬物(アドレナリン作動性、抗アドレナリン作動性薬) 2	青木 和広	講義:SBOs 2
13	7/15	09:00-09:50	歯学科第2講義室	自律神経系に作用する薬物(コリン作動性、抗コリン作動性薬) 1	青木 和広	講義:SBOs 2
14	7/15	10:00-10:50	歯学科第2講義室	自律神経系に作用する薬物(コリン作動性、抗コリン作動性薬) 2	青木 和広	講義:SBOs 2
15	7/15	11:00-11:50	歯学科第2講義室	運動神経系に作用する薬物	青木 和広	講義:SBOs 3
16	7/23	09:00-09:50	歯学科第2講義室	免疫調節薬、免疫療法薬	青木 和広	講義:SBOs 6
17	7/23	10:00-10:50	歯学科第2講義室	鎮痛薬、抗炎症薬1	森田 育男	講義:SBOs 5
18	7/23	11:00-11:50	歯学科第2講義室	鎮痛薬、抗炎症薬2	森田 育男	講義:SBOs 5
19	7/29	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	青木 和広、田村 幸彦、森田 育男	

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

- ・3 分の 2 以上の出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編加藤有三, 篠田壽 監修: 医歯薬出版, 2012

NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編: 南江堂, 2011

薬理書: 薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／[原編], ギルマン／[原編], 高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳: 廣川書店, 2013

薬理書: 薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／[原編], ギルマン／[原編], 高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳: 廣川書店, 2013

臨床歯科薬理学ビジュアル／川口充, 岡部栄逸朗 編: 学建書院, 2006

コアリーダー歯科薬理学／大浦清 編大谷啓一 [ほか]執筆: 学建書院, 2002

病態生理に基づく臨床薬理学: ハーバード大学テキスト／デービッド E. ゴーラン, アーメン H. タシジャン 編清野裕 日本語版監修: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他: Lippincott Williams & Wilkins, 2011

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他: Lippincott Williams & Wilkins, 2011

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。

歯学部 e-learning ホームページ: <http://lib02.tmd.ac.jp/>

連絡先

kazu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火 16:00-18:00

時間割番号	021076					
科目名	感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)					
担当教員	田村 幸彦					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名:生体と薬物 コマ数:21+1(必要自習時間21時間) 授業形態:講義 ユニット番号:03						
授業の目的、概要等						
代謝性骨疾患治療薬、消毒薬、感染症治療薬、悪性腫瘍治療薬、循環器系、呼吸器系、消化器系、血液に作用する代表的な薬物、重金属拮抗薬、内分泌系、口腔疾患への漢方薬物療法、唾液分泌に関連する薬物、歯科用薬物について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 代表的な代謝性骨疾患治療薬を説明できる。 2) 代表的な消毒薬について説明できる。 3) 代表的な感染症治療薬について説明できる。 4) 代表的な悪性腫瘍治療薬について説明できる。 5) 循環器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。 6) 呼吸器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。 7) 消化器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。 8) 血液に作用する薬物を説明できる。 9) 代表的な重金属拮抗薬を説明できる。 10) 内分泌系に作用する薬物を説明できる。 11) 口腔疾患への漢方薬物療法の概要を説明できる。 12) 唾液腺に作用する薬物について説明できる。 13) 代表的な歯科用薬物について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/19	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨組織と薬物1	二藤 彰	講義SBOs 1
2	9/19	13:50-14:40	歯学科第2講義室	歯科用薬物1	長谷川 望	講義SBOs 13
3	9/19	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科用薬物2	長谷川 望	講義SBOs 13
4	9/24	12:50-13:40	歯学科第2講義室	消化器系に作用する薬物	田村 幸彦	講義SBOs 7
5	9/24	13:50-14:40	歯学科第2講義室	感染症治療薬1	青木 和広	講義SBOs 3
6	9/24	14:50-15:40	歯学科第2講義室	感染症治療薬2	青木 和広	講義SBOs 3
7	9/29	09:00-09:50	歯学科第2講義室	感染症治療薬3	青木 和広	講義SBOs 3
8	9/29	10:00-10:50	歯学科第2講義室	悪性腫瘍治療薬1	田村 幸彦	講義SBOs 4
9	9/29	11:00-11:50	歯学科第2講義室	悪性腫瘍治療薬2	田村 幸彦	講義SBOs 4
10	10/3	12:50-13:40	歯学科第2講義室	消毒薬1	高橋 悦子	講義SBOs 2
11	10/3	13:50-14:40	歯学科第2講義室	消毒薬2	高橋 悦子	講義SBOs 2
12	10/3	14:50-15:40	歯学科第2講義室	循環器系に作用する薬物1	青木 和広	講義SBOs 5
13	10/6	09:00-09:50	歯学科第2講義室	循環器系に作用する薬物2	青木 和広	講義SBOs 5
14	10/6	10:00-10:50	歯学科第2講義室	唾液腺に作用する薬物	田村 幸彦	講義SBOs 12
15	10/6	11:00-11:50	歯学科第2講義室	内分泌系と薬物	田村 幸彦	講義SBOs 10
16	10/10	12:50-13:40	歯学科第2講義室	血液に作用する薬物	青木 和広	講義SBOs 8
17	10/10	13:50-14:40	歯学科第2講義室	漢方薬物療法1	高橋 悦子	講義SBOs 11
18	10/10	14:50-15:40	歯学科第2講義室	漢方薬物療法2	高橋 悦子	講義SBOs 11
19	10/16	12:50-13:40	歯学科第2講義室	呼吸器系に作用する薬物	田村 幸彦	講義SBOs 6
20	10/16	13:50-14:40	歯学科第2講義室	毒物と解毒薬(重金属拮抗薬)	田村 幸彦	講義SBOs 9
21	10/16	14:50-15:40	歯学科第2講義室	骨組織と薬物2	青木 和広	講義SBOs 1

22	11/4	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験	田村 幸彦, 青木 和広, 高橋 悦子, 長谷川 望, 二藤 彰	
成績評価の方法						
・各講義での小テスト(1割)と、平成26年11月4日におこなう筆答試験(9割)を総合的に評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に資料配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。						
試験の受験資格						
・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸辺彰史 編, 加藤有三, 篠田壽 監修: 医歯薬出版, 2012 NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編: 南江堂, 2011 薬理書: 薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／[原編], ギルマン／[原編], 高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳: 廣川書店, 2013 薬理書: 薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／[原編], ギルマン／[原編], 高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳: 廣川書店, 2013 臨床歯科薬理学ビジュアル／川口充, 岡部栄逸朗 編: 学建書院, 2006 コアリーダー歯科薬理学／大浦清 編, 大谷啓一 [ほか]執筆: 学建書院, 2002 病態生理に基づく臨床薬理学: ハーバード大学テキスト／デービッド E. ゴーラン, アーメン H. タシジアン 編, 清野裕 日本語版監修: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006 Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他: Lippincott Williams & Wilkins, 2011 Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他: Lippincott Williams & Wilkins, 2011						
参照ホームページ						
e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。 歯学部 e-learning ホームページ: http://lib02.tmd.ac.jp/						
連絡先						
tamu.hpha@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週金曜日 16:00-18:00 MD タワー7 階南 第1研究室						

時間割番号	021077					
科目名	薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)					
担当教員	青木 和広					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名:生体と薬物 コマ数:18+0(必要自習時間6時間) 授業形態:実習 ユニット番号:04						
授業の目的、概要等						
薬物によりおこる生体反応を観察して薬理作用について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 中枢神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。 2) 自律神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。 3) 体性神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。 4) 局所麻酔薬、抗炎症薬による生体反応を説明できる。 5) 全身麻酔薬、鎮痛薬による生体反応を説明できる。 6) 硬組織に作用する薬物による生体反応を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	6/6	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	薬理実習1 中枢神経系の薬理	青木 和広, 田村 幸彦, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子	大谷啓一:実習:SBOs 1
4-6	6/20	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	薬理実習2 自律神経系の薬理	青木 和広, 田村 幸彦, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子	大谷啓一:実習:SBOs 2
7-9	6/27	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	薬理実習3 体性神経系の薬理	青木 和広, 田村 幸彦, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子	大谷啓一:実習:SBOs 3
10-12	7/11	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	薬理実習4 炎症の薬理	青木 和広, 田村 幸彦, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子	大谷啓一:実習:SBOs 4
13-15	7/18	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	薬理実習5 鎮痛薬の薬理	青木 和広, 田村 幸彦, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子	大谷啓一:実習:SBOs 5
16-18	7/23	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	薬理実習6 硬組織の薬理	青木 和広, 田村 幸彦, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子	大谷啓一:実習:SBOs 6
成績評価の方法						
・実習レポートによる総括的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
・必ず実習書を目を通してから実習に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。						
試験の受験資格						
・4分の3以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編加藤有三, 篠田壽 監修:医歯薬出版, 2012 NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編:南江堂, 2011						

薬理書：薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／〔原編〕ギルマン／〔原編〕高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店，2013

薬理書：薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕ギルマン／〔原編〕高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店，2013

臨床歯科薬理学ビジュアル／川口充，岡部栄逸朗 編：学建書院，2006

コアリーダー歯科薬理学／大浦清 編大谷啓一 〔ほか〕執筆：学建書院，2002

病態生理に基づく臨床薬理学：ハーバード大学テキスト／デービッド E.ゴーラン，アーメン H.タジジアン 編清野裕 日本語版監修：メディカル・サイエンス・インターナショナル，2006

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他：Lippincott Williams & Wilkins，2011

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他：Lippincott Williams & Wilkins，2011

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。

歯学部 e-learning ホームページ：<http://lib02.tmd.ac.jp/>

連絡先

kazu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火 16:00-18:00

時間割番号	021078				
科目名	歯科放射線基礎				
担当教員	倉林 亨, 大林 尚人				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1
コマ数:45(1) 授業形態:講義・実習 モジュール番号:12					
授業の目的、概要等					
歯科医療において放射線を安全かつ有効に利用するために、放射線の性質や人体に対する影響、各種画像検査法の特徴および適応を理解する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 放射線の性質と画像検査の基本					
02 放射線の性質と画像検査の基本 実習					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
倉林 亨: kura.oral@tmd.ac.jp					
大林 尚人: nao.orad@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
倉林 亨: 火・木 16:00-17:00					
大林 尚人: 月・水・木 16:00- 17:00					

時間割番号	021079					
科目名	放射線の性質と画像検査の基本					
担当教員	倉林 亨					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名: 歯科放射線基礎 コマ数: 24+1 (必要自習時間 8 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。 2) エックス線画像の形成原理を説明できる。 3) エックス線フィルム および増感紙の構造と性質を説明できる。 4) エックス線写真処理 の原理と方法を説明できる。 5) エックス線投影の原則を説明できる。 6) デジタルエックス線撮影の原理および特徴を説明できる。 7) 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 8) パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。 9) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法 および適応を説明できる。 10) 造影エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 11) CT, MRI, US, 核医学検査の原理と口腔顎顔面領域における適応を説明できる。 12) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。 13) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。 14) 放射線の細胞致死効果を説明できる。 15) 腫瘍に対する放射線の作用について説明できる 16) 放射線の人体に対する影響を説明できる。 17) 放射線防護の基本概念を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/17	09:00-11:50	歯学科第2講義室	放射線とX線の性質	渡邊 裕	講義SBOs 1-4
4-6	9/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	放射線とX線の性質	渡邊 裕	講義SBOs 5-6
7-9	10/1	09:00-11:50	歯学科第2講義室	放射線診断学総論	倉林 亨	講義SBOs 7
10-12	10/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	放射線診断学総論	倉林 亨	講義SBOs 8-10
13-15	10/14	12:50-15:40	歯学科第2講義室	放射線診断学総論	倉林 亨	講義SBOs 11-13
16-18	10/22	09:00-11:50	歯学科第2講義室	放射線管理学	吉野 教夫	講義SBOs 17
19-21	10/29	09:00-11:50	歯学科第2講義室	放射線腫瘍学・治療学	三浦 雅彦	講義SBOs 14-16
22-24	11/4	12:50-15:40	歯学科第2講義室	放射線生物学	三浦 雅彦	講義SBOs 14-16
25	1/9	12:50-13:40	歯学科第2講義室	試験	倉林 亨	
成績評価の方法						
・平成 27 年 1 月 9 日の筆記試験を総括的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集: 医歯薬出版, 2013

Oral Radiology: Principles and Interpretation 7th ed.／White SC, Pharoah MJ: Mosby, 2014

歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著: 砂書房, 2007

歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編: 医歯薬出版, 2008

Radiobiology for the Radiologist 7th ed.／Eric J Hall and Amato J Giaccia eds: Lippincott Williams & Wilkins

連絡先

kura.oral@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・木 16:00-17:00

時間割番号	021080					
科目名	放射線の性質と画像検査の基本 実習					
担当教員	大林 尚人					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名: 歯科放射線基礎 コマ数: 21+0(必要自習時間 10 時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) エックス線写真処理の方法を説明し、実施できる。 2) 放射線の物理学的性質を説明できる。 3) phantom を用いた口内法エックス線撮影の方法を説明し、実施できる。 4) パノラマエックス線撮影の方法を説明できる。 5) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 6) CT, MRI の口腔顎顔面領域における適応を説明できる。 7) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。 8) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。 9) 口腔・顎顔面領域癌に対する放射線治療の役割を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/5	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習1	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 : 実習:SBOs 1
4-6	11/12	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習2	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 実習:SBOs 2
7-9	11/19	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習3	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 : 実習:SBOs 3
10-12	11/26	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習4	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 : 実習:SBOs 5,7,8:
13-15	12/3	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習5	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 実習:SBOs 4,5,7
16-18	12/10	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習6	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 実習:SBOs 6,7,8:
19-21	12/17	09:00-11:50	歯学科第2講義室 7号館4階麻酔・放射線実習室	実習7	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕 大林 尚人, 吉野 教夫	鉄村明美 中村 伸 栗林亜実 坂本潤一郎, 高山香名子, 神山洋介, 志賀泰昭 実習:SBOs 9

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・4分の3以上の出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

nao.orad@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水・木 16:00- 17:00

時間割番号	021081					
科目名	病態科学演習					
担当教員	山口 朗, 水口 俊介, 鶴田 潤, 坂本 啓					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3	
コマ数:63(0)(必要自習時間 27 時間) 授業形態:講義・実習 モジュール番号:13 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
解剖学、生理学、生化学、病理学、細菌学、免疫学、薬理学などの基礎科目で得た基本的知識を病態科学として統合し、臨床歯科学における疾病・疾患の理解に応用する。						
授業概要						
歯科治療に関連する全身および口腔領域における疾病・疾患について、講義、ケースシナリオ、演習を組み合わせた授業を通して、本モジュールまでに行われた授業によって得られた知識を活用し、統合的な解釈を行うことで学習を進める。歯科専門外来(保存、補綴、口腔外科等)の臨床系教員によるケースプレゼンテーション、ケースシナリオを通してのディスカッション、基礎系教員による講義を組み合わせ、知識の統合、応用をはかることを目的とする。(9つのテーマを扱い、1テーマ6コマとする。)						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 基礎系科目で得た知識を病態科学として統合し、疾病・疾患を解釈する。 2) 臨床症例における生体反応について、自ら疑問点を抽出し、学習する。 3) 臨床症例における生体反応について、自ら疑問点を抽出し、学習する。 4) 臨床症例の症状の機序を、基礎科学的観点で論理的に説明する。 5) 臨床症例に対して、歯科医療を実施する場合の概略を説明できる。 6) 必要に応じて他の学習者や教員と協力して、最適な解決方法を見出すことができる。 7) 教科書、論文等を読んで、重要事項や問題点を抽出して文書または口頭でわかりやすく説明できる。 8) 授業講演等の内容について、その中心課題の内容と問題点を抽出して文書または口頭でわかりやすく表現し、自分の考えを説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/15	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 嚥下障害1	戸原 玄, 泰羅 雅登, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
4-6	10/20	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 嚥下障害2	泰羅 雅登, 戸原 玄, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
7-9	10/23	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 味覚障害1	嶋田 昌彦, 杉本 久美子, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
10-12	10/28	09:00-11:50	歯学部演習室	病態科学演習 味覚障害2	杉本 久美子, 嶋田 昌彦, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
13-15	10/30	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 顎顔面痛1	嶋田 昌彦, 砂川 光宏, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
16-18	10/31	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 咬合異常1	木野 孔司, 泰羅 雅登, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
19-21	11/5	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 顎顔面痛2	砂川 光宏, 嶋田 昌彦, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
22-24	11/7	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 咬合異常2	泰羅 雅登, 木野 孔司, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
25-27	11/10	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 感染症1	道 泰之, 中川 一路, 青木 和広	歯学科演習室 1-11
28-30	11/14	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 感染症2	中川 一路, 道 泰之, 青木 和広	歯学科演習室 1-11

31-33	11/17	09:00-11:50	歯学部演習室	病態科学演習 心電図演習1	小長谷 光 大渡 凡人 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
34-36	11/17	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 心電図演習2	小長谷 光 大渡 凡人 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
37-39	11/21	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 心電図演習 不整脈	大渡 凡人 小長谷 光 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
40-42	11/25	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 循環器系異常 患者の歯科治療1	青木 和広 小長谷 光 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
43-45	11/28	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 循環器系異常 患者の歯科治療2	青木 和広 小長谷 光 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
46-48	12/1	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 口腔粘膜疾患 1	東 みゆき 津島 文彦 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
49-51	12/5	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 口腔粘膜疾患 2	東 みゆき 津島 文彦 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
52-54	12/9	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 腫瘍1	原田 浩之 出雲 俊之 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
55-57	12/12	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 腫瘍2	出雲 俊之 原田 浩之 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
58-60	12/16	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 糖尿病1	大渡 凡人 山口 朗 坂本 啓	歯学科演習室 1-11
61-63	12/19	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 糖尿病2	山口 朗 大渡 凡人 坂本 啓	歯学科演習室 1-11

授業方法

授業については、ミニレクチャー(臨床症例:臨床系教員、講義形式)、グループディスカッション(ケース:チューター、PBL 形式、学習目標設定)、ミドルセッション(病態科学:基礎系教員、講義形式)、グループディスカッション(ケース:チューター、PBL 形式、学習報告)、グループ討議報告(全体講義)、ラップアップセッション(病態科学:基礎系教員、講義形式)の組み合わせによって行う。

ミニレクチャー

初回3コマの時間のうち、最初の 30 分で、ケースに関わる臨床症例を提示し、簡単な導入を行う。

残り 10 分内でケースを配布し、5 分間質問を受け付け、その後、グループディスカッションを行う。

グループディスカッション(学習目標設定)

初回3コマのうち、1時間 10 分で、少人数 PBL 形式で行う。ミニレクチャーの内容を受けたケースシナリオをもとに、学生は、自らの持っている基礎的知識により、病因、病態を解釈し、その後、疑問点として残ったものを学習目標として、1 週間後のグループディスカッションまでに、個別に学習を進める。

ミドルセッション

初回3コマのうち、30 分で、グループディスカッションの後、基礎系教員により、ケースシナリオで期待される学習目標に関わる病態科学的な講義を行う。また、学生からの質問を受け付ける。

グループディスカッション(学習報告)

2回目3コマのうち、1時間 10 分で、少人数 PBL 形式で行う。学習してきた内容を報告し、グループとしてまとめる。個人においては、レジュメを作成し、コピーを提出する。

小テスト(MCQ、EMQ)

2回目3コマのうち、10 分で、ケースシナリオで期待される学習目標に関わる MCQ、EMQ を行う。

グループ討議報告

2回目3コマのうち、20 分で、全体講義の形式で、グループとしてまとめた学習内容を発表する。

ラップアップセッション

2回目3コマのうち、50分で、基礎系教員により、病態科学的な講義を行い、ケースシナリオで期待された学習内容について、簡略な講義を行い、学生の知識を整理する。その際、グループ討議報告において不確実であった知識についての整理も行う。学生の質問を受け付ける。

授業内容

個別学習項目

1) 感染症

- ・炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化について説明できる。
- ・炎症による組織学的変化を理解し、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴を説明できる。
- ・口内炎についての病因・臨床病態および治療法について説明できる。

2) 循環器障害

- ・循環障害について病理学的に説明できる。
- ・血圧の異常について説明できる。
- ・刺激伝導系の構造と機能を説明できる。
- ・心電図の異常波形について説明できる。
- ・虚血性心疾患を既往に持つ患者に対しての歯科治療の概略を述べることができる。

3) 腫瘍

- ・増殖と腫瘍の関係について述べるができる。
- ・腫瘍の発生の原因を説明できる。
- ・癌の診断、進展、予後について概説できる。
- ・口腔領域の腫瘍について、その病因と病理像を説明できる。
- ・全身疾患に伴う口腔病変について、その臨床像と病理像を説明できる。

4) 疼痛

- ・神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能を説明できる。
- ・シナプスの構造と興奮伝達の仕組みを説明できる。
- ・鎮痛の機序を説明できる。
- ・顔面領域に生じる慢性疼痛について説明できる。
- ・口腔内に疼痛を生じる疾病、疾患を列挙できる。

5) 免疫異常

- ・全身に生じる主な免疫異常疾患について概説できる。
- ・免疫異常が生じる機序を説明できる。
- ・シェーグレン症候群について、病因、治療法とその機序を説明できる。

6) 咀嚼障害

- ・中枢性疾患による咀嚼障害の病因、治療法を説明できる。
- ・器質的・機能的障害による咀嚼障害の病因、治療法を説明できる。
- ・咀嚼障害の診断基準を説明できる。

7) 咬合異常

- ・咬合に関連する形態および機能の異常を説明できる。
- ・咬合に関連する形態および機能の回復方法について説明できる。
- ・顎機能異常について概説できる。
- ・全身疾患に伴う咬合異常について説明できる。

8) 嚥下障害

- ・嚥下に関わる中枢神経の役割を説明できる。
- ・嚥下障害の病因を説明できる。
- ・嚥下障害の治療法、リハビリテーションについて説明できる。
- ・嚥下障害を伴う全身疾患について、病因、機序、治療法を説明できる。

9) 味覚障害

- ・味覚器の構造と機能および伝達経路を説明できる。
- ・味覚障害を生じる主な疾病・疾患を概説できる。
- ・味覚障害の治療法について説明できる。

<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト評価(10%) ・レジュメ評価(10%) ・ユニット試験(80%) : ユニット試験は、MCQ、EMQ とする。
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数の4分の3以上出席していなければならない。(注:ユニットBについても同様) ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニット を再履修しなければならない。
<p>構成ユニット</p> <p>O1 病態科学演習ユニット</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定 基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業開始時、口頭による出席確認時に不在の者は欠席とする。 ・ 欠席の際は、理由書を、教務掛へ提出すること。 ・ 交通機関等の乱れによる遅刻の際は、証明書を提出すること。 ・ 学習時、本学教員へのインタビューが必要となることもあると思われるが、自学自習を基本とし、安易に質問しないこと。 ・ その他、質問を行うにあたってのマナーもわきまえること。 ・ グループセッション後の自習時間については、必要に応じて講義を実施する。 ・ 必要に応じ、モジュールコーディネーター、担当チューターによる面談を行うことがある。
<p>連絡先</p> <p>山口 朗: akira.mpa@tmd.ac.jp 水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 坂本 啓: s-kei.mpa@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>山口 朗: 水 16:30~18:00 水口 俊介: 随時 坂本 啓: 水 16:30~18:00</p>

時間割番号	021082				
科目名	内科・小児・遺伝疾患				
担当教員	小長谷 光				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3
コマ数:32+12 授業形態:講義 モジュール番号:14					
授業の目的、概要等 1. 内科疾患の原因、病態、治療に関する知識を修得する 2. 小児科疾患についてその原因、病態、治療に関する知識を修得する 3. 遺伝性疾患について原因、病態、治療に関する知識を修得する					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 1.循環器疾患・2.呼吸器疾患・3.消化器疾患 02 4.血液疾患・5.内分泌疾患・6.膠原病・7.腎尿路疾患・8.神経疾患 03 9.小児疾患 04 10.遺伝病					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 hkohase.anph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月・木 17:00- 18:00					

時間割番号	021083				
科目名	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患				
担当教員	脇田 亮				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:9+3 授業形態:講義 ユニット番号:01					
授業の目的、概要等 循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する					
授業の到達目標(SBOs) 1) 代表的な循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の成因と要因について理解する。 2) 臨床的に遭遇する可能性の高い代表的循環器・呼吸器・消化器疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/20	09:00-09:50	歯学科第2講義室	虚血性心疾患	足利 貴志
2	10/20	10:00-10:50	歯学科第2講義室	高血圧・動脈硬化症・弁疾患	吉川 俊治
3	10/20	11:00-11:50	歯学科第2講義室	不整脈	合屋 雅彦
4-5	10/21	12:50-14:40	歯学科第2講義室	呼吸器疾患	坂下 博之
6	10/27	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験①(循環器)	脇田 亮
7	10/28	12:50-13:40	歯学科第2講義室	睡眠時無呼吸症候群	佐藤 光生
8	10/28	13:50-14:40	歯学科第2講義室	OSAS の歯科的アプローチ	佐藤 光生
9	11/6	13:50-14:40	歯学科第2講義室	消化器疾患(1)	岡田 英理子
10	11/6	14:50-15:40	歯学科第2講義室	消化器疾患(2)	中川 美奈
11	11/10	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験②(呼吸器)	脇田 亮
12	11/10	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験③(消化器)	脇田 亮
成績評価の方法 ・ユニット最終日(H26年10月27日,11月10日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。					
連絡先 ryoanph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 火・金 17:00-18:00 10号館4階					

時間割番号	021084					
科目名	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患					
担当教員	宮本 智行					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:9+2 授業形態:講義 ユニット番号:02						
授業の目的、概要等						
血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 代表的な循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の成因と要因について理解する 2) 臨床的に遭遇する可能性の高い代表的血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	11/11	12:50-14:40	歯学科第2講義室	血液疾患	坂下 千瑞子	医学部講師・講義 SBOs 1.2
3-4	11/13	13:50-15:40	歯学科第2講義室	内分泌疾患	南 勲	医学部講師・講義 SBOs 1.2
5	11/18	11:00-11:50	歯学科第2講義室	膠原病	齋藤 鉄也	医学部講師・講義 SBOs 1.2
6-7	11/19	12:50-14:40	歯学科第2講義室	腎尿路疾患	野村 尚弘	医学部講師・講義 SBOs 1.2
8-9	11/25	10:00-11:50	歯学科第2講義室	神経内科疾患	石川 欽也	医学部講師・講義 SBOs 1.2
10-11	12/1	09:00-10:50	歯学科第2講義室	試験(上記すべて)	宮本 智行	
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・原則的にユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。 						
連絡先						
to-miyamo.anph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00						

時間割番号	021085					
科目名	小児疾患					
担当教員	吉川 文広					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:10+4 授業形態:講義 ユニット番号:03						
主な講義場所 第2講義室						
授業の目的、概要等 小児疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する						
授業の到達目標(SBOs) 1) 代表的な小児疾患の成因と要因について理解する 2) 臨床的に遭遇する可能性の高い代表的な小児疾患(口腔の含む)の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/26	12:50-15:40	歯学科第2講義室	小児感染症・アレルギー疾患	高木 正稔	医学部講師講義 SBOs 1,2
4-5	11/27	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児循環器・呼吸器	土井 庄三郎	医学部講師講義 SBOs 1,2
6-7	12/2	10:00-11:50	歯学科第2講義室	小児血液疾患・内分泌・代謝疾患	高木 正稔、鹿島田 健一	医学部講師講義 SBOs 1,2
8	12/3	12:50-13:40	歯学科第2講義室	小児消化器疾患と腎尿路疾患	元吉 八重子	医学部講師講義 SBOs 1,2
9	12/3	13:50-14:40	歯学科第2講義室	小児の口腔・歯科疾患	三輪 全三	
10	12/3	14:50-15:40	歯学科第2講義室	虐待を受けた小児の口腔	三輪 全三	
11	12/8	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験(感染症・アレルギー)	吉川 文広	
12	12/8	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験(循環器・呼吸器)	吉川 文広	
13	12/8	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験(血液・内分泌・代謝・消化器・腎尿路疾患)	吉川 文広	
14	12/15	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験(口腔・歯科疾患・虐待を受けた口腔)	吉川 文広	
成績評価の方法 ・ユニット最終日(H26年12月8日,15日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。						
連絡先 yoshikawa.anph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 月 17:00-18:00						

時間割番号	021086				
科目名	遺伝病				
担当教員	吉川 文広				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:5+1 授業形態:講義 ユニット番号:04					
授業の目的、概要等					
遺伝性疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 代表的な遺伝性疾患の成因と要因について理解する 2) 臨床的に遭遇する可能性の高い代表的な遺伝性疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	12/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	遺伝性疾患の診断と治療	木村 彰方
4-5	12/10	12:50-14:40	歯学科第2講義室	染色体異常症候群	稲澤 譲治
6	12/15	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	吉川 文広
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット最終日(H26年12月15日)に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。 					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。 					
連絡先					
yoshikawa.anph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月 17:00-18:00					

時間割番号	021087				
科目名	外科系疾患				
担当教員	原田 清, 島本 裕彰				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	2
コマ数:48(8) 授業形態:講義 モジュール番号:15					
授業の目的、概要等 全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 外科総論 02 皮膚疾患 03 消化器系・乳腺疾患 04 循環器・呼吸器系疾患(外科系) 05 腎・泌尿器系疾患 06 生殖器系疾患 07 脳神経疾患 08 運動器系疾患					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、新歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 島本 裕彰hiroaki.osur@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 島本 裕彰 火・木 16:00 ~ 17:00					

時間割番号	021088					
科目名	外科総論					
担当教員	富岡 寛文					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
外科診察ならびに外科的手技の基本を学び、疾患の病態、診断、治療を総括的に理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 基本的検査とカルテ記載ができる。 2) 基本的な外科処置ができる。 3) 血液疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 4) 炎症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 5) 良性腫瘍の病態、診断、治療と予後を説明できる。 6) 悪性腫瘍の病態、診断、治療と予後を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/22	09:00-09:50	歯学科第2講義室	外科総論(概念、侵襲と生体)	飯田 聡	講義:SBOs7,22
2	9/22	13:50-14:40	歯学科第2講義室	外科総論(感染症、腫瘍)	石黒 めぐみ	講義:SBOs8,9,22
3	9/22	14:50-15:40	歯学科第2講義室	外科総論(輸液・輸血、栄養管理)	医学科教員	講義:SBOs21,22
4	10/6	12:50-13:40	歯学科第2講義室	外科総論(基本手技、無菌・消毒)	植竹 宏之	講義:SBOs21,22
5	10/6	13:50-14:40	歯学科第2講義室	外科総論(創傷治癒、出血・止血)	東海林 裕	講義:SBOs7,22
6	10/22	12:50-13:40	歯学科第2講義室	外科総論(移植・人工臓器)	落合 高德	講義:SBOs21,22
7-8	10/22	13:50-15:40	歯学科第2講義室	外科総論(災害医学)	大友 康裕	講義:SBOs22
9	11/4	10:00-10:50	歯学科第2講義室	外科総論筆記試験	富岡 寛文	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
準備学習として、参考図書における当該箇所を熟読しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座 編:南江堂, 2009 標準外科学／加藤治文, 畠山勝義, 北野正剛 編北島政樹 監修:医学書院, 2010						
連絡先						
tomy.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
金 16:00-17:00						

時間割番号	021089					
科目名	皮膚疾患					
担当教員	津島 文彦					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:6+1 授業形態:講義 ユニット番号:02						
授業の目的、概要等 皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 皮膚の構造と機能を説明できる。 2) 湿疹・皮膚炎を概説できる。 3) 蕁麻疹を概説できる。 4) 薬疹・水疱症・膿疱症を概説できる。 5) 皮膚悪性腫瘍を概説できる。 6) 皮膚感染症を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	10/29	12:50-13:40	歯学科第2講義室	解剖と機能	井川 健	講義:SBOs1
2	10/29	13:50-14:40	歯学科第2講義室	診断	井川 健	講義:SBOs2?6
3	10/29	14:50-15:40	歯学科第2講義室	湿疹・皮膚炎	井川 健	講義:SBOs2
4	11/12	12:50-13:40	歯学科第2講義室	蕁麻疹・紅斑症、紅皮症	井川 健	講義:SBOs3
5	11/12	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬疹・水疱症・膿疱症	井川 健	講義:SBOs4
6	11/12	14:50-15:40	歯学科第2講義室	腫瘍・感染症	井川 健	講義:SBOs5,6
7	12/16	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	津島 文彦	
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 皮膚疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先 ft.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 火 17:00-18:00						

時間割番号	021090					
科目名	消化器系・乳腺疾患					
担当教員	佐藤 豊					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:03						
授業の目的、概要等 消化器系および乳腺の構造と機能を理解し、主な消化器疾患、乳腺疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 消化器系の構造と機能を説明できる。 2) 主な食道疾患を列挙できる。 3) 主な胃・十二指腸疾患を列挙できる。 4) 主な胆・肝・膵疾患を列挙できる。 5) 主な小腸疾患を列挙できる。 6) 主な大腸疾患を列挙できる。 7) 乳腺の構造と機能、乳腺疾患を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/22	10:00-10:50	歯学科第2講義室	乳腺の解剖と機能	中川 剛士	講義:SBOs1,5
2	9/22	11:00-11:50	歯学科第2講義室	乳腺疾患	中川 剛士	講義:SBOs6
3	9/30	09:00-09:50	歯学科第2講義室	食道の解剖と機能、食道疾患	川田 研郎	講義:SBOs1,2
4	9/30	10:00-10:50	歯学科第2講義室	胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患	大槻 将	講義:SBOs1,3
5	10/7	09:00-09:50	歯学科第2講義室	小腸、大腸の解剖と機能、小腸疾患	石川 敏昭	講義:SBOs7
6	10/7	10:00-10:50	歯学科第2講義室	大腸疾患	石川 敏昭	講義:SBOs7
7	10/21	09:00-09:50	歯学科第2講義室	胆・肝・膵の解剖と機能	工藤 篤	講義:SBOs1
8	10/21	10:00-10:50	歯学科第2講義室	胆・肝・膵疾患	松村 聡	講義:SBOs4
9	10/27	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	佐藤 豊	
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 受講前に参考図書に関連領域の部分に一通り目を通しておくことが望ましい。						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先 yu-sato.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週 月・水 16:30～ 18:00 歯学部附属病院6F 顎顔面外科外来						

時間割番号	021091					
科目名	循環器・呼吸器系疾患					
担当教員	黒原 一人					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:6+1 授業形態:講義 ユニット番号:04						
授業の目的、概要等						
循環器・呼吸器系の構造と機能を理解し、主な循環器・呼吸器系疾患(外科系)の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 循環器系の構造と機能を説明できる。 2) 主な心像・大動脈疾患を列挙できる。 3) 主な動脈・静脈疾患を列挙できる。 4) 原発性肺癌と転移性肺腫瘍を概説できる。 5) 胸膜・縦隔疾患を列挙できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	9/29	12:50-14:40	歯学科第2講義室	心臓・胸部大動脈疾患の外科治療	大井 啓司	講義:SBOs1,2
3-4	10/2	12:50-14:40	歯学科第2講義室	動静脈疾患	工藤 敏文	講義:SBOs1,3
5	10/9	12:50-13:40	歯学科第2講義室	肺腫瘍	石橋 洋則	講義:SBOs4
6	10/9	13:50-14:40	歯学科第2講義室	胸膜・縦隔疾患	石橋 洋則	講義:SBOs5
7	10/27	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	黒原 一人	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
kuzkuroh.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月 16:00-17:00						

時間割番号	021092					
科目名	腎・泌尿器系疾患					
担当教員	富岡 寛文					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:2+1 授業形態:講義 ユニット番号:05						
授業の目的、概要等						
腎・泌尿器系の構造と機能を理解し、主な腎・泌尿器系疾患(外科系)の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 腎・泌尿器系の構造と機能を説明できる。 2) 尿路系結石を概説できる。 3) 腎嚢胞・腫瘍を概説できる。 4) 主な膀胱疾患を列挙できる。 5) 前立腺・精巣疾患を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	尿路の解剖と機能	横山 みなと	講義:SBOs1,2
2	9/18	13:50-14:40	歯学科第2講義室	腎・膀胱疾患	横山 みなと	講義:SBOs3,4,5
3	10/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	富岡 寛文	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
tomy.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
金 16:00-17:00						

時間割番号	021093					
科目名	生殖器系疾患					
担当教員	津島 文彦					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:4+1 授業形態:講義 ユニット番号:06						
授業の目的、概要等						
生殖器系の構造と機能を理解し、主な生殖器系疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 女性の生殖器系の構造と機能を説明できる。 2) 妊娠・不妊を概説できる。 3) 外陰・陰疾患を列挙できる。 4) 子宮疾患を列挙できる。 5) 卵巣疾患を列挙できる。 6) 妊婦の歯科治療時の注意点を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/11	09:00-09:50	歯学科第2講義室	妊娠と不妊症	石川 智則	講義:SBOs1,2
2	11/11	10:00-10:50	歯学科第2講義室	女性生殖器疾患1	大藏 慶憲	講義:SBOs3,4,5
3	11/11	11:00-11:50	歯学科第2講義室	女性生殖器疾患2	大藏 慶憲	講義:SBOs3,4,5
4	12/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	歯科治療と妊娠の関連	和泉 雄一	講義:SBOs6
5	12/16	09:00-09:50	歯学科第2講義室		津島 文彦	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
生殖器系疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
ft.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00						

時間割番号	021094					
科目名	脳神経疾患					
担当教員	儀武 啓幸					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:3+1 授業形態:講義 ユニット番号:07						
授業の目的、概要等						
脳神経系の構造と機能を理解し、主な脳神経疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。 2) 頭蓋内圧亢進を概説できる。 3) 脳血管障害(脳梗塞, 脳内出血, くも膜下出血)を概説できる。 4) 頭部外傷を概説できる。 5) 頭蓋内血腫を列挙できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/25	09:00-09:50	歯学科第2講義室	解剖と機能	稲次 基希	講義:SBOs1
2	9/25	10:00-10:50	歯学科第2講義室	頭蓋内圧亢進	稲次 基希	講義:SBOs2,4,5
3	9/25	11:00-11:50	歯学科第2講義室	血管障害	稲次 基希	講義:SBOs3,4,5
4	10/14	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	儀武 啓幸	
成績評価の方法						
・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
受講前に参考図書に関連領域の部分に一通り目を通しておく事が望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
h-yoshitake.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水 16:30-17:30						

時間割番号	021095					
科目名	運動器系疾患					
担当教員	山口 聡					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名:外科系疾患 コマ数:3+1 授業形態:講義 ユニット番号:08						
授業の目的、概要等						
運動器の構造と機能を理解し、主な運動器疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。 2) 骨粗鬆症を概説できる。 3) 関節疾患を列挙できる。 4) 骨肉腫、ユーイング肉腫を概説できる。 5) 椎間板ヘルニアを概説できる。 6) 脊髄損傷を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	解剖と機能・脊髄疾患	加藤 剛	講義:SBOs1,5,6
2	11/18	13:50-14:40	歯学科第2講義室	下肢疾患	神野 哲也	講義:SBOs2,3,4
3	11/18	14:50-15:40	歯学科第2講義室	上肢疾患	石井 宣一	講義:SBOs2,3,4
4	12/16	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	山口 聡	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
yamachan.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水 17:00-18:00						

時間割番号	021096				
科目名	課題統合セミナー				
担当教員	小野 卓史, 隅田 由香				
開講時期	通年	対象年次	3・5	単位数	3
コマ数:63(3)(必要自習時間 25 時間) 授業形態:講義 モジュール番号:16					
授業の目的、概要等					
一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 骨のバイオロジー					
02 咀嚼と嚥下のバイオロジー					
03 ことばの世界					
04 オクルージョン					
05 歯科と色					
06 口唇裂口蓋裂					
07 全人的総合診断					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
小野 卓史: t.ono.orts@tmd.ac.jp					
隅田 由香: yuka.mfp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
小野 卓史: 月・水 16:00-17:30					
隅田 由香: 月一木曜日 16:00-17:00 10号館2階 顎顔面補綴学分野講師室					

時間割番号	021097					
科目名	骨のバイオロジー					
担当教員	中島 友紀					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名: 課題統合セミナー コマ数: 7+0(必要自習時間 5 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 骨芽細胞の機能を説明できる。 2) 破骨細胞の機能を説明できる。 3) 骨モデリング、リモデリングを説明できる。 4) 骨・軟骨代謝に関わる生物学的調節因子とその連携を理解できる。 5) 骨疾患の病態とその治療方法を理解できる。 6) 骨発生の分子メカニズムを説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/6	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨芽細胞	竹田 秀	講義:SBOs:1,3,5
2	11/13	12:50-13:40	歯学科第2講義室	破骨細胞	林 幹人	講義:SBOs:2,3,5
3	11/20	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨細胞	中島 友紀	講義:SBOs:3,5
4	11/27	12:50-13:40	歯学科第2講義室	軟骨細胞	浅原 弘嗣	講義:SBOs:3,4,5
5	12/4	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨の発生	井関 祥子	講義:SBOs:3,5,6
6	12/11	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨の進化と骨病態	山口 朗	講義:SBOs:3,5,6
7	12/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨制御因子と薬物治療	森田 育男	講義:SBOs:1,2,5
成績評価の方法						
・小テストを適宜実施し、客観的評価を行う。 ・課題に対するレポートを提出し評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						
備考						
担当教員の Office Hour: 竹田秀教授(細胞生理学分野) 月・木・金 17:00 以降 shu-tky@umin.ac.jp 林幹人助教(分子情報伝達学分野) 月-金(事前メール連絡後) 17:00 以降 hayashi.csi@tmd.ac.jp 中島友紀准教授(分子情報伝達学分野) 月-金(事前メール連絡後) 17:00 以降 naka.csi@tmd.ac.jp 浅原弘嗣教授(システム発生・再生医学分野) 月-金(事前メール連絡後) 17:00 以降 asahara.syst@tmd.ac.jp 井関祥子教授(分子発生学分野) 木 13:00 以降 s.iseki@tmd.ac.jp 山口朗教授(口腔病理学分野) 木 16:30-18:00 akira.mpa@tmd.ac.jp 森田育男教授(分子細胞機能学分野) 月・金 18:00-19:00 morita.cell@tmd.ac.jp						
連絡先						
naka.csi@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月-金 (事前メール連絡後) 17:00以降						

時間割番号	021098				
科目名	学年混合選択セミナー				
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 三輪 全三, 鈴木 聖一				
開講時期	前期	対象年次	3~5	単位数	1
コマ数: 10 授業形態: 講義・演習 モジュール番号: 17					
授業の目的、概要等					
興味を抱く医歯学領域のテーマを自ら選び、理解を深める。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 選択コース 1-A, B, C, D, E, F, G, H, I (いずれか一つを選択する)					
02 選択コース 2-A, B, C, D, E, F, G, H, I (いずれか一つを選択する)					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、すべてのユニット (=2 ユニット) に合格しなければならない。					
各ユニット共に、授業回数の 2/3 以上 (5 回中 4 回以上) に出席しなければならない。ユニットの合格判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。					
連絡先					
倉林 亨: kura.oral@tmd.ac.jp					
三輪 全三: miwa.dohs@tmd.ac.jp					
豊福 明: toyoompm@tmd.ac.jp					
森尾 郁子: imorio.edev@tmd.ac.jp					
鈴木 聖一: s-suzuki.mort@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
倉林 亨: 火・木 16:00-17:00					
三輪 全三: 月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室					
豊福 明: 火・水 16:30- 18:00					
森尾 郁子: 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7 階 教授室					
鈴木 聖一: 水・木 16:00-17:30					

時間割番号	021099		
科目名	選択コース 1		
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 三輪 全三, 鈴木 聖一		
開講時期	前期	対象年次	3~5
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 01			
授業の目的、概要等			
* 1-A: 顔・顔・顔 [鈴木] 顎口腔領域の治療において、顔に関する知識、配慮が重要であることを認識する。			
* 1-B: 海外留学と海外協力 [倉林] 歯科医学領域における海外留学の意義を理解すると共に、海外協力に関する知識を修得する。			
* 1-C: 研究論文作成・特許取得 [三輪] 学会発表や論文発表においてすぐれた評価を受けた研究を知り、受賞や特許取得の意義を理解する。			
* 1-D: 明るい開業の道しるべ [鈴木] 歯科医院の開設に必要な会計、経営および法的事項の基礎について理解する。			
* 1-E: 多職種との連携・協働について考える [遠藤] 歯科医師として他職種と協働するために、歯科保健・医療・福祉の場における専門職の種類、役割、業務内容を理解する。			
1-F: アルクネットアカデミーを使用した医学英語入門 (1) [森尾] 医学英語の基本的語彙と表現の学習を通して、医療の場で英語が使えるようになるにはどのような学習が必要かを理解する。			
1-G: 診療室・国際学会の英語 [初級] (12名以内) [森尾] 歯科診療、国際学会発表で使われる表現(初級)を修得する。			
1-H: Basic English Writing (1) (15名以内) [森尾] Students will have the opportunity to write on topics of interest to them with increasing fluency.			
1-I: 自分らしいキャリアを創るには ~医療者のキャリアデザイン①~ (30名以内) キャリアや自己理解について学び、医療従事者として、また一人の人間として今後の具体的なキャリアプランの道筋を立てられるようになる。医療従事者として男女ともに多様なキャリアがあることを知り、男女共同参画の視点を培う。			
授業の到達目標(SBOs)			
* 1-A: 顔・顔・顔 [鈴木] 1) 歯科医師にとって顔を扱うことの重要性を認識する。 2) 顔の表現法、評価分析法について説明できる。 3) 顔の見映えを変化させる方法、修復する方法を説明できる。			
* 1-B: 海外留学と海外協力 [倉林] 1) 海外留学することの成果について説明できる。 2) 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。 3) 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。			
* 1-C: 研究論文作成・特許取得 [三輪] 1) 研究発表における受賞の意義を説明できる。 2) 独創的研究、先端医療技術について説明できる。 3) 特許取得制度とその出願方法について説明できる。			
* 1-D: 明るい開業の道しるべ [鈴木] 1) 歯科医院の開設に必要な事項について簡単に説明できる。 2) 開業医の資質について考え、そのためにどのような学習、修練が必要か洞察できる。 3) 自らが理想とする開業形態について計画し、その概要について説明できる。			

* 1-E: 多職種との連携・協働について考える [遠藤]

- 1) 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を考える。
- 2) 人の生活機能と障害、その背景を理解する。
- 3) 地域における住民のネットワークづくり支援について考える。
- 4) 病棟における看護師・歯科衛生士の役割を理解する。
- 5) 高齢者支援のあり方と専門職種間の連携を理解する。

1-F: アルクネットアカデミーを使用した医学英語入門 (1) [森尾]

- 1) アルクネットアカデミー2「医学英語入門」コースを適切に使用することができる。
- 2) 医学英語の基本的語彙と表現を修得する。
- 3) 自分にあった英語学習方法を見つけることができる。

1-G: 診療室・国際学会の英語 [初級] (12名以内) [森尾]

- 1) 診療室での会話で英語が使用できる。
- 2) 国際学会発表スライドを英語で説明できる。
- 3) 発音に注意して会話ができる。

1-H: Basic English Writing (1) (15名以内) [森尾]

- 1) The learning and practice of strategies for writing clear and concise English.
- 2) The ability to summarize an article and discuss its main points.

1-I: 自分らしいキャリアを創るには ～医療者のキャリアデザイン①～ (30名以内)

- 1) キャリアの内容や、「自分らしいキャリアチャンス」の作り方を考える。
- 2) キャリア形成に必要な「自己理解」を行い、自分の価値観について理解する。
- 3) これまでのキャリアと現在のキャリアを振り返り、将来のキャリアをデザインできるようにする。
- 4) 将来の仕事と家庭との両立方法など、男女でキャリアについて考える。

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

1-F

・第5回目に行うテストによる。

1-G

・受講態度による。

1-H

・Classwork: Completion and the quality of work

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

* は、以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

連絡先

倉林 亨: kura.oral@tmd.ac.jp

三輪 全三: miwa.dohs@tmd.ac.jp

豊福 明: toyoompm@tmd.ac.jp

森尾 郁子: imorio.edev@tmd.ac.jp

鈴木 聖一: s-suzuki.mort@tmd.ac.jp

オフィスアワー

倉林 亨: 火・木 16:00-17:00

三輪 全三: 月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室

豊福 明: 火・水 16:30- 18:00

森尾 郁子: 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室

鈴木 聖一: 水・木 16:00-17:30

時間割番号	021105					
科目名	選択コース 1-A: 顔・顔・顔					
担当教員	鈴木 聖一					
開講時期	前期	対象年次	3～5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
顎口腔領域の治療において、顔に関する知識、配慮が重要であることを認識する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医師にとって顔を扱うことの重要性を認識する。 2) 顔の表現法、評価分析法について説明できる。 3) 顔の見映えを変化させる方法、修復する方法を説明できる。						
授業計画						
	回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
	1	4/10	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	鈴木 聖一
	2	4/17	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	坂本 光徳
	3	4/24	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	青木 昭子
	4	5/1	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	飯田 康博
	5	5/8	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	向山 仁
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
s-suzuki.mort@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水・木 16:00-17:30						

時間割番号	021106					
科目名	選択コース 1-B:海外留学と海外協力					
担当教員	倉林 亨					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
歯科医学領域における海外留学の意義を理解すると共に、海外協力に関する知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 海外留学することの成果について説明できる。 2) 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。 3) 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	特別講堂	海外研修制度を通じた国際交流	竹原 祥子, 石田 雄之	講義、ディスカッション: SBOs 1-2
2	4/17	14:50-15:40	歯学科第3 講義室	海外留学の奨め1(研究編1)	小林 宏明	講義 SBOs 2-4
3	4/24	14:50-15:40	歯学科第3 講義室	海外留学の奨め2(臨床編)	西村 賢市	講義 SBOs 2-4
4	5/1	14:50-15:40	歯学科第3 講義室	海外留学の奨め3(研究編2)	和達 礼子	講義 SBOs 2-4
5	5/8	14:50-15:40	歯学科第3 講義室	歯科医師の海外協力	曾根田 兼司	講義 SBOs 5
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
kura.oral@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火・木 16:00-17:00						

時間割番号	021107					
科目名	選択コース 1-C: 研究論文作成・特許取得					
担当教員	三輪 全三					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
学会発表や論文発表においてすぐれた評価を受けた研究を知り、受賞や特許取得の意義を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 研究発表における受賞の意義を説明できる。 2) 独創的研究、先端医療技術について説明できる。 3) 特許取得制度とその出願方法について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	未定	特許取得の意義と制度	渡邊 公義	講義: SBOs1-3
2	4/17	14:50-15:40	未定	独創的研究・先端医療技術	青木 章	講義: SBOs1-3
3	4/24	14:50-15:40	未定	独創的研究・先端医療技術	南 一郎	講義: SBOs1-3
4	5/1	14:50-15:40	未定	独創的研究・先端医療技術	山口 聡	講義: SBOs1-3
5	5/8	14:50-15:40	未定	独創的研究・先端医療技術	渡邊 裕	講義: SBOs1-3
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
・歯科領域で利用されている器材で、すでに特許となっている新技術について調べておく。 ・自分が将来どのような発明(研究)をしたら、歯科臨床に役立つのか創案する。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
miwa.dohs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室						

時間割番号	021108					
科目名	選択コース 1-D: 明るい開業の道しるべ					
担当教員	鈴木 聖一, 川元 龍夫					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
歯科医院の開設に必要な会計、経営および法的事項の基礎について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医院の開設に必要な事項について簡単に説明できる。 2) 開業医の資質について考え、そのためにどのような学習、修練が必要か洞察できる。 3) 自らが理想とする開業形態について計画し、その概要について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	未定	開業の手順	小島 龍哉, 川元 龍夫	講義: SBOs 1-3
2	4/17	14:50-15:40	未定	歯科医院の収支	宮田 威夫, 川元 龍夫	講義: SBOs 1-3
3	4/24	14:50-15:40	未定	医療訴訟	端山 智弘, 川元 龍夫	講義: SBOs 1-3
4	5/1	14:50-15:40	未定	歯科医師会とは	高橋 秀直, 川元 龍夫	講義: SBOs 1-3
5	5/8	14:50-15:40	未定	開業医の現実	辻 隆次, 川元 龍夫	講義: SBOs 1-3
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
鈴木 聖一: s-suzuki.mort@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
鈴木 聖一: 水・木 16:00-17:30						

時間割番号	021109					
科目名	選択コース 1-E: 多職種との連携・協働について考える					
担当教員	遠藤 圭子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 歯科医師として他職種と協働するために、歯科保健・医療・福祉の場における専門職の種類、役割、業務内容を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を考える。 2) 人の生活機能と障害、その背景を理解する。 3) 地域における住民のネットワークづくり支援について考える。 4) 病棟における看護師・歯科衛生士の役割を理解する。 5) 高齢者支援のあり方と専門職種間の連携を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	14:50-15:40	口腔保健学科第2講義室	歯科保健医療従事者の活動の現状と課題	歯科保健医療従事者の種類と責務、歯科保健医療ニーズと活動内容	遠藤 圭子
2	4/17	14:50-15:40	口腔保健学科第2講義室	人びとの生活の質を向上するための活動とその意味	歯科保健の現状、人びとの健康観、健康づくりに生かす専門職の技能	遠藤 圭子
3	4/24	14:50-15:40	口腔保健学科第2講義室	地域保健における歯科保健活動 - 歯科医師・歯科衛生士の役割 -	住民のネットワークづくりを支える手法、地域における専門職の技能と責務	遠藤 圭子
4	5/1	14:50-15:40	口腔保健学科第2講義室	入院患者の口腔ケアの実際	脳神経外科入院患者の口腔状況と専門的口腔ケア、看護師との連携、歯科医師の役割	遠藤 圭子
5	5/8	14:50-15:40	口腔保健学科第2講義室	高齢者の生活を支える	高齢者の生活の現状と支援内容、歯科保健医療専門職の役割	遠藤 圭子
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先 usagi.pvoh@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 随時						

時間割番号	021110					
科目名	選択コース 1-F:アルクネットアカデミーを使用した医学英語入門(1)					
担当教員	森尾 郁子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名:学年混合選択セミナー コマ数:5+0 授業形態:演習 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
医学英語の基本的語彙と表現の学習を通して、医療の場で英語が使えるようになるにはどのような学習が必要かを理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) アルクネットアカデミー2「医学英語入門」コースを適切に使用することができる。 2) 医学英語の基本的語彙と表現を修得する。 3) 自分にあった英語学習方法を見つけることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Listening (1)-a	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
2	4/17	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Listening (2)-a	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
3	4/24	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Reading (1)-a	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
4	5/1	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Reading (2)-a	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
5	5/8	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Vocabulary (1)-a	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
成績評価の方法						
・第5回目に行うテストによる。						
準備学習などについての具体的な指示						
授業初日に配布する予定表により、各回で取り上げるアルクネットアカデミー「医学英語入門」の単元を確認し、事前に当該単元のすべての内容を履修した上で授業に参加すること。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
imorio.edev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室						

時間割番号	021111					
科目名	選択コース 1-G:診療室・国際学会の英語(初級)					
担当教員	森尾 郁子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 演習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
歯科診療、国際学会発表で使われる表現(初級)を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 診療室での会話で英語が使用できる。 2) 国際学会発表スライドを英語で説明できる。 3) 発音に注意して会話ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	英会話—医療面接	關 奈央子	演習: SBOs1, 3
2	4/17	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	英会話—治療説明一般	關 奈央子	演習: SBOs1, 3
3	4/24	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	英会話—保存・補綴	關 奈央子	演習: SBOs1, 3
4	5/1	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	学会発表の英語1	關 奈央子	演習: SBOs2, 3
5	5/8	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	学会発表の英語2	關 奈央子	演習: SBOs2, 3
成績評価の方法						
・受講態度による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業初日に配布する予定表により、各回で取り上げるテーマを確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で授業に参加すること。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 : 治療内容別フレーズ 670 と基本用語 280 / 川口陽子 監修・著、鶴田潤 [ほか]著、クインテッセンス出版、1997						
備考						
内容が一部変わっているため、以前に本ユニットを受講した学生も選択可能である。						
連絡先						
imorio.edev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 16:30-19:00 M&D タワー7階 教室						

時間割番号	021112					
科目名	選択コース 1-H: Basic English Writing(1)					
担当教員	森尾 郁子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 演習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
Students will have the opportunity to write on topics of interest to them with increasing fluency.						
授業の到達目標(SBOs)						
1) The learning and practice of strategies for writing clear and concise English. 2) The ability to summarize an article and discuss its main points.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (1)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
2	4/17	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (2)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
3	4/24	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (3)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
4	5/1	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (4)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
5	5/8	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (5)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
成績評価の方法						
•Classwork: Completion and the quality of work						
準備学習などについての具体的な指示						
事前配布されるテキストを注意深く読み、意味や使い方のわからない単語を調べた上で授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
imorio.edev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 16:30- 19:00 M&D タワー7階 教授室						

時間割番号	021113					
科目名	選択コース 1-I: 自分らしいキャリアを創るには～医療者のキャリアデザイン①～					
担当教員	有馬 牧子					
開講時期	前期	対象年次	3～5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義及び演習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 自分の心の中にあるキャリアの希望や方向性を引き出し、将来の実現に近づけるようにするための方法を学ぶ。医療従事者として、一人の人間として、今後の具体的なキャリアプランの道筋を立てられるようにする。男女共に多様なキャリアの方向性があることを知り、男女共同参画の視点を培う。						
授業の到達目標(SBOs) 1) キャリアについて理論的に考えることで、自分らしいキャリアデザインのポイントを学ぶ。 2) 演習やワークを行うことで、自分の価値観や、「現在の自分の人生で優先したいこと」を客観的に理解する。 3) これまでのキャリアと現在のキャリアを考えることで、将来のキャリアをデザインしやすくする。 4) 将来、どのようにしたら仕事と家庭とを両立できるかなど、男女共にキャリアの課題をシミュレーションする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	14:50-15:40	歯学部演習室	キャリアとは	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4
2	4/17	14:50-15:40	歯学部演習室	自分の価値観を知ろう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4
3	4/24	14:50-15:40	歯学部演習室	これまでのキャリアを振り返ろう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4
4	5/1	14:50-15:40	歯学部演習室	今のキャリアを考えよう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4
5	5/8	14:50-15:40	歯学部演習室	将来のキャリアを考えよう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4
成績評価の方法 ・授業態度などを基に総合的に評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 今後、仕事とプライベートの両方において、どのようなキャリアを歩んで行きたいか、各自が大まかなプランを第一回講義時まで準備する。						
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先 arima.ang@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 月～金 16:30 - 18:00 5号館3階 学生・女性支援センター						

時間割番号	021100		
科目名	選択コース 2		
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 三輪 全三, 鈴木 聖一		
開講時期	前期	対象年次	3~5
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 02			
授業の目的、概要等 * 2-A: ロボットの世界 [豊福] ロボットに何ができ、またどのように使用されているのか認識する。 * 2-B: 歯科医師の進路 [倉林] 歯科医師として、将来の活躍の場に多様な選択肢のあることを認識する。 2-C: 世界の歯科事情 [鈴木] 英語で行われる授業内容を理解する。 世界各国の文化および歯科事情を学び、国際的な感覚を習得する。 * 2-D: 製品開発への途 [三輪] 歯科関連器材が製品開発されるまでの過程を各企業の開発担当社から学び、臨床研究における産学連携の意義を理解する。 2-E: TMDU の海外拠点を理解し国際貢献を考える (30 名以内) [吉田] TMDU が行っている海外拠点を理解すると共に JICA の行っ草の根技術協力事業を考える。 2-F: アルクネットアカデミーを使用した医学英語入門 (2) [森尾] 医学英語の基本的語彙と表現の学習を通して、医療の場で英語が使えるようになるにはどのような学習が必要かを理解する。 2-G: Intensive Studies in Dental Terminology (20 名以内) [森尾] リーディング/リスニングを通して専門用語(英語)を修得する。 2-H: Basic English Writing (2) (15 名以内) [森尾] Students will have the opportunity to write on topics of interest to them with increasing fluency. 2-I: キャリア up のためのコミュニケーション ~医療者のキャリアデザイン②~ (30 名以内) [有馬] キャリアを築いて行く上で必要な「コミュニケーション力」を身につけ、今後の人間関係やキャリア形成に役立てる。 自分のコミュニケーションパターンを知ること、将来の目標を実現するために役立てる。 コミュニケーション力を身につけることで、患者さんとのコミュニケーションの取り方のヒントを学ぶ。			
授業の到達目標(SBOs) * 2-A: ロボットの世界 [豊福] 1) 現在のロボットにどのようなことができるか説明できる。 2) ロボットを使用することの意義について意見を述べられる。 3) ロボットが活躍できる場を考え、その有用性について説明できる。 * 2-B: 歯科医師の進路 [倉林] 1) 歯科医師の活動とその社会的意義を説明できる。 2) 進路を選択する上で、自らに必要な課題を抽出できる。 3) 進路を選択する上で、自らの適性について評価できる。			

2-C: 世界の歯科事情 [鈴木]

- 1) 英語で行われる授業の内容を理解し把握する。
- 2) 世界各国の歯科教育制度の違いについて説明できる。
- 3) 世界各国の社会医療制度の違いについて説明できる。
- 4) 世界各国の文化的背景の特徴について説明できる。

* 2-D: 製品開発への途 [三輪]

- 1) どのようなニーズから製品開発プロジェクトが生まれるのか具体例を説明できる。
- 2) 機器や材料の製品開発までの過程を説明できる。
- 3) 産学連携における企業と大学の役割について説明できる。

2-E: TMDU の海外拠点を理解し国際貢献を考える (30 名以内) [吉田]

- 1) チリ海外拠点の活動を理解する。
- 2) タイ海外拠点の活動について理解する。
- 3) ガーナ海外拠点の活動について理解する。
- 4) JICAが行う青年海外協力隊事業を理解する。
- 5) JICAが行う草の根技術協力事業(口腔保健分野)について理解する。

2-F: アルクネットアカデミーを使用した医学英語入門 (2) [森尾]

- 1) アルクネットアカデミー2「医学英語入門」コースを適切に使用することができる。
- 2) 医学英語の基本的語彙と表現を修得する。
- 3) 自分にあった英語学習方法を見つけることができる。

2-G: Intensive Studies in Dental Terminology (20 名以内) [森尾]

- 1) 歯学に関する文章を読み、内容を把握できる。
- 2) 歯学で使われる英単語を説明できる。

2-H: Basic English Writing (2) (15 名以内) [森尾]

- 1) The learning and practice of strategies for writing clear and concise English.
- 2) The ability to summarize an article and discuss its main points.

2-I: キャリア up のためのコミュニケーション ～医療者のキャリアデザイン②～ (30 名以内) [有馬]

- 1) 自分の物の見方やコミュニケーションのパターンを理解する。
- 2) 職場や家庭など、周囲とより良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ。
- 3) 自分にとってのモチベーションを考える。
- 4) 患者さんとのコミュニケーションの取り方について考える。

成績評価の方法

- ・レポートによる総括的評価を行う。

2-E

- ・授業態度などを基に総合的評価を行う。

2-F、2-G

- ・第5回目に行うテストによる。

2-H

- ・Classwork: Completion and the quality of work

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

* は、以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

連絡先

倉林 亨: kura.oral@tmd.ac.jp

三輪 全三: miwa.dohs@tmd.ac.jp

豊福 明: toyoompm@tmd.ac.jp

森尾 郁子: imorio.edev@tmd.ac.jp

鈴木 聖一: s-suzuki.mort@tmd.ac.jp

オフィスアワー

倉林 亨: 火・木 16:00-17:00

三輪 全三: 月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室

豊福 明: 火・水 16:30- 18:00

森尾 郁子: 毎週木曜日 16:30-19:00 M&D タワー7階 教授室

鈴木 聖一: 水・木 16:00-17:30

時間割番号	021124					
科目名	選択コース 2-A: ロボットの世界					
担当教員	豊福 明					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
ロボットに何ができ、またどのように使用されているのか認識する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 現在のロボットにどのようなことができるか説明できる。 2) ロボットを使用することの意義について意見を述べられる。 3) ロボットが活躍できる場を考え、その有用性について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	保存矯正実習室	次世代ロボットの紹介	先川原 正浩	講義:SBOs1-3 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター
2	5/29	14:50-15:40	保存矯正実習室	咀嚼とロボット	高信 英明	講義:SBOs1-3 工学院 大学機械システム工学部
3	6/5	14:50-15:40	保存矯正実習室	二足歩行ロボットを動かす	近藤 博信	講義:SBOs1-3 株式会社近藤科学
4	6/12	14:50-15:40	保存矯正実習室	介護領域のロボット	関口 史郎	講義:SBOs1-3 かながわ福祉サービス振興会
5	6/19	14:50-15:40	病院演習室	コミュニケーションロボット	鈴木 純二	講義:SBOs1-3 三菱重工機械鉄鋼事業部
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
toyoompm@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火・水 16:30- 18:00						

時間割番号	021125					
科目名	選択コース 2-B: 歯科医師の進路					
担当教員	倉林 亨					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
歯科医師として、将来の活躍の場に多様な選択肢のあることを認識する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医師の活動とその社会的意義を説明できる。 2) 進路を選択する上で、自らに必要な課題を抽出できる。 3) 進路を選択する上で、自らの適性について評価できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	歯学科第3講義室	卒業から開業まで	清水 義一	講義 SBOs 1-3
2	5/29	14:50-15:40	歯学科第3講義室	開業医として1	中野 由美子	講義 SBOs 1-3
3	6/5	14:50-15:40	歯学科第3講義室	開業医として2 (インプラント専門医)	菅井 敏郎	講義 SBOs 1-3
4	6/12	14:50-15:40	歯学科第3講義室	総合病院に勤める	上丸 英	講義 SBOs 1-3
5	6/19	14:50-15:40	歯学科第3講義室	東大病院に勤める	須佐美 隆史	講義 SBOs 1-3
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
kura.oral@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火・木 16:00-17:00						

時間割番号	021126					
科目名	選択コース 2-C: 世界の歯科事情					
担当教員	鈴木 聖一					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義(東京医科歯科大学で学ぶ外国人留学生による平易な英語による講義) ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
英語で行われる授業内容を理解する。 世界各国の文化および歯科事情を学び、国際的な感覚を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 英語で行われる授業の内容を理解し把握する。 2) 世界各国の歯科教育制度の違いについて説明できる。 3) 世界各国の社会医療制度の違いについて説明できる。 4) 世界各国の文化的背景の特徴について説明できる。						
授業計画						
	回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考
	1	5/22	14:50-15:40	未定	学年混合セミナー「世界の歯科事情」	SBOs;1-4: 外国人留学生
	2	5/29	14:50-15:40	未定	学年混合セミナー「世界の歯科事情」	SBOs;1-4: 外国人留学生
	3	6/5	14:50-15:40	未定	学年混合セミナー「世界の歯科事情」	SBOs;1-4: 外国人留学生
	4	6/12	14:50-15:40	未定	学年混合セミナー「世界の歯科事情」	SBOs;1-4: 外国人留学生
	5	6/19	14:50-15:40	未定	学年混合セミナー「世界の歯科事情」	SBOs;1-4: 外国人留学生
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
s-suzuki.mort@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水・木 16:00-17:30						

時間割番号	021127					
科目名	選択コース 2-D: 製品開発への途					
担当教員	三輪 全三					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 歯科関連器材が製品開発されるまでの過程を各企業の開発担当社から学び、臨床研究における産学連携の意義を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) どのようなニーズから製品開発プロジェクトが生まれるのか具体例を説明できる。 2) 機器や材料の製品開発までの過程を説明できる。 3) 産学連携における企業と大学の役割について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	未定	製品開発への途①(ジーシー)	戸崎 敏	講義: SBOs1-3
2	5/29	14:50-15:40	未定	製品開発への途②(モリタ製作所)	岡上 吉秀	講義: SBOs1-3
3	6/5	14:50-15:40	未定	製品開発への途③(日本歯科薬品)	常川 勝由	講義: SBOs1-3
4	6/12	14:50-15:40	未定	製品開発への途④(ライオン)	中嶋 省志	講義: SBOs1-3
5	6/19	14:50-15:40	未定	製品開発への途⑤(ヨシダ)	友江 剛	講義: SBOs1-3
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 ・日常、使用している歯科用具(ハブラシなど)や材料(歯磨剤など)の製作会社、仕様書などを読み、製品の種類や相違について調べてみる。 ・歯科関連器材で企業に開発を期待する製品について考えておく。						
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先 miwa.dohs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室						

時間割番号	021128					
科目名	選択コース 2-E: TMDU の海外拠点を理解し国際貢献を考える					
担当教員	吉田 丘					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0(必要自習時間 2 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
TMDUが行っている海外拠点を理解すると共にJICAの行う草の根技術協力事業を考える。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) チリ海外拠点の活動を理解する。 2) タイ海外拠点の活動について理解する。 3) ガーナ海外拠点の活動について理解する。 4) JICAが行う草の根技術協力事業(口腔保健分野)について理解する。 5) JICAが行う青年海外協力隊事業を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	歯学部演習室	チリ海外拠点について	吉田 丘	講義:SBOs 1: 演習室1・2
2	5/29	14:50-15:40	歯学部演習室	タイ海外拠点について	小野田 勝次	講義:SBOs 2: 演習室1・2
3	6/5	14:50-15:40	歯学部演習室	ガーナ海外拠点について	吉田 丘	演習:SBOs 3: 演習室1・2
4	6/12	14:50-15:40	歯学部演習室	JICAが行う草の根技術協力事業(口腔保健分野)について	宮田 隆	演習:SBOs 4: 演習室1・2
5	6/19	14:50-15:40	歯学部演習室	JICAが行う青年海外協力隊事業(口腔保健分野)について	小野田 勝次	演習:SBOs 5: 演習室1・2
成績評価の方法						
・授業態度などを基に総合的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
本学の海外拠点に関する情報は本学の広報物等により、またJICA事業については同機関ホームページを参照するなどして事前に情報を収集してから授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
qqq.yoshida.isc@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
木 16:00 - 17:00 1号館西4階国際交流センター 教授室						

時間割番号	021129					
科目名	選択コース 2-F:アルクネットアカデミーを使用した医学英語入門(2)					
担当教員	森尾 郁子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名:学年混合選択セミナー コマ数:5+0 授業形態:演習 ユニット番号:02						
授業の目的、概要等						
医学英語の基本的語彙と表現の学習を通して、医療の場で英語が使えるようになるにはどのような学習が必要かを理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) アルクネットアカデミー2「医学英語入門」コースを適切に使用することができる。 2) 医学英語の基本的語彙と表現を修得する。 3) 自分にあった英語学習方法を見つけることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Listening (1)-b	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
2	5/29	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Listening (2)-b	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
3	6/5	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Reading (1)-b	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
4	6/12	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Reading (2)-b	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
5	6/19	14:50-15:40	歯学科第4講義室	Vocabulary (1)-b	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
成績評価の方法						
・第5回目に行うテストによる。						
準備学習などについての具体的な指示						
授業初日に配布する予定表により、各回で取り上げるアルクネットアカデミー「医学英語入門」の単元を確認し、事前に当該単元のすべての内容を履修した上で授業に参加すること。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
imorio.edev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 16:30- 19:00 M&Dタワー7階 教授室						

時間割番号	021130					
科目名	選択コース 2-G: Intensive Studies in Dental Terminology					
担当教員	森尾 郁子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 演習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
リーディング/リスニングを通して専門用語(英語)を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯学に関する文章を読み、内容を把握できる。 2) 歯学で使われる英単語を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	Terminology 1	關 奈央子	演習: SBOs1-2
2	5/29	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	Reading 1	關 奈央子	演習: SBOs1-2
3	6/5	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	Terminology 2	關 奈央子	演習: SBOs1-2
4	6/12	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	Reading 2	關 奈央子	演習: SBOs1-2
5	6/19	14:50-15:40	歯学教育開発学分野 セミナー室	Review/Terminology 3	關 奈央子	演習: SBOs1-2
成績評価の方法						
・第5回目に行うテストによる。						
準備学習などについての具体的な指示						
授業初日に配布する予定表により、各回で取り上げるテーマを確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で授業に参加すること。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
英文歯科用語 1000 これで文献が読める: 入門編 / Thomas R.Ward 著, クインテッセンス出版, 1988						
備考						
内容が一部変わっているため、以前に本ユニットを受講した学生も選択可能である。						
連絡先						
imorio.edev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 16:30- 19:00 M&D タワー7階 教授室						

時間割番号	021131					
科目名	選択コース 2-H: Basic English Writing(2)					
担当教員	森尾 郁子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 演習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
Students will have the opportunity to write on topics of interest to them with increasing fluency.						
授業の到達目標(SBOs)						
1) The learning and practice of strategies for writing clear and concise English. 2) The ability to summarize an article and discuss its main points.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/22	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (6)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
2	5/29	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (7)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
3	6/5	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (8)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
4	6/12	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (9)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
5	6/19	14:50-15:40	未定	Basic English Writing (10)	アスリ ジャヤワルディナ	演習: SBOs 1-2
成績評価の方法						
•Classwork: Completion and the quality of work						
準備学習などについての具体的な指示						
事前配布されるテキストを注意深く読み、意味や使い方のわからない単語を調べた上で授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
imorio.edev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室						

時間割番号	021132																																												
科目名	選択コース 2-1: キャリア up のためのコミュニケーション～医療者のキャリアデザイン②～																																												
担当教員	有馬 牧子																																												
開講時期	前期	対象年次	3～4																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義及び演習 ユニット番号: 02																																													
授業の目的、概要等 キャリアを築いて行く上で必要な「コミュニケーション力」を身につけ、今後のキャリアアップや人間関係に役立てる。 自分のコミュニケーションパターンを知ることで、対人関係力を改善するのに役立てる。 自分の要求や気持ちの伝え方や、人の話を聴くポイントなどを具体的に身につける。それにより、患者さんとのコミュニケーションの取り方についてもヒントを学ぶ。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 自分の物の見方や価値観、コミュニケーションのパターンを理解する。 2) 職場や家庭など、周囲とより良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ。 3) 自分のコミュニケーションスキルを上げるためのモチベーションは何かを考える。 4) 患者さんとのコミュニケーションの取り方について考える。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/22</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>コミュニケーションとは？</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/29</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>自分のコミュニケーションパターンを知ろう</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/5</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>聴く・話す・伝える・要求する①</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/12</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>聴く・話す・伝える・要求する②</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/19</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>聴く・話す・伝える・要求する③</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	5/22	14:50-15:40	歯学部演習室	コミュニケーションとは？	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 演習室3・4	2	5/29	14:50-15:40	歯学部演習室	自分のコミュニケーションパターンを知ろう	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4	3	6/5	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する①	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4	4	6/12	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する②	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4	5	6/19	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する③	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	5/22	14:50-15:40	歯学部演習室	コミュニケーションとは？	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
2	5/29	14:50-15:40	歯学部演習室	自分のコミュニケーションパターンを知ろう	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
3	6/5	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する①	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
4	6/12	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する②	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
5	6/19	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する③	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
成績評価の方法 ・受講態度などを基に総合的に評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 今後、仕事とプライベートの両方において、どのようなキャリアを歩んで行きたいか、各自が大まかなプランを第1回講義時までまでに準備する。																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
連絡先 arima.ang@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 月～金 16:30 - 18:00 5号館3階 学生・女性支援センター																																													

時間割番号	021115				
科目名	歯科生体材料				
担当教員	宇尾 基弘, 本郷 敏雄				
開講時期	通年	対象年次	3~4	単位数	3
コマ数: 71(2)(実用自習時間19時間) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 18					
授業の目的、概要等					
歯科医療で使用される材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, および成型法を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
歯科医療で使用される金属、有機、無機、複合材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, それら材料の使用法および成型方法を理解し説明できる。					
成績評価の方法					
ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。					
準備学習などについての具体的な指示					
講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。					
試験の受験資格					
・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。					
構成ユニット					
01 生体材料の科学 02 歯科生体材料の性質 03 歯科材料の成型技術と臨床					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義総数の3分の2、実習総数の4分の3以上の出席が単位取得に必要である。					
教科書					
スタンダード歯科理工学：生体材料と歯科材料／鈴木一臣、榎本貢三、岡崎正之、中嶌裕、西山典宏 編集幹事、荒木吉馬、石川邦夫、伊藤充雄、川島功、莊村泰治、高橋英和、土井豊、久恒邦博、平野進、松家茂樹、宮崎隆、米山隆之 編集・執筆、学建書院、2009					
参考書					
歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編、医歯薬出版、2011 コア歯科理工学／小倉英夫、高橋英和、宮崎隆、小田豊、榎本貢三、小園凱夫 編、医歯薬出版、2008					
参照ホームページ					
http://m-uo.com/lecture.html (学内アクセス限定)					
オフィスアワー					
本郷 敏雄生命科学(生物物理化学): 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。					

時間割番号	021116					
科目名	生体材料の科学					
担当教員	塙 隆夫					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名: 歯科生体材料 コマ数: 15+1(必要自習時間5時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
歯科材料を含む生体材料を理解するための基礎として、材料科学の基本知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 材料の分類と特性について説明できる。 2) 材料の力学的性質および試験法について説明できる。 3) 金属材料の構造と基本的性質を説明できる。 4) セラミック材料の構造と基本的性質を説明できる。 5) 高分子材料の構造と基本的性質を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	2/23	12:50-15:40	歯学科第2講義室	生体材料概論材料の力学的・物理的・化学的性質	塙 隆夫, 宇尾 基弘 本郷 敏雄, 和田 敬広	講義SBOs 1,2
4-6	2/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	高分子材料と歯科応用	由井 伸彦, 宇尾 基弘 本郷 敏雄, 和田 敬広	講義SBOs 5
7-9	2/25	12:50-15:40	歯学科第2講義室	セラミック材料と歯科応用	山下 仁大, 宇尾 基弘 本郷 敏雄, 和田 敬広	講義SBOs 4
10-12	2/26	09:00-11:50	歯学科第2講義室	金属材料と歯科応用	塙 隆夫, 宇尾 基弘 本郷 敏雄, 和田 敬広	講義SBOs 3
13-15	2/27	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	成形修復と歯科用レジン	宇尾 基弘, 本郷 敏雄 和田 敬広	実習SBOs 1,2,3
16	3/2	13:50-14:40	歯学科第2講義室	筆記試験	宇尾 基弘, 本郷 敏雄 和田 敬広	
成績評価の方法						
ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。						
準備学習などについての具体的な指示						
講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。						
試験の受験資格						
・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。						
備考						
・当該ユニットの試験に不合格の者は次年度に当該ユニットを履修しなければならない。						
連絡先						
hanawa.met@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・金 16:30-18:00						

時間割番号	021139					
科目名	歯科生体材料の性質					
担当教員	宇尾 基弘					
開講時期	前期	対象年次	4			
モジュール名: 歯科生体材料 コマ数: 24+1 (必要自習時間 6 時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
各用途に使用される歯科生体材料の性質について、必要とされる特性との関連に基づき理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 成形修復材料と接着について説明でき、適切に準備できる。 2) 合着材、接着材の種類と性質を説明できる。 3) コンポジットと硬質レジンについて説明できる。 4) 印象材と模型材の種類と性質を説明でき、適切に準備できる。 5) 歯科用陶材について説明できる。 6) 歯科用合金について説明できる。 7) インプラント材料、歯周治療用材料、その他の歯科治療用材料について説明できる。 8) 歯質の機械的性質について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/9	09:00-11:50	歯学科第3講義室	成形修復材料、合着材、接着	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 1,2
4-6	4/9	12:50-15:40	歯学科第3講義室	印象材と模型材	高橋 英和	講義SBOs 4
7-9	4/14	09:00-11:50	歯学科第3講義室	成形修復と歯科用レジン	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 1,2,3
10-12	4/15	09:00-11:50	歯学科第3講義室	状態図と歯科用合金	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 5
13-14	4/17	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯科用合金 2	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 5
15-17	4/18	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯科用合金 3・インプラント材料	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 5,6
18-20	4/21	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習 1 印象採得と模型作成	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	実習SBOs 4
21-23	4/22	09:00-11:50	歯学科第3講義室	コンポジットレジン	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 1,3
24	4/24	12:50-13:40	歯学科第3講義室	歯質の機械的性質	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs 7
25	4/24	13:50-14:40	歯学科第3講義室	筆記試験	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義SBOs
成績評価の方法						
ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。						
準備学習などについての具体的な指示						
講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。						

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

備考

・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021140					
科目名	歯科材料の成形技術と臨床					
担当教員	宇尾 基弘					
開講時期	前期	対象年次	4			
モジュール名: 歯科生体材料 コマ数: 38+1(必要自習時間8時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 歯科材料の成型加工技術を理解し、操作できるとともに、種々の臨床場面において適切な歯科材料を選択するために、組成・特性についての基礎知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科で用いられている成形加工技術を説明でき 2) 歯科鑄造に用いる材料を説明でき、鑄造体を作製できる。 3) 義歯床用材料の性質を説明でき、重合体を作製できる。 4) 切削・研磨用器具について説明でき、研磨ができる。 5) 歯科用陶材・セラミックスの特性と加工法について説明できる。 6) 歯科用合金の熱処理と腐食挙動について説明できる。 7) 歯科器材のクラス分類と認証・承認、生体材料の生体安全性について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/25	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯科鑄造に用いる材料	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 1,2
4-6	4/30	09:00-11:50	歯学科第3講義室	成型加工技術(鑄造・ろう付・CAD/CAM)	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 2,4
7-8	5/1	12:50-14:40	歯学科第3講義室	義歯床用材料と重合	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 3
9-11	5/2	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯科用陶材とセラミックス	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 5
12-14	5/7	12:50-15:40	歯学科第3講義室	切削・研削・研磨	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 4
15-16	5/8	12:50-14:40	歯学科第3講義室	生体材料の安全性1	本郷 敏雄 原田 直子	講義:SBOs 7
17-19	5/9	12:50-15:40	歯学科第3講義室	生体材料の安全性2	本郷 敏雄 原田 直子	講義:SBOs 7
20-22	5/14	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習2・レジンの重合1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 水口 俊介	実習:SBOs 3
23-25	5/15	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習3・レジンの重合1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 水口 俊介	実習:SBOs 3
26-28	5/16	09:00-11:50	歯学科第3講義室	合金の熱処理	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 6
29-31	5/20	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習4・歯科鑄造1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 三浦 宏之	実習:SBOs 2
32-33	5/22	12:50-14:40	歯学科第3講義室	合金の熱処理・腐食	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 6
34-36	5/23	12:50-15:40	補綴実習室	実習5・歯科鑄造2	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 三浦 宏之	実習:SBOs 2
37	5/26	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	
38-39	5/26	10:00-11:50	補綴実習室	実習6・鑄造体とレジンの研磨	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 水口 俊介	実習:SBOs 4

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

準備学習などについての具体的な指示

講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。

実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

備考

・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021141																																																																						
科目名	研究実習																																																																						
担当教員	井関 祥子, 小野 卓史, 中川 一路																																																																						
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	4																																																																		
コマ数: 250(0) (必要自習時間 70 時間) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 13 ユニット番号: 01																																																																							
授業の目的、概要等 医療の進歩に不可欠な医歯学研究を実践することで、問題解決の方法を習得するとともに科学的検証の重要性を理解し、医歯学研究に貢献できる歯科医師としての意識と態度を涵養する。																																																																							
授業の到達目標(SB0s) 1) 自ら関心を持つ問題について、配属先教員と相談し研究課題を設定することができる。 2) 研究課題を科学的研究として遂行するための計画を立て、自ら説明することができる。 3) 研究活動に必要な具体的な知識、技能、適切な態度を習得することができる。 4) 研究結果を科学的に検証して評価することができる。 5) 研究活動について報告書を作成し、発表することができる。																																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>概説 配属研究室について</td> <td>小野 卓史, 中川 一路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4/11</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>動物実験(資格許可取得/センター使用) 配属手続き</td> <td>金井 正美, 井関 祥子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>研究の基本 配属手続き確認・その他</td> <td>荒木 啓吾, 井関 祥子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5/28</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>バイオセーフティー 配属先決定</td> <td>小野 卓史, 中川 一路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>臨床統計 研究の実際 オリエンテーション</td> <td>木野 孔司, 葭田 敏之, 井関 祥子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6/10</td> <td>12:50-15:40</td> <td></td> <td>研究実習(配置開始)</td> <td>井関 祥子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6/11 から</td> <td>09:00-15:40</td> <td></td> <td>研究実習</td> <td>井関 祥子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7/31</td> <td>09:00-15:40</td> <td></td> <td>研究実習</td> <td>井関 祥子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9/19</td> <td>09:00-15:40</td> <td>歯学部演習室1-11</td> <td>研究実習発表会(ポスター発表)</td> <td>小野 卓史, 井関 祥子, 中川 一路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10/20</td> <td>09:00-15:40</td> <td>特別講堂, 病院演習室, 講師控室</td> <td>研究実習発表会(口演発表・ポスタービューイング)</td> <td>小野 卓史, 井関 祥子, 中川 一路</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員		2/24	09:00-11:50	歯学科第3講義室	概説 配属研究室について	小野 卓史, 中川 一路		4/11	12:50-15:40	歯学科第3講義室	動物実験(資格許可取得/センター使用) 配属手続き	金井 正美, 井関 祥子		5/13	12:50-15:40	歯学科第3講義室	研究の基本 配属手続き確認・その他	荒木 啓吾, 井関 祥子		5/28	12:50-15:40	歯学科第3講義室	バイオセーフティー 配属先決定	小野 卓史, 中川 一路		6/10	09:00-11:50	歯学科第3講義室	臨床統計 研究の実際 オリエンテーション	木野 孔司, 葭田 敏之, 井関 祥子		6/10	12:50-15:40		研究実習(配置開始)	井関 祥子		6/11 から	09:00-15:40		研究実習	井関 祥子		7/31	09:00-15:40		研究実習	井関 祥子		9/19	09:00-15:40	歯学部演習室1-11	研究実習発表会(ポスター発表)	小野 卓史, 井関 祥子, 中川 一路		10/20	09:00-15:40	特別講堂, 病院演習室, 講師控室	研究実習発表会(口演発表・ポスタービューイング)	小野 卓史, 井関 祥子, 中川 一路
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																		
	2/24	09:00-11:50	歯学科第3講義室	概説 配属研究室について	小野 卓史, 中川 一路																																																																		
	4/11	12:50-15:40	歯学科第3講義室	動物実験(資格許可取得/センター使用) 配属手続き	金井 正美, 井関 祥子																																																																		
	5/13	12:50-15:40	歯学科第3講義室	研究の基本 配属手続き確認・その他	荒木 啓吾, 井関 祥子																																																																		
	5/28	12:50-15:40	歯学科第3講義室	バイオセーフティー 配属先決定	小野 卓史, 中川 一路																																																																		
	6/10	09:00-11:50	歯学科第3講義室	臨床統計 研究の実際 オリエンテーション	木野 孔司, 葭田 敏之, 井関 祥子																																																																		
	6/10	12:50-15:40		研究実習(配置開始)	井関 祥子																																																																		
	6/11 から	09:00-15:40		研究実習	井関 祥子																																																																		
	7/31	09:00-15:40		研究実習	井関 祥子																																																																		
	9/19	09:00-15:40	歯学部演習室1-11	研究実習発表会(ポスター発表)	小野 卓史, 井関 祥子, 中川 一路																																																																		
	10/20	09:00-15:40	特別講堂, 病院演習室, 講師控室	研究実習発表会(口演発表・ポスタービューイング)	小野 卓史, 井関 祥子, 中川 一路																																																																		
成績評価の方法 ・学生は自ら活動記録を付け、活動記録を定期的に配属先教員に提出し、形成的評価を受ける。 ・学生は、研究体験実習発表会(全員必須)において研究活動を発表し、形成的評価を受ける。 ・モジュール終了時には、配属先教員による評価シート、研究活動報告書の評価を合わせ、総括的評価を行う。																																																																							
準備学習などについての具体的な指示																																																																							
試験の受験資格 ・全授業時間数の3/4以上活動(出席)。 ・活動(出席)状況については、アドバイザーが記録する。																																																																							
構成ユニット 01 研究実習																																																																							

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項

・講義時間数の2/3以上出席(ただし、配属先の実習の内容によっては、欠席するとその実習ができなくなる講義があることを承知すること) ・全実習時間数の3/4以上活動(活動状況については、配属先教員が記録する。) ・9月19日と10月20日の発表会への出席は必須(審査も行う) ・研究活動報告書の提出 以上の要件を満たしたものをユニット合格とし、これらの内容によって成績判定が行われる。 8月4日～9月8日までの夏季休暇における実習の延長については、学生本人が希望した上で、配属先分野が了承した場合のみ可とする。

備考

<備考>:詳細については、講義の中で説明する。

コース設定:

1Aコース:大学内研究室(医/歯/難治研/生材研他)へ配属するコース

2Bコース:学外研究機関へ配属するコース

Bコースについては、基本的には

1) 希望者自身で先方との交渉一切を行うこと、

2) 海外の場合は基本的に関連する交通費、滞在費、保険料(保険に加入することが義務づけられるため)などは個人負担となることを承知すること。

[上記A、Bコースとも1分野(研究室)1人制。希望者が複数の場合は1分野1名になるように希望者間で調整すること。例外は認めない]

8月1日～9月8日までの夏季休暇における実習の延長については、学生本人が希望した上で、配属先分野が了承した場合のみ可とする。

学生発表会事前抄録について:

8月30日(金)17:00までに、PDF形式とした上で、メールに添付し教務掛まで提出すること。期限を守らなかった場合は、履修しなかったこととする。

(件名は、『事前抄録 2014(事務処理番号/氏名)』とすること。)

事前抄録について:MS明朝12ポイントにて、目的、研究方法、結果、考察について、A4紙1枚に収める事。

図表の使用も可。印刷については、白黒となることを承知のこと。

学生発表会事前抄録について:

9月19日(金)に全員を対象としてポスター発表[発表と質疑応答]を実施する予定としている。審査委員と学生による審査結果、上位6名の学生を10月20日(月)の口演発表者(英語)として選出する。

10月20日(金)の発表会では、口演発表(D4の中から6名と外国人学生6名、英語)、口演発表しないD4学生はポスタービューイングの時間でポスター説明をするとともに、発表の審査をする。

研究活動報告書について:

10月4日(火)17:00までに、PDF形式とした上で、メールに添付し教務掛まで提出すること。(件名は、『研究活動報告書 2014(事務処理番号/氏名)』とすること。)

①タイトル、配属分野、配属分野分野長、指導担当教員、学籍番号および氏名を明記する。

②タイトルページを除いた上で、要旨、背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献、および図や表を含めてA4で8ページ以内に収めること。

③「研究背景」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「展望」、「感想」の項目を独立させる。すなわち、報告書の形式を有していること。事前に担当分野の教員と十分に議論して、様式を整えること。報告書として体裁をなしていないものは再提出となることに留意すること。

注意:パワーポイントファイルの集合体での形式は不可

その他:期間中は、各分野へ配属するため、情報伝達については e-learning 学習管理システムへの掲載情報を随時、各人が確認すること。研究室配属が基本となるので、通常の講義、実習とは異なり、仕事場の一員となることを強く自覚し、社会人としてふさわしい行動をとるようにすること。

研究体験実習については、配属先研究室で、「教えてもらう」時間ではなく、「学ぶ」時間を得ていることを、きちんと認識し、能動的に実習を行うこと。

配属期間中、相談等がある場合は、下記、Office Hour に研究室訪問(要事前連絡)あるいは、e-mail を用いて早めに連絡をとるようにすること。

参照ホームページ

- ・ 日本学術会議 HP: <http://www.scj.go.jp/index.html>
- ・ 日本学術会議 科学者の行動規範について
HP: <http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf>
- ・ 日本学術振興会 HP: <http://www.jsps.go.jp/>

連絡先

井関 祥子: s.iseki.emb@tmd.ac.jp

小野 卓史: tono.orts@tmd.ac.jp

中川 一路: chiro-n.bac@tmd.ac.jp

オフィスアワー

井関 祥子: 随時 (必ず事前に連絡すること)

小野 卓史: 月・水 16:00-17:30

中川 一路: 月—金 16:00-18:00

時間割番号	021142				
科目名	歯と根尖歯周組織の疾患				
担当教員	大槻 昌幸, 池田 英治				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	5
コマ数: 174+15 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 20					
授業の目的、概要等					
歯と根尖歯周組織に生ずる疾患の病因・病態を理解し、その予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 歯の硬組織疾患とその対応 概論					
02 歯の硬組織疾患					
03 保存修復治療の基礎					
04 保存修復治療の最新の臨床					
05 保存修復治療の展開					
06 歯髄/根尖歯周組織疾患を治す					
07 歯髄/根尖歯周組織を考える					
08 歯内治療の展開					
09 歯内治療実習					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にわたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
大槻 昌幸: otsuki.ope@tmd.ac.jp					
池田 英治: hms-ikeda.endo@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
大槻 昌幸: 月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降					
池田 英治: 月～金 16:30-18:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室					

時間割番号	021143					
科目名	歯の硬組織疾患とその対応 概論					
担当教員	大槻 昌幸					
開講時期	前期	対象年次	4			
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 ユニット名: 歯の硬組織疾患とその対応 概論 コマ数: 5+0(第2ユニットで実施) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
歯の硬組織疾患とその治療の概要を理解し、臨床に必要な基礎知識を身につける。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 保存修復治療の概要を説明できる。 2) 歯内治療の概要を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	4/8	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯と根尖歯周組織の疾患 概論1	田上 順次	講義:SBOs 1
3	4/8	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯と根尖歯周組織の疾患 概論2	大槻 昌幸	講義:SBOs 1
4-5	4/8	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯と根尖歯周組織の疾患 概論3	砂川 光宏	講義:SBOs 2
成績評価の方法						
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年9月17日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
otsuki.ope@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降						

時間割番号	021144																																																																								
科目名	歯の硬組織疾患																																																																								
担当教員	大槻 昌幸																																																																								
開講時期	後期	対象年次	4																																																																						
<p>モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 ユニット名: 歯の硬組織疾患 コマ数: 14+3(第4ユニットでも実施) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02</p>																																																																									
<p>授業の目的、概要等 歯の常態を理解し、う蝕ならびにその他の歯質欠損の病態と治療の進め方を理解する。 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義と方法を理解する。 修復材料の特性、成分及び構造を把握し、適切な材料の選択ならびに取り扱い方を理解する。</p>																																																																									
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の硬組織の構造と機能を説明できる。 2) う蝕の病因と病態を説明できる。 3) う蝕の症状・診断・治療法を説明できる。 4) 歯冠欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 5) 窩洞の意義と窩洞形成の方法を説明できる。 6) 切削・研磨用材料と使用機器の特徴と使い方を説明できる。 7) 歯冠修復に用いる材料の構造と物性を理解する。 8) 歯冠修復法の種類と特徴及びその適応を説明できる。 9) 接着性修復材料をもちいた修復の概要と特性を説明できる。 10) 修復に必要な前処理の目的と意義を説明できる。 11) 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。 12) う蝕の予防法を理解し、う蝕リスクの診断法を説明できる。 13) 間接法修復の進め方と使用する材料の種類と性質を説明できる。 14) 仮封ならびに暫間装置の意義、種類及び特徴を説明できる。 																																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/15</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯の硬組織の正常と異常</td> <td>大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典</td> <td>実習: SBOs 1</td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td>4/16</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>う蝕の処置と窩洞</td> <td>中島 正俊</td> <td>講義: SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>4/16</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>う蝕のリスク検査</td> <td>北迫 勇一</td> <td>講義: SBOs 3,4,5,6</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4/23</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯質への接着</td> <td>二階堂 徹</td> <td>講義: SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>8-9</td> <td>4/23</td> <td>11:00-13:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>コンポジットレジン修復1</td> <td>稲井 紀通</td> <td>講義: SBOs 4,6,9,12</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>5/13</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>コンポジットレジン修復2</td> <td>二階堂 徹, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂</td> <td>実習: SBOs 1</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>5/20</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>間接法修復</td> <td>二階堂 徹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>5/21</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯科用セメントとアマルガム</td> <td>島田 康史</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15-17</td> <td>9/17</td> <td>09:00-11:50</td> <td>5F 示説室, 保存矯 正実習室</td> <td>試験</td> <td>大槻 昌幸</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	4/15	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯の硬組織の正常と異常	大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 1	2-4	4/16	09:00-10:50	歯学科第3講義室	う蝕の処置と窩洞	中島 正俊	講義: SBOs 1,2	5-6	4/16	12:50-14:40	歯学科第3講義室	う蝕のリスク検査	北迫 勇一	講義: SBOs 3,4,5,6	7	4/23	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯質への接着	二階堂 徹	講義: SBOs 3	8-9	4/23	11:00-13:40	歯学科第3講義室	コンポジットレジン修復1	稲井 紀通	講義: SBOs 4,6,9,12	10	5/13	09:00-10:50	歯学科第3講義室	コンポジットレジン修復2	二階堂 徹, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 1	11-12	5/20	09:00-10:50	歯学科第3講義室	間接法修復	二階堂 徹		13-14	5/21	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯科用セメントとアマルガム	島田 康史		15-17	9/17	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯 正実習室	試験	大槻 昌幸	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																																			
1	4/15	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯の硬組織の正常と異常	大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 1																																																																			
2-4	4/16	09:00-10:50	歯学科第3講義室	う蝕の処置と窩洞	中島 正俊	講義: SBOs 1,2																																																																			
5-6	4/16	12:50-14:40	歯学科第3講義室	う蝕のリスク検査	北迫 勇一	講義: SBOs 3,4,5,6																																																																			
7	4/23	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯質への接着	二階堂 徹	講義: SBOs 3																																																																			
8-9	4/23	11:00-13:40	歯学科第3講義室	コンポジットレジン修復1	稲井 紀通	講義: SBOs 4,6,9,12																																																																			
10	5/13	09:00-10:50	歯学科第3講義室	コンポジットレジン修復2	二階堂 徹, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 1																																																																			
11-12	5/20	09:00-10:50	歯学科第3講義室	間接法修復	二階堂 徹																																																																				
13-14	5/21	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯科用セメントとアマルガム	島田 康史																																																																				
15-17	9/17	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯 正実習室	試験	大槻 昌幸																																																																				
<p>成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年9月17日および10月21日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。</p>																																																																									

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降

時間割番号	021145					
科目名	保存修復治療の基礎					
担当教員	大槻 昌幸					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 ユニット名: 保存修復治療の基礎 コマ数: 50+0(第4ユニットで実施) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 う蝕の診察、検査、診断、治療及び予防を行うために必要な、基本的な技能及び態度を身につける。 う蝕ならびにその他の歯質欠損に対する歯冠修復の進め方を習得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 診察、検査、診断及び治療に必要な器材を準備できる。 2) 切削・研磨用材料と機器を使用できる。 3) う蝕の除去ならびに窩洞形成ができる。 4) 歯の欠損の病態に対応した処置方針を選択し、説明できる。 5) 直接法接着修復の基本操作を行うことができる。 6) 修復に必要な前処理の基本的操作ができる。 7) 間接法修復に関する模型上での基本的操作を理解し、行うことができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	健全歯とう蝕歯1	大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 1
2	4/16	14:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	健全歯とう蝕歯2	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 1
3-5	4/22	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	歯科用機器の使い方	大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 2,3
6-8	4/23	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	う蝕の除去	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 1,2,3,4
9-11	4/30	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	う蝕の除去とレジン修復	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 1,2,3,4
12-14	5/14	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	歯頸部のレジン修復	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 2,3,4,5,6,7
15-17	5/21	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	歯科用切削器具の使い方	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 3
18-20	5/27	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	I級レジン修復	大槻 昌幸, 吉川 孝子, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 2,3,4,5,6,7

21-23	5/28	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅱ級レジン修復	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習:SBOs 2,3,4,5,6,7
24-26	6/3	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	レジンインレー修復1	大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 高橋 真広, 半場 秀典	石川芽生:実習: SBOs
27-29	6/4	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	レジンインレー修復2	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	講義:SBOs2,3,4,5,7,8
30-32	6/5	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	レジンインレー修復3	大槻 昌幸, 島田 康史, 井上 剛, 吉川 孝子, 荒牧 音	高田恒彦:実習: SBOs 2,3,4,5,7,8
33-35	6/6	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	レジンインレー修復4	大槻 昌幸, 北迫 勇一, 高橋 礼奈, 高橋 真広, 辻本 美穂	浦部功:実習:SBOs 2,3,4,5,7,8
36-38	6/6	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	メタルインレー窩洞	大槻 昌幸, 島田 康史, 吉川 孝子, 高橋 真広, 半場 秀典	大野康博:実習: SBOs 2,3,4
39-41	9/9	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	歯のホワイトニング	大槻 昌幸	講義:SBOs 1,2
42-44	9/9	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅲ級レジン修復	大槻 昌幸, 島田 康史, 高垣 智博, 高橋 真広, 半場 秀典	実習:SBOs 2,3,4,5,6,7
45-47	9/10	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅳ級修復	大槻 昌幸, 保坂 啓一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習:SBOs 2,3,4,5,6,7
48-50	9/17	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	歯根う蝕	大槻 昌幸, 保坂 啓一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習:SBOs 2,3,4,5,6,7

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・平成 26 年 10 月 21 日に筆記ならびに実習試験を行い、総括的評価を行う。
- ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および実習試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降

時間割番号	021146																																																																																																														
科目名	保存修復治療の最新の臨床																																																																																																														
担当教員	大槻 昌幸																																																																																																														
開講時期	後期	対象年次	4																																																																																																												
<p>モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 21+3 授業形態: 講義 ユニット番号: 04</p>																																																																																																															
<p>授業の目的、概要等 審美的な歯科治療に関する知識を習得し、その治療方法を理解する。 歯質保存的な歯冠修復の意義を理解する。</p>																																																																																																															
<p>授業の到達目標(SBOs) 1) 歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。 2) 審美的な歯科治療の意義を説明できる。 3) 審美的な歯科治療法を列挙し、その基本的な術式と特徴を説明できる。 4) MIの意義を説明できる。 5) 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。</p>																																																																																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/13</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>保存修復治療の実際1</td> <td>西村 耕三</td> <td>講義: SBOs 1,2,4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/20</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>保存修復治療の実際2</td> <td>池田 忠雄</td> <td>講義: SBOs 1,2,4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/21</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>保存修復治療の実際3</td> <td>東 高士</td> <td>講義: SBOs 1,2,4</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>6/4</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>カリオロジーの最先端</td> <td>花田信弘</td> <td>講義: SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>9/9</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯のホワイトニング</td> <td>大槻 昌幸</td> <td>講義: SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>9/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>ライブ講義 保存修復治療の実際</td> <td>大槻 昌幸, 保坂 啓一, 高橋 真広, 半場 秀典</td> <td>講義: SBOs 1,2,4</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>9/16</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>最新の保存修復学の研究1</td> <td>中島 正俊</td> <td>講義: SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>9/16</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>最新の保存修復学の研究2</td> <td>島田 康史</td> <td>講義: SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9/16</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>審美的な保存修復治療1</td> <td>田代浩史</td> <td>講義: SBOs 1,2,3</td> </tr> <tr> <td>16-17</td> <td>9/30</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>審美的な保存修復治療2</td> <td>岸川 隆蔵</td> <td>講義: SBOs 1,2,4</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>9/30</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>審美的な保存修復治療3</td> <td>保坂 啓一</td> <td>講義: SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>19-20</td> <td>10/14</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>Research and clinical topics of cariology and operative dentistry</td> <td>Sadr Alireza</td> <td>講義: SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>10/14</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>最新の保存修復学の研究3</td> <td>大槻 昌幸</td> <td>講義: SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>10/21</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室 保存矯正実習室</td> <td>試験</td> <td>大槻 昌幸</td> <td>試験</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	5/13	11:00-11:50	歯学科第3講義室	保存修復治療の実際1	西村 耕三	講義: SBOs 1,2,4	2	5/20	11:00-11:50	歯学科第3講義室	保存修復治療の実際2	池田 忠雄	講義: SBOs 1,2,4	3	5/21	11:00-11:50	歯学科第3講義室	保存修復治療の実際3	東 高士	講義: SBOs 1,2,4	4-6	6/4	09:00-11:50	歯学科第3講義室	カリオロジーの最先端	花田信弘	講義: SBOs 3	7-9	9/9	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯のホワイトニング	大槻 昌幸	講義: SBOs 1,2	10-12	9/10	09:00-11:50	歯学科第3講義室	ライブ講義 保存修復治療の実際	大槻 昌幸, 保坂 啓一, 高橋 真広, 半場 秀典	講義: SBOs 1,2,4	13	9/16	09:00-09:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究1	中島 正俊	講義: SBOs 3	14	9/16	10:00-10:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究2	島田 康史	講義: SBOs 3	15	9/16	11:00-11:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療1	田代浩史	講義: SBOs 1,2,3	16-17	9/30	09:00-10:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療2	岸川 隆蔵	講義: SBOs 1,2,4	18	9/30	11:00-11:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療3	保坂 啓一	講義: SBOs 1,2	19-20	10/14	09:00-10:50	歯学科第3講義室	Research and clinical topics of cariology and operative dentistry	Sadr Alireza	講義: SBOs 3	21	10/14	11:00-11:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究3	大槻 昌幸	講義: SBOs 3	22-24	10/21	09:00-11:50	歯学科第3講義室 保存矯正実習室	試験	大槻 昌幸	試験
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																																																																									
1	5/13	11:00-11:50	歯学科第3講義室	保存修復治療の実際1	西村 耕三	講義: SBOs 1,2,4																																																																																																									
2	5/20	11:00-11:50	歯学科第3講義室	保存修復治療の実際2	池田 忠雄	講義: SBOs 1,2,4																																																																																																									
3	5/21	11:00-11:50	歯学科第3講義室	保存修復治療の実際3	東 高士	講義: SBOs 1,2,4																																																																																																									
4-6	6/4	09:00-11:50	歯学科第3講義室	カリオロジーの最先端	花田信弘	講義: SBOs 3																																																																																																									
7-9	9/9	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯のホワイトニング	大槻 昌幸	講義: SBOs 1,2																																																																																																									
10-12	9/10	09:00-11:50	歯学科第3講義室	ライブ講義 保存修復治療の実際	大槻 昌幸, 保坂 啓一, 高橋 真広, 半場 秀典	講義: SBOs 1,2,4																																																																																																									
13	9/16	09:00-09:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究1	中島 正俊	講義: SBOs 3																																																																																																									
14	9/16	10:00-10:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究2	島田 康史	講義: SBOs 3																																																																																																									
15	9/16	11:00-11:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療1	田代浩史	講義: SBOs 1,2,3																																																																																																									
16-17	9/30	09:00-10:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療2	岸川 隆蔵	講義: SBOs 1,2,4																																																																																																									
18	9/30	11:00-11:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療3	保坂 啓一	講義: SBOs 1,2																																																																																																									
19-20	10/14	09:00-10:50	歯学科第3講義室	Research and clinical topics of cariology and operative dentistry	Sadr Alireza	講義: SBOs 3																																																																																																									
21	10/14	11:00-11:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究3	大槻 昌幸	講義: SBOs 3																																																																																																									
22-24	10/21	09:00-11:50	歯学科第3講義室 保存矯正実習室	試験	大槻 昌幸	試験																																																																																																									
<p>成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年10月21日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。</p>																																																																																																															
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>																																																																																																															
<p>試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。</p>																																																																																																															
<p>連絡先 otsuki.ope@tmd.ac.jp</p>																																																																																																															
<p>オフィスアワー 月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降</p>																																																																																																															

時間割番号	021147					
科目名	保存修復治療の展開					
担当教員	大槻 昌幸					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 21+3 授業形態: 実習 ユニット番号: 05						
授業の目的、概要等 歯の硬組織疾患に対する審美的治療の基本的術式を習得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 前歯の審美的接着修復の基本操作を行うことができる。 2) 臼歯の審美的接着修復の基本操作を行うことができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/16	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	補修修復	大槻 昌幸, 島田 康史, 高垣 智博, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 1
4-6	9/24	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅲ級レジン修復	大槻 昌幸, 島田 康史, 高垣 智博, 高橋 真広, 半場 秀典	実習: SBOs 1
7-9	9/24	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	破折歯の修復	大槻 昌幸, 保坂 啓一, 高橋 礼奈, 荒牧 音, 辻本 美穂	実習: SBOs 1
10-12	9/30	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	ベニア修復	大槻 昌幸, 島田 康史, 高垣 智博, 高橋 真広, 半場 秀典	日下輝雄: 実習: SBOs 1
13-15	10/7	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅱ級レジン修復	大槻 昌幸, 吉川 孝子, 島田 康史, 荒牧 音, 辻本 美穂	新田義人: 実習: SBOs 2
16-18	10/7	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅱ級レジン修復	大槻 昌幸, 島田 康史, 高垣 智博, 高橋 真広, 半場 秀典	趙永哲: 実習: SBOs 2
19-21	10/14	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	Ⅱ級レジン修復	大槻 昌幸, 吉川 孝子, 高垣 智博, 荒牧 音, 辻本 美穂	森文彦: 実習: SBOs 2
22-24	10/21	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正 実習室	試験	大槻 昌幸, 吉川 孝子, 高橋 真広, 荒牧 音, 半場 秀典	試験
成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 26 年 10 月 21 日に筆記試験ならびに実習試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降

時間割番号	021148						
科目名	歯髄/根尖歯周組織疾患を治す						
担当教員	砂川 光宏						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 7+0(09ユニットで実施) 授業形態: 講義 ユニット番号: 06							
授業の目的、概要等							
歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断と治療法を学ぶ。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断法をフローチャートを用いて説明できる。 2) 歯髄保存療法を分類し、説明できる。 3) 歯髄除去療法を分類し、説明できる。 4) 歯髄疾患の治療に必要な無菌的処置法を説明できる。 5) 感染根管治療を説明できる。 6) 感染根管治療の補助療法を列挙し、説明できる。 7) 根管の機械的拡大・形成と化学的清掃を説明できる。 8) 根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 9) 歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/22	09:00-09:50	歯学科第3講義室	総論、Infection control	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断と治療法に関する総論と歯内療法学における無菌的処置法を学ぶ	砂川 光宏	SBOs:1-9
2	9/22	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断法を学ぶ	砂川 光宏	SBOs:1
3	9/22	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄保護、歯髄保存療法	歯髄の重要性、歯髄保護の意義、歯髄保存療法について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:2,4,9
4	9/26	12:50-13:40	歯学科第3講義室	歯髄除去療法	歯髄を除去しなければならない病態と歯髄除去療法について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:3,4,9
5	9/26	13:50-14:40	歯学科第3講義室	感染根管治療	感染根管治療とその補助療法について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:5,6,9
6	9/26	14:50-15:40	歯学科第3講義室	根管拡大・形成、根管洗浄	根管の機械的拡大・形成と化学的清掃法について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:7
7	9/29	09:00-09:50	歯学科第3講義室	根管充填	根管充填の目的、時期及び方法について、また歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:8,9
成績評価の方法							
・各講義終了後に小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年12月15日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。							

<p>構成ユニット 歯髄/根尖歯周組織疾患を治す</p>
<p>モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。</p>
<p>教科書 改訂版エンドンティクス、第3版／須田英明, 中村洋 編集主幹, 患比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編: 永末書店, 2010</p>
<p>参考書 失敗しない歯髄保存療法：抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著: クインテッセンス出版, 2006 歯内療法のケースアセスメントと臨床：根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013 歯内療法のケースアセスメントと臨床：根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013</p>
<p>連絡先 m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡を入れること)</p>

時間割番号	021149																																		
科目名	歯髄/根尖歯周組織を考える																																		
担当教員	砂川 光宏																																		
開講時期	後期	対象年次	4																																
<p>モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 6+0 (08 ユニットで実施) 授業形態: 講義 ユニット番号: 07</p>																																			
<p>授業の目的、概要等 歯髄・根尖歯周組織の常態から疾患への移行を生物学的に理解する。</p>																																			
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割を説明できる。 2) 歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 3) 外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の防御反応を概説できる。 																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>9/29</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯髄/根尖歯周組織の細菌学</td> <td>歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割について学ぶ</td> <td>砂川 光宏</td> <td>SBOs:1</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>10/6</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯髄/根尖歯周組織の病理学</td> <td>歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病因と病態について学ぶ</td> <td>砂川 光宏</td> <td>SBOs:2</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>10/27</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯髄/根尖歯周組織の免疫学</td> <td>外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の防御反応について学ぶ</td> <td>興地 隆史</td> <td>SBOs:3</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	9/29	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の細菌学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:1	3-4	10/6	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の病理学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病因と病態について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:2	5-6	10/27	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の免疫学	外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の防御反応について学ぶ	興地 隆史	SBOs:3
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																												
1-2	9/29	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の細菌学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:1																												
3-4	10/6	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の病理学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病因と病態について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:2																												
5-6	10/27	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の免疫学	外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の防御反応について学ぶ	興地 隆史	SBOs:3																												
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各講義終了後に小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 26 年 12 月 15 日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 																																			
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>																																			
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 																																			
<p>構成ユニット 歯髄/根尖歯周組織を考える</p>																																			
<p>モジュールの単位判定 モジュールの単位を取 得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。</p>																																			
<p>教科書 改訂版エンドドンティクス、第3版/須田英明, 中村洋 編集主幹, 患比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編: 永末書店, 2010</p>																																			
<p>参考書 失敗しない歯髄保存療法: 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう/須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著: クインテッセンス出版, 2006 歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ/興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013 歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ/興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013</p>																																			
<p>連絡先 m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp</p>																																			
<p>オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡を入れること)</p>																																			

時間割番号	021150						
科目名	歯内治療の展開						
担当教員	砂川 光宏						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 11+3 授業形態: 講義及び少人数教育 ユニット番号: 08							
主な講義場所 講義: 第3講義室 少人数教育: 演習室							
授業の目的、概要等 歯内治療に関する知識を深め、総合的に理解する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 外科的歯内治療を列挙し、概説できる。 2) 歯内治療時における偶発症について、種類、処置及び予防を説明できる。 3) 歯内-歯周疾患を分類し、診断と治療法を説明できる。 4) 歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。 5) 歯の外傷の種類と治療法を説明できる。 6) 高齢者の歯内治療を説明できる。 7) 新しい歯内治療を説明できる。 8) 歯内治療における救急処置の種類と方法を説明できる。 9) 再根管治療の基準と方法を説明できる。 10) 歯内治療に関する知識を総合的に結びつけ、診査、診断、治療法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/6	09:00-09:50	歯学科第3講義室	外科的歯内治療	外科的歯内治療の種類と適応について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:4
2	10/27	09:00-09:50	歯学科第3講義室	偶発症の原因と対処法	歯内治療時における偶発症について、種類、処置及び予防について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:5
3-4	11/10	09:00-10:50	歯学部演習室	歯内治療実践チュートリアル	歯内治療に関する知識を総合的に結びつけた診査・診断・治療法、歯内治療における救急処置の種類と方法、再根管治療の基準と方法について学ぶ	砂川 光宏 福元 康恵 澤田 則宏 寺内 吉継 小澤 雅彦	SBOs:1-3、歯学科演習室1-6も使用する
5	11/10	11:00-11:50	歯学科第3講義室 保存矯正実習室	歯内-歯周疾患	歯内-歯周疾患を分類し、診断と治療法を学ぶ	砂川 光宏	SBOs:6
6-7	11/17	09:00-10:50	歯学部演習室	歯内治療実践チュートリアル	歯内治療に関する知識を総合的に結びつけた診査・診断・治療法、歯内治療における救急処置の種類と方法、再根管治療の基準と方法について学ぶ	砂川 光宏 河西 裕美 吉川 剛正 萩谷 洋子 鷺見 生和子	SBOs:1-3、歯学科演習室1-6も使用する
8	11/17	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯根吸収	歯根吸収の原因、症状、診断及び処置について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:7

9-11	12/1	09:00-11:50	歯学科第 3 講義室	高齢者の歯内治療、新しい歯内治療 歯の外傷	高齢者の歯内治療で注意すべき点、新しい歯内治療法について学ぶ	砂川 光宏	SBOs:8-10
12-14	12/15	09:00-11:50	歯学科第 3 講義室	試験	試験	砂川 光宏	SBOs:1-10

成績評価の方法

- ・歯内治療実践チュートリアルは2コマ終了毎に形成的評価を行う。
- ・各講義終了後に小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・平成 26 年 12 月 15 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯内治療の展開

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取 得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

改訂版エンドドンティクス、第3版／須田英明, 中村洋 編集主幹, 恵比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編: 永末書店, 2010

参考書

失敗しない歯髄保存療法 : 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著: クインテッセンス出版, 2006

歯内療法のケースアセスメントと臨床 : 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013

歯内療法のケースアセスメントと臨床 : 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013

連絡先

m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	021151						
科目名	歯内治療実習						
担当教員	池田 英治						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 48+6 授業形態: 実習 ユニット番号: 09							
主な講義場所 保存矯正示説室・実習室							
授業の目的、概要等 歯髓疾患および根尖歯周組織疾患の基本的治療術式を修得する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) エックス線写真で歯髓腔の形態, 位置を読影できる。 2) 髓腔開拡が正しくできる。 3) 根管拡大形成が正しくできる。 4) 作業長を正しく測定できる。 5) 到達度, 緊密度の適切な側方加圧充填法が行える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/22	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	器械検査、抜去歯検査、貸与器具配布、アクリル植立模型作製	抜去歯検査後、アクリル植立模型作製法を学ぶ	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 安生智郎、菊地和泉
4-6	9/29	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	人工歯髓腔開拡	規格化された人工歯を用いて髓腔開拡のイメージをつかむ	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 安生智郎、菊地和泉
7-9	10/6	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	エックス線写真読影、髓腔開拡	抜去歯を用いてエックス線写真上で注意点を予め考え、アクリル植立模型を手に持った状態で髓腔開拡を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 大井智恵、高橋里美
10-12	10/10	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	エックス線写真読影、髓腔開拡、EMR、根管形成	抜去歯を用いてエックス線写真上で注意点を予め考え、アクリル植立模型を手に持った状態で髓腔開拡を行い、電氣的に作業長を計測する	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 大井智恵、高橋里美
13-15	10/15	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	エックス線写真読影、髓腔開拡、EMR、根管形成	抜去歯を用いてエックス線写真上で注意点を予め考え、アクリル植立模型を手に持った状態で髓腔開拡を行い、電氣的に作業長を計測する	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 林洋介、花田隆周
16-18	10/27	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拡、EMR、根管形成	髓腔開拡を行い、電氣的に作業長を計測した後、根管形成を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之	渡辺聡、河村準、 林洋介、花田隆周

			室			松本 宏之 和達 礼子	
19-21	11/7	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓腔開拓、EMR、根管形 成	髓腔開拓を行い、電氣的に作業長 を計測した後、根管形成を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 河村千鶴子
22-24	11/10	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓腔開拓、EMR、根管形 成	髓腔開拓を行い、電氣的に作業長 を計測した後、根管形成を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 松本 宏之 和達 礼子	渡辺聡、河村準、 河村千鶴子
25-27	11/17	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	実習試験1	前回までのステップが習得できて いるかを確認するための試験を 受ける	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 澤田則宏、寺内吉継
28-30	11/21	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、 根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ バーダム防湿、EMR、根管形成、 根管充填を行い、外来でラバーダ ムの相互実習を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 澤田則宏、寺内吉継
31-33	11/28	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、 根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ バーダム防湿、EMR、根管形成、 根管充填を行い、外来でラバーダ ムの相互実習を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 小澤雅彦、河西裕美
34-36	12/1	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、 根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ バーダム防湿、EMR、根管形成、 根管充填を行い、外来でラバーダ ムの相互実習を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 小澤雅彦、河西裕美
37-39	12/5	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、 根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ バーダム防湿、EMR、根管形成、 根管充填を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 福元康恵、吉川剛正
40-42	12/8	09:00-11:50	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、 根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ バーダム防湿、EMR、根管形成、 根管充填を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 福元康恵、吉川剛正
43-45	12/8	12:50-15:40	5F 示説 室 保存 矯正実習 室	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、 根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ バーダム防湿、EMR、根管形成、 根管充填を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 萩谷洋子、鷺見生和 子
46-48	12/12	12:50-15:40	5F 示説 室 保存	髓室開拓、ラバーダム 防湿、EMR、根管形成、	マネキンに固定した顎模型に植立 したアクリル模型で、髓室開拓、ラ	池田 英治 海老原 新	渡辺聡、河村準、 萩谷洋子、鷺見生和

			矯正実習室	根管充填(顎模型)	バーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う	川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	子
49-51	12/15	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓室開拡、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓室開拡、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 辺見浩一
52-54	12/19	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	実習試験2、貸与器具返却	試験を受験する	池田 英治 海老原 新 川島 伸之 和達 礼子 鈴木 規元	渡辺聡、河村準、 辺見浩一

成績評価の方法

- ・実習態度の評価、作品の評価および実習試験1(平成26年11月17日)を行い、形成的評価を行う。
- ・実習試験2(平成26年12月19日)を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯内治療実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取 得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、試験及び平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

改訂版エンドドンティクス、第3版／須田英明、中村洋 編集主幹、恵比須繁之、興地隆史、勝海一郎、斎藤隆史、中川寛一、中村幸生、林善彦 編：永末書店、2010

参考書

失敗しない歯髄保存療法：抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明、興地隆史、中村洋、吉山昌宏 編著：クインテッセンス出版、2006

歯内療法のケースアセスメントと臨床：根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著：医歯薬出版、2013

歯内療法のケースアセスメントと臨床：根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著：医歯薬出版、2013

連絡先

hms-ikeda.endo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 16:30-18:00 歯科棟 10階歯髄生物学分野講師室

時間割番号	021117				
科目名	咬合回復				
担当教員	水口 俊介, 三浦 宏之				
開講時期	通年	対象年次	3~4	単位数	12
コマ数: 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 21					
授業の目的、概要等 歯の欠損による顎口腔系の形態および機能の異常を理解し、その診断・治療に必要な基本的知識と技能を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 咬合回復基礎 (3年 後期) 02 全部床義歯補綴 (4年 前期) 03 部分床義歯補綴 (4年 後期) 04 クラウン&ブリッジ (4年 後期) 05 インプラント補綴 (4年 後期) 06 咬合回復統合 (4年 後期)					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 三浦 宏之: h.miura.fpro@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 水口 俊介: 随時 三浦 宏之: 水 10:30 ~ 12:00					

時間割番号	021118				
科目名	咬合回復基礎				
担当教員	水口 俊介				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:咬合回復 コマ数:12+1(必要自習時間4時間) 授業形態:講義 ユニット番号:01					
授業の目的、概要等					
咬合回復治療に関連する基礎的な知識を修得する.					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 咬合回復の臨床的意義を説明できる. 2) 咬合に関連する形態および機能の常態を説明できる. 3) 咬合に関連する形態および機能の異常を説明できる. 4) 咬合に関連する形態および機能の回復を説明できる. 5) 顎機能異常について説明できる.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	2/24	12:50-13:40	歯学科第2講義室	咬合回復の意義 咬合支持・ガイダンスの回復	若林 則幸
2-3	2/24	13:50-15:40	歯学科第2講義室	咬合に関連する形態および機能の常態	柴田 俊一
4-6	2/25	09:00-11:50	歯学科第2講義室	咬合に関連する形態および機能の常態	三浦 宏之
7-8	2/26	12:50-14:40	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	笛木 賢治
9	2/26	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	水口 俊介
10	2/27	09:00-09:50	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	水口 俊介
11-12	2/27	10:00-11:50	歯学科第2講義室	顎機能障害	木野 孔司
13	3/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	試験	水口 俊介
成績評価の方法					
・客観試験(平成27年3月2日)により総合的に評価する.					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
連絡先					
s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
随時					

時間割番号	021152				
科目名	全部床義歯補綴				
担当教員	水口 俊介				
開講時期	前期	対象年次	4		
モジュール名:咬合回復 コマ数:111+6 授業形態:講義・実習 ユニット番号:02					
授業の目的、概要等					
可撤性義歯を用いた咬合回復治療に必要な知識と基本的技能を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 全部床義歯の目的と意義を説明できる。 2) 全部床義歯の種類と適応症を説明できる。 3) 無歯顎患者の診査および診断を説明できる。 4) 全部床義歯の構成要素を説明できる。 5) 全部床義歯の設計原則を説明できる。 6) 全部床義歯の前処置の意義と方法を説明できる。 7) 全部床義歯の印象採得法を説明できる。 8) 全部床義歯の顎間関係記録法を説明できる。 9) 全部床義歯の咬合を説明できる。 10) 全部床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる。 11) 全部床義歯の研磨面形態を説明できる。 12) 蝟義歯の埋没および重合操作を説明できる。 13) 全部床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる。 14) 全部床義歯のメンテナンスを説明できる。 15) 即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる。 16) 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/7	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 序論 予備印象	水口 俊介
4-6	4/7	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 飼馬 祥頼
7-8	4/10	12:50-14:40	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 精密印象	水口 俊介
9-11	4/11	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
12-14	4/14	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 飼馬 祥頼
15-17	4/18	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 平島 祐生
18-20	4/21	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 内田 達郎
21-23	4/25	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 咬合彩得 咬合器	水口 俊介
24-29	4/28	09:00-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 内田 達郎
30-32	5/2	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 平島 祐生 関 威夫
33-35	5/7	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 羽田 周平
36-38	5/9	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 人工歯配列	水口 俊介
39-44	5/12	09:00-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 内田 達郎
45-47	5/16	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 関 威夫
48-50	5/19	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
51-53	5/19	12:50-15:40	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 試適・埋没・重合	水口 俊介
54-56	5/23	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
57-59	5/26	12:50-15:40	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 中継講義	水口 俊介

60-62	5/27	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
63-67	5/29	09:00-14:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 安藤 一夫
68-70	5/30	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 装着・修理・軟質裏装材	水口 俊介
71-73	5/30	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
74-76	6/2	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習試験	水口 俊介
77-79	6/2	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
80-82	6/3	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 長田 英治
83-84	6/5	12:50-14:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 安藤 一夫
85-90	6/9	09:00-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習/PBL	水口 俊介, 平野 滋三, 渡辺 一騎
91-93	9/11	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習/PBL	水口 俊介, 平野 滋三, 安藤 一夫
94-96	9/11	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習/PBL	水口 俊介, 平野 滋三, 安藤 一夫, 竹内 智
97-102	9/12	09:00-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
103-108	9/18	09:00-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 田中 慎二, 安藤 一夫
109-114	9/25	09:00-15:40	歯学科第3講義室	全部床義歯 筆記試験 PBL 発表会	水口 俊介, 田中 慎二, 安藤 一夫
115-117	9/25	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介

成績評価の方法

・製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 実習試験(平成26年6月2日), 筆記客観試験(平成26年9月25日)により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・ユニットコマ数のうち, 4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし, 次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	021153					
科目名	部分床義歯補綴					
担当教員	若林 則幸					
開講時期	後期	対象年次	4			
タイトル: 部分床義歯補綴 モジュール: 咬合回復 英語科目名: Removable Partial Prosthodontics コマ数(授業コマ数+試験コマ数): 126+3 授業形態: 講義, 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 部分床義歯を用いた咬合回復治療に必要な知識と基本的技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 部分床義歯の目的と意義を説明できる。 2) 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。 3) 歯の欠損の診査および診断を説明できる。 4) 部分床義歯の構成要素を説明できる。 5) 部分床義歯の設計原則を説明できる。 6) 部分床義歯の前処置の意義と方法を説明できる。 7) 部分床義歯の印象採得法を説明できる。 8) 部分床義歯の顎間関係記録法を説明できる。 9) 部分床義歯の咬合を説明できる。 10) 部分床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる。 11) 部分床義歯の研磨面形態を説明できる。 12) 蝟義歯の埋没および重合操作を説明できる。 13) 部分床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる。 14) 部分床義歯のメンテナンスを説明できる。 15) 即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる。 16) 部分床義歯製作の材料について説明できる。 17) 部分床義歯製作のための技工操作を修得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/2	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 1,2,4
4-6	10/2	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 6,17
7-9	10/9	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 3
10-12	10/9	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 7,17
13-15	10/16	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 1,2,4,5,6

16-18	10/16	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 8,17
19-21	10/23	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 1-5
22-24	10/23	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 8,17
25-27	10/30	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 6
28-30	10/30	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 8,17
31-33	11/6	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 1-6
34-36	11/6	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 8,17
37-39	11/13	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 7-9
40-42	11/13	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 8,17
43-45	11/20	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 5,17
46-48	11/20	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 8,17
49-51	11/27	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 10-13,17
52-54	11/27	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 5,17
55-57	12/4	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 14,15
58-60	12/4	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	実習:SBOs 5,17
61-63	12/11	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎, 吉田 英子	講義:SBOs 1-17

64-66	12/11	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 5,17
67-72	12/18	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 5,17
73-78	1/8	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 9,10,17
79-81	1/9	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 9,10,17
82-87	1/15	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 9,10,17
88-90	1/16	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 11,17
91-96	1/22	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 11,17
97-99	1/23	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 4,17
100-105	1/29	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 4,17
106-108	1/30	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 12,17
109-114	2/5	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 6,17
115-120	2/19	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 17
121-126	2/26	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習	若林 則幸, 笛木 賢治, 上野 剛史, 南 一郎 吉田 英子	実習:SBOs 17
127-129	2/26	12:50-15:40	補綴実習室 歯学科 第3講義室	筆記試験・実習試験	若林 則幸	

成績評価の方法

筆記試験の成績, グループ学習(TBL)の成績,

実習における製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 実習試験により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

すべての講義, 実習では, 学習内容を網羅したテキストと教材ビデオを授業3日前までにWeb Class上に配信するので, 事前に必ず閲覧すること。

とくに講義では, ビデオと重複する内容の説明は行わず, 問題演習と授業テーマに関する討議を行う。

<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットコマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>
<p>教科書</p> <p>パーシャルデンチャー・クリニシャンズガイド：実践的なプランニングとプラクティス／John D.Jones, Lily T.Garcia 編若林則幸 訳：医歯薬出版, 2010</p> <p>小部分床義歯学／藍稔 著.:学建書院, 1994</p> <p>パーシャルデンチャーテクニク = Partial Denture Technique／五十嵐順正, 石上友彦, 大久保力廣, 岡崎定司, 馬場一美, 横山敦郎 編：医歯薬出版, 2012</p> <p>スタンダード部分床義歯補綴学／藍稔, 五十嵐順正 編集・執筆.:学建書院, 2010</p>
<p>参考書</p> <p>パーシャルデンチャーを得意になろう！：設計原則からトラブル対応までの臨床ガイド／五十嵐順正, 若林則幸 編著.:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2013</p> <p>パーシャルデンチャーアトラス：デザイン理論と臨床/遊離端義歯を中心に／大山喬史 編著.:医歯薬出版, 2005</p>
<p>備考</p> <p>非常勤講師の教員情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷田部 優(臨床教授) : aoba_dent@yahoo.co.jp ・風間 龍之介 : ryukzm@gmail.com ・小竹 雅人 : gomasato@mb4.suisui.ne.jp ・加賀谷 健介 : knskkgy@yahoo.co.jp ・石岡 美香 : mika.ny6@gmail.com
<p>参照ホームページ</p> <p>http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html</p>
<p>連絡先</p> <p>wakabayashi.rpyo@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>随時(メールにて面談の日程を調整すること)</p>

時間割番号	021154					
科目名	クラウンブリッジ					
担当教員	三浦 宏之, 岡田 大蔵					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 咬合回復 コマ数: 138+2(必要自習時間 50時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 04						
授業の目的、概要等						
クラウンによる修復について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) クラウンによる修復の特徴を説明できる。 2) クラウンによる修復の種類を列挙できる。 3) 支台歯形成の目的と意義が説明できる。 4) 支台築造の意義を説明できる。 5) 支台築造の術式を説明できる。 6) 支台築造を模型歯で行うことができる。 7) 模型歯で支台形成を行うことができる。 8) 全部鑄造冠修復の意義と特徴を説明できる。 9) 全部鑄造冠修復の術式を説明できる。 10) 模型歯で全部鑄造冠修復を行うことができる。 11) 審美的なクラウン修復を列挙し、その特徴を説明できる。 12) 模型歯でレジン前装冠修復を行うことができる。 13) 高速切削の意義と方法を説明できる。 14) 高速切削器具を用いて模型歯で支台形成を行うことができる。 15) 固定性義歯の目的と意義を説明できる。 16) 固定性義歯の種類と適応症を説明できる。 17) 歯の欠損の診査および診断を説明できる。 18) 模型歯で全部鑄造冠修復を行うことができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/1	09:00-11:50	歯学科第3講義室	クラウン総論(要件, 治療計画)	三浦 宏之	講義SBOs 1,2
4-6	10/1	12:50-15:40	歯学科第3講義室	クラウン各論 I (支台歯形成, 印象採得, 咬合採得, 仮封冠)	三浦 宏之	講義SBOs 3
7-9	10/3	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成 I	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 秀典, 山崎 有子, 岡安 晴生	実習SBOs 3
10-12	10/8	09:00-11:50	歯学科第3講義室	クラウン各論 II (支台築造, 築造窩洞印象)	駒田 亘	講義SBOs 4,5
13-15	10/8	12:50-15:40	補綴実習室	メタルコア窩洞形成	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 秀典, 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習SBOs 4,5,6
16-17	10/15	09:00-10:50	補綴実習室	メタルコア印象	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 秀典, 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習SBOs 4,5,6
18	10/15	11:00-11:50	補綴実習室	メタルコア模型作製	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 秀典, 山崎 有子, 岡安 晴生	古木紀子, 山本将弘実習SBOs 4,5,6

19	10/22	09:00-09:50	補綴実習室	メタルコア模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	古木紀子, 山本将弘実 習:SBOs 4,5,6
20-21	10/22	10:00-11:50	補綴実習室	メタルコア wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	古木紀子実習:SBOs 4,5,6
22-24	10/22	12:50-15:40	補綴実習室	メタルコア埋没, 鑄造, 調整	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	古木紀子実習:SBOs 4,5,6
25-26	10/29	09:00-10:50	補綴実習室	レジン築造(直接法)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 4,5,6
27-30	10/29	11:00-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成 II	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 3,7
31-33	10/31	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠印象採得(含 個歯ト レー)	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生実 習:SBOs 8,9,10
34-36	11/5	09:00-11:50	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅲ(模型作製, ワック スアッパ, 埋没, 鑄造)	三浦 宏之	講義:SBOs 8,9
37	11/5	12:50-13:40	補綴実習室	全部鑄造冠印象採得(含 個歯ト レー)	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生実 習:SBOs 8,9,10
38-39	11/5	13:50-15:40	補綴実習室	模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 8,9,10
40-42	11/12	09:00-11:50	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅳ(試適, 調整, 仮 着, 合着)	三浦 宏之	講義:SBOs 8,9
43-44	11/12	12:50-14:40	補綴実習室	咬合器装着	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 8,9,10
45	11/12	14:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠 wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 山本将弘実習:SBOs 8,9,10
46-48	11/14	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠 wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 山本将弘実習:SBOs 8,9,10
49-51	11/19	09:00-11:50	補綴実習室	全部鑄造冠 wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 山本将弘実習:SBOs 8,9,10
52-54	11/19	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠(埋没, 鑄造, 研磨)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 8,9,10
55-58	11/26	09:00-13:40	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅴ(前装冠, ジャケッ ト冠, オールセラミッククラウン, 部分被覆冠)	三浦 宏之	講義:SBOs 11
59-60	11/26	13:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠(埋没, 鑄造, 研磨)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 8,9,10

61-64	12/3	09:00-13:40	補綴実習室	前装冠 支台歯形成、築造窩洞形成	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
65-66	12/3	13:50-15:40	補綴実習室	仮封冠	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	山本将弘、鶴田 潤実 実習:SBOs 11,12
67-68	12/10	09:00-10:50	補綴実習室	仮封冠	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	山本将弘、鶴田 潤実 実習:SBOs 11,12
69-72	12/10	11:00-15:40	補綴実習室	前装冠 レジン築造(直接法)	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
73-74	12/17	09:00-10:50	補綴実習室	前装冠 印象採得	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
75-76	12/17	11:00-13:40	補綴実習室	前装冠 模型作製	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
77-78	12/17	13:50-15:40	補綴実習室	前装冠 wax up	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
79	1/7	09:00-09:50	補綴実習室	前装冠 wax up	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
80-83	1/7	10:00-14:40	補綴実習室	前装冠 埋没、鑄造、研磨	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
84	1/7	14:50-15:40	補綴実習室	前装冠 レジン前装	三浦 宏之、吉田 恵一、古木 讓、武井 規子、武井 秀典	山崎有子、岡安晴生、森川 理、宮坂宗永実 実習:SBOs 11,12
85-87	1/9	09:00-11:50	補綴実習室	前装冠 レジン前装	三浦 宏之、吉田 恵一、古木 讓、武井 規子、武井 秀典	山崎有子、岡安晴生、森川 理、宮坂宗永実 実習:SBOs 11,12
88-90	1/14	09:00-11:50	歯学科第3 講義室	ブリッジ I	三浦 宏之	講義:SBOs 15,16,17
91-93	1/14	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	木津喜裕子、鶴田 潤 実習:SBOs 13,14
94	1/21	09:00-09:50	歯学科第3 講義室	ブリッジII(接着ブリッジ)	三浦 宏之	講義:SBOs 15,16,17
95	1/21	10:00-10:50	補綴実習室	前装冠 レジン前装	三浦 宏之、吉田 恵一、古木 讓、武井 規子、武井 秀典	山崎有子、岡安晴生、森川 理、宮坂宗永実 実習:SBOs 11,12
96	1/21	11:00-11:50	補綴実習室	前装冠 調整、研磨	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	実習:SBOs 11,12
97-99	1/21	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、岡安 晴生	木津喜裕子、鶴田 潤 実習:SBOs 13,14
100-105	1/28	09:00-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之、吉田 恵一、武井 秀典、山崎 有子、	木津喜裕子、鶴田 潤 実習:SBOs 13,14

					岡安 晴生	
106-111	2/4	09:00-15:40	補綴実習室	ブリッジ 作業用模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 18
112-114	2/6	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ ワックスアップ	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 川和篤史, 新木敏之実 習:SBOs 18
115-120	2/12	09:00-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	木津喜裕子, 鶴田 潤 実習:SBOs 13,14
121-123	2/13	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ ワックスアップ	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 川和篤史, 新木敏之実 習:SBOs 18
124-126	2/18	09:00-11:50	補綴実習室	ブリッジ ワックスアップ	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 川和篤史, 新木敏之実 習:SBOs 18
127-129	2/18	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ 埋没, 鑄造, 調整, 研磨	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 川和篤史, 新木敏之, 萩野礼子実習:SBOs 18
130-132	2/20	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ 埋没, 鑄造, 調整, 研磨	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 川和篤史, 新木敏之, 萩野礼子実習:SBOs 18
133-135	2/25	09:00-11:50	補綴実習室	ブリッジ 埋没, 鑄造, 調整, 研磨	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生, 川和篤史, 新木敏之, 萩野礼子実習:SBOs 18
136-138	2/25	12:50-15:40	補綴実習室	咬合面コア	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 18
139	3/2	09:00-09:50	補綴実習室	実習試験	三浦 宏之 吉田 恵一	試験
140	3/2	10:00-10:50	歯学科第3 講義室	筆記試験	三浦 宏之 吉田 恵一	試験

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・平成 27 年 3 月 2 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解しておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名:クラウンブリッジ修復

モジュールの単位判定

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・平成 27 年 3 月 2 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。
- ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成 27 年 3 月 2 日に実習試験を行い、総括的評価を行う。

連絡先

三浦 宏之: h.miura.fpro@tmd.ac.jp

岡田 大蔵: d.okada.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三浦 宏之: 水 10:30 ~ 12:00

岡田 大蔵: 随時

時間割番号	021155				
科目名	インプラント補綴				
担当教員	春日井 昇平, 宗像 源博				
開講時期	後期	対象年次	4		
モジュール名: 咬合回復 コマ数: 20+0(必要自習時間4時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 05					
授業の目的、概要等					
インプラント義歯を用いた咬合回復治療に必要な基礎的知識を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) インプラント治療の利点と欠点を説明できる。 2) インプラント治療に必要な診査および診断を説明できる。 3) インプラント治療の外科術式を説明できる。 4) インプラント治療の補綴術式を説明できる。 6) インプラント治療におけるメンテナンスを説明できる。 5) インプラント治療における問題点を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	1/19	12:50-13:40	第3講義室	インプラント治療の特徴	春日井 昇平
2	1/19	13:50-14:40	第3講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真
3	1/19	14:50-15:40	第3講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真
4	1/26	12:50-13:40	3F 示説室	インプラント埋入手術	立川 敬子
5	1/26	13:50-14:40	補綴実習室	実習	立川 敬子
6	1/26	14:50-15:40	補綴実習室	実習	立川 敬子
7	2/2	12:50-13:40	3F 示説室	補綴治療(アバットメント、印象採得)	黒田 真司
8	2/2	13:50-14:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
9	2/2	14:50-15:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
10	2/9	12:50-13:40	3F 示説室	補綴治療(上部構造)	黒田 真司
11	2/9	13:50-14:40	補綴実習室	実習	春日井 昇平
12	2/16	12:50-13:40	補綴実習室	実習	春日井 昇平
13	2/16	13:50-14:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
14	2/16	14:50-15:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
15	2/23	09:00-09:50	歯学科第3講義室	インプラント治療に必要な骨と軟組織の造成	立川 敬子
16	2/23	10:00-10:50	歯学科第3講義室	メンテナンスと治療後の問題	塩田 真
17	2/23	11:00-11:50	歯学科第3講義室	インプラント周囲炎の診断と治療	春日井 昇平
18	2/23	12:50-13:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
19	2/23	13:50-14:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
20	2/23	14:50-15:40	補綴実習室	実習	黒田 真司
成績評価の方法					
・ユニット最後の筆記試験により総合的に評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
歯を失った場合日々の生活においてどのような点で困るか、歯を失った患者さんに対して、どのような歯科治療が可能であるかについて調べる。 自宅から大学までの通学路(交通機関を使用する区間は含まない)に何件歯科医院が存在し、その歯科医院の中でインプラント治療をおこなうことを標榜している歯科医院が何件あるかについて調べる。					

試験の受験資格

・全ユニットコマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

モジュールの単位判定

講義終了後におこなう筆記試験によって判定する。

連絡先

春日井 昇平: kas.mfc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

春日井 昇平: 9:00-19:00 1号館東棟5階教授室、歯学部附属病院7階 インプラント外来

時間割番号	021156					
科目名	咬合回復統合					
担当教員	岡田 大蔵					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名:咬合回復Ⅱ コマ数:24+0(必要自習時間3時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:06						
授業の目的、概要等						
咬合回復治療に関連する知識を統合的に修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 補綴装置に付与する咬合様式について説明できる。 2) 回復した咬合を維持するために必要な知識を身につける。 3) 各種咬合器の特徴が説明できる。 4) フェースボウトランスファーとチェックバイト法を説明することができる。 5) 調節性咬合器の基本操作ができる。 6) 咬合回復に必要な器具および材料について説明できる。 7) 補綴後の咀嚼回復状態のための必要な知識を身につける。 8) 特殊義歯の特徴が説明できる。 9) 咬合回復後のメンテナンスの方法が説明できる。 10) 新しい歯冠補綴物製作法を理解するための必要な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	1/19	09:00-09:50	歯学科第3講義室	天然歯列の咬合、歯冠補綴物に付与する咬合	岡田 大蔵	講義SBOs 1,2
2	1/19	10:00-10:50	歯学科第3講義室	総義歯に付与する咬合	水口 俊介	講義SBOs 1,2
3	1/19	11:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯に付与する咬合	若林 則幸	講義SBOs 1,2
4-5	1/26	09:00-10:50	歯学科第3講義室	各種咬合器の特徴と臨床応用	三浦 宏之	講義SBOs 3
6	1/26	11:00-11:50	歯学科第3講義室	顎機能異常	吉田 恵一	講義SBOs 9
7-9	2/2	09:00-11:50	歯学科第3講義室	特殊な義歯(即時義歯, 治療用義歯, 顎義歯)	隅田 由香	講義SBOs 8
10	2/9	09:00-09:50	歯学科第3講義室	Digital Dentistry	三浦 宏之	講義SBOs 10
11	2/9	10:00-10:50	歯学科第3講義室	CAD/CAMの補綴物への応用	野崎 浩佑	講義SBOs 10
12	2/9	11:00-11:50	歯学科第3講義室	咬合回復に関連する歯科材料	駒田 亘	講義SBOs 6
13	2/16	09:00-09:50	歯学科第3講義室	咬合回復治療後のメンテナンス1	和泉 雄一	講義SBOs 9
14	2/16	10:00-10:50	歯学科第3講義室	咬合回復治療後のメンテナンス2	三浦 宏之	講義SBOs 9
15	2/16	11:00-11:50	歯学科第3講義室	咬合回復に関連する歯科材料	宇尾 基弘	講義SBOs 6
16-18	2/20	09:00-11:50	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之, 真柳 昭紘, 吉田 隆義, 岡田 大蔵, 進 千春	古木 譲, 田中義浩 実習SBOs 4,5
19	2/27	09:00-09:50	歯学科第3講義室	補綴後の咀嚼様相	加藤 均	講義SBOs 7
20-24	2/27	10:00-15:40	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之, 真柳 昭紘, 吉田 隆義, 岡田 大蔵, 進 千春	古木 譲, 田中義浩 実習SBOs 4,5
成績評価の方法						
・レポート内容により総合的に評価する。						

準備学習などについての具体的な指示

事前に配布される資料などを熟読の上、臨むこと。また調節性咬合器実習は、当日までに各種咬合器の特徴と臨床応用の講義を復習しておくとともに、事前に配布される実習書を熟読して臨むこと。

試験の受験資格

- ・講義はユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。また、実習は全ユニット実習コマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名:咬合回復統合

モジュールの単位判定

- ・レポート内容により総括的に評価する。

連絡先

d.okada.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	021157				
科目名	臨床体験実習				
担当教員	木下 淳博, 秀島 雅之				
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	1
コマ数: 51 (0) 授業形態: 実習 モジュール番号: 22					
授業の目的、概要等 医療現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。					
準備学習などについての具体的な指示 eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。					
試験の受験資格 モジュール全体として、4分の3以上出席していること。					
構成ユニット 01 D6体験実習 02 コンピュータシミュレーション実習					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 木下 淳博: kinoshita.emdv@tmd.ac.jp 秀島 雅之: m.hideshow@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 木下 淳博: 毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部 秀島 雅之: 水 17:00-18:00					

時間割番号	021158					
科目名	D6体験実習					
担当教員	木下 淳博					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 臨床体験実習 コマ数: 24+0 授業形態: 実習 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 包括臨床実習現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。 歯科における治療計画立案の重要性を理解し、症例分析能力・治療計画立案能力を修得する。 包括臨床実習現場において、実際の患者さんに医療面接を行い、将来の歯科医師としての自覚を高め、医療面接に必要な基本的態度と知識を身につける。						
授業の到達目標(SB0s) 1) 感染予防の概念を理解し、適切に実践できる。 2) 歯科臨床に必要な基本的態度(守秘義務、言動、服装等)を実践できる。 3) 診療室への患者の誘導を適切にできる。 4) 歯科診療の診査・検査結果を記録できる。 5) 歯科治療のアシストができる。 6) 歯科治療の準備ができる。 7) 口腔内状態の記録ができる。 8) 一口腔内で保存治療および 補綴治療を行った(行う必要のある)ひとりの患者について、過去の治療経過および今後の治療方針を理解し、その内容をプレゼンテーションできる。 9) 他の学生による上記プレゼンテーションの内容を理解し、討論ができる。 10) 患者に挨拶して自己紹介できる。 11) 診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。 12) 患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 13) 初診時の主訴、初診時の現症、初診時までの病歴(初診時の現病歴)、既往歴、現在の状態に関する医療面接が実施でき、適切に記録できる。 14) 主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 15) 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 16) 的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/26	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	オリエンテーション(全体) D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	小長谷 光, インブラント・口腔再生医学分野 TA実習
4-6	10/3	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	山口 聡, う蝕制御学分野 TA実習
7-9	10/10	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	小長谷 光, インブラント・口腔再生医学分野 TA実習
10-12	10/24	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	山口 聡, う蝕制御学分野 TA実習

13-15	10/31	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	小長谷 光, インプラント・口腔再生医学分野TA実習
16-18	11/7	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	シミュレーション実習(グループ1, 2)	大槻 昌幸, 須永 昌代	山口 聡, う蝕制御学分野TA実習
19-21	11/14	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	小長谷 光, 中村輝保, 吉岡隆知, う蝕制御学分野TA実習
22-24	11/21	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	山口 聡, インプラント・口腔再生医学分野TA実習
25-27	11/28	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	中村輝保, 浜 洋平, 吉岡隆知, う蝕制御学分野TA実習
28-30	12/5	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	浜 洋平, インプラント・口腔再生医学分野TA実習
31-33	12/12	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	小長谷 光, 中村輝保, 浜 洋平, 吉岡隆知, う蝕制御学分野TA実習
34-36	12/19	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1) ケース票提出(中間評価)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	山口 聡, 浜 洋平, インプラント・口腔再生医学分野TA実習
37-39	1/16	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	小長谷 光, 中村輝保, 浜 洋平, 吉岡隆知, う蝕制御学分野TA実習
40-42	1/23	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	山口 聡, 浜 洋平, インプラント・口腔再生医学分野TA実習
43-45	1/30	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 須永 昌代	小長谷 光実習
46-49	2/6	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 須永 昌代	山口 聡実習
50-51	2/13	09:00-10:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 須永 昌代	小長谷 光実習
52	2/13	11:00-11:50	保存矯正実習室	ケース票提出、授業評価	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 須永 昌代	小長谷 光実習

成績評価の方法

- ・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。
- ・各回の討論において、形成的評価を行う。
- ・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>参考書</p> <p>医療面接法：よりよい医師-患者関係のために／C.Knight Aldrich [著],田口博國 訳:医学書院, 2000</p>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4学年学生を、グループ1、2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとコンピュータシミュレーション実習ユニットを交互に履修する。 ・本ユニット内では、各グループを10名程度の3班に分け、各班学生を臨床系分野教員1名が担当する。
<p>連絡先</p> <p>kinoshita.emdv@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部</p>

時間割番号	021159					
科目名	コンピュータシミュレーション実習					
担当教員	秀島 雅之, 木下 淳博					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 臨床体験実習 コマ数: 27+0 授業形態: 実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 コンピュータを用いて歯科臨床のシミュレーションを行うことにより、歯科臨床の知識、技能を自己学習する能力を身につける。						
授業の到達目標(SBOs) 1) シミュレーション実習室の学生用システムを適切に操作できる。 2) マネキン患者さんとして扱い、歯科の処置を繰り返し練習して、手本を模倣することができる。(支台歯形成、レジン充填、スケーリング、ルートプレーニング、歯肉切除、歯肉整形、髄腔開拓、根管形成等) 3) コンピュータ画面上で、医療面接、診査、検査、処置、準備、診断、治療方針立案等を繰り返し行い、歯科における典型的な症例、および稀にしか遭遇できない症例をひと通り体験する。 4) マネキンまたは学生相互で概形印象採得ができる。						
成績評価の方法						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/26	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	オリエンテーション(全体) D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	小長谷 光, インプラント・口腔再生医学分野 TA実習
4-6	10/3	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	山口 聡, う蝕制御学分野 TA実習
7-9	10/10	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	小長谷 光, インプラント・口腔再生医学分野 TA実習
10-12	10/24	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	山口 聡, う蝕制御学分野 TA実習
13-15	10/31	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	小長谷 光, インプラント・口腔再生医学分野 TA実習
16-18	11/7	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	シミュレーション実習(グループ1, 2)	大槻 昌幸, 須永 昌代	山口 聡, う蝕制御学分野 TA実習
19-21	11/14	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	小長谷 光, 中村輝保, 吉岡隆知, う蝕制御学分野 TA実習
22-24	11/21	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	山口 聡, インプラント・口腔再生医学分野 TA実習
25-27	11/28	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎, 河村 隼, 大槻 昌幸, 須永 昌代	中村輝保, 浜 洋平, 吉岡隆知, う蝕制御学分野 TA実習
28-30	12/5	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	浜 洋平, インプラント・口腔再生医学分野 TA実習

31-33	12/12	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎 河村 隼, 大槻 昌幸 須永 昌代	小長谷 光, 中村輝 保, 浜 洋平, 吉岡 隆知, う蝕制御学分 野 TA:実習
34-36	12/19	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1) ケース票提出(中間評価)	竹内 康雄, 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	山口 聡, 浜 洋平, インプラント・口腔再 生医学分野 TA:実習
37-39	1/16	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎 河村 隼, 大槻 昌幸 須永 昌代	小長谷 光, 中村輝 保, 浜 洋平, 吉岡 隆知, う蝕制御学分 野 TA:実習
40-42	1/23	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 樺沢 勇司, 大森 哲, 則武 加奈子, 須永 昌代	山口 聡, 浜 洋平, インプラント・口腔再 生医学分野 TA:実習
43-45	1/30	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎 河村 隼, 須永 昌代	小長谷 光実習
46-49	2/6	09:00-11:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 樺沢 勇司, 大森 哲, 須永 昌代	山口 聡実習
50-51	2/13	09:00-10:50	歯学科第4講義室 シミュレーション実習室 5F 示説室 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	秋葉 徳寿, 南 一郎 河村 隼, 須永 昌代	小長谷 光実習
52	2/13	11:00-11:50	保存矯正実習室	ケース票提出, 授業評価	秋葉 徳寿, 南 一郎 河村 隼, 須永 昌代	小長谷 光実習

成績評価の方法

- ・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。
- ・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

- ・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

- ・第4学年学生を、グループ1, 2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとD6体験実習ユニットを交互に履修する。
- ・本ユニット内では、各グループを約 15 名の2班に分け、シミュレーション実習室(ハードシム実習)と保存矯正実習室(ソフトシム実習)に交替で分かれて実習を行う。
- ・包括臨床実習の日程により、グループ1、グループ2の合同実習とする日がある。

連絡先

秀島 雅之:m.hideshima.pro@tmd.ac.jp
木下 淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp

オフィスアワー

秀島 雅之:水 17:00-18:00
木下 淳博:毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部

時間割番号	021160				
科目名	歯周病				
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久				
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	3
<p>コマ数: 84+6(必要自習時間27時間) 授業形態: 講義・実習・演習 モジュール番号: 23</p>					
<p>授業の目的、概要等 歯周病の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を習得する。</p>					
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>					
<p>構成ユニット</p> <p>01 歯周病基礎編 02 歯周病臨床編 03 歯周病・歯周治療実習 04 歯周病のトピックス</p>					
<p>モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。</p>					
<p>連絡先</p> <p>和泉 雄一: y-izumi.peri@tmd.ac.jp 渡邊 久: watanabe.peri@tmd.ac.jp</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>和泉 雄一: メールにて面談の日程を調整すること 渡邊 久: 月～金 17:00～19:00</p>					

時間割番号	021161						
科目名	歯周病基礎編						
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久, 竹内 康雄						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯周病 コマ数: 15+1 (必要自習時間4時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01							
授業の目的、概要等							
生涯にわたって健全な歯列と咬合を維持することの重要性を理解し、歯周組織の常態および歯周病の成因を理解する。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 歯周病・歯周治療について説明できる。 2) 歯周組織の機能および構造について説明できる。 3) 歯周病の病因(細菌, 免疫, 炎症)について説明できる。 4) 歯周の分子生物学について説明できる。 5) 歯周組織再生について説明できる。 6) 歯周病の疫学について説明できる。 7) 歯周病の病態・症状・分類について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-6	10/28	09:00-15:40	歯学科第3講義室	歯周病・歯周治療とは、歯周組織の機能と構造、炎症歯周組織の病態、歯周病の病因: 宿主(炎症・免疫応答)、環境	歯周組織の形態および機能について基本的に知識の確認を行うとともに、歯周病の発症に関わりの深い細菌感染に対する生防衛と免疫応答を学ぶ。	和泉 雄一, 西原 達次	講義SBOs 1,2,3,4
7-12	11/4	09:00-15:40	歯学科第3講義室	歯周病の病因: プラークとバイオフィルム、歯周病の疫学、歯周病の病態・症状・分類	歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について理解する。一方で歯周病は多様な修飾因子が関わり多様な病態を示すが、その臨床症状や分類について学ぶ。	和泉 雄一, 荒川 真一, 竹内 康雄	講義SBOs 3,4,5
13-15	11/11	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周病と全身の健康、歯周組織再生: ティッシュエンジニアリング	最近の歯周研究の進歩について、歯周病と全身の健康との関連、また歯周組織の再生について概説する。	小牧 基浩, 水谷 幸嗣	講義SBOs 6,7
16	11/18	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験		竹内 康雄	講義SBOs 1,2,3,3,4,5,6,7
成績評価の方法							
・適宜、形成的評価(小テスト)を行う。 ・平成 26 年 11 月 18 日に総括的評価(筆記試験)を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。							
備考							
担当教員: 竹内 康雄 助教							

連絡先

和泉 雄一: y-izumi.peri@tmd.ac.jp

渡邊 久: watanabe.peri@tmd.ac.jp

竹内 康雄: takeuchi.peri@tmd.ac.jp

オフィスアワー

和泉 雄一: メールにて面談の日程を調整すること

渡邊 久: 月～金 17:00～19:00

竹内 康雄: 月～金 17:00～19:00

時間割番号	021162					
科目名	歯周病臨床編					
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久, 須田 智也					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 23+1 (必要実習時間7時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療に必要な基本的な知識を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯周病の検査・診断を説明できる。 2) 歯周病の治療計画を説明できる。 3) 歯周基本治療を説明できる。 4) プラークコントロールの意義を説明できる。 5) スケーリングの意義を説明できる。 6) 咬合性外傷について説明できる。 7) 歯周外科手術の種類と適応症、ならびに再生治療を説明できる。 8) 分岐部病変の治療を説明できる。 9) 歯周治療における薬物療法を説明できる。 10) 歯周治療のメンテナンスを説明できる。 11) 歯周病と全身疾患との関係について説明できる。 12) 歯周治療における矯正治療の意義を説明できる。 13) 歯周治療における咬合補綴治療の意義を説明できる。 14) 歯周治療におけるインプラント治療の意義を説明できる。 15) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/11	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯周病の検査・診断・治療計画	和泉 雄一	講義:SBOs 1,2
4-5	11/18	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周基本治療 I	須田 智也, 水谷 幸嗣	講義:SBOs 3-6
6-7	11/25	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周基本治療 II	須田 智也, 水谷 幸嗣	講義:SBOs 3-6
8	11/25	11:00-11:50	歯学科第3講義室	咬合性外傷と咬合調整	水谷 幸嗣	講義:SBOs 7
9	12/2	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周外科手術 I	和泉 雄一	講義:SBOs 8
10-11	12/2	10:00-11:50	歯学科第3講義室	海外における歯周外科の話題	Diego A. Borgese	講義:SBOs 8-12
12	12/9	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周外科手術 II	和泉 雄一	講義:SBOs 8,9
13	12/9	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周組織再生療法	和泉 雄一	講義:SBOs 8
14	12/9	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周形成外科	和泉 雄一	講義:SBOs 8
15	12/16	09:00-09:50	歯学科第3講義室	分岐部病変の治療	和泉 雄一	講義:SBOs 10
16	12/16	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周治療と薬物療法	和泉 雄一	講義:SBOs 11
17	12/16	11:00-11:50	歯学科第3講義室	メンテナンス	和泉 雄一	講義:SBOs 12,13
18	1/13	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周治療と矯正治療	森山 啓司	講義:SBOs 14
19	1/13	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周治療と咬合回復治療	三浦 宏之	講義:SBOs 15
20	1/13	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周治療とインプラント治療	塩田 真	講義:SBOs 16
21-23	1/20	09:00-11:50	歯学科第3講義室	症例供覧	二階堂 雅彦	講義:SBOs 17
24	2/10	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	須田 智也	講義:SBOs 1-17
成績評価の方法						
・適宜、形成的評価(小テスト)を行う。 ・平成 27 年 2 月 10 日に総括的評価(筆記試験)を行う。						

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

備考

担当教員:

須田 智也 助教

連絡先

和泉 雄一: y-izumi.peri@tmd.ac.jp

渡邊 久: watanabe.peri@tmd.ac.jp

須田 智也: sudaperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

和泉 雄一: メールにて面談の日程を調整すること

渡邊 久: 月～金 17:00～19:00

須田 智也: 月・火・水・木 16:00～17:00

時間割番号	021163					
科目名	歯周病・歯周治療実習					
担当教員	渡邊 久					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 36+3(必要自習時間 12 時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 歯周治療に必要な基本的な知識を理解し、その技能および態度を習得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯周組織の構造・機能を説明できる。 2) 歯周病の各種検査を行うことができる。 3) 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。 4) プラークコントロールの重要性を説明でき、必要な器具操作ができる。 5) スケーリングに必要な器具操作ができる。 6) 歯周外科手術に必要な器具操作ができる。 7) 咬合調整に必要な器具操作ができる。 8) 固定法に必要な器具操作ができる。 9) ナイトガード製作に必要な器具操作ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/18	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周病の観察・検査	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 1-3」
4-6	11/25	12:50-15:40	保存矯正実習室	プラークコントロール	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3,4」
7-9	12/2	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3,5」
10-12	12/9	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3,5」
13-15	12/16	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3,5」

16-18	1/13	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周外科	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.6」
19-21	1/20	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周外科	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.6」
22-24	1/27	12:50-15:40	補綴実習室	咬合調整	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.7」
25-27	2/3	09:00-11:50	保存矯正実習室	咬合調整	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.7」
28-30	2/3	12:50-15:40	保存矯正実習室	咬合調整	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.7」
31-33	2/10	12:50-15:40	保存矯正実習室	固定	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.8」
34-36	2/17	12:50-15:40	補綴実習室	ナイトガード	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 3.9」
37-39	2/24	12:50-15:40	保存矯正実習室	実習試験	渡邊 久, 萩原 さつき, 青木 章, 小林 宏明, 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、須田 智也、小島丈尚、弘岡秀明、 富岡栄二、矢沢浩史、 矢野 章、児玉利朗、 山本敦彦:実習:SBOs 1-9」

成績評価の方法

- ・各回、形成的評価(小テストおよび製作物提出)を行う。
- ・平成 27 年 2 月 24 日に総括的評価(実習試験:実技試験(50%)ならびに口頭試問(50%))を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

備考

担当教員:

渡邊 久 准教授

連絡先

watanabe.peri@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 17:00～19:00

時間割番号	021164					
科目名	歯周病のトピックス					
担当教員	青木 章					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 11 (必要自習時間 4 時間) 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 04						
授業の目的、概要等						
歯周病研究・治療の最近の動向および今後の方向性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯周治療の科学的根拠を説明できる。 2) 歯周治療の最近の動向を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	1/27	09:00-09:50	歯学科第3講義室	説明・準備、シナリオの提示	青木 章	講義SBOs 1,2
2-3	1/27	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周治療って面白い!	松井 徳雄	講義SBOs 1,2
4-5	2/10	10:00-11:50	歯学科第4講義室	発表準備	青木 章	PBL:SBOs 1,2
6-7	2/17	09:00-10:50	歯学科第4講義室	発表準備	青木 章	PBL:SBOs 1,2
8	2/17	11:00-11:50	歯学科第4講義室	レーザーの歯周治療への応用	青木 章	講義SBOs 1,2
9-11	2/24	09:00-11:50	歯学科第3講義室	グループ毎発表	青木 章	PBL:SBOs 1,2
成績評価の方法						
・平成 27 年 2 月 24 日に総括的評価(グループ毎発表(100%))を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						
備考						
担当教員: 青木 章 講師						
連絡先						
aoperi@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月～金 17:00-18:00						

時間割番号	021119				
科目名	デンタルエクスターンシップ(2014年度)				
担当教員	川口 陽子				
開講時期	通年	対象年次	1~6	単位数	1
成績評価の方法					
○単位認定条件					
1)タイ拠点における海外研修プログラム					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の3つの中から、いずれかの基準をクリアすること。					
(2) 海外派遣英語準備コース(歯科英語)の履修					
語学検定における所定の点数を取得している学生も、事前の英語準備コースは必修とする。					
(3) 健康教育等に関する準備コースの履修					
(4) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(5) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(6) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(7) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)					
2)海外研修奨励制度による研修プログラム					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の3つの中から、いずれかの基準をクリアすること。					
(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(3) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(4) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)					
3)その他の海外研修プログラム(歯学科教育委員会が認めたもの)					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の3つの中から、いずれかの基準をクリアすること。					
(2) 研修特別コースの履修					
研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める)					
(3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(4) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(5) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)					
準備学習などについての具体的な指示					
モジュールの単位判定					
それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、歯学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
単位の取扱いについては『歯学科専門科目「デンタルエクスターンシップ」に関する単位認定の取り扱い』を参照のこと。					

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。
2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。
 - 1) タイ拠点海外研修プログラム(事前研修を含む。)
 - 2) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。)
 - 3) その他の海外研修プログラム(歯学科教育委員会が認めたもの)
3. 所定のプログラムを修了した学生に対し、歯学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。

連絡先

yoko.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・水 16:00-18:00

歯学科専門科目「デンタルエクスターンシップ」に関する単位認定の取り扱い

平成 25 年 2 月 20 日

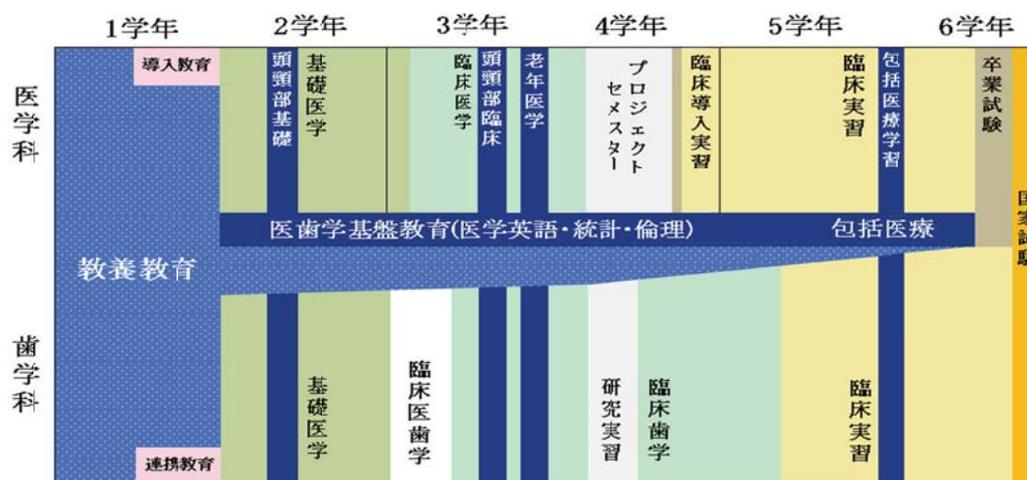
歯 学 部 長 裁 定

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目（卒業要件以外）の単位として 1 単位を認定する。
2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。
 - 1) タイ拠点海外研修プログラム（事前研修を含む。）
 - 2) 大学海外研修奨励制度（事前研修を含む。）
 - 3) その他の海外研修プログラム（歯学科教育委員会が認めたもの）
3. 所定のプログラムを修了した学生に対し、歯学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は 1 単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて 1 単位とする。
4. 「成績原簿」、「成績証明書」及び「単位取得証明書」に自由選択科目「デンタルエクスターンシップ」を履修したものとして記載する。
5. 記載する科目名は、「デンタルエクスターンシップ（年度）」とし、備考欄等に、取得した学年次及びプログラムの種別を記載する。

医歯学融合教育
医歯学基盤教育

● 医歯学融合教育

ますます進む高齢化や医療の進歩および複雑化により、これからの医療には多職種間で連携・協調のとれた包括的医療が必要とされます。そこで本学では、医学部と歯学部を併せ持つ医療系総合大学としての特色を活かし、複数学科の学生がともに共通目標に向かって学ぶ融合教育カリキュラムを開発しました。具体的には、複数学科、特に医学科と歯学科の学生が卒業時に獲得しておくべき知識・技能・態度のうち、共通するものであり共同で学ぶことにより学習効果が高まるもの、そして将来の連携・協調の基盤となるものを教育対象とし、以下のように6年間を通して様々な学習段階でともに教え合いながら学ぶ機会を創出しました。



● 医歯学基盤教育(2年次～4年次まで)

医学歯学を学ぶ上で基盤となる「英語」「臨床統計」「生命倫理」に関し、2年次から4年次にわたってともに学びます。従来「統計」「倫理」は医歯学専門教育の始まる前に行われていましたが、今回それらに関連する内容の専門教育と並行して配置し、そして内容をリンクさせることにより、学習効果を高める工夫を行いました。

● 頭頸部ブロック(2年次:頭頸部基礎(7月) 3年次:頭頸部臨床(1月))

頭頸部領域は、医師・歯科医師ともに診療にかかわる領域であり、医歯学生の両者にとっても非常に重要な領域です。医科および歯科の教員がそれぞれの得意分野を生かし、両学科の学生に同一の教育を行い、両学科の学生により充実した学習につなげます。

2年次に行われる頭頸部基礎ブロックでは、頭頸部(頸から上の脳を除いた領域)に関する正常な構造・機能に関して、両学科の解剖学・生理学の教員が講義を行います。並行して2学科合同の実習を行い、知識の定着につなげます。

3年次に行われる頭頸部臨床ブロックでは、主として眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・形成外科・口腔外科の臨床5科の教員が臨床講義を行います。講義の形態として、患者参加型講義や症例基盤型学習機会なども用意される予定です。頭頸部領域の疾患を理解するうえで必要となる歯科・脳神経外科の講義の一部や頭頸部領域の病理実習もこの期間に含まれます。

● 老年医学ブロック(3年次(2月))

高齢化が進む我が国の未来社会において、「高齢者」とその生理的変化、および、高齢者によくみられる病態を知ることが、医学科・歯学科両学生共に必須のこととなります。3年次に2週間で行われる老年医学ブロックでは、医学科・歯学科合同の講義・実習を通じて高齢者について学びます。

● 包括医療学習(6年次)

6年次の最初に行われる包括医療学習では、専門知識・技能習得が進んだ医学部・歯学部の各学科最終学年の学生が一同に会し、各学科学生の混在する少人数グループ教育を行います。ここでは、症例シナリオをもとに、各学生がそれまでに学んだ知識・技能を振り返りながら統合・応用してグループとして共通の目標にむけて問題解決に取り組み、多職種間で連携・協調のとれた包括的医療を提供できる医療人となるための資質を養います。

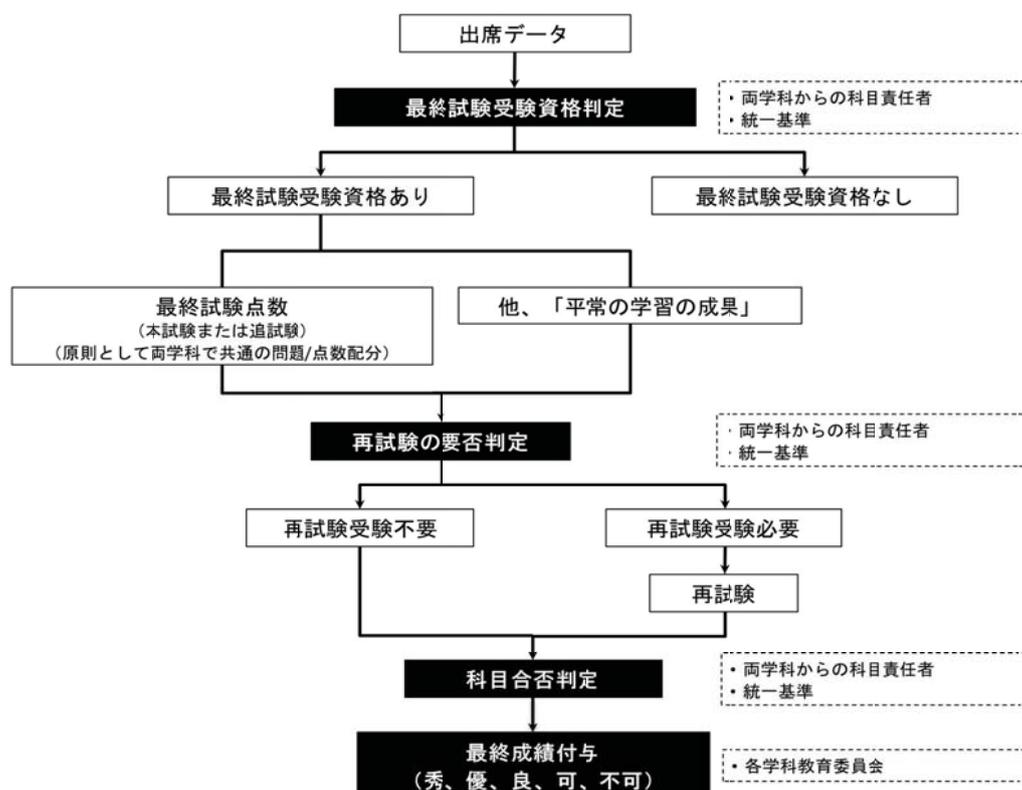
平成26(2014)年度 医歯学基礎教育(グローバル・コミュニケーション、臨床統計、生命倫理)及び教養教育(木曜日午前) 時間割

日	第2学年			第3学年			第4学年		
	1限(9:00-9:50)	2限(10:05-10:55)	3限(11:10-12:00)	1限(9:00-9:50)	2限(10:05-10:55)	3限(11:10-12:00)	1限(9:00-9:50)	2限(10:05-10:55)	3限(11:10-12:00)
4月10日	生命科学基礎(生物学)-1	主選別選択I(前半)-1	グローバル・コミュニケーションI-1	臨床統計II-1	臨床統計II-2	グローバル・コミュニケーションII-1	グローバル・コミュニケーションI-1	臨床統計III-1	臨床統計III-2
4月17日	生命科学基礎(生物学)-2	主選別選択I(前半)-2	グローバル・コミュニケーションI-2	生命倫理I-3	主選別選択II(前半)-1	主選別選択II(前半)-1	主選別選択II(前半)-1	臨床統計III-3	臨床統計III-4
4月24日	生命科学基礎(生物学)-3	主選別選択I(前半)-3	グローバル・コミュニケーションI-3	生命倫理I-4	主選別選択II(前半)-2	主選別選択II(前半)-2	主選別選択II(前半)-2	生命倫理II-1	生命倫理II-2
5月1日	生命科学基礎(生物学)-4	主選別選択I(前半)-4	グローバル・コミュニケーションI-4	生命倫理I-5	主選別選択II(前半)-3	主選別選択II(前半)-3	主選別選択II(前半)-3	臨床統計III-5	臨床統計III-6
5月8日	生命科学基礎(生物学)-5	主選別選択I(前半)-5	グローバル・コミュニケーションI-5	生命倫理I-6	主選別選択II(前半)-4	主選別選択II(前半)-4	主選別選択II(前半)-4	生命倫理II-3	生命倫理II-4
5月15日	生命科学基礎(生物学)-6	主選別選択I(前半)-6	グローバル・コミュニケーションI-6	生命倫理I-7	主選別選択II(前半)-5	主選別選択II(前半)-5	主選別選択II(前半)-5	生命倫理II-5	生命倫理II-6
5月22日	生命科学基礎(生物学)-7	主選別選択I(前半)-7	グローバル・コミュニケーションI-7	生命倫理I-8	主選別選択II(前半)-6	主選別選択II(前半)-6	主選別選択II(前半)-6	生命倫理II-7	生命倫理II-8
5月29日	生命科学基礎(生物学)-8	主選別選択I(前半)-8	グローバル・コミュニケーションI-8	生命倫理I-9	主選別選択II(前半)-7	主選別選択II(前半)-7	主選別選択II(前半)-7	生命倫理II-8	生命倫理II-9
6月5日	生命科学基礎(生物学)-9	主選別選択I(後半)-1	グローバル・コミュニケーションI-9	生命倫理I-10	主選別選択II(後半)-1	主選別選択II(後半)-1	主選別選択II(後半)-1	生命倫理II-9	生命倫理II-10
6月12日	生命科学基礎(生物学)-10	主選別選択I(後半)-2	グローバル・コミュニケーションI-10	生命倫理I-11	主選別選択II(後半)-2	主選別選択II(後半)-2	主選別選択II(後半)-2	生命倫理II-10	生命倫理II-11
6月19日	生命科学基礎(化学)-1	主選別選択I(後半)-3	グローバル・コミュニケーションI-11	生命倫理I-12	主選別選択II(後半)-3	主選別選択II(後半)-3	主選別選択II(後半)-3	生命倫理II-11	生命倫理II-12
6月26日	生命科学基礎(化学)-2	主選別選択I(後半)-4	グローバル・コミュニケーションI-12	生命倫理I-13	主選別選択II(後半)-4	主選別選択II(後半)-4	主選別選択II(後半)-4	生命倫理II-12	生命倫理II-13
7月3日	生命科学基礎(化学)-3	主選別選択I(後半)-5	グローバル・コミュニケーションI-13	生命倫理I-14	主選別選択II(後半)-5	主選別選択II(後半)-5	主選別選択II(後半)-5	生命倫理II-13	生命倫理II-14
7月10日	生命科学基礎(化学)-4	主選別選択I(後半)-6	グローバル・コミュニケーションI-14	生命倫理I-15	主選別選択II(後半)-6	主選別選択II(後半)-6	主選別選択II(後半)-6	生命倫理II-14	生命倫理II-15
7月17日	生命科学基礎(化学)-5	主選別選択I(後半)-7	グローバル・コミュニケーションI-15	生命倫理I-16	主選別選択II(後半)-7	主選別選択II(後半)-7	主選別選択II(後半)-7	生命倫理II-15	生命倫理II-16
7月24日	生命科学基礎(化学)-6	主選別選択I(後半)-8	グローバル・コミュニケーションI-16	生命倫理I-17	主選別選択II(後半)-8	主選別選択II(後半)-8	主選別選択II(後半)-8	生命倫理II-16	生命倫理II-17
9月18日	教養教育試験	教養教育試験	臨床統計I-8	臨床統計I-9	臨床統計I-10	臨床統計I-11	臨床統計I-12	臨床統計I-13	臨床統計I-14
9月25日	生命科学基礎(化学)-7	主選別選択I(後半)-9	グローバル・コミュニケーションI-17	臨床統計I-15	臨床統計I-16	臨床統計I-17	臨床統計I-18	臨床統計I-19	臨床統計I-20
10月2日	生命科学基礎(化学)-8	主選別選択I(後半)-10	グローバル・コミュニケーションI-18	臨床統計I-16	臨床統計I-17	臨床統計I-18	臨床統計I-19	臨床統計I-20	臨床統計I-21
10月9日	生命科学基礎(化学)-9	主選別選択I(後半)-11	グローバル・コミュニケーションI-19	臨床統計I-17	臨床統計I-18	臨床統計I-19	臨床統計I-20	臨床統計I-21	臨床統計I-22
10月16日	生命科学基礎(化学)-10	主選別選択I(後半)-12	グローバル・コミュニケーションI-20	臨床統計I-18	臨床統計I-19	臨床統計I-20	臨床統計I-21	臨床統計I-22	臨床統計I-23
10月23日	生命科学基礎(化学)-11	主選別選択I(後半)-13	グローバル・コミュニケーションI-21	臨床統計I-19	臨床統計I-20	臨床統計I-21	臨床統計I-22	臨床統計I-23	臨床統計I-24
10月30日	生命科学基礎(化学)-12	主選別選択I(後半)-14	グローバル・コミュニケーションI-22	臨床統計I-20	臨床統計I-21	臨床統計I-22	臨床統計I-23	臨床統計I-24	臨床統計I-25
11月6日	生命科学基礎(化学)-13	主選別選択I(後半)-15	グローバル・コミュニケーションI-23	臨床統計I-21	臨床統計I-22	臨床統計I-23	臨床統計I-24	臨床統計I-25	臨床統計I-26
11月13日	生命科学基礎(化学)-14	主選別選択I(後半)-16	グローバル・コミュニケーションI-24	臨床統計I-22	臨床統計I-23	臨床統計I-24	臨床統計I-25	臨床統計I-26	臨床統計I-27
11月20日	生命科学基礎(化学)-15	主選別選択I(後半)-17	グローバル・コミュニケーションI-25	臨床統計I-23	臨床統計I-24	臨床統計I-25	臨床統計I-26	臨床統計I-27	臨床統計I-28
11月27日	生命科学基礎(化学)-16	主選別選択I(後半)-18	グローバル・コミュニケーションI-26	臨床統計I-24	臨床統計I-25	臨床統計I-26	臨床統計I-27	臨床統計I-28	臨床統計I-29
12月4日	生命科学基礎(化学)-17	主選別選択I(後半)-19	グローバル・コミュニケーションI-27	臨床統計I-25	臨床統計I-26	臨床統計I-27	臨床統計I-28	臨床統計I-29	臨床統計I-30
12月11日	生命科学基礎(化学)-18	主選別選択I(後半)-20	グローバル・コミュニケーションI-28	臨床統計I-26	臨床統計I-27	臨床統計I-28	臨床統計I-29	臨床統計I-30	臨床統計I-31
12月18日	生命科学基礎(化学)-19	主選別選択I(後半)-21	グローバル・コミュニケーションI-29	臨床統計I-27	臨床統計I-28	臨床統計I-29	臨床統計I-30	臨床統計I-31	臨床統計I-32
1月8日	生命科学基礎(化学)-20	主選別選択I(後半)-22	グローバル・コミュニケーションI-30	臨床統計I-28	臨床統計I-29	臨床統計I-30	臨床統計I-31	臨床統計I-32	臨床統計I-33
1月15日	生命科学基礎(化学)-21	主選別選択I(後半)-23	グローバル・コミュニケーションI-31	臨床統計I-29	臨床統計I-30	臨床統計I-31	臨床統計I-32	臨床統計I-33	臨床統計I-34
1月22日	生命科学基礎(化学)-22	主選別選択I(後半)-24	グローバル・コミュニケーションI-32	臨床統計I-30	臨床統計I-31	臨床統計I-32	臨床統計I-33	臨床統計I-34	臨床統計I-35
1月29日	生命科学基礎(化学)-23	主選別選択I(後半)-25	グローバル・コミュニケーションI-33	臨床統計I-31	臨床統計I-32	臨床統計I-33	臨床統計I-34	臨床統計I-35	臨床統計I-36
2月5日	生命科学基礎(化学)-24	主選別選択I(後半)-26	グローバル・コミュニケーションI-34	臨床統計I-32	臨床統計I-33	臨床統計I-34	臨床統計I-35	臨床統計I-36	臨床統計I-37
2月12日	生命科学基礎(化学)-25	主選別選択I(後半)-27	グローバル・コミュニケーションI-35	臨床統計I-33	臨床統計I-34	臨床統計I-35	臨床統計I-36	臨床統計I-37	臨床統計I-38
2月19日	生命科学基礎(化学)-26	主選別選択I(後半)-28	グローバル・コミュニケーションI-36	臨床統計I-34	臨床統計I-35	臨床統計I-36	臨床統計I-37	臨床統計I-38	臨床統計I-39
3月5日	生命科学基礎(化学)-27	主選別選択I(後半)-29	グローバル・コミュニケーションI-37	臨床統計I-35	臨床統計I-36	臨床統計I-37	臨床統計I-38	臨床統計I-39	臨床統計I-40

※ 教養教育(木曜日午前)の授業内容はWebClassで確認すること。

医歯学融合教育科目における成績評価判定について

- ・ 医歯学融合教育科目の受験資格判定、採点および合否判定は科目責任者が行う。
- ・ 原則として、試験問題、採点および合否判定は両学科共通とする。
- ・ 医学科・歯学科の各教育委員会で成績の判定をする。



時間割番号	021043					
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅰ)					
担当教員	能登 洋, 水口 俊介					
開講時期	通年	対象年次	2			
授業科目名英訳: Clinical Statistics						
授業の目的、概要等						
医療・研究において必要とされる統計学の基礎と臨床的意義を学ぶ。基本的な概念や手法や臨床での活用を習得するほか統計学の思想や数学的原理の理解にも触れる。						
授業の到達目標(SBOs)						
エビデンスを正しく読解できる統計学的知識と臨床的技能を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/8	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-1	統計学と医療 1	能登 洋
2	5/15	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-2	統計学と医療 2	能登 洋
3	5/29	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-3	統計学と医療 3	能登 洋
4	6/5	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-4	統計学と医療 4	能登 洋
5	6/12	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-5	統計学と医療 5	能登 洋
6	6/19	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-6	統計学と医療 6	能登 洋
7	6/26	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-7	統計学と医療 7	能登 洋
8	9/18	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-8	応用演習	能登 洋
9	10/30	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-9	統計学と医療 8	徳永 伸一
10	10/30	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-10	統計学と医療 9	徳永 伸一
11	11/6	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-11	統計学と医療 10	徳永 伸一
12	11/6	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-12	統計学と医療 11	徳永 伸一
13	11/13	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-13	統計学と医療 12	徳永 伸一
14	11/13	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-14	統計学と医療 13	徳永 伸一
15	11/20	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-15	統計学と医療 14	徳永 伸一
16	11/20	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-16	統計学と医療 15	徳永 伸一
17	12/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-17	応用演習	徳永 伸一
18	12/11	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-18	統計学と医療 16	能登 洋
19	12/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-19	統計学と医療 17	能登 洋
20	12/18	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-20	統計学と医療 18	能登 洋
21	1/15	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-21	統計学と医療 19	能登 洋
22	1/15	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-22	統計学と医療 20	能登 洋
23	1/22	10:05-10:55	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-23	応用演習	能登 洋
24	1/22	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-24	統計学と医療 21 総括	徳永 伸一
25	2/12	11:10-12:00	医学科講義室 1	臨床統計Ⅰ-25	統計学と医療 22 総括	能登 洋
授業方法						
講義・演習による						
授業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・EBM/EBD ・統計の種類と研究の種類 ・相関・検査特性・治療/予防に関する統計学の基礎と応用法 ・統計学の思想や数学的原理 						
成績評価の方法						
授業責任者が応用演習を主として判定する。						
成績評価の基準						
授業責任者が応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。						

<p>準備学習などについての具体的な指示 教科書および WebClass 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。</p>
<p>教科書 臨床統計はじめの一步 Q&A: 統計のイロハから論文の読み方、研究のつくり方まで / 能登洋 著, : 羊土社, 2008</p>
<p>参考書 EBM の正しい理解と実践 Q&A: 一問一答で疑問解消, ケーススタディで即実践 / 能登洋 著, : 羊土社, 2003 日常診療にすぐに使える臨床統計学: ベストな診断と治療ができる! / 能登洋 著, : 羊土社, 2011 2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION: すぐにできる EBM 実践法 / 能登洋 著, : 南江堂, 2013 数学/統計学 / 井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著, : 医歯薬出版, 2005 やさしい医療系の統計学 / 佐藤敏雄, 村松幸 著, : 医歯薬出版, 2002 入門統計解析 / 松原望 著, : 東京図書, 2007</p>
<p>他科目との関連 グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習課題や試験について事前連絡することがあるため, WebClass を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また, 出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。
<p>備考 担当教員: 能登 洋, 徳永 伸一 成績評価法: 教員ごとに試験を行い, 最終的に両者の成績を総合的に評価する</p>
<p>連絡先 能登 洋: noto-tky@umin.net 水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 水口 俊介: 随時</p>

時間割番号	021044					
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーション I)					
担当教員	高田 和生, 森尾 郁子					
開講時期	通年	対象年次	2			
授業科目名英訳: Global Communication for Healthcare Professionals						
主な講義場所						
大学院講義室 1: M&D タワー21 階: Class H (Wilder 先生, Marx/高橋 先生)						
共用セミナー室 4: M&D タワー22 階: Class G (Hug 先生, Christayanie 先生)						
共用セミナー室 3: M&D タワー23 階: Class F (Yoshimoto 先生, Mayo 先生)						
共用セミナー室 2: M&D タワー23 階: Class E (TBA 先生, Warren 先生)						
共用セミナー室 1: M&D タワー24 階: Class D (Gonzalvo 先生, Koibuchi 先生)						
共用セミナー室 6: M&D タワー15 階: Class C (Ono 先生, Palacios 先生)						
共用セミナー室 5: M&D タワー15 階: Class B (Velasco 先生, Delgado 先生)						
医学科講義室 1 : 3号館 2 階: Class A (Lerstrom 先生, Johnson 先生)						
授業の目的、概要等						
<p>本学は、教育理念の一つに、「国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する」と掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語の運用能力は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するに於ける情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。そして、本学の教育理念達成には、単なる言語としての英語力だけではなく、それ以上に、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で議論を行うに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容をリンクさせることにより、双方に対する更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 英語により医学情報(論文やデータベース)を読む能力、口頭または文書で情報発信を行い、議論する能力を持つ 2) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる 3) 世界共通言語による世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	11:10-12:00	別記	Introduction/Critical Thinking/Group Dynamics	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
2	5/22	11:10-12:00	別記	Health Supplements	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
3	7/17	11:10-12:00	別記	Hand Washing/Gloves	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
4	7/24	11:10-12:00	別記	Presentation Basics	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
5	10/2	10:05-10:55	別記	Cadaver	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
6	10/2	11:10-12:00	別記	Cadaver	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
7	10/9	10:05-10:55	別記	Medical Tourism	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
8	10/9	11:10-12:00	別記	Medical Tourism	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
9	11/27	10:05-10:55	別記	IVF	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
10	11/27	11:10-12:00	別記	IVF	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
11	12/4	10:05-10:55	別記	Surrogacy	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
12	12/4	11:10-12:00	別記	Surrogacy	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
13	1/29	10:05-10:55	別記	Obesity	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
14	1/29	11:10-12:00	別記	Obesity	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
15	2/5	10:05-10:55	別記	Dental Health	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
16	2/5	11:10-12:00	別記	Dental Health	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照

<p>授業方法</p> <p>1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得 医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。</p> <p>2. Small group discussion 医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配備する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。</p>
<p>授業内容</p> <p>詳細は別表のとおり</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>最終成績は以下にもとづき判定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Vocabulary quiz performance ・ Class participation (discussion/presentation/comments) and write-ups
<p>成績評価の基準</p> <p>最終成績は下記比重による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Vocabulary quiz performance (30%) ・ Class participation (discussion/presentation/comments) and write-ups (70%)
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしておくこと。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには、全セッションの3分の2以上の出席(本科目にて規定する出欠確認方法による)を必要条件とする。</p>
<p>教科書</p> <p>最新医学用語演習：医学英語演習／岡田聚, 名木田恵理子 著; 南雲堂, 1993</p>
<p>参考書</p> <p>最強のクリティカルシンキング・マップ：あなたに合った考え方を見つけよう：critical thinking map／道田泰司 著; 日本経済新聞出版社, 2012</p> <p>クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著; 宮元 博章 訳; 北大路書房</p> <p>クリティカルシンキング／E.B.ゼックミスタ, J.E.ジョンソン 著; 宮元博章 [ほか]訳; 北大路書房, 1997</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。</p>
<p>連絡先</p> <p>高田 和生: takada.rheu@tmd.ac.jp 森尾 郁子: imorio.edev@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>高田 和生: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。 森尾 郁子: 毎週木曜日 16:30-19:00 M&D タワー7階 教授室</p>

時間割番号	021047					
科目名	頭頸部基礎					
担当教員	秋田 恵一, 井関 祥子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	4	
授業科目名英訳: Head and Neck						
主な講義場所						
3号館2階 医学科講義室1						
実習は3号館地下1階、4階、歯学科講義室1などで行うので、時間割表を確認すること。						
授業の目的、概要等						
<p>高齢化社会となり、疾病の多様性が認められる日本の医療現場では、口腔内疾患、身体的疾患を総合的に治療する必要がある。そのため、歯学を理解した医師、医学を理解した歯科医師の養成は、社会が求めるものである。医療系総合大学である本学が先進的な医歯学融合教育を実践することで、医科・歯科両学科の学生が将来の基盤となる頭頸部に関する基礎的な知識とともに学び、共有することは肝要である。</p> <p>2年次に行われる本ブロックにおいては、頭頸部領域に関する組織学、解剖学、生理学、発生学の講義・実習の多くを医歯共通授業として行う。本ブロックが基礎・専門科目領域における医歯相互の関連を確認する機会となることで、3年次以降の医歯学融合教育の礎となることを目標とする。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
頭頸部領域の構造と機能を理解する。具体的な項目については授業内容の項を参照すること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	6/23	09:00-10:20	医学科講義室1	歯の総論1	柴田 俊一	
2	6/23	10:30-11:50	医学科講義室1	歯の総論2	柴田 俊一	
3	6/23	12:50-17:10	医学科講義室1	mini-PBL	秋田 恵一	
4	6/24	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学(顔面皮下・浅層)	秋田 恵一	
5	6/24	14:20-15:40	解剖学実習室	人体解剖学(顔面皮下・浅層)	秋田 恵一	解剖学教員
6	6/25	09:00-10:20	医学科講義室1	脳神経概論1	秋田 恵一	
7	6/25	10:30-11:50	医学科講義室1	脳神経概論2	秋田 恵一	
8	6/25	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 咀嚼筋(浅層)・顔面(中層)・側頭下窩	秋田 恵一	
9	6/25	14:20-15:40	解剖学実習室	人体解剖学 咀嚼筋(浅層)・顔面(中層)・側頭下窩	秋田 恵一	解剖学教員
10	6/26	12:50-17:10	医学科講義室1	単語テスト(情報検索室)・mini-PBL(講義室1)	秋田 恵一	
11	6/26	12:50-17:10	情報検索室	単語テスト(情報検索室)・mini-PBL(講義室1)	秋田 恵一	
12	6/27	09:00-10:20	医学科講義室1	感覚器の生理1 体性感覚・嗅覚・味覚	泰羅 雅登	
13	6/27	10:30-11:50	医学科講義室1	運動器の生理	泰羅 雅登	
14	6/27	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 顔面(深層)・舌	秋田 恵一	
15	6/27	14:20-15:40	解剖学実習室	人体解剖学 顔面(深層)・舌	秋田 恵一	解剖学教員
16	6/30	09:00-10:20	医学科講義室1	組織学(口腔)	高野 吉郎	
17	6/30	10:30-11:50	医学科講義室1	組織学(口腔)	高野 吉郎	
18	6/30	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 眼窩・眼球	秋田 恵一	
19-20	6/30	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 眼窩・眼球	秋田 恵一	解剖学教員
21	7/1	12:50-14:10	医学科講義室1	組織学(眼)	井上 明宏	
22	7/1	12:50-14:10	歯学科第1講義室	組織学(眼)	田畑 純	
23-24	7/1	14:20-17:10	4階学生実習室	組織学(眼)	井上 明宏	
25-26	7/1	14:20-17:10	歯学科第1講義室	組織学(眼)	田畑 純	

27	7/2	10:30-11:50	医学科講義室 1	感覚器の生理2 視覚	泰羅 雅登	
28	7/2	12:50-14:10	医学科講義室 1	人体解剖学 外耳・中耳・内耳	秋田 恵一	
29-30	7/2	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 外耳・中耳・内耳	秋田 恵一	
31	7/3	12:50-14:10	医学科講義室 1	組織学(耳)	中田 隆夫	
32	7/3	12:50-14:10	歯学科第 1 講義室	組織学(耳)	田畑 純	
33-34	7/3	14:20-17:10	4 階学生実習室	組織学実習(耳)	中田 隆夫	
35-36	7/3	14:20-17:10	歯学科第 1 講義室	組織学実習(耳)	田畑 純	
37	7/4	09:00-10:20	医学科講義室 1	感覚器の生理3 平衡覚	杉内 友理子	
38	7/4	10:30-11:50	医学科講義室 1	頭頸部の臨床1 耳科学の臨床	角田 篤信	
39	7/4	12:50-14:10	医学科講義室 1	人体解剖学 鼻腔・副鼻腔・口蓋	秋田 恵一	
40-41	7/4	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 鼻腔・副鼻腔・口蓋	秋田 恵一	
42	7/7	09:00-10:20	医学科講義室 1	感覚器の生理4 聴覚	杉原 泉	
43	7/7	10:30-11:50	医学科講義室 1	分子発生生物学1	井関 祥子	
44	7/7	12:50-14:10	医学科講義室 1	頭頸部の臨床2 眼科学の臨床	大野 京子	
45-46	7/7	14:20-17:10	医学科講義室 1	単語テスト(情報検索室)・mini-PBL(講義室 1)	秋田 恵一	
47-48	7/7	14:20-17:10	情報検索室	単語テスト(情報検索室)・mini-PBL(講義室 1)	秋田 恵一	
49	7/8	12:50-14:10	医学科講義室 1	人体解剖学 咽頭(外側)・咽頭・喉頭	柴田 俊一	
50-51	7/8	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 咽頭(外側)・咽頭・喉頭咽頭・喉頭	秋田 恵一	
52	7/9	09:00-10:20	医学科講義室 1	分子発生生物学2	井関 祥子	
53	7/9	10:30-11:50	医学科講義室 1	分子発生生物学3	井関 祥子	
54	7/9	12:50-14:10	医学科講義室 1	頭頸部の臨床3 咽頭・喉頭の臨床	杉本 太郎	
55	7/9	14:20-15:40	医学科講義室 1	頭頸部の臨床4 頭頸部外科の臨床		頭頸部外科教員
56	7/10	12:50-14:10	医学科講義室 1	mini-PBL	柴田 俊一	
57-58	7/11	09:00-11:50	医学科講義室 1	TBL	山口 久美子	
59	7/11	12:50-14:10	情報検索室	単語テスト	山口 久美子	
60	7/11	12:50-14:10	シミュレーション実習室	単語テスト	山口 久美子	
61-62	7/11	14:20-17:10	解剖学実習室	解剖(まとめと納棺)	秋田 恵一	解剖学教員

授業方法

講義・実習(解剖学・組織学)

授業内容

以下を目標とした授業内容である。

- ①骨格・軟骨・関節・靭帯・筋 を理解する。
- ②脳神経と主要な血管・リンパ管走行 を理解する。
- ③口腔内構造: 顎骨および歯, 舌, 口蓋, 唾液腺 を理解する。
- ④頭頸部における内分泌腺の位置を理解し、分泌されるホルモンを列挙できる。
- ⑤視覚, 聴覚, 平衡覚, 体性感覚, (嗅覚, 味覚)の感覚刺激受容の概要を理解する。
- ⑥(平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。)
- ⑦眼球と付属器の構造と機能、眼球運動を理解する。
- ⑧(対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。)
- ⑨外耳・中耳・内耳の構造 を理解する。
- ⑩口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造と神経支配を理解する。
- ⑪咀嚼と嚥下 を理解する。
- ⑫鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程 を理解する。
- ⑬神経系・感覚器の形成過程を理解する。

<p>成績評価の方法</p> <p>実習中の個人課題、グループ課題、および、最終日に行われる個人およびグループに対する筆記試験で評価を行う。期間中に行われる解剖学用語テストは、各学科の人体解剖学の成績の一部となる。</p>																																				
<p>成績評価の基準</p> <p>課題・TBL の成績の合計が6割を超えている場合を合格とする。</p>																																				
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の前には授業内容を確認し、該当範囲の教科書を読んで参加すること。 <p>各学科の関連講義(人体発生学、人体解剖学、組織学、生理学導入等)の内容は知っていることを前提として講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の前には手順に目を通し、予習してくること。 <p>解剖学用語試験について解答できるように、十分に自習すること。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い実習手順により予習をおこなうこと。予習が不完全であるとそれだけ実習に時間がかかり遅くなるという悪循環になる。</p>																																				
<p>試験の受験資格</p> <p>講義開始時の学生証による出席確認で2/3以上出席していること、実習開始時に3/4以上出席していること。下記「履修上の注意」に記載される理由により実習の遅刻は欠席とみなす。</p>																																				
<p>教科書</p> <p>口腔組織・発生学／脇田稔、前田健康、山下靖雄、明坂年隆 編：医歯薬出版、2006</p> <p>口腔組織・発生学：カラーエッセンシャル／ジェイムズ・K.エイヴリー 著、高野吉郎 監訳、佐々木崇寿、矢嶋俊彦、入江一元 訳：西村書店、2002</p> <p>歯の解剖学／藤田恒太郎 原著：金原出版、1996</p> <p>標準生理学 第8版：医学書院、2014</p> <p>基礎歯科生理学／森本 俊文（編集）、二ノ宮 裕三（編集）、岩田 幸一（編集）、山田 好秋（編集）：医歯薬出版、2014</p>																																				
<p>参考書</p> <p>カールソン神経科学テキスト：脳と行動／カールソン [著]、泰羅雅登、中村克樹 監訳：丸善出版、2013</p> <p>神経科学：脳の探求：カラー版／M.F.ベアー、B.W.コノーズ、M.A.パラディーソ 著、加藤宏司、後藤薫、藤井聡、山崎良彦 監訳：西村書店、2007</p> <p>Principles of Neural Science／Eric Kandel（著）、James Schwartz（著）、Thomas Jessell（著）、Steven Siegelbaum（著）、A.J. Hudspeth（著）：McGraw-Hill Professional、2012</p> <p>カandel神経科学：メディカルサイエンスインターナショナル、2014</p>																																				
<p>履修上の注意事項</p> <p>遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。</p>																																				
<p>備考</p> <p>○問い合わせ先(講義担当教員、*ブロックコーディネーター)</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>(教員名)</th> <th>(診療科・分野)</th> <th>(Eメールアドレス@tmd.ac.jp の前)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田恵一</td> <td>臨床解剖学分野</td> <td>akita.fana</td> </tr> <tr> <td>井関祥子</td> <td>分子発生学分野</td> <td>s.iseki.emb</td> </tr> <tr> <td>大野京子</td> <td>眼科学分野</td> <td>k.ohno.oph</td> </tr> <tr> <td>柴田俊一</td> <td>顎顔面解剖学分野</td> <td>sshibata.mfa</td> </tr> <tr> <td>杉内友理子</td> <td>システム神経生理学分野</td> <td>ysugiuchi.phy1</td> </tr> <tr> <td>杉原泉</td> <td>システム神経生理学分野</td> <td>isugihara.phy1</td> </tr> <tr> <td>泰羅雅登</td> <td>認知神経生物学分野</td> <td>masato.cnb</td> </tr> <tr> <td>高野吉郎</td> <td>硬組織構造生物学分野</td> <td>takanoy.bss</td> </tr> <tr> <td>寺島達夫</td> <td>顎顔面解剖学分野</td> <td>tterashima.mfa</td> </tr> <tr> <td>中田隆夫</td> <td>細胞生物学分野</td> <td>nakata.cbio</td> </tr> <tr> <td>山口久美子*</td> <td>医歯学融合教育支援センター</td> <td>yamaguchi.fana</td> </tr> </tbody> </table>	(教員名)	(診療科・分野)	(Eメールアドレス@tmd.ac.jp の前)	秋田恵一	臨床解剖学分野	akita.fana	井関祥子	分子発生学分野	s.iseki.emb	大野京子	眼科学分野	k.ohno.oph	柴田俊一	顎顔面解剖学分野	sshibata.mfa	杉内友理子	システム神経生理学分野	ysugiuchi.phy1	杉原泉	システム神経生理学分野	isugihara.phy1	泰羅雅登	認知神経生物学分野	masato.cnb	高野吉郎	硬組織構造生物学分野	takanoy.bss	寺島達夫	顎顔面解剖学分野	tterashima.mfa	中田隆夫	細胞生物学分野	nakata.cbio	山口久美子*	医歯学融合教育支援センター	yamaguchi.fana
(教員名)	(診療科・分野)	(Eメールアドレス@tmd.ac.jp の前)																																		
秋田恵一	臨床解剖学分野	akita.fana																																		
井関祥子	分子発生学分野	s.iseki.emb																																		
大野京子	眼科学分野	k.ohno.oph																																		
柴田俊一	顎顔面解剖学分野	sshibata.mfa																																		
杉内友理子	システム神経生理学分野	ysugiuchi.phy1																																		
杉原泉	システム神経生理学分野	isugihara.phy1																																		
泰羅雅登	認知神経生物学分野	masato.cnb																																		
高野吉郎	硬組織構造生物学分野	takanoy.bss																																		
寺島達夫	顎顔面解剖学分野	tterashima.mfa																																		
中田隆夫	細胞生物学分野	nakata.cbio																																		
山口久美子*	医歯学融合教育支援センター	yamaguchi.fana																																		

○人体解剖学実習担当教員等

秋田恵一、二村昭元、原田雅代、那須久代(臨床解剖学分野)

柴田俊一、鹿野俊一、田巻玉器(顎顔面解剖学分野)

坂本裕次郎(口腔保健衛生基礎学分野)

山口久美子(先駆的医療人材育成分野)

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

連絡先

秋田 恵一: akita.fana@tmd.ac.jp

井関 祥子: s.iseki.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

秋田 恵一: メール等でアポイントメントを取ること。

井関 祥子: 随時 (必ず事前に連絡すること)

時間割番号	021046						
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理 I)						
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介						
開講時期	通年	対象年次	2				
授業科目名英訳: Bioethics							
授業の目的、概要等							
<p>なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、コトをおこなってしまうのか、あるいは、するべきコトに気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。</p> <p>医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。</p> <p>第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。</p>							
授業の到達目標(SBOs)							
<p>医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。</p>							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/3	11:10-12:00	医学科講義室 1	生命倫理 I - 1	生命倫理総論(導入)	吉田 雅幸	第2学年
2	7/10	11:10-12:00	医学科講義室 1	生命倫理 I - 2	基礎医学に関連する倫理的事項	桑名 仁	第2学年
授業方法							
<p>講義・グループワーク</p> <p>自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。</p>							
授業内容							
<p>詳細は別表のとおり</p> <p>臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。</p> <p>担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。</p>							
成績評価の方法							
<p>講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・研究倫理実践論(50~60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50~60%)をもとにあわせて総合的に評価する。</p>							

<p>成績評価の基準</p> <p>第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・研究倫理実践論の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の応用演習については、第2学年から第3学年前期の応用演習前までの全9回の講義のうち、6回以上の出席であること。第4学年前期の研究倫理実践論については、第3学年前期の応用演習後から第4学年前期の研究倫理実践論までの全13回(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、9回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の受講上の注意を参照のこと)</p>
<p>参考書</p> <p>生命倫理と法／樋口 範雄,土屋 裕子,岩田 太,：弘文堂, 2005</p> <p>遺伝診療をとりまく社会：その科学的・倫理的アプローチ／水谷修紀, 吉田雅幸 監修,吉田雅幸, 小笹由香 編:ブレーン出版, 2007</p> <p>医療の倫理ジレンマ：解決への手引き：患者の心を理解するために／バーナード・ロウ 著,北野喜良, 中澤英之, 小宮良輔 監訳:西村書店, 2003</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。「応用演習」「研究倫理実践論」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。</p>
<p>備考</p> <p>○問い合わせ先(講義担当教員)</p> <p>(教員名) (診療科・分野) (Eメールアドレス@tmd.ac.jp の前)</p> <p>小笹 由香 生命倫理研究センター yuka.bec</p> <p>桑名 仁 生命倫理研究センター hkuwcie</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>各講義時に適宜指示</p>
<p>連絡先</p> <p>吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp</p> <p>水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。</p> <p>水口 俊介: 随時</p>

時間割番号	021045						
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理 I)						
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介						
開講時期	通年	対象年次	3				
授業科目名英訳: Bioethics							
授業の目的、概要等							
<p>なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、コトをおこなってしまうのか、あるいは、するべきコトに気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。</p> <p>医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。</p> <p>第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。</p>							
授業の到達目標(SBOs)							
<p>医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。</p>							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 3	医療事故と法的問題	高瀬 浩造	第3学年
2	4/24	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 4	保険診療・診療報酬と倫理的問題	藍 真澄	第3学年
3	5/1	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 5	研究倫理総論	吉田 雅幸	第3学年
4	5/8	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 6	医療経済を考える	井伊 雅子	第3学年
5	5/15	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 7	疫学研究デザイン・実際	神田 英一郎	第3学年
6	5/29	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 8	通常診療に潜む倫理的問題	石井 秀人	第3学年
7	6/5	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 9	臨床治験と倫理的問題	石井 秀人	第3学年
8	6/12	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理 I - 10	応用演習	吉田 雅幸	第3学年
9	9/18	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理 I - 11	輸血に関連した倫理的問題	梶原 道子	第3学年
10	1/29	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理 I - 12	終末期医療と倫理(亜急性型の終末期、がん等)	三宅 智	第3学年
11	2/5	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理 I - 13	終末期医療と倫理(慢性型の終末期)	阿部 庸子	第3学年
12	2/12	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理 I - 14	終末期医療と倫理(終末期医療の制度)	佐原 まち子	第3学年

13	2/12	11:10-12:00	医学科講 義室2	生命倫理 I - 15	終末期医療と倫理(終末期医療の 制度)	佐原 まち子	第3学年
14	2/19	10:05-10:55	医学科講 義室2	生命倫理 I - 16	宗教と倫理	小川 有閑	第3学年
15	2/19	11:10-12:00	医学科講 義室2	生命倫理 I - 17	宗教と倫理	小川 有閑	第3学年

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・研究倫理実践論(50～60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50～60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・研究倫理実践論の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60 点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて少シインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の応用演習については、第2学年から第3学年前期の応用演習前までの全9回の講義のうち、6回以上の出席であること。第4学年前期の研究倫理実践論については、第3学年前期の応用演習後から第4学年前期の研究倫理実践論までの全13回(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、9回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の受講上の注意を参照のこと)

参考書

生命倫理と法／樋口 範雄、土屋 裕子、岩田 太、弘文堂、2005

遺伝診療をとりまく社会：その科学的・倫理的アプローチ／水谷修紀、吉田雅幸 監修、吉田雅幸、小笹由香 編、ブレーン出版、2007

医療の倫理シレンマ：解決への手引き：患者の心を理解するために／バーナード・ロウ 著、北野喜良、中澤英之、小宮良輔 監訳、西村書店、2003

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。「応用演習」「研究倫理実践論」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野) (E メールアドレス@tmd.ac.jp の前)

小笹 由香 生命倫理研究センター yuka.bec

桑名 仁 生命倫理研究センター hkuwcie

参照ホームページ

各講義時に適宜指示

連絡先

吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp

水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

]

時間割番号	021120						
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)						
担当教員	能登 洋, 水口 俊介						
開講時期	通年	対象年次	3				
授業科目名英訳: Clinical Statistics							
授業の目的、概要等							
医療・研究において必要とされる統計学の臨床的意義と応用法を学ぶ。問題解決において必須となる情報収集を適切に効果的に行う能力を習得するほか、著作権や情報の扱いにも触れる。							
授業の到達目標(SBOs)							
エビデンスを正しく読解・活用できる実践技能を習得する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	09:00-09:50	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-1	著作権・肖像権・個人情報	木下 淳博	
2	4/10	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-2	ネットワークサービスとセキュリティー	能登 洋	後藤 明久
3	9/25	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-3	EBM/EBD 実践1	能登 洋	
4	9/25	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-4	EBM/EBD 実践2	能登 洋	
5	10/2	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-5	EBM/EBD 実践3	能登 洋	
6	10/9	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-6	応用演習	能登 洋 木下 淳博	後藤 明久
7	10/16	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-7	EBM/EBD 実践4	能登 洋	
8	10/16	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-8	EBM/EBD 実践5	能登 洋	
9	10/23	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-9	EBM/EBD 実践6	能登 洋	
10	10/30	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-10	EBM/EBD 実践7	能登 洋	
11	11/6	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-11	EBM/EBD 実践8	能登 洋	
12	11/27	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-12	EBM/EBD 実践9	能登 洋	
13	12/4	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-13	応用演習	能登 洋	
14	1/8	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-14	EBM/EBD 実践10 総括	能登 洋	
授業方法							
講義・演習による							
授業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・教育・研究と著作権・肖像権臨床実習と個人情報の保護 ・様々なネットワークサービスとセキュリティー ・相関・診断・治療/予防に関するEBM/EBD 							
成績評価の方法							
授業責任者が、応用演習を主として判定する。							

<p>成績評価の基準</p> <p>授業責任者が、応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>教科書を活用して予習・復習に役立てること。また、eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備（WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等）を行うこと。</p>
<p>教科書</p> <p>臨床統計はじめの一步 Q&A：統計のイロハから論文の読み方、研究のつくり方まで／能登洋 著：羊土社、2008</p>
<p>参考書</p> <p>EBM の正しい理解と実践 Q&A：一問一答で疑問解消、ケーススタディで即実践／能登洋 著：羊土社、2003</p> <p>日常診療にすぐ使える臨床統計学：ベストな診断と治療ができる！／能登洋 著：羊土社、2011</p> <p>2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION：すぐのできる EBM 実践法／能登洋 著：南江堂、2013</p> <p>誰でも分かる著作権：情報化・コンテンツ・教育関係者のために：この 1 冊で／岡本薫 著：全日本社会教育連合会、2005</p>
<p>他科目との関連</p> <p>グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習課題や試験について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する
<p>備考</p> <p>担当教員：能登 洋、木下 淳博、後藤 明久</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>文化庁の著作権サイト http://www.bunka.go.jp/chosakuken/index.html</p>
<p>連絡先</p> <p>能登 洋: noto-ky@umin.net</p> <p>水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>水口 俊介: 随時</p>

時間割番号	021121					
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)					
担当教員	高田 和生, 森尾 郁子					
開講時期	通年	対象年次	3			
授業科目名英訳: Global Communication for Healthcare Professionals						
主な講義場所						
共用セミナー室 12: M&D タワー6 階: Class H (Wilder 先生, Marx/高橋先生)						
共用セミナー室 4: M&D タワー22 階: Class G (Hug 先生, Christayanie 先生)						
共用セミナー室 3: M&D タワー23 階: Class F (Yoshimoto 先生, Mayo 先生)						
共用セミナー室 2: M&D タワー23 階: Class E (TBA 先生, Warren 先生)						
共用セミナー室 1: M&D タワー24 階: Class D (Gonzalvo 先生, Koibuchi 先生)						
共用セミナー室 6: M&D タワー15 階: Class C (Helwig 先生, Palacios 先生)						
共用セミナー室 5: M&D タワー15 階: Class B (Velasco 先生, Delgado 先生)						
医学科講義室 2:3 号館 3 階: Class A (Lerstrom 先生, Johnson 先生)						
授業の目的、概要等						
<p>本学は、教育理念の一つに、「国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する」と掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語の運用能力は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するに於ける情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。そして、本学の教育理念達成には、単なる言語としての英語力だけではなく、それ以上に、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で議論を行うに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のよう設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容をリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 英語により医学情報(論文やデータベース)を読む能力、口頭または文書で情報発信を行い、議論する能力を持つ。 2) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる。 3) 世界共通言語による世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	11:10-12:00	別記	Introduction/Debate Basics	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
2	5/22	09:00-09:50	別記	Man Dies from Toothache	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
3	6/19	09:00-09:50	別記	Cosmetic Surgery for Children	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
4	6/26	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (Cosmetic Surgery)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
5	7/3	09:00-09:50	別記	Gender Disorder	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
6	7/10	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (Gender Disorder)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
7	7/17	09:00-09:50	別記	Placebos	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
8	7/24	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (Placebos)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
9	9/18	09:00-09:50	別記	PEG Feeding Tube	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
10	9/25	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (PEG Feeding Tube)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
11	10/2	09:00-09:50	別記	Transfusion and Religion	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
12	10/9	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (Transfusion and Religion)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
13	10/16	09:00-09:50	別記	Multitasking	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
14	10/23	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (Multitasking)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
15	10/30	09:00-09:50	別記	Fluoridation	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
16	11/6	09:00-09:50	別記	Debate/Discussion (Fluoridation)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照

17	11/13	09:00-09:50	別記	Euthanasia/Euthanasia Presentation by one group	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
18	11/13	10:05-10:55	別記	Debate (Euthanasia)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
19	11/20	09:00-09:50	別記	Flu Shots/Flu Shots Presentation by one group	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
20	11/20	10:05-10:55	別記	Debate (Flu shots)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
21	11/27	09:00-09:50	別記	Frailty	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
22	12/4	09:00-09:50	別記	Debate/Discussion (Frailty)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
23	12/11	09:00-09:50	別記	Born for Bone Marrow/Donor System Presentation by one group	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
24	12/11	10:05-10:55	別記	Debate (Donor System)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
25	12/18	09:00-09:50	別記	Prenatal Testing/Prenatal Testing Presentation by one group	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
26	12/18	10:05-10:55	別記	Debate (Prenatal Testing)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
27	1/8	09:00-09:50	別記	Dental Education Reform/Dental Education Presentation by one group	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
28	1/8	10:05-10:55	別記	Debate (Dental Education Reform)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
29	1/15	09:00-09:50	別記	Doctors Working Overseas/DWO Presentation by one group	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
30	1/15	10:05-10:55	別記	Debate (DWO)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
31	1/22	09:00-09:50	別記	TED: Brian Goldman: Doctors make mistakes. Can we talk about that?	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
32	1/22	10:05-10:55	別記	Debate (What to do when you make a mistake.)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
33	1/29	09:00-09:50	別記	Advance Directive	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
34	2/5	09:00-09:50	別記	Debate/Discussion (Advance Directive)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
35	2/12	09:00-09:50	別記	Professionalism	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
36	2/19	09:00-09:50	別記	Discussion/Debate (Professionalism)	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照

授業方法

1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

2. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ/生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配備する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。

授業内容

詳細は別表のとおり

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。

- ・ Vocabulary quiz performance
- ・ Class participation (discussion/presentation/comments) and write-ups

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。

- ・ Vocabulary quiz performance (30%)
- ・ Class participation (discussion/presentation/comments) and write-ups (70%)

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには、全セッションの3分の2以上の出席(本科目にて規定する出欠確認方法による)を必要条件とする。</p>
<p>教科書</p> <p>最新医学用語演習：医学英語演習／岡田聚, 名木田恵理子 著, :南雲堂, 1993</p>
<p>参考書</p> <p>最強のクリティカルシンキング・マップ：あなたに合った考え方を見つけよう：critical thinking map／道田泰司 著, :日本経済新聞出版社, 2012</p> <p>クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著, 宮元 博章 訳, :北大路書房</p> <p>クリティカルシンキング／E.B.ゼックミスタ, J.E.ジョンソン 著, 宮元博章 [[ほか]訳, :北大路書房, 1997</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。</p>
<p>連絡先</p> <p>高田 和生: takada.rheu@tmd.ac.jp</p> <p>森尾 郁子: imorio.edev@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>高田 和生: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。</p> <p>森尾 郁子: 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7 階 教授室</p>

時間割番号	021122					
科目名	頭頸部臨床					
担当教員	杉本 太郎 原田 清					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	4	
授業科目名英訳: Head and Neck Clinical Medicine						
主な講義場所 3号館3階 医学科講義室2						
授業の目的、概要等 頭頸部にはいわゆる五感と総称される視覚、嗅覚、聴平衡覚、味覚、触覚や、呼吸、構音、咀嚼、嚥下、発声などの重要な機能を持つ臓器が多数存在している。これらの機能は複雑に絡み合っており、ひとつが障害をきたすとその他の機能も影響を受け、日常生活の質に重大な影響を及ぼす。そういった複雑な頭頸部領域に生ずる疾患について理解するためには、ブロック形式で一括して当該領域について集中的に学ぶ事が非常に効率的で、かつその理解や習得の程度も深まると考えられる。3年次に行われる当ブロックにおいては、医歯学両学部を有する東京医科歯科大学の特徴を生かし、医学部と歯学部の学生が共に学習し、議論し、隣接領域の理解を深める事を目的とする。						
授業の到達目標(SB0s) ①頭頸部領域の構造と機能の理解 ②頭頸部領域の疾患の基本的な知識の理解 ③頭頸部領域の疾患の診断と治療の理解 ④これらを利用した臨床推論が可能となること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1-2	1/13	10:00-11:50	医学科講義室 2	オリエンテーション・基礎医学復習テスト	杉本 太郎 山口 久美子	
3	1/13	12:50-13:40	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科学総論		耳鼻咽喉科教員
4	1/13	13:50-14:40	医学科講義室 2	耳科学 1(症候学)		耳鼻咽喉科教員
5	1/13	14:50-15:40	医学科講義室 2	耳科学 2(外耳・中耳)	野口 佳裕	
6	1/14	09:00-09:50	医学科講義室 2	耳科学 3(内耳)	高橋 正時	
7	1/14	10:00-10:50	医学科講義室 2	耳科学 4(めまい・平衡障害)	角田 篤信	
8	1/14	11:00-11:50	医学科講義室 2	鼻科学 1(解剖・生理)	鈴木 康弘	
9	1/14	12:50-13:40	医学科講義室 2	鼻科学 2(検査)	野口 佳裕	
10	1/14	13:50-14:40	医学科講義室 2	鼻科学 3(アレルギー)	戸叶 尚史	
11	1/14	14:50-15:40	医学科講義室 2	喉頭 1(総論)	川島 慶之	
12	1/15	12:50-14:10	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科ミニケース		耳鼻咽喉科教員
13	1/15	14:20-15:40	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科患者参加型講義		耳鼻咽喉科教員
14	1/16	09:00-09:50	医学科講義室 2	喉頭 2(疾患)		耳鼻咽喉科教員
15	1/16	10:00-10:50	医学科講義室 2	口腔・唾液腺疾患	野口 佳裕	
16	1/16	11:00-11:50	医学科講義室 2	咽頭・全身疾患	鈴木 康弘	
17	1/16	12:50-13:40	医学科講義室 2	救急疾患	角田 篤信	
18	1/16	13:50-14:40	医学科講義室 2	頭頸部領域の臨床解剖 1(頸部)	秋田 恵一	
19	1/19	09:00-09:50	医学科講義室 2	頭頸部外科学総論		頭頸部外科教員
20	1/19	10:00-10:50	医学科講義室 2	頭頸部領域の臨床解剖 2(頭蓋底)	秋田 恵一	
21	1/19	11:00-11:50	医学科講義室 2	頭頸部癌の放射線治療	林 敬二	
22	1/19	12:50-13:40	医学科講義室 2	頭蓋底腫瘍・脳神経	河野 能久	
23	1/19	13:50-14:40	医学科講義室 2	聴器・鼻副鼻腔・上咽頭・頭蓋底の腫瘍		頭頸部外科教員
24	1/19	14:50-15:40	医学科講義室 2	頭頸部癌の化学療法	杉本 太郎	
25	1/20	09:00-09:50	医学科講義室 2	口腔・唾液腺の腫瘍	別府 武	
26	1/20	10:00-10:50	医学科講義室 2	がん専門病院における頭頸部癌治療の現状	川端 一嘉	

27	1/20	11:00-11:50	医学科講義室 2	甲状腺・気管食道・頸部の疾患	角 卓郎	
28	1/20	12:50-13:40	医学科講義室 2	形成外科総論	森 弘樹	
29	1/20	13:50-14:40	医学科講義室 2	顔面領域の構造と外傷	岡崎 睦	
30	1/20	14:50-15:40	医学科講義室 2	組織再建の考え方と臨床例	岡崎 睦	
31	1/21	09:00-09:50	医学科講義室 2	頭頸部・頭蓋底再建の現状と課題	岡崎 睦	
32	1/21	10:00-10:50	医学科講義室 2	中下咽頭・喉頭の腫瘍	杉本 太郎	
33	1/21	11:00-11:50	医学科講義室 2	未定		歯科(矯正)教員
34	1/21	12:50-14:10	医学科講義室 2	頭頸部外科ミニケース	角 卓郎	
35	1/21	14:20-15:40	医学科講義室 2	頭頸部外科患者参加型講義	杉本 太郎	
36-38	1/22	12:50-17:10	医学科講義室 2	頭頸部病理実習	小林 大輔 伊藤 崇 坂本 啓	
39-41	1/23	09:00-11:50	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科TBL	杉本 太郎	耳鼻咽喉科教授、瀬川 裕子
42-43	1/23	12:50-15:40	医学科講義室 2	頭頸部外科TBL	杉本 太郎	頭頸部外科教授、中川 美奈
44	1/26	09:00-09:50	医学科講義室 2	口腔外科総論		口腔外科教員
45	1/26	10:00-10:50	医学科講義室 2	顎口腔の悪性腫瘍		口腔外科教員
46	1/26	11:00-11:50	医学科講義室 2	顎口腔の外傷	樺沢 勇司	
47	1/26	12:50-13:40	医学科講義室 2	皮膚・軟部腫瘍の診断と治療	田中 顕太郎	
48	1/26	13:50-14:40	医学科講義室 2	顔面・頭部領域の先天異常	植村 法子	
49	1/26	14:50-15:40	医学科講義室 2	熱傷の局所治療と瘢痕ケロイド	植村 法子	
50	1/27	09:00-09:50	医学科講義室 2	手足・体幹の先天異常と外傷	宇佐美 聡	
51	1/27	10:00-10:50	医学科講義室 2	難治性潰瘍	田中 顕太郎	
52	1/27	11:00-11:50	医学科講義室 2	美容外科	森 弘樹	
53	1/27	13:50-14:40	医学科講義室 2	口腔顎顔面の先天性疾患と顎顔面変形症	原田 清	
54	1/27	14:50-15:40	医学科講義室 2	顎口腔の良性腫瘍および?胞	山口 聡	
55	1/28	09:00-09:50	医学科講義室 2	顎関節疾患	儀武 啓幸	
56	1/28	10:00-10:50	医学科講義室 2	歯・歯周疾患と炎症性疾患	荒木 孝二	
57	1/28	11:00-11:50	医学科講義室 2	口腔粘膜疾患	津島 文彦	
58	1/28	12:50-14:10	医学科講義室 2	口腔外科ミニケース	島本 裕彰	
59	1/28	14:20-15:40	医学科講義室 2	口腔外科患者参加型講義	島本 裕彰	
60	1/29	12:50-14:10	医学科講義室 2	形成外科ミニケース	森 弘樹	
61	1/29	14:20-15:40	医学科講義室 2	形成外科ミニケース	宇佐美 聡	
62-64	1/30	09:00-11:50	医学科講義室 2	形成外科TBL	岡崎 睦 森 弘樹	瀬川 裕子
65	2/2	09:00-09:50	医学科講義室 2	眼科序論	大野 京子	
66	2/2	10:00-10:50	医学科講義室 2	眼症候学	小川 学	
67	2/2	11:00-11:50	医学科講義室 2	眼科検査方法	堀江 真太郎	
68	2/2	12:50-13:40	医学科講義室 2	屈折異常・調節障害	大野 京子	
69	2/2	13:50-14:40	医学科講義室 2	斜視・弱視	大野 京子	
70	2/2	14:50-15:40	医学科講義室 2	小児眼科・未熟児眼	東 範行	
71	2/3	09:00-09:50	医学科講義室 2	ぶどう膜炎	鴨居 功樹	
72	2/3	12:50-13:40	医学科講義室 2	網膜血管疾患・色覚	大野 京子	
73	2/3	13:50-14:40	医学科講義室 2	網膜剥離・糖尿病網膜症	村井 秀樹	
74	2/3	14:50-15:40	医学科講義室 2	救急疾患	林 憲吾	
75	2/4	09:00-09:50	医学科講義室 2	緑内障	高瀬 博	
76	2/4	10:00-10:50	医学科講義室 2	白内障	高瀬 博	
77	2/4	11:00-11:50	医学科講義室 2	神経眼科	清澤 源弘	

78	2/4	14:50-15:40	医学科講義室 2	角膜	諸星 計	
79	2/5	12:50-14:10	医学科講義室 2	眼科ミニケース	林 憲吾	
80	2/5	14:20-15:40	医学科講義室 2	眼科ミニケース	鴨居 功樹	
81-83	2/6	09:00-11:50	医学科講義室 2	眼科TBL	高瀬 博	眼科教授
84-85	2/6	12:50-15:40	医学科講義室 2	口腔外科・歯科 TBL	原田 清 島本 裕彰	鶴田 潤

授業方法

講義 68 回(基礎医学復習テスト、ミニケース、患者参加型講義含む)、病理実習 1 回、試験 5 回(TBL)を予定している。

授業内容

ブロック開始時に頭頸部領域全般についての基礎医学の復習テストを行い、これまで学んできた基礎的事項の理解度を再評価する。当ブロックの講義を行う主たる診療科は、耳鼻咽喉科(第 1 週)、頭頸部外科(第 2 週)、形成外科(第 2~3 週)、口腔外科・歯科(第 3 週)、眼科(第 4 週)であるが、適宜関連する他科、即ち、臨床解剖(第 1・2 週)、放射線科(第 2 週)、脳外科(第 2 週)といった他科の協力も得てこれらの領域の講義も複合的に取り入れ、理解を深める手助けとする。なお、形成外科については、その診療範囲は全身であるため、講義、試験とも、頭頸部領域のみでなく全身を対象としたものになる。また、第 2 週には医科歯科合同の病理実習を行い、各週の後半には主たる診療科のミニケースや患者参加型講義を行い、臨床推論の基礎と実際を学んで行く。第 2~4 週の本最終日(金曜日)には医歯学融合教育支援センターの協力を得て TBL を行って学習内容の理解の確認を行うと共に、知識の統合的な理解を深める。

成績評価の方法

講義や実習の出席状況及び態度、5 回の TBL による総合成績で評価する。講義と実習の出席はすべてカードリーダーによるチェックによって個々に判定する。

成績評価の基準

5 回の TBL の配点は均等とし、個々の TBL において合格基準を満たす事がブロック合格の条件となる。不合格の回に関して再試験を行う。

準備学習などについての具体的な指示

- ・頭頸部基礎の知識がある前提で講義を行う。頭頸部臨床ブロックの開始前には必ず頭頸部基礎の復習をすること。
- ・直前に講義に関する情報を追加することがあるので、教務課からのメールおよび WebClass 上の連絡事項を確認すること。
- ・時間割表で授業内容を確認し、教科書の関連項目に目を通して授業に出席すること

試験の受験資格

講義と実習の合計3分の2以上の出席を要する。

教科書

NEW 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学／喜多村健、森山寛 編：南江堂、1999
 標準形成外科学／平林慎一、鈴木茂彦 編：医学書院、2011
 標準口腔外科学／野間弘康、瀬戸[カン]一 編：医学書院、2004
 現代の眼科学／吉田晃敏、谷原秀信 編、所敬 監修：金原出版、2012

参考書

新耳鼻咽喉科学／切替一郎 原著、野村恭也 監修、加我君孝 編集：南山堂、2013
 がんを見逃さない：頭頸部癌診療の最前線／岸本誠司 専門編集：中山書店、2013
 Grabb and Smith's Plastic Surgery／Charles H. Thome MD (編集)、Scott P. Bartlett MD (編集)、Robert W. Beasley MD (編集)、Sherrell J. Aston (編集)、Geoffrey C. Gurtner MD (編集)、Scott L. Spear MD FACS (編集)：Lippincott Williams & Wilkins、2007
 Operative Oral and Maxillofacial Surgery／John D. Langdon, Peter A. Brennan：Hodder Education、2011
 動画でみるみるわかる眼科検査テクニック：基本手順から疾患の捉え方まで、検査のすべてが、みえる、わかる、できる／松本長太 監修、前田裕子 編著：メディカ出版、2013
 Clinical ophthalmology／Jack J. Kanski, Bradley Bowling：Elsevier Saunders、2011

履修上の注意事項

講義、実習、試験の集合場所はすべて 3 号館 3 階の医学科講義室 2 とする。大人数での講義・実習となるので、これらを円滑に進めるため、時間厳守とし、カードリーダーによる出席チェックは迅速に行い、担当教員の業務遂行にも協力していただきたい。特に患者参加型講義においては遅刻、私語、写真撮影や音声の記録は厳禁とする。

備考

○問い合わせ先(担当教員)を以下に記載します。
 耳鼻咽喉科・頭頸部外科：杉本太郎：sugimoto.oto@tmd.ac.jp
 形成外科：森 弘樹：moriplas@tmd.ac.jp

口腔外科: 島本裕彰: hiroaki.osur@tmd.ac.jp

眼科: 高瀬 博: h.takase.oph@tmd.ac.jp

人体病理: 小林大輔: d-koba.pth1@tmd.ac.jp

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

参照ホームページ

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ <http://www.jibika.or.jp/>

日本頭頸部癌学会ホームページ <http://www.jshnc.umin.ne.jp/>

日本形成外科学会ホームページ <http://www.jsprs.or.jp/>

日本口腔外科学会ホームページ <http://www.jsoms.or.jp/>

日本眼科学会ホームページ <http://www.nichigan.or.jp/index.jsp>

<http://lib.tmd.ac.jp/e-service/e-books.html>

連絡先

杉本 太郎: sugimoto.oto@tmd.ac.jp

時間割番号	021123					
科目名	老年医学					
担当教員	下門 顕太郎, 水口 俊介					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2	
授業科目名英訳: Geriatrics						
授業の目的、概要等						
<p>高齢化社会にある日本の医療現場では、一部の科を除けば高齢患者を診察する機会が必ずあると言っても過言ではない。したがって、いずれの科を専攻するにも加齢に伴う身体・精神諸機能の変化や、高齢者の疾病の特徴を理解しておくことは重要である。東京医科歯科大学の特徴として、医学部と歯学部の学生が、ともに老年医学ブロックで学習することで、今後必要性が増す高齢者への学際的な医療を意識した知識や技能を習得することが望まれる。</p> <p>(ブロック概要)</p> <p>高齢者の正常加齢的变化と疾病の特徴を学ぶ。また、実際の症例の分析を行いながら、高齢者の身体や精神の機能および生活環境の評価を行うことで、高齢者の診療上問題となる事項を学習する。なお、高齢医学ブロックでは、上記目標に向けて医学部学生と歯学部学生がすべて同じ講義を受け、実習を行う。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> ① 加齢のメカニズムを理解する。 ② 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する。 ③ 高齢者の疾病の特徴を理解する。 ④ 高齢者の口腔疾患が身体・精神に及ぼす影響を理解する。 ⑤ 高齢者の医療・歯科医療の留意点を理解する。 ⑥ 高齢者の医療および福祉の社会的システムを理解する。 ⑦ 高齢者医療の倫理を理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	2/9	09:00-09:50	医学科講義室 2	基礎医学復習	下門 顕太郎	
2-3	2/9	10:00-11:50	医学科講義室 2	ミニケース	下門 顕太郎	
4-6	2/9	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室	口腔ケア実習	品田 佳世子, 遠藤 圭子, 水口 俊介	歯科棟 4 階第 1 総 合診療室 1
7-9	2/9	12:50-15:40	医学科講義室 1	高齢者体験実習	竹内 周平	
10	2/10	09:00-09:50	医学科講義室 2	加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化	下門 顕太郎	
11	2/10	10:00-10:50	医学科講義室 2	高齢者の疾患の特徴	下門 顕太郎	
12	2/10	11:00-11:50	医学科講義室 2	褥瘡	田中 顕太郎	
13	2/10	12:50-13:40	医学科講義室 2	加齢のメカニズム①	丸山 直記	
14	2/10	13:50-14:40	医学科講義室 2	加齢のメカニズム②	丸山 直記	
15	2/10	14:50-15:40	医学科講義室 2	老年症候群と CGA	下門 顕太郎	
16	2/12	12:50-13:40	医学科講義室 2	高齢者歯科	水口 俊介	
17	2/12	13:50-14:40	医学科講義室 2	高齢者の精神	阿部 庸子	
18	2/12	14:50-15:40	医学科講義室 2	認知症・せん妄	阿部 庸子	
19-20	2/13	09:00-11:50	医学科講義室 2	ミニケース	金子 英司, 阿部 庸子	
21	2/13	12:50-13:40	医学科講義室 2	高齢者の栄養	豊島 堅志	
22	2/13	13:50-14:40	医学科講義室 2	骨折・骨粗鬆症・転倒・歩行機能障害	麻生 義則	
23	2/13	14:50-15:40	医学科講義室 2	高齢者の薬物療法	豊島 堅志	
24	2/16	09:00-09:50	医学科講義室 2	介護保険制度・チーム医療・地域医療	阿部 庸子	
25	2/16	10:00-10:50	医学科講義室 2	ケースカンファレンス	下門 顕太郎	
26-28	2/16	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室	口腔ケア実習	品田 佳世子, 遠藤 圭子, 水口 俊介	歯科棟 4 階第 1 総 合診療室 1
29-31	2/16	12:50-15:40	医学科講義室 1	高齢者体験実習	竹内 周平	

32-36	2/17	09:00-14:40	医学科講義室 2	学外実習		
37	2/17	14:50-15:40	医学科講義室 2	学外実習報告会		
38	2/18	09:00-09:50	医学科講義室 2	誤嚥性肺炎	豊島 堅志	
39	2/18	10:00-10:50	医学科講義室 2	摂食嚥下機能① 歯科的内容	中根 綾子	
40	2/18	11:00-11:50	医学科講義室 2	摂食嚥下機能② 医科的内容	角 卓郎	
41	2/18	12:50-17:10	医学科講義室 2	病理実習	小林 大輔	
42	2/19	12:50-13:40	医学科講義室 2	パラメディカル講義	佐原 まち子	
43	2/20	10:00-10:50	医学科講義室 2	筆記試験		
44-46	2/20	12:50-15:40	医学科講義室 2	TBL		

授業方法

重要な教科書および参考書を後述する。これらおよび文献をもとにした自主学習を前提とし、試験もその内容に準ずる。講義および症例を用いたグループ討論、高齢者体験実習、口腔ケア実習、学外実習に参加し、知識の整理と臨床的な応用能力を身につける。等に、老年医学ブロックは、異なる分野の学生が、知識を交換し、相互理解、協力姿勢を身につけることが求められる。

成績評価の方法

ブロック最終日の筆記試験、TBL での評価、実習レポート、日々の提出課題、出席を総合的に加算して行う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

老年医学系統講義テキスト：カラー版／日本老年医学会 編集：西村書店，2013

高齢者歯科診療ガイドブック／日本老年歯科医学会 監修，下山和弘，櫻井薫，深山治久，米山武義 編：口腔保健協会，2010

参考書

老年医学テキスト／日本老年医学会 編：メジカルビュー社，2008

病棟レジデント，病棟医のための高齢患者診療マニュアル／下門顕太郎 編：メディカル・サイエンス・インターナショナル，2013

健康長寿診療ハンドブック：実地医家のための老年医学のエッセンス／日本老年医学会 編：日本老年医学会，2011

高齢者総合的機能評価ガイドライン／鳥羽研二 監修，長寿科学総合研究 CGA ガイドライン研究班 著：厚生科学研究所，2003

認知症地域ケアガイドブック：早期発見から看取りまで／認知症介護研究・研修東京センター 監修：ワールドプランニング，2012

新老年学／大内尉義 編集代表，秋山弘子 編集代表，折茂肇 編集顧問：東京大学出版会，2010

The Washington Manual, Subspecialty Consult Series, Geriatrics Subspecialty Consult／Kyle Moylan: Lippincott Williams and Wilkins, 2003

Brocklehurst's Textbook of Geriatric Medicine and Gerontology (Seventh Edition)／Howard M. Fillit: Saunders, 2010

Brocklehurst's Textbook of Geriatric Medicine and Gerontology (Seventh Edition)／Howard M. Fillit: Saunders, 2010

組織病理アトラス／小池盛雄，恒吉正澄，深山正久，森永正二郎 編：文光堂，2005

履修上の注意事項

授業講義中および TBL 時間内のグループ学習において、パソコンや携帯端末を用いた電子化資料の使用ならびにインターネットでの検索を禁止いたします。必ず、あらかじめ自己学習を行い、認められた図書や資料を使用して下さい。実習における注意事項実習の振替はありませんので、必ず参加するようにお願いします。また、病理学の日程については、間違えないよう必ず確認して下さい。実習の詳細も該当頁をご覧ください。

備考

○問合わせ先(担当教員)

下門顕太郎(医学部老年病内科) k.shimoka.vasc@tmd.ac.jp

水口俊介(歯学部全部床義歯補綴学) s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

阿部庸子(医学部老年病内科) yk.abe.vasc@tmd.ac.jp

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

参照ホームページ

日本老年医学会 <http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/>

日本老年歯科医学会 <http://www.gerodontology.jp/>

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 <http://www.jsdr.or.jp/>

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

連絡先

下門 顕太郎: k.shimoka.vasc@tmd.ac.jp

水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水口 俊介: 随時

時間割番号	021165					
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅱ)					
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介					
開講時期	前期	対象年次	4			
授業科目名英訳: Bioethics						
授業の目的、概要等						
<p>なぜ人は目につくことを過大評価してしまうのか、あるいは、先々のことを考えるのが難しく、現状維持をしてしまうのか。</p> <p>医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。</p> <p>第4学年においては、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、プロジェクトセメスターやクリニカルクラークシップの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<p>医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。プロジェクトセメスターやクリニカルクラークシップの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的な事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/24	10:05-10:55	特別講堂	生命倫理Ⅱ-1	生殖医療と倫理	小笹 由香
2	4/24	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-2	遺伝子検査に関わる倫理的問題	小笹 由香
3	5/8	10:05-10:55	特別講堂	生命倫理Ⅱ-3	臨床倫理と基礎研究倫理	桑名 仁
4	5/8	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-4	臨床倫理と基礎研究倫理	桑名 仁
5	5/15	10:05-10:55	特別講堂	生命倫理Ⅱ-5	脳死判定と臓器移植	坂下 千瑞子
6	5/15	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-6	救命救急トリアージと倫理的問題	大友 康裕
7	5/22	09:00-09:50	特別講堂	生命倫理Ⅱ-7	研究倫理実践論	吉田 雅幸
8	5/22	10:05-10:55	特別講堂	生命倫理Ⅱ-8	研究倫理実践論	吉田 雅幸
9	5/22	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-9	研究倫理実践論	吉田 雅幸
授業方法						
<p>講義・グループワーク</p> <p>自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。</p>						
授業内容						
<p>詳細は別表のとおり</p> <p>臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。</p> <p>担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。</p>						
成績評価の方法						
<p>講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年の成績も含めて考慮し、第3学年前期の応用演習および第4学年前期の研究倫理実践論(50~60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、実行等(50~60%)をもとにあわせて総合的に評価する。</p>						
成績評価の基準						
<p>第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・研究倫理実践論の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよび</p>						

<p>びディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。また、「臨床倫理と基礎研究倫理」の前には自分の配属されるプロジェクト Semester での研究の概略を把握しておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の試験については、第2学年から第3学年前期の試験前までの全9回のうち、6回以上出席であること。第4学年前期の試験については、第3学年前期の試験後から第4学年前期の試験までの全13回(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、9回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の受講上の注意を参照のこと)</p>
<p>参考書</p> <p>生命倫理と法／樋口 範雄, 土屋 裕子, 岩田 太.: 弘文堂, 2005</p> <p>遺伝診療をとりまく社会: その科学的・倫理的アプローチ／水谷修紀, 吉田雅幸 監修, 吉田雅幸, 小笹由香 編: ブレーン出版, 2007</p> <p>医療の倫理ジレンマ: 解決への手引き: 患者の心を理解するために／バーナード・ロウ 著, 北野喜良, 中澤英之, 小宮良輔 監訳: 西村書店, 2003</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。「応用演習」「研究倫理実践論」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。</p>
<p>備考</p> <p>○問い合わせ先(講義担当教員)</p> <p>(教員名)(診療科・分野)(Eメールアドレス@tmd.ac.jpの前)</p> <p>小笹 由香 生命倫理研究センター yuka.bec</p> <p>桑名 仁 生命倫理研究センター hkuwcie</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>各講義時に適宜指示</p>
<p>連絡先</p> <p>吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp</p> <p>水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。</p> <p>水口 俊介: 随時</p>

時間割番号	021166					
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅲ)					
担当教員	能登 洋, 水口 俊介					
開講時期	前期	対象年次	4			
授業科目名英訳: Clinical Statistics						
授業の目的、概要等						
臨床統計Ⅰ・Ⅱで学習した統計学の臨床的意義と応用法をもとに実臨床につながる発展学習を行う。診療ガイドラインや臨床研究の創り方にも触れる。						
授業の到達目標(SBOs)						
エビデンスを正しく読解し、実臨床に活用できる能力を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	10:05-10:55	特別講堂	臨床統計Ⅲ-1	EBM/EBD 発展1	能登 洋
2	4/10	11:10-12:00	特別講堂	臨床統計Ⅲ-2	EBM/EBD 発展2	能登 洋
3	4/17	10:05-10:55	特別講堂	臨床統計Ⅲ-3	EBM/EBD 発展3	能登 洋
4	4/17	11:10-12:00	特別講堂	臨床統計Ⅲ-4	EBM/EBD 発展4	能登 洋
5	5/1	10:05-10:55	特別講堂	臨床統計Ⅲ-5	EBM/EBD 発展5	能登 洋
6	5/1	11:10-12:00	特別講堂	臨床統計Ⅲ-6	応用演習	能登 洋
授業方法						
講義・演習による						
授業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・検診 ・診療ガイドライン ・人口統計 ・臨床研究の創り方 ・EBM/EBD の実践 						
成績評価の方法						
授業責任者が、応用演習を主として判定する。						
成績評価の基準						
授業責任者が、応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書を活用して予習・復習に役立てること。また、e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備 (WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等) を行うこと。						
教科書						
臨床統計はじめの一步 Q&A: 統計のイロハから論文の読み方、研究のつくり方まで / 能登洋 著: 羊土社, 2008						
参考書						
EBM の正しい理解と実践 Q&A: 一問一答で疑問解消、ケーススタディで即実践! / 能登洋 著: 羊土社, 2003						
日常診療にすぐに使える臨床統計学: ベストな診断と治療ができる! / 能登洋 著: 羊土社, 2011						
2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION: すぐにできる EBM 実践法 / 能登洋 著: 南江堂, 2013						
他科目との関連						
グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> ・予習課題や試験について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では、到達度を測る目的で試験を実施する ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する 						
備考						
担当教員: 能登 洋						

連絡先

能登 洋: noto-ky@umin.net

水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水口 俊介: 随時

時間割番号	021167		
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)		
担当教員	高田 和生, 森尾 郁子		
開講時期	前期	対象年次	4

授業科目名英訳: Global Communication for Healthcare Professionals

主な講義場所

演習室 5:1 号館西 6 階: Class A (Lerstrom 先生)
 演習室 6:1 号館西 6 階: Class B (Johnson 先生)
 演習室 7:1 号館西 6 階: Class C (Velsasco 先生)
 演習室 8:1 号館西 6 階: Class D (Gonzalvo 先生)
 演習室 9:1 号館西 6 階: Class E (Koibuchi 先生)
 演習室 10:1 号館西 6 階: Class F (TBA 先生)
 演習室 11:1 号館西 6 階: Class G (Yoshimoto 先生)
 演習室 1・2:1 号館西 6 階: Class H (Marx 先生, Palacios 先生)
 演習室 3・4:1 号館西 6 階: Class I (Mayo 先生, Warren 先生)
 第 1 ゼミナール室: 1 号館東 7 階: Class J (Helwig 先生, Delgado 先生)
 第 2 ゼミナール室: 1 号館東 7 階: Class K (Hug 先生, Christyanie 先生)
 第 4 ゼミナール室: 7 号館 6 階: Class L (Wilder 先生)

授業の目的、概要等

本学は、教育理念の一つに、「国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する」と掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語の運用能力は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するに於ける情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。そして、本学の教育理念達成には、単なる言語としての英語力だけではなく、それ以上に、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で議論を行うに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容をリンクさせることにより、双方に対するの更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

授業の到達目標(SBOs)

- 1) 英語により医学情報(論文やデータベース)を読む能力、口頭または文書で情報発信を行い、議論する能力を持つ。
- 2) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる。
- 3) 世界共通言語による世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	09:00-09:50	別記	PEG Feeding Tube	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
2	4/17	09:00-09:50	別記	Vingegar Test for Cervical Cancer	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
3	4/24	09:00-09:50	別記	Smoking Statistics	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
4	5/1	09:00-09:50	別記	Down Syndrome	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照
5	5/15	09:00-09:50	別記	Brain Death	高田 和生, 森尾 郁子	主な講義場所参照

授業方法

1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

2. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ/生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配備する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。

<p>授業内容 詳細は別表のとおり</p>
<p>成績評価の方法 最終成績は以下にもとづき判定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Vocabulary quiz performance ・ Class participation (discussion/presentation/comments) and write-ups
<p>成績評価の基準 最終成績は下記比重による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Vocabulary quiz performance (30%) ・ Class participation (discussion/presentation/comments) and write-ups (70%)
<p>準備学習などについての具体的な指示 指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしておくこと。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。</p>
<p>試験の受験資格 本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには、全セッションの3分の2以上の出席(本科目にて規定する出欠確認方法による)を必要条件とする。</p>
<p>教科書 最新医学用語演習：医学英語演習／岡田聚、名木田恵理子 著、南雲堂、1993</p>
<p>参考書 最強のクリティカルシンキング・マップ：あなたに合った考え方を見つけよう：critical thinking map／道田泰司 著、日本経済新聞出版社、2012 クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著、宮元 博章 訳、北大路書房 クリティカルシンキング／E.B.ゼックミスタ、J.E.ジョンソン 著、宮元博章 [[ほか]訳、北大路書房、1997</p>
<p>履修上の注意事項 遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。</p>
<p>連絡先 高田 和生: takada.rheu@tmd.ac.jp 森尾 郁子: imorio.edev@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 高田 和生: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。 森尾 郁子: 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室</p>

(平成22年度以前専門科目履修開始者)

履 修 規 則

試 験 規 則

単位取得及び進級判定基準

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則 (平成22年度入学者)

〔平成22年3月30日〕
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学医学部・歯学部における授業の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目)

第2条 授業科目は、学則第6条第1項に定める全学に共通する教育科目(以下「全学共通科目」という。)と専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)とする。

(全学共通科目の履修)

第3条 全学共通科目の履修については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則(平成16年規則第217号)の定めるところによる。

(専門科目の履修)

第4条 専門科目の履修については、各教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

(専門科目の履修要件)

第5条 全学共通科目を修了しなければ、専門科目を履修することができない。ただし、医学部医学科、医学部保健衛生学科看護学専攻は、この限りでない。

(授業)

第6条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修又は選択必修とする。

(1単位当たりの授業時間)

第7条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 医学科

ア 講義及び演習	15～30時間
イ 実習	30～45時間

(2) 保健衛生学科

ア 講義	15時間
イ 演習	30時間
ウ 実習	45時間
エ 臨地実習	
看護学専攻	45時間
検査技術学専攻	30時間

(3) 歯学科

ア 講義及び演習	15～30時間
イ 実習	30～45時間

(4) 口腔保健学科

ア 講義及び演習	15～30時間
イ 実習	30～45時間

(編入学者、転入学者の単位認定)

第8条 学則第12条から第18条までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び本学部専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部において行うものとする。

3 入学を許可する学年及び履修方法等については、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第9条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第10条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可された学年までの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第11条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を取得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を取得することができない。

5 試験は、次のとおりとする。

(1) 医学部

定期試験、科目試験、共用試験、追試験及び再試験

(2) 歯学部歯学科

ユニット試験、共用試験、追試験及び再試験

(3) 歯学部口腔保健学科

期末試験、中間試験、追試験及び再試験

6 学習の評価は、別表2のとおりとする。

7 単位の認定は、学部教授会の議を経て学部長がこれを行う。

8 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第12条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずることがある。

(卒業認定)

第13条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第14条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。

3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。

4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

(4) 歯学科教育課程

1) 必修科目

授業科目	単位数	3年		4年		5年		6年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	12	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	3	○							
病理	3		○						
感染と生体防御	2		○						
生体材料	2		○						
歯科医療入門	2	○							
歯科医療基礎	6			○					
咬合育成・発達	3				○				
う蝕と歯髄疾患	8				○	○			
歯周病	3					○			
咬合回復	9				○	○			
顎口腔医療	5					○	○		
全身と歯科治療	5					○	○		
臨床体験実習	4	○	○		○				
学年混合選択セミナー	1	○		○		○			
課題統合セミナー	4		○		○	○			
総合課題演習	1	○	○						
研究体験実習	7			○					
臨床情報処理	1						○		
包括臨床実習	44						○	○	○
計	125								

2) 自由選択科目

デンタルエクスターンシップ※	1~6	○	○	○	○	○	○	○	○
計	1~6								

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次、年度に認定できる単位は1単位を上限とする。

別表 2

(1) 医学部

成績区分	評価区分	単位認定
100～90点	秀	合格
89～80点	優	
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

(2) 歯学部

成績区分	評価区分	単位認定
100～90点	秀	合格
89～80点	優	
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

(3) 歯学科

<p>(1) 次の授業科目について、第3学年次末までに単位の取得もしくは試験に合格しなければ、第4学年次の授業科目を履修することができない 人体の構造と機能、生命の分子の基盤と細胞の機能、病理、感染と生体防御、生体材料、歯科医療入門、総合課題演習 (3学年次に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) 臨床体験実習、学年混合選択セミナー、課題統合セミナー</p>
<p>(2) 次の授業科目について、第4学年次末までに単位の取得もしくは試験に合格しなければ、第5学年次の授業科目を履修することができない 歯科医療基礎、咬合育成・発達、研究体験実習 (4学年次に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) う蝕と歯髄疾患、咬合回復 臨床体験実習、学年混合選択セミナー、課題統合セミナー</p>
<p>(3) 次の授業科目について、第5学年次前期末までに単位の取得し、かつ、共用試験に合格しなければ、第5学年次後期以降の授業科目を履修することができない 歯周病 (5学年次前期に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) う蝕と歯髄疾患、咬合回復、顎口腔医療、全身と歯科治療 学年混合選択セミナー、課題統合セミナー 共用試験(CBT, OSCE)</p>
<p>(4) 次の授業科目について、第5学年次後期末までに単位の取得もしくは試験に合格しなければ、第6学年次の授業科目を履修することができない 臨床情報処理 (5学年次後期に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) 顎口腔医療、全身と歯科治療、包括臨床実習</p>
<p>(5) 次の授業科目について、第6学年次末までに単位を取得しなければ卒業することができない(6学年次に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) 包括臨床実習</p>

東京医科歯科大学歯学部歯学科履修規則（平成21年以前入学者）

（趣旨）

第1条 東京医科歯科大学歯学部における授業の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目）

第2条 本学部の授業科目は、学則第6条第1項に定める全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

（全学共通科目の履修）

第3条 全学共通科目の履修については、東京医科歯科大学教養部履修規則（平成16年規則第217号）に定めるところによるものとする。

（専門科目の履修）

第4条 専門科目における教育課程は、別表1に定めるとおりとする。

（専門科目の履修要件）

第5条 全学共通科目を修了しなければ、専門科目を履修することができない。

（授業）

第6条 専門科目の授業は、講義、演習及び実習とし、必修又は選択とする。

（1単位当たりの授業時間）

第7条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については 15～30時間
- (2) 実習については、30～45時間

（編入学者及び転入学者の単位認定等）

第8条 学則第12条、第13条、第17条及び第18条の規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び本学部専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

- 2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については本学部において行うものとする。
- 3 入学を許可する学年及び履修方法等については、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第9条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の本学部における既修得単位は、全学共通科目及び本学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第10条 学則第12条、第13条及び第17条から第19条までの規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可された学年までの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第11条 履修した授業科目については試験を行う。

2 試験の方法に関しては別に定める。

3 試験を行うことが困難な授業科目については、試験によらず学習の成果をもって、又は指定した課題の報告をもって試験に替えることがある。

4 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を取得することができない。

5 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を取得することができない。

6 学習の評価に関しては別に定める。

(進級要件)

第12条 学生は、別表2「進級に関する事項」欄に示す要件を満たさなければ、次の学期又は学年の授業科目を履修することができない。

(卒業認定)

第13条 学生の卒業認定は、学則第39条の規定により行うものとする。

(補則)

第14条 この規則に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は教授会の議を経て別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

別表1

(1) 歯学科専門科目学科課程表

1) 必修科目

授業科目	3年		4年		5年		6年		単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人体の構造と機能	○	○							12
生命の分子の基盤と細胞の機能	○								3
病理		○							3
感染と生体防御		○							2
生体材料		○							2
歯科医療入門	○								2
歯科医療基礎			○						6
咬合育成・発達				○					3
う蝕と歯髄疾患				○	○				8
歯周病					○				3
咬合回復				○	○				9
顎口腔医療					○	○			5
全身と歯科治療					○	○			5
臨床体験実習	○	○		○					4
学年混合選択セミナー	○		○		○				1
課題統合セミナー		○		○	○				4
総合課題演習	○	○							1
研究体験実習			○						7
臨床情報処理						○			1
包括臨床実習						○	○	○	44
								計	125

2) 自由選択科目

デンタルエクスターンシップ※	○	○	○	○	○	○	○	○	1~6
								計	1~6

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次、年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

※出席確認について

各講義室及び実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されています。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行いますので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがあります。その場合は担当教員の指示に従ってください。

また、万が一、学生証を忘れた場合、教務掛でその日限りの貸出カードを一時的に貸与しますので申し出てください。

別表2

(1) 歯学科

進級に関する事項	授 業 科 目
<p>右の授業科目について、第3学年次末までに単位の取得もしくは試験に合格しなければ、第4学年次の授業科目を履修することができない</p>	<p>人体の構造と機能、生命の分子的基盤と細胞の機能、病理、感染と生体防御、生体材料、歯科医療入門、総合課題演習</p> <p>(3学年次に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) 臨床体験実習、学年混合選択セミナー、課題統合セミナー</p>
<p>右の授業科目について、第4学年次末までに単位の取得もしくは試験に合格しなければ、第5学年次の授業科目を履修することができない</p>	<p>歯科医療基礎、咬合育成・発達、研究体験実習</p> <p>(4学年次に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) う蝕と歯髄疾患、咬合回復 臨床体験実習、学年混合選択セミナー、課題統合セミナー</p>
<p>右の授業科目について、第5学年次前期末までに単位を取得し、かつ、共用試験に合格しなければ、第5学年次後期以降の授業科目を履修することができない</p>	<p>歯周病</p> <p>(5学年次前期に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) う蝕と歯髄疾患、咬合回復 顎口腔医療、全身と歯科治療 学年混合選択セミナー、課題統合セミナー</p> <p>共用試験 (CBT, OSCE)</p>
<p>右の授業科目について、第5学年次後期末までに単位の取得もしくは試験に合格しなければ、第6学年次の授業科目を履修することができない</p>	<p>臨床情報処理</p> <p>(5学年次後期に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) 顎口腔医療、全身と歯科治療 包括臨床実習</p>
<p>右の授業科目について、第6学年次末までに単位を取得しなければ卒業することができない</p>	<p>(6学年次に開講されるモジュール内のユニットを対象とする) 包括臨床実習</p>

東京医科歯科大学歯学部試験規則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、東京医科歯科大学歯学部履修規則第11条第2項及び第6項に基づき、歯学部における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の試験に関し、必要な事項を定める。

第2章 歯学部歯学科（平成22年以前入学者）

(試験の種類)

第2条 試験は、ユニット試験、共用試験、臨床能力判定試験とする。

(ユニット試験)

第3条 ユニット試験とは、学則第6条第3項別表（2）専門科目中の歯学部歯学科の表において定める授業科目（以下「モジュール」という。）におけるユニット終了時に行う試験をいう。

2 ユニット試験の実施日時は、原則として各ユニットの最終日に行う。

3 ユニット試験の受験資格は、講義は3分の2以上、実習は4分の3以上の出席を原則として、各ユニットで定める。

4 ユニット試験に係る追試験（疾病、負傷その他止むを得ない理由により受験できなかった者に対して、行う試験をいう。）、及び再試験（ユニット試験又は追試験を受験し不合格となった者に対して、改めて行う試験をいう。）は、学年末の再試験期間等において実施する。

なお、無断でユニット試験を欠席した場合、再試験または追試験を受験できないことがある。

5 追試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書に必要事項を記入し、理由書又は医師の診断書等の証明書類を添えて、当該試験終了後5日以内に歯学科長に提出しなければならない。

6 歯学科長は、追試験の受験申請のあった者について担当教員と協議の上、その可否を決定し申請者に通知する。なお、追試験の施行期日は、予め公示する。

7 ユニット試験、追試験及び再試験の結果は、合否をもって公示する。

(共用試験)

第4条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（以下「CBT」という。）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（以下「OSCE」という。）をいう。

2 共用試験は第5学年前期終了後に実施する。なお、試験日時は試験実施日の3週間前までに公示する。

3 共用試験を受験できる者は、第5学年前期に開講されるモジュール内のユニットの単位を全て修得している者とする。

4 共用試験の合格基準は別に定める。

(臨床能力判定試験)

第5条 臨床能力判定試験とは、第6学年末に行う包括臨床実習終了時OSCE及び臨床推論能力試験(症例発表会)をいう。

2 臨床能力判定試験については、別に定める。

(成績の報告)

第6条 モジュール担当教員は、ユニットごとの成績に基づき、平常授業態度等を加味し、所定の採点表に評点結果を記入して所定の期日までに歯学科長に報告しなければならない。

2 成績の評点は、100点満点とする。

3 成績の評価は、モジュールごとに、秀(90点以上)、優(80点以上90点未満)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)とし、不可は不合格とする。

4 再試験の評点は、60点を限度とする。

第3章 歯学部口腔保健学科

(試験の種類)

第7条 試験は、期末試験、中間試験、追試験及び再試験とする。

2 期末試験は、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット(以下「ユニット」という。)について定期的に行う試験をいう。

3 中間試験は、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

4 追試験は、疾病、負傷その他止むを得ない理由により期末試験又は中間試験を受験できなかった者に対して、その授業科目及びユニットについて行う試験をいう。

5 再試験は、期末試験、中間試験、又は追試験を受験し不合格となった者に対して、その授業科目及びユニットについて改めて行う試験をいう。

(試験の実施時期)

第8条 期末試験及び中間試験の実施時期は別に定める。

2 追試験は、期末試験及び中間試験終了後1ヶ月以内に行う。

(試験の方法)

第9条 講義の試験は、筆記試験又は口頭試問により行う。

2 演習に関して試験を行う場合は、筆記試験又は口頭試問により行う。

3 実習に関して試験を行う場合は、筆記試験、口頭試問又は実技試験により行う。

(試験実施の公示)

第10条 期末試験及び中間試験の日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

2 追試験の施行期日は、予め公示する。

(期末試験及び中間試験の受験資格)

第11条 期末試験及び中間試験は、講義及び演習については、当該講義又は演習時間数の3分の2以上出席して履修した者、実習については、当該実習時間数の4分の3以上出席して履修した者でなければ、受験することができない。

(受験の申請)

第12条 試験を受験しようとする者は、受験申請書を提出するものとする。ただし、期末試験及び中間試験は、受験申請書の提出を要しない。

2 追試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書に必要事項を記入し、理由書又は医師の診断書等の証明書類を添えて、当該試験終了後5日以内に口腔保健学科長に提出しなければならない。

3 前項に規定する期日までに追試験の受験申請のない場合は、追試験を受験することができない。

4 再試験は原則として行わない。ただし、期末試験、中間試験及び追試験を受験し、不合格となった者で平素の履修状況及び出席状況が良好な者に対して、願い出により行うことができる。

5 前項ただし書きの試験を願い出る者は、試験結果の発表があった日から起算して5日以内に再試験願いを口腔保健学科長に提出しなければならない。

(追再試験受験の可否)

第13条 口腔保健学科長は、追再試験の受験申請のあった者について、担当教員と協議の上、その可否を決定し、申請者に通知する。

(成績の評価並びに評点)

第14条 成績の評価は、試験の結果並びに実習成績等により行う。

2 成績の評点は、100点満点とする。

3 成績の評価は、授業科目又はユニットごとに、秀（90点以上）、優（80点以上90点未満）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）とし、不可は、不合格とする。

4 期末試験及び中間試験を正当な理由がなく受験しなかった者又は受験申請書を提出して正当な理由なく追試験及び再試験を受験しなかった者は、そのときの当該授業科目又はユニットの試験結果を不合格とする。

5 追試験の評点は第2項を準用する。

6 再試験の評点は60点を限度とする。

(試験結果の公示)

第15条 期末試験、中間試験、追試験及び再試験の結果は、合否をもって公示する。

(実習・演習の修了認定)

第16条 実習及び演習については、所定の出席率を満たし、かつ次の各号の一に該当する者を当該授業科目又はユニットの実習又は演習を修了した者と認める。

(1) 製作品、レポート等（以下「製作品等」という。）の提出を必要とする授業科目・ユニットの実習又は演習で提出した製作品等について担当教員が合格と判定した者

- (2) 担当教員が行う実習又は演習の試験に合格した者
- (3) その他担当教員が実習又は演習を修了したと判定した者

(卒業研究の修了認定)

第17条 卒業研究については、研究終了後に行う研究成果報告によって合格と判定された者を当該研究を修了した者と認める。

(実習・演習、卒業研究の修了認定の結果の公示)

第18条 実習・演習、卒業研究の修了認定の結果は、合否をもって公示する。

(成績の報告)

第19条 担当教員は、授業科目又はユニットごとに所定の採点表に評点結果を記入し所定の期日までに口腔保健学科長に報告しなければならない。

第4章 その他

(罰則)

第20条 試験に関し不正を行った者は、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号）第58条により懲戒する。

(その他)

第21条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は平成19年7月18日から施行する。

附 則

この規則は平成21年4月1日から施行する。

歯学カリキュラム 単位取得及び進級判定基準 (平成22年度以前入学者)

1. 総則

- 1) 連携教育を含めた教養部の進級判定は、教養部がこれを定める。
- 2) 進級判定は、3学年終了時、4学年終了時、5年前期終了時および5年後期終了時に行う。下記に示す各終了時まで実施されるモジュール単位を全て修得した場合に進級を認める。進級が認められなかった場合は当該学年に留年とする。
 - ① 3学年終了時
人体の構造と機能、生命の分子的基盤と細胞、歯科医療入門、臨床体験実習¹⁾、感染と生体防御、病理、生体材料、総合課題演習、課題統合セミナー¹⁾、学年混合選択セミナー¹⁾
 - 1) 3学年次に実施されるモジュール内のユニットを対象とする
 - ② 4学年終了時
歯科医療基礎、研究体験実習、う蝕と歯髄疾患²⁾、咬合回復²⁾、咬合育成・発達、臨床体験実習²⁾、課題統合セミナー²⁾、学年混合選択セミナー²⁾
 - 2) 4学年次に実施されるモジュール内のユニットを対象とする
 - ③ 5学年前期終了時
う蝕と歯髄疾患³⁾、咬合回復³⁾、全身と歯科治療³⁾、顎口腔医療³⁾、歯周病、課題統合セミナー³⁾、学年混合選択セミナー³⁾
 - 3) 5学年前期に実施されるモジュール内のユニットを対象とする5学年前期で取得すべき上記の全てのモジュール単位を取得していること、及び5学年8～9月に実施する共用試験（CBT、OSCE）の成績が合格基準を満たしていることを進級の条件とする。
 - ④ 5学年後期終了時
全身と歯科治療⁴⁾、顎口腔治療⁴⁾、臨床情報処理⁴⁾、包括臨床実習⁵⁾
 - 4) 5学年後期に実施されるモジュール内のユニットを対象とする
 - 5) 出席日数及び平常学習態度を対象とし、包括臨床実習リクワイヤメント達成度については6学年の包括臨床実習に含むものとする。
- 3) 6学年に実施される包括臨床実習モジュールの単位判定、および6学年修了判定については別途定める。
- 4) 留年した場合は、修得できなかったモジュールの一部または全部のユニットを次年度に再履修しなければならない。
- 5) 共用試験が不合格で留年した場合は、次年度の共用試験（CBT、OSCE）に合格しなければならない。

2. モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

3. ユニット試験の受験資格

各ユニットの受験資格はユニットごとに判定する。

各ユニットの全授業時間数のうち、授業形態が「実習」では4分の3以上、「講義」、「演習」、および「講義＋演習」では3分の2以上、出席していなければならない。また、「講義＋実習」では講義部分の全授業時間数の3分の2以上の出席、かつ実習部分の全授業時間数の4分の3以上の出席をしていなければならない。

ただし、時間数の少ないユニットにおいては、別途定める。

なお、受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

4. 包括臨床実習の単位判定

包括臨床実習モジュールの単位判定は、以下の成績によるものとする。

- 1) 包括臨床実習リクワイヤメント達成度
- 2) 臨床能力判定試験結果：包括臨床実習終了時臨床技能到達度試験＋OSCE
臨床推論能力（症例発表会）
- 3) 平常点（D6臨床実習ライター、専門（特殊）診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録）
なお、包括臨床実習モジュールの単位が取得できずに留年した場合の再履修に関しては、同モジュールの履修状況を勘案し、別途定める。

5. 学年混合選択セミナーの単位判定

単位取得のためには、すべてのユニット（＝6ユニット）に合格しなければならない。

ユニットの合格基準は以下の1), 2)を満たすこととする。

- 1) 授業回数の2/3以上（5回中4回以上）に出席すること。
- 2) 与えられた課題に対してレポートを提出すること。

6. 課題統合セミナーの単位判定

単位取得のためには、すべてのユニット（＝7ユニット）に合格しなければならない。

ユニットの合格基準は以下の1), 2)を満たすこととする。

- 1) 授業回数の2/3以上に出席すること。
- 2) ユニットごとに定める試験（レポート提出を含む）に合格すること。

7. D2連携教育：「歯学最新情報」について

「歯学最新情報」の成績判定（合格基準）は、下記1)「選択コース」及び2)「最新の歯科研究・歯科臨床」のいずれも合格することとする。

1) 「選択コース」

単位取得のためには、すべてのユニット（＝2ユニット）に合格しなければならない。

ユニットの合格基準は以下のi), ii)を満たすこととする。

- i) 授業回数の2/3以上（5回中4回以上）に出席すること。
- ii) 与えられた課題に対してレポートを提出すること。

2) 「最新の歯科研究・歯科臨床」

合格基準は下記のi)およびii)を満たすこととする。

- i) 講義回数の2/3以上に出席すること。
- ii) 与えられた課題に対してレポートを提出すること。

3) 「歯学最新情報」の成績が不良で留年した場合は、不合格であったユニットを再履修する。

8. この規程は平成16年度入学者から施行するが、それ以前の入学者に対してはこの規程に合わせて単位取得を行い、従前の必要単位取得をしたものとする。

9. その他

以上に定めがない事項については、教育委員会で審議し、歯学部長及び歯学部歯学科教授会の承認を得るものとする。

授 業 科 目

(平成22年度以前専門科目履修開始者)

時間割番号	021500				
科目名	学年混合選択セミナー				
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 三輪 全三, 鈴木 聖一				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	1
準備学習などについての具体的な指示					
連絡先					
倉林 亨:kura.oral@tmd.ac.jp					
三輪 全三:miwa.dohs@tmd.ac.jp					
豊福 明:toyoompm@tmd.ac.jp					
森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp					
鈴木 聖一:s-suzuki.mort@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
倉林 亨:火・木 16:00-17:00					
三輪 全三:月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室					
豊福 明:火・水 16:30- 18:00					
森尾 郁子:毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室					
鈴木 聖一:水・木 16:00-17:30					

※各コースの詳細は、3-4年次のページにある「学年混合選択セミナー」のシラバスを参照すること。

時間割番号	021519				
科目名	課題統合セミナー				
担当教員	小野 卓史, 隅田 由香				
開講時期	5年前期	対象年次	3・5	単位数	4
コマ数: 63(3)(必要自習時間 25 時間) 授業形態: 講義 モジュール番号: 07					
授業の目的、概要等					
一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
06 口唇裂口蓋裂					
07 全人的総合診断					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
小野 卓史: t.ono.orts@tmd.ac.jp					
隅田 由香: yuka.mfp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
小野 卓史: 月・水 16:00-17:30					
隅田 由香: 月一木曜日 16:00-17:00 10号館2階 顎顔面補綴学分野講師室					

時間割番号	021520					
科目名	口唇裂口蓋裂					
担当教員	小川 卓也					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:課題統合セミナー コマ数:9+0 授業形態:講義 ユニット番号:06						
授業の目的、概要等						
口唇口蓋裂の病態ならびに治療法を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 口唇口蓋裂の発生と成因を説明できる。 2) 口唇口蓋裂患者の言語の問題を述べることができる。 3) 各時期における外科治療について述べるができる。 4) 顎発育障害および咬合不全に対する治療体系を説明できる。 5) 口唇口蓋裂のチームアプローチの重要性を述べるができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/4	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の発生と成因	井関 祥子	講義SBOs 1
2	6/4	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂児が出生した時に	落合 聡	講義SBOs 3,4,5
3	6/4	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の外科治療1	森田 圭一	講義SBOs 2,3,4,5
4	6/17	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の矯正治療1	島崎 一夫	講義SBOs 2,3,4,5
5	6/17	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の矯正治療2	小川 卓也	講義SBOs 2,3,4,5
6	6/17	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の補綴治療	隅田 由香	講義SBOs 2,3,4,5
7	6/20	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の外科治療2	森田 圭一	講義SBOs 2,3,4,5
8	6/20	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の言語治療	壬生 美智子	講義SBOs 2,3,4,5
9	6/20	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口唇裂・口蓋裂の矯正治療3	小川 卓也	講義SBOs 2,3,4,5
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						

時間割番号	021521					
科目名	全人的総合診断					
担当教員	荒木 孝二					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:課題統合セミナー コマ数:18+1 授業形態:講義 ユニット番号:07						
授業の目的、概要等 口腔内診査の基本を理解するとともに、与えられた患者医療情報を全人的・総合的に分析することにより、正しい診断、治療法の選択、治療計画の立案について理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者医療情報を正しく収集できる。 2) 口腔内診査の基本が正しく実施できる 3) 患者医療情報を分類する。 4) 患者医療情報から正しい診断を行う。 5) 診断から治療法が選択できる。 6) 患者中心の治療計画が立案できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	7/22	12:50-13:40	歯学科第4講義室	診断の基本	荒木 孝二	講義:34
2	7/22	13:50-14:40	歯学科第4講義室	基本的診断法	礪波 健一	講義:34
3	7/22	14:50-15:40	歯学科第4講義室	痛みと腫脹	荒木 孝二	講義:34
4	7/23	12:50-13:40	歯学科第4講義室	粘膜疾患	大山 篤	講義:4.5
5	7/23	13:50-14:40	歯学科第4講義室	外傷・顎関節	大原 里子	講義:4.5
6	7/23	14:50-15:40	歯学科第4講義室	慢性口腔感覚異常	荒木 孝二	講義:4.5
7	7/24	12:50-13:40	歯学科第4講義室	唾液腺・リンパ節	新田 浩	講義:3,4,5
8	7/24	13:50-14:40	歯学科第4講義室	副鼻腔・顎骨	佐藤 光生	講義:3,4,5
9	7/24	14:50-15:40	歯学科第4講義室	全身と口腔症状	荒木 孝二	講義:3,4,5
10-12	7/25	09:00-11:50	歯学部演習室	ローテーション実習①(治療法の選択・治療計画の立案 演習)	荒木 孝二, 小田 茂, 礪波 健一, 飯田 浩司, 濱野 英也	松成 淳一・渡辺 大郎・佐野 元信:講義・演習:1,2,3,4,5,6
13-15	7/25	12:50-15:40	歯科総合診療部	ローテーション実習②(口腔内検査実習)	荒木 孝二, 小田 茂, 礪波 健一, 棚橋 孝之, 濱野 英也	松成 淳一・渡辺 大郎・佐野 元信:実習:2,3
16-18	7/28	09:00-11:50	歯学部演習室	ローテーション実習③(医療面接 演習)	荒木 孝二, 小田 茂, 新田 浩, 飯田 浩司, 松成 淳一	石田 智洋・渡辺 大郎・佐野 和信:講義・演習:1,3
19	7/30	11:00-11:50	歯学科第4講義室 歯学科第3講義室	試験	荒木 孝二	
成績評価の方法 ・原則として各授業のはじめと終わりにミニテストによる形成的評価を行う。 ・授業・演習・実習中の平常点、およびユニット最後の筆記試験(平成26年7月30日)により総合的に評価する。 ・グループローテーション演習・実習を休んだ場合は補習を必要とする。補習を受けなかった場合は総括評価を保留とする。						
準備学習などについての具体的な指示 必要実習時間9時間:5年前期までに履修した臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識(疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など)と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識(疾患名、病態、歯科との関連など)についての再確認をしておくこと。						

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

口腔科学 = Stomatology / 戸塚靖則, 高戸毅 監修, 飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集: 朝倉書店, 2013

参考書

歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編: クインテッセンス出版, 2013

連絡先

k.araki.gend@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 16:30～18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)

時間割番号	021522				
科目名	う蝕と歯髄疾患				
担当教員	三浦 宏之, 大槻 昌幸, 池田 英治, 吉田 恵一				
開講時期	通年(秋)	対象年次	4～5	単位数	8
コマ数:248(18) 授業形態:講義・実習 モジュール番号:16					
授業の目的、概要等					
歯と根尖歯周組織に生ずる疾患の病因・病態を理解し、その予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
10 クラウン修復 1) クラウンによる修復の特徴を説明できる。 2) クラウンによる修復の種類を列挙できる。					
11 支台築造 1) 支台築造の意義を説明できる。 2) 支台築造の術式を説明できる。 3) 支台築造を模型・抜去歯で行うことができる。					
12 全部鑄造冠修復 1) 全部鑄造冠修復の意義と特徴を説明できる。 2) 全部鑄造冠修復の術式を説明できる。 3) 模型歯で全部鑄造冠修復を行うことができる。					
13 審美的なクラウン修復 1) 審美的なクラウン修復を列挙し、その特徴を説明できる。 2) 模型歯にレジン前装冠修復を行うことができる。					
14 高速切削 1) 高速切削の意義と方法を説明できる。 2) 高速切削器具を用いて模型歯で支台形成を行うことができる。					
成績評価の方法					
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年6月16日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成26年6月11日に実習試験を行い、総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
10 クラウン修復 講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。					
11 支台築造 講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。					
12 全部鑄造冠修復 講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。					

<p>13 審美的なクラウン修復</p> <p>講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。</p>
<p>14 高速切削</p> <p>講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>構成ユニット</p> <p>10 クラウン修復</p> <p>11 支台築造</p> <p>12 全部鑄造冠修復</p> <p>13 審美的なクラウン修復</p> <p>14 高速切削</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にわたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>
<p>連絡先</p> <p>三浦 宏之: h.miura.fpro@tmd.ac.jp</p> <p>吉田 恵一: k.yoshida.fpro@tmd.ac.jp</p> <p>池田 英治: hms-ikeda.endo@tmd.ac.jp</p> <p>大槻 昌幸: otsuki.ope@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>三浦 宏之: 水 10:30 - 12:00</p> <p>吉田 恵一: 月・水 16:30-17:30</p> <p>池田 英治: 月～金 16:30-18:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室</p> <p>大槻 昌幸: 月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降</p>

時間割番号	021523					
科目名	クラウン修復					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:う蝕と歯髄疾患 コマ数:2+0(14ユニットで実施)(必要自習時間1時間) 授業形態:講義 ユニット番号:10						
授業の目的、概要等						
クラウンによる修復について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) クラウンによる修復の特徴を説明できる。 2) クラウンによる修復の種類を列挙できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/7	12:50-13:40	歯学科第4講義室	クラウン総論	三浦 宏之	講義SBOs 1,2
2	4/7	13:50-14:40	歯学科第4講義室	クラウンの要件、治療計画	三浦 宏之	講義SBOs 1,2
成績評価の方法						
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年6月16日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021524					
科目名	支台築造					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:う蝕と歯髄疾患 コマ数:16+0(15ユニットで実施)(必要自習時間8時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:11						
授業の目的、概要等						
支台築造の意義を理解し、治療法の基礎的術式を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 支台築造の意義を説明できる。 2) 支台築造の術式を説明できる。 3) 支台築造を模型・抜去歯で行うことができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/7	14:50-15:40	歯学科第4講義室	支台築造	駒田 亘	講義:SBOs 1,2,3
2-3	4/9	13:50-15:40	補綴実習室	メタルコア窩洞形成	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
4	4/16	09:00-09:50	補綴実習室	メタルコア窩洞形成	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
5-6	4/16	10:00-11:50	補綴実習室	メタルコア印象	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
7-8	4/16	12:50-14:40	補綴実習室	メタルコア模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
9	4/16	14:50-15:40	補綴実習室	メタルコア wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
10	4/21	11:00-11:50	歯学科第4講義室	支台築造	駒田 亘	講義:SBOs 1,2,3
11	4/23	09:00-09:50	補綴実習室	メタルコア wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
12	4/23	10:00-10:50	補綴実習室	メタルコア埋没	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
13	4/23	11:00-11:50	補綴実習室	メタルコア Cast(含 In)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
14	4/23	12:50-13:40	補綴実習室	メタルコア調整	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3
15-16	4/23	13:50-15:40	補綴実習室	レジン築造(直接法)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	山本将弘実習:SBOs 1,2,3

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・平成 26 年 6 月 16 日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。
- ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成 26 年 6 月 11 日に実習試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示**試験の受験資格**

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

h.miura.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水 10:30 ~ 12:00

時間割番号	021525					
科目名	全部鑄造冠修復					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
<p>モジュール名:う蝕と歯髄疾患 コマ数:28+0(14ユニットで実施)(必要自習時間15時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:12</p>						
<p>授業の目的、概要等 全部鑄造冠修復の意義を理解し、治療の基礎的術式を習得する。</p>						
<p>授業の到達目標(SBOs) 1) 全部鑄造冠修復の意義と特徴を説明できる。 2) 全部鑄造冠修復の術式を説明できる。 3) 模型歯で全部鑄造冠修復を行うことができる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-4	4/9	09:00-13:40	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生 実習:SBOs 1,2,3
5-7	4/14	12:50-15:40	歯学科第4講義室	全部鑄造冠	吉田 恵一	講義:SBOs 1,2,3
8-10	4/25	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生 実習:SBOs 1,2,3
11-12	4/30	09:00-10:50	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生 実習:SBOs 1,2,3
13	4/30	11:00-11:50	補綴実習室	個歯トレー作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 1,2,3
14	4/30	12:50-13:40	補綴実習室	印象	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 1,2,3
15	4/30	13:50-14:40	補綴実習室	模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 1,2,3
16	4/30	14:50-15:40	補綴実習室	咬合器装着	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 1,2,3
17-19	5/7	12:50-15:40	補綴実習室	wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生 実習:SBOs 1,2,3
20-23	5/9	09:00-13:40	補綴実習室	wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生 実習:SBOs 1,2,3
24-25	5/9	13:50-15:40	補綴実習室	埋没	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子	実習:SBOs 1,2,3

26-27	5/14	12:50-14:40	補綴実習室	鑄造	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 武井 秀典	山崎有子, 岡安晴生 実習:SBOs 1,2,3
28	5/14	14:50-15:40	補綴実習室	研磨	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 1,2,3
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 26 年 6 月 16 日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成 26 年 6 月 11 日に実習試験を行い、総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
連絡先						
h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021526					
科目名	審美的なクラウン修復					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
<p>モジュール名:う蝕と歯髄疾患 コマ数:29+0(14ユニットで実施)(必要自習時間15時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:13</p>						
<p>授業の目的、概要等 審美的なクラウン修復に意義と特徴を理解する。</p>						
<p>授業の到達目標(SBOs) 1) 審美的なクラウン修復を列挙し、その特徴を説明できる。 2) 模型歯にレジン前装冠修復を行うことができる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	5/7	09:00-11:50	歯学科第4講義室	前装冠	三浦 宏之	講義:SBOs 1,2
4-7	5/21	09:00-13:40	補綴実習室	前装冠 支台歯形成、築造窩洞形成	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	実習:SBOs 2
8-9	5/21	13:50-15:40	補綴実習室	前装冠 レジン築造(直接法)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	森川 理 宮坂宗永実 習:SBOs 2
10-11	5/28	09:00-10:50	補綴実習室	前装冠 レジン築造(直接法)	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	森川 理 宮坂宗永実 習:SBOs 2
12-13	5/28	11:00-13:40	補綴実習室	前装冠 築造窩洞印象	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	森川 理 宮坂宗永実 習:SBOs 2
14-15	5/28	13:50-15:40	補綴実習室	前装冠 築造窩洞模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 鶴田 潤	森川 理 宮坂宗永実 習:SBOs 2
16-18	5/30	09:00-11:50	補綴実習室	wax up	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 鶴田 潤	実習:SBOs 2
19	6/4	12:50-13:40	補綴実習室	前装冠 埋没	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	川和篤史実習:SBOs 2
20-21	6/4	13:50-15:40	補綴実習室	前装冠 鋳造	三浦 宏之 吉田 恵一, 武井 秀典 山崎 有子, 岡安 晴生	川和篤史実習:SBOs 2
22	6/5	11:00-11:50	歯学科第4講義室	その他の審美修復(オールセラミック、ポストクラウン、部分被覆冠)	三浦 宏之	講義:SBOs 1,2
23	6/6	09:00-09:50	補綴実習室	前装冠 研磨	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子	実習:SBOs 2
24-28	6/6	10:00-15:40	補綴実習室	前装冠 レジン前装	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 鶴田 潤	実習:SBOs 2

29	6/11	12:50-13:40	補綴実習室	前装冠 調整、研磨	三浦 宏之 吉田 恵一, 古木 譲 武井 規子, 鶴田 潤	実習:SBOs 2
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 26 年 6 月 16 日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成 26 年 6 月 11 日に実習試験を行い、総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
連絡先						
h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021527					
科目名	高速切削					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:う蝕と歯髄疾患 コマ数:7+3(必要自習時間3時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:14						
授業の目的、概要等						
高速切削法を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 高速切削の意義と方法を説明できる。 2) 高速切削器具を用いて模型歯で支台形成を行うことができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	5/19	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之、吉田 恵一、 木津喜 裕子、鶴田 潤	実習:SBOs 1,2
4-7	5/26	11:00-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之、吉田 恵一、 木津喜 裕子、鶴田 潤	実習:SBOs 1,2
8-9	6/11	13:50-15:40	補綴実習室	実習試験	三浦 宏之、吉田 恵一	試験SBOs 1,2
10	6/16	09:00-09:50	歯学科第4講義室	筆記試験	三浦 宏之、吉田 恵一	試験SBOs 1,2
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年6月16日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成26年6月11日に実習試験を行い、総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
連絡先						
h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021528		
科目名	咬合回復Ⅱ		
担当教員	水口 俊介, 岡田 大蔵		
開講時期	前期	対象年次	5
コマ数:58(3)(必要自習時間 11 時間) 授業形態:講義・実習 モジュール番号:18			
主な講義場所			
歯学科第4講義室(7号館4階) 補綴実習室(7号館3階)			
授業の目的、概要等			
歯の欠損による顎口腔系の形態および機能の異常を理解し、その診断・治療に必要な基本的知識と技能を修得する。			
授業の到達目標(SBOs)			
01固定性義歯			
1) 固定性義歯の目的と意義を説明できる。 2) 固定性義歯の種類と適応症を説明できる。 3) 歯の欠損の診査および診断を説明できる。 4) 固定性義歯の構成要素を説明できる。 5) 固定性義歯の設計原則を説明できる。 6) 固定性義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 7) 固定性義歯の印象採得法を説明できる。 8) 固定性義歯の顎間関係記録法を説明できる。 9) リテーナーの意義を説明できる。 10) 固定性義歯の咬合を説明できる。 11) 固定性義歯の埋没ができる。 12) 固定性義歯の正しいスプルーイング、埋没ができる。 13) 固定性義歯の鑑着できる。			
02インプラント義歯			
1) インプラントの種類と構造を説明できる。 2) インプラント治療の利点と欠点を説明できる。 3) インプラント治療に必要な診査および診断を説明できる。 4) インプラント治療の外科術式を説明できる。 5) インプラント治療の補綴術式を説明できる。 6) インプラント治療のメンテナンスを説明できる。 7) インプラント治療において起きる問題について説明できる。			
03咬合回復統合			
1) 補綴装置に付与する咬合様式について説明できる。 2) 回復した咬合を維持するために必要な知識を身につける。 3) 各種咬合器の特徴が説明できる。 4) フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明することができる。 5) 調節性咬合器の基本操作ができる。 6) 咬合回復に必要な器具および材料について説明できる。 7) 補綴後の咀嚼回復状態のための必要な知識を身につける。 8) 特殊義歯の特徴が説明できる。 9) 咬合回復後のメンテナンスの方法が説明できる。 10) 新しい歯冠補綴物製作法を理解するための必要な知識を身につける。			

<p>成績評価の方法</p> <p>01 固定性義歯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 26 年 7 月 14 日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成 25 年 7 月 22 日に実習試験を行い、総括的評価を行う。 <p>02 インプラント義歯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット最後の筆記試験により総括的に評価する。 <p>03 咬合回復統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート内容により総括的に評価する。
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>01 固定性義歯</p> <p>講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解しておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。</p> <p>03 咬合回復統合</p> <p>事前に配布される資料などを熟読の上、臨むこと。また調節性咬合器実習は、当日までに各種咬合器の特徴と臨床応用の講義を復習しておくとともに、事前に配布される実習書を熟読して臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ユニットコマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>構成ユニット</p> <p>01 固定性義歯</p> <p>02 インプラント義歯</p> <p>03 咬合回復統合</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にわたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>
<p>連絡先</p> <p>水口 俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p> <p>岡田 大蔵: d.okada.fpro@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>水口 俊介: 随時</p> <p>岡田 大蔵: 随時</p>

時間割番号	021529					
科目名	固定性義歯					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:咬合回復Ⅱ コマ数:26+2(必要自習時間6時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
固定性義歯を用いた咬合回復治療に必要な知識と基本的技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 固定性義歯の目的と意義を説明できる。 2) 固定性義歯の種類と適応症を説明できる。 3) 歯の欠損の診査および診断を説明できる。 4) 固定性義歯の構成要素を説明できる。 5) 固定性義歯の設計原則を説明できる。 6) 固定性義歯における支台歯形成の方法を説明できる。 7) 固定性義歯の印象採得法を説明できる。 8) 固定性義歯の顎間関係記録法を説明できる。 9) リテーナーの意義を説明できる。 10) 固定性義歯の咬合を説明できる。 11) 固定性義歯の埋没ができる。 12) 固定性義歯の正しいスプルーイング、埋没ができる。 13) 固定性義歯の鑲着できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	6/11	09:00-11:50	歯学科第4講義室	目的と意義 種類と適応症 診査・診断 構成要素・設計 支台歯形成と歯髄保護 リテーナー 印象採得・顎間関係記録・調節性咬合器 接着ブリッジ	三浦 宏之	講義:SBOs 1,2,3,4,5,6
4-9	6/18	09:00-15:40	補綴実習室	右下顎第一大臼歯欠損症例に対するブリッジの作業用模型作製	三浦 宏之 吉田 恵一、 武井 秀典 渡邊 希江、 山崎 有子	実習:SBOs 7,8
10-15	6/25	09:00-15:40	補綴実習室	右下顎第一大臼歯欠損症例に対するブリッジのワックスアップ	三浦 宏之 吉田 恵一、 武井 秀典 山崎 有子、 川和 篤史	新木敏之・古木紀子、 実習:SBOs 9,10
16-17	7/2	09:00-10:50	補綴実習室	右下顎第一大臼歯欠損症例に対するブリッジのワックスアップ	三浦 宏之 吉田 恵一、 武井 秀典 山崎 有子、 川和 篤史	新木敏之・古木紀子、 実習:SBOs 9,10
18-19	7/2	11:00-13:40	補綴実習室	埋没	三浦 宏之 吉田 恵一、 武井 秀典 山崎 有子、 川和 篤史	新木敏之・古木紀子・ 萩野礼子、 実習:SBOs 11
20-21	7/2	13:50-15:40	補綴実習室	鑄造、調整	三浦 宏之 吉田 恵一、 武井 秀典 山崎 有子、 川和 篤史	実習:SBOs 12
22	7/9	09:00-09:50	補綴実習室	鑄造、調整	三浦 宏之 吉田 恵一、 武井 秀典 山崎 有子、 川和 篤史	実習:SBOs 12

23-26	7/9	10:00-14:40	補綴実習室	鑑着、調整	三浦 宏之、吉田 恵一、 武井 秀典、山崎 有子、 川和 篤史	実習:SBOs 13
27	7/14	09:00-09:50	歯学科第4講義室	筆記試験	三浦 宏之、吉田 恵一	試験
28	7/14	10:00-10:50	補綴実習室	実習試験	三浦 宏之、吉田 恵一	試験
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成26年7月14日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および平成26年7月14日に実習試験を行い、総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全ユニットコマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
連絡先						
h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021530				
科目名	インプラント義歯				
担当教員	春日井 昇平				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名: 咬合回復Ⅱ コマ数: 10+1(必要自習時間2時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02					
授業の目的、概要等					
インプラント義歯を用いた咬合回復治療に必要な基礎的知識を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) インプラントの種類と構造を説明できる。 2) インプラント治療の利点と欠点を説明できる。 3) インプラント治療に必要な診査および診断を説明できる。 4) インプラント治療の外科術式を説明できる。 5) インプラント治療の補綴術式を説明できる。 6) インプラント治療のメンテナンスを説明できる。 7) インプラント治療において起きる問題について説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/20	12:50-13:40	第4講義室	インプラント治療の特徴	春日井 昇平
2	6/20	13:50-14:40	第4講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真
3	6/20	14:50-15:40	第4講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真
4	6/26	09:00-09:50	第4講義室	インプラント治療に必要な骨造成	立川 敬子
5	6/26	10:00-10:50	第4講義室	インプラント埋入手術	立川 敬子
6	6/26	11:00-11:50	第4講義室	荷重プロトコール	春日井 昇平
7	6/27	11:00-11:50	第4講義室	補綴治療(アバットメント、印象採得)	黒田 真司
8	6/27	12:50-13:40	第4講義室	補綴治療(上部構造)	黒田 真司
9	6/27	13:50-14:40	第4講義室	メンテナンスと治療後の問題	春日井 昇平
10	6/27	14:50-15:40	第4講義室	インプラント周囲炎の診断と治療	春日井 昇平
11	7/7	14:50-15:40	第4講義室	筆記試験	春日井 昇平
成績評価の方法					
・ユニット最後の筆記試験により総合的に評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
歯を失った場合日々の生活においてどのような点で困るか、歯を失った患者さんに対して、どのような歯科治療が可能であるかについて調べる。 自宅から大学までの通学路(交通機関を使用する区間は含まない)に何件歯科医院が存在し、その歯科医院の中でインプラント治療をおこなうことを標榜している歯科医院が何件あるかについて調べる。					
試験の受験資格					
・全ユニットコマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。					
他科目との関連					
生体材料学、解剖学、放射線医学、生理学、薬理学、病理学、口腔外科学、歯周病学、補綴学					
連絡先					
kas.mfc@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
AM:9:00-PM:19:00 1号館東棟5階教授室、歯学部附属病院7階 インプラント外来					

時間割番号	021531					
科目名	咬合回復統合					
担当教員	三浦 宏之					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:咬合回復Ⅱ						
コマ数:22+0(必要自習時間3時間)						
授業形態:講義・実習						
ユニット番号:03						
授業の目的、概要等						
咬合回復治療に関連する知識を統合的に修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1)補綴装置に付与する咬合様式について説明できる。						
2) 回復した咬合を維持するために必要な知識を身につける。						
3) 各種咬合器の特徴が説明できる。						
4) フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明することができる。						
5) 調節性咬合器の基本操作ができる。						
6) 咬合回復に必要な器具および材料について説明できる。						
7) 補綴後の咀嚼回復状態のための必要な知識を身につける。						
8) 特殊義歯の特徴が説明できる。						
9) 咬合回復後のメンテナンスの方法が説明できる。						
10)新しい歯冠補綴物製作法を理解するための必要な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/13	11:00-11:50	歯学科第4講義室	CAD/CAMの補綴物への応用	野崎 浩佑	講義SBOs 10
2	6/13	12:50-13:40	歯学科第4講義室	天然歯列の咬合、歯冠補綴物に付与する咬合	岡田 大蔵	講義SBOs 1,2
3	6/13	13:50-14:40	歯学科第4講義室	総義歯に付与する咬合	水口 俊介	講義SBOs 1,2
4	6/13	14:50-15:40	歯学科第4講義室	部分床義歯に付与する咬合	若林 則幸	講義SBOs 1,2
5-6	6/27	09:00-10:50	歯学科第4講義室	各種咬合器の特徴と臨床応用	三浦 宏之	講義SBOs 3
7-9	7/4	09:00-11:50	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェイスボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之、真柳 昭紘 吉田 隆義、岡田 大蔵 進 千春	古木 譲、田中義浩実習SBOs 4,5
10	7/9	14:50-15:40	歯学科第4講義室	咬合回復に関連する歯科材料	駒田 亘	講義SBOs 6
11-13	7/11	09:00-11:50	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェイスボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之、真柳 昭紘 吉田 隆義、岡田 大蔵 進 千春	古木 譲、田中義浩実習SBOs 4,5
14	7/18	09:00-09:50	歯学科第4講義室	補綴後の咀嚼様相	加藤 均	講義SBOs 7
15-16	7/18	10:00-11:50	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェイスボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之、真柳 昭紘 吉田 隆義、岡田 大蔵 進 千春	古木 譲、田中義浩実習SBOs 4,5
17-18	7/18	12:50-14:40	歯学科第4講義室	特殊な義歯(即時義歯、治療用義歯、顎義歯)	隅田 由香	講義SBOs 8
19	7/18	14:50-15:40	歯学科第4講義室	顎機能異常	吉田 恵一	講義SBOs 9
20	7/22	09:00-09:50	歯学科第4講義室	咬合回復治療後のメンテナンス1	和泉 雄一	講義SBOs 9

21	7/22	10:00-10:50	歯学科第4講義室	咬合回復治療後のメンテナンス2	三浦 宏之	講義SBOs 9
22	7/22	11:00-11:50	歯学科第4講義室	咬合回復に関連する歯科材料	宇尾 基弘	講義SBOs 6
成績評価の方法						
・レポート内容により総括的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・講義はユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。また、実習は全ユニット実習コマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。						
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021532				
科目名	歯周病				
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	3
<p>コマ数: 78(6)(必要自習時間27時間) 授業形態: 講義・実習・演習 モジュール番号: 19</p>					
授業の目的、概要等					
歯周病の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を習得する。					
授業方法					
講義・実習・演習					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 歯周病基礎編					
02 歯周病臨床編					
03 歯周病・歯周治療実習					
04 歯周病のトピックス					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。					
連絡先					
和泉 雄一: y-izumi.peri@tmd.ac.jp					
渡邊 久: watanabe.peri@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
和泉 雄一: メールにて面談の日程を調整すること					
渡邊 久: 月～金 17:00～19:00					

時間割番号	021533						
科目名	歯周病基礎編						
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久, 竹内 康雄						
開講時期	前期	対象年次	5				
モジュール名: 歯周病 コマ数: 12+1 (必要自習時間4時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01							
授業の目的、概要等							
生涯にわたって健全な歯列と咬合を維持することの重要性を理解し、歯周組織の常態および歯周病の成因を理解する。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 歯周病・歯周治療について説明できる。 2) 歯周組織の機能および構造について説明できる。 3) 歯周病の病因(細菌, 宿主(免疫, 炎症), 環境)について説明できる。 4) 歯周組織の再生について説明できる。 5) 歯周病の疫学について説明できる。 6) 歯周病の病態・症状・分類について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-6	4/8	09:00-15:40	歯学科第4講義室	歯周病・歯周治療とは、歯周組織の機能と構造、歯周病の病因: 宿主(炎症・免疫応答)・環境	歯周組織の形態および機能について基本的に知識の確認を行うとともに、歯周病の発症に関わりの深い細菌感染に対する生防御と免疫応答を学ぶ。	和泉 雄一, 西原 達次	講義SBOs 1,2,3
7-12	4/15	09:00-15:40	歯学科第4講義室	歯周病の病因: プラークとバイオフィルム、歯周病の疫学、歯周病の病態・症状・分類、歯周組織再生: ティッシュエンジニアリング	歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について理解する。一方で歯周病は多様な修飾因子が関わり多様な病態を示すが、その臨床症状や分類について学ぶ。また最近の歯周研究の進歩について、特に歯周組織再生に関わる基礎的事項を概説する。	和泉 雄一, 荒川 真一, 小牧 基浩, 竹内 康雄	講義SBOs 3,4,5,6
13	5/1	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験		竹内 康雄	講義SBOs 1,2,3,4,5,6
成績評価の方法							
・適宜、形成的評価(小テスト)を行う。 ・平成26年5月1日に、総括的評価(筆記試験)を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。							
備考							
担当教員: 竹内 康雄 助教							
連絡先							
和泉 雄一: y-izumi.peri@tmd.ac.jp 渡邊 久: watanabe.peri@tmd.ac.jp 竹内 康雄: takeuchi.peri@tmd.ac.jp							

オフィスアワー

和泉 雄一: メールにて面談の日程を調整すること

渡邊 久: 月～金 17:00～19:00

竹内 康雄: 月～金 17:00～19:00

時間割番号	021534					
科目名	歯周病臨床編					
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久, 須田 智也					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 21+1 (必要自習時間 7 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療に必要な基本的な知識を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯周疾患の症状を説明できる。 2) 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 3) 歯周基本治療を説明できる。 4) プラークコントロールの意義を説明できる。 5) スケーリング及びスケーリングルートプレーニングの意義を説明できる。 6) 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 7) 咬合性外傷について説明できる。 8) 歯周外科手術の種類と適応症、ならびに再生治療を説明できる。 9) 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 10) 分岐部病変の治療を説明できる。 11) 歯周治療における薬物療法を説明できる。 12) 歯周治療のメンテナンスを説明できる。 13) 歯周病と全身疾患との関係について説明できる。 14) 歯周治療における矯正治療の意義を説明できる。 15) 歯周治療における咬合補綴治療の意義を説明できる。 16) 歯周治療におけるインプラント治療の意義を説明できる。 17) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	4/22	09:00-10:50	歯学科第4講義室	歯周病の検査・診断・治療計画	和泉 雄一	講義: SBOs 1,2
3-5	4/22	11:00-14:40	歯学科第4講義室	歯周基本治療	須田 智也, 水谷 幸嗣	講義: SBOs 3-6
6	4/22	14:50-15:40	歯学科第4講義室	咬合性外傷と咬合調整	水谷 幸嗣	講義: SBOs 7
7	5/13	09:00-09:50	歯学科第4講義室	歯周外科手術 I	和泉 雄一	講義: SBOs 8
8-9	5/13	10:00-11:50	歯学科第4講義室	海外における歯周外科の話題	Diego A. Borgese	講義: SBOs 8-12
10	5/20	09:00-09:50	歯学科第4講義室	歯周外科手術 II	和泉 雄一	講義: SBOs 8,9
11	5/20	10:00-10:50	歯学科第4講義室	歯周組織再生療法	和泉 雄一	講義: SBOs 8
12	5/20	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯周形成外科	和泉 雄一	講義: SBOs 8
13	5/27	09:00-09:50	歯学科第4講義室	分岐部病変の治療	和泉 雄一	講義: SBOs 10
14	5/27	10:00-10:50	歯学科第4講義室	歯周治療と薬物療法	和泉 雄一	講義: SBOs 11
15	5/27	11:00-11:50	歯学科第4講義室	メンテナンス	和泉 雄一	講義: SBOs 12,13
16	6/3	09:00-09:50	歯学科第4講義室	歯周治療と矯正治療	森山 啓司	講義: SBOs 14
17	6/3	10:00-10:50	歯学科第4講義室	歯周治療と咬合回復治療	三浦 宏之	講義: SBOs 15
18	6/3	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯周治療とインプラント治療	塩田 真	講義: SBOs 16
19-21	6/10	09:00-11:50	歯学科第4講義室	症例供覧	二階堂 雅彦	講義: SBOs 17
22	6/23	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験	須田 智也	講義: SBOs 1-17
成績評価の方法						
・適宜、形式的評価(小テスト)を行う。 ・平成 26 年 6 月 23 日に、総括的評価(筆記試験)を行う。						

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

備考

担当教員:

須田 智也 助教

連絡先

和泉 雄一: y-izumi.peri@tmd.ac.jp

渡邊 久: watanabe.peri@tmd.ac.jp

須田 智也: sudaperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

和泉 雄一: メールにて面談の日程を調整すること

渡邊 久: 月～金 17:00～19:00

須田 智也: 月・火・水・木 16:00～17:00

時間割番号	021535					
科目名	歯周病・歯周治療実習					
担当教員	渡邊 久					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 36+3(必要時週間12時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 歯周治療に必要な基本的な知識を理解し、その技能および態度を習得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯周組織の構造・機能を説明できる。 2) 歯周病の各種検査を行うことができる。 3) 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。 4) プラークコントロールの重要性を説明でき、必要な器具操作ができる。 5) スケーリングに必要な器具操作ができる。 6) 歯周外科手術に必要な器具操作ができる。 7) 咬合調整に必要な器具操作ができる。 8) 固定法に必要な器具操作ができる。 9) ナイトガード製作に必要な器具操作ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	5/13	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周病の観察・検査	渡邊 久 萩原 さつき、 青木 章 小林 宏明 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島丈尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦: 実習: SBOs 1-3」
4-6	5/20	12:50-15:40	保存矯正実習室	プラークコントロール	渡邊 久 萩原 さつき、 青木 章 小林 宏明 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島丈尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦: 実習: SBOs 3,4」
7-9	5/27	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	渡邊 久 萩原 さつき、 青木 章 小林 宏明 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島丈尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦: 実習: SBOs 3,5」
10-12	6/3	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	渡邊 久 萩原 さつき、 青木 章 小林 宏明 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島丈尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦: 実習: SBOs 3,5」

13-15	6/10	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.5」
16-18	6/17	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周外科	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.6」
19-21	6/24	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周外科	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.6」
22-24	7/1	12:50-15:40	補綴実習室	咬合調整	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.7」
25-27	7/8	09:00-11:50	保存矯正実習室	咬合調整	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.7」
28-30	7/8	12:50-15:40	保存矯正実習室	咬合調整	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.7」
31-33	7/10	12:50-15:40	保存矯正実習室	固定	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.8」
34-36	7/15	12:50-15:40	補綴実習室	ナイトガード	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島文尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦： 実習：SBOs 3.9」

37-39	7/17	12:50-15:40	保存矯正実習室	実習試験	渡邊 久、萩原 さつき、 青木 章、小林 宏明、 竹内 康雄	「秋月達也、水谷幸嗣、 須田智也、小島丈尚、 弘岡秀明、富岡栄二、 矢沢浩史、矢野 章、 児玉利朗、山本敦彦: 実習:SBOs 1-9」
授業方法						
実習						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・各回、形成的評価(小テストおよび製作物提出)を行う。 ・平成 26 年 7 月 17 日に、総括的評価(実習試験:実技試験(50%)ならびに口頭試問(50%))を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 						
備考						
担当教員: 渡邊 久 准教授						
連絡先						
watanabe.peri@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月～金 17:00-19:00						

時間割番号	021536					
科目名	歯周病のトピックス					
担当教員	青木 章					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 10(必要自習時間4時間) 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 04						
授業の目的、概要等						
歯周病研究・治療の最近の動向および今後の方向性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯周治療の科学的根拠を説明できる。 2) 歯周治療の最近の動向を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/24	09:00-09:50	歯学科第4講義室	説明・準備、シナリオの提示	青木 章	講義SBOs 1,2
2-3	6/24	10:00-11:50	歯学科第4講義室	歯周治療って面白い!	松井 徳雄	講義SBOs 1,2
4-6	7/1	09:00-11:50	歯学科第4講義室	発表準備	青木 章	PBL:SBOs 1,2
7	7/7	11:00-11:50	歯学科第4講義室	発表準備	青木 章	PBL:SBOs 1,2
8-10	7/16	09:00-11:50	歯学科第3講義室	グループ毎発表	青木 章	PBL:SBOs 1,2
成績評価の方法						
・平成26年7月16日に、総括的評価(グループ毎発表(100%))を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						
備考						
担当教員: 青木 章 講師						
連絡先						
aoperi@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月～金 17:00-18:00						

時間割番号	021537				
科目名	臨床情報処理				
担当教員	佐々木 好幸				
開講時期	後期	対象年次	5	単位数	1
コマ数: 13(1)(+包括臨床実習内の3コマ)(必要自習時間数8時間) 授業形態: 演習 モジュール番号: 20					
主な講義場所					
各ユニットの講義場所を参照のこと					
授業の目的、概要等					
根拠に基づいた歯科医療を実践するために、情報を適切に処理・活用する能力を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各ユニットの到達目標を参照のこと					
成績評価の方法					
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと					
準備学習などについての具体的な指示					
各ユニットの指示を参照のこと。					
試験の受験資格					
全ユニットの時間数合計の3分の2以上の出席を必要とする。					
構成ユニット					
01 EBM・EBD					
02 歯科医療情報システム					
03 歯科診療業務入門					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
sasaki.prev@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00					

時間割番号	021538					
科目名	EBM・EBD					
担当教員	佐々木 好幸					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名:臨床情報処理 コマ数:6+1/3(必要自習時間5時間) 授業形態:演習 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
EBM(Evidence-based Medicine)の重要性を理解し、歯科医療に必要な情報を検索・収集・吟味し、歯科医療に応用する能力を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) EBM の概念を説明できる。 2) 歯科治療に関する根拠を説明できる。 3) 根拠(Evidence)のレベルについて具体的に説明できる。 4) いくつかの症例における患者の問題を定式化できる。 5) 情報を自ら収集、分析して問題点を探し出すことができる。 6) 問題解決のための情報収集と絞込みができ、その評価の方法を説明できる。 7) 情報の批判的吟味ができる。 8) リスク比、オッズ比、感度、特異度、NNT を説明できる。 9) 統合された情報(二次情報)を解釈でき、いくつかの症例に適用できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/9	12:50-15:40	歯学科第4講義室	EBM 演習 1	佐々木 好幸	演習:1-6,8
4-6	9/16	12:50-15:40	歯学科第4講義室	EBM 演習 2	佐々木 好幸	演習:4-7,9
7	9/29	14:50-15:40	歯学科第4講義室	モジュール試験	佐々木 好幸	
成績評価の方法						
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
2 回目の演習までに指定の英論文を解釈し、ワークシートにまとめること。						
試験の受験資格						
・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
Evidence-based medicine : EBM の実践と教育 / David L.Sackett [ほか]著, :エルゼビア・サイエンス, 2003						
EBM の道具箱 / カール・ヘネガン, ダグラス・バデノック 著, 齊尾武郎 監訳, :中山書店, 2007						
EBM 楽しい演習帳 / ポール・グラシュー, クリス・デルマー, ジャネット・ソールズベリー 著, 齊尾武郎 訳, :金芳堂, 2004						
履修上の注意事項						
1 回目の演習に欠席した者は、速やかに担当教員に連絡すること。						
連絡先						
sasaki.prev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00						

時間割番号	021539					
科目名	歯科医療情報システム					
担当教員	佐々木 好幸					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名:臨床情報処理 コマ数:3+1/3(+包括臨床実習の3コマ)(必要自習時間1時間) 授業形態:演習 ユニット番号:02						
授業の目的、概要等						
歯科医療における情報の特性を理解し、歯科医療情報を適切に処理・活用する能力を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 医療情報の特性を説明できる。 2) 医療情報における歯科の特性を説明できる。 3) 診療録が具備すべき要件を説明できる。 4) POMR の概念を説明できる。 5) 患者情報からプロブレムを発見し、プロブレムリストを作成できる。 6) 医療情報をプロブレムごとに SOAP にまとめることができる。 7) 患者情報からの確な治療方針を立案し説明できる。 8) 歯学部附属病院医療情報システムを操作できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/19	12:50-15:40	歯学科第4講義室	歯科医療情報基礎、POMR	佐々木 好幸	講義・演習:1-7:
4	9/29	14:50-15:40	歯学科第4講義室	モジュール試験	佐々木 好幸	
5	11/14	9:00-11:50	歯科総合診療部医局 図書室	電子総合診療録操作実習(1回目)	佐々木 好幸	学生を4グループに分け、4回のうち決められた1回を受講(日付未定)
5	11/14	12:50-15:40	歯科総合診療部医局 図書室	電子総合診療録操作実習(2回目)	佐々木 好幸	
5	11/21	9:00-11:50	歯科総合診療部医局 図書室	電子総合診療録操作実習(3回目)	佐々木 好幸	
5	11/21	12:50-15:40	歯科総合診療部医局 図書室	電子総合診療録操作実習(4回目)	佐々木 好幸	
成績評価の方法						
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
シラバスを参照して、参考書のいずれかを予習しておくことが望ましい。誤った記載の情報が多いので、情報の信頼性に注意して予習すること。						
試験の受験資格						
・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
電子カルテってどんなもの?／電子カルテ研究会 編、開原成允 [ほか]著: 中山書店、2002						
POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム／日野原重明 著: 医学書院、1993						
あすかちゃんのPOS: ナースのためのPOS入門／中木高夫 原作、キリ光乗 作画: 照林社、1993						
POSをナースに／中木高夫 著: 医学書院、1998						
電子カルテ時代のPOS: 患者指向の連携医療を推進するために／日野原重明 監修、渡辺直 著: 医学書院、2012						

履修上の注意事項

このユニットは歯学科第5学年前期の3時間の講義・演習と、歯学科第5学年後期の包括臨床実習内の電子総合診療録操作実習の両方の出席を要する。

連絡先

sasaki.prev@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00

時間割番号	021540					
科目名	歯科診療業務入門					
担当教員	佐々木 好幸					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名:臨床情報処理 コマ数:3+1/3(必要自習時間2時間) 授業形態:演習 ユニット番号:03						
授業の目的、概要等						
日本における歯科医療保険制度の概要を理解し、適切な診療を実施するための基本的業務を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 保健、医療制度を説明できる。 2) 医療保険制度を説明できる。 3) 守秘義務、医療情報のセキュリティー管理の重要性を説明できる。 4) 個人情報の適切な保護について説明できる。 5) プライバシーと個人情報の違いを説明できる。 6) 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。 7) 歯科医療における処方箋、依頼書、報告書、紹介状、照会状などの文書を記述できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/26	12:50-15:40	歯学科第4講義室	個人情報の保護、診療業務、診療 文書演習	佐々木 好幸	講義・演習:1-7
4	9/29	14:50-15:40	歯学科第4講義室	モジュール試験	佐々木 好幸	
成績評価の方法						
・筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
シラバスを参照して、参考図書や類似情報を予習しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
カルテ改ざん／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編著,:さいろ社, 2004 歯科医療過誤訴訟の課題と展望：新しい医療の指針を求めて／若松陽子 編:世界思想社, 2005 カルテ改ざん part2／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編,:さいろ社, 2006 カルテ改ざんはなぜ起きる：検証日本と海外／石川寛俊, カルテ改ざん問題研究会 著,:日本評論社, 2006						
連絡先						
sasaki.prev@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00						

時間割番号	021541				
科目名	全身と歯科治療				
担当教員	深山 治久, 小長谷 光				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	5
コマ数: 104+12 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 21					
授業の目的・概要等 1. 歯科医療に必要な臨床医学の基本的知識を身につける。 2. 特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を学び、それに対する歯科医療の知識と基本的な技能を修得する。 3. 歯科医療に必要な全身管理ならびに麻酔に関する知識と技能を身につける。					
構成ユニット 01 歯科医療と老年疾患 02 歯科医療と麻酔 03 歯科医療と救急医療 04 歯科医療と内科診断学 05 歯科医療と血液・内分泌・膠原病・消化器疾患 06 歯科医療と遺伝子疾患 07 歯科医療と循環器・腎尿路・神経・呼吸器疾患 08 歯科医療と小児疾患 09 歯科医療と精神疾患					
モジュールの単位判定 すべてのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容及び平常の学習態度などが評価に加味される。					
連絡先 深山 治久:fukayama.anph@tmd.ac.jp 小長谷 光:hkohase.anph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 深山 治久:月 10:00-18:00 10号館4階教授室(ただし、部屋のドアが開いているときにはいつでも可) 小長谷 光:月・木 17:00-18:00					

時間割番号	021542					
科目名	歯科医療と老年疾患					
担当教員	大渡 凡人					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:12+1 授業形態:講義・実習 ユニット番号:01						
授業の目的、概要等 歯科医療に必要な老年医学の基本的知識を修得する。歯科医療との関連を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 加齢による口腔領域ならびに全身の生理的・病的変化を説明できる。 2) 高齢者の代表的な全身疾患の概念について説明できる。 3) 高齢者の代表的な全身疾患について自身で調査し、その詳細を理解することができる。 4) 口腔領域疾患と全身疾患との関連について正確な医学的知識を背景に説明できる。 5) 歯科治療が高齢者の全身状態に及ぼす有害な影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。 6) 超高齢社会において歯科の果たすべき役割について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/10	12:50-13:40	歯学科第4講義室	機能低下と介護	大渡 凡人, 戸原 玄	戸原 玄,大渡凡人講義SBOs1, 2
2	4/10	13:50-14:40	歯学科第4講義室	高齢社会と心身の機能-1	大渡 凡人	大渡凡人講義SBOs1, 2
3	4/11	12:50-13:40	歯学科第4講義室	高齢社会と心身の機能-2	大渡 凡人	大渡凡人講義SBOs1, 2
4	4/11	13:50-14:40	歯学科第4講義室	高齢者の口腔機能	大渡 凡人	大渡凡人講義SBOs1
5	4/11	14:50-15:40	歯学科第4講義室	慢性疾患と高齢者のADL	大渡 凡人	大渡凡人講義SBOs1, 2
6	4/17	12:50-13:40	歯学科第4講義室	摂食・嚥下障害の直接的訓練	大渡 凡人, 藤谷 順子	藤谷 順子,大渡凡人講義SBOs1, 6
7	4/17	13:50-14:40	歯学科第4講義室	高齢者の内科疾患	大渡 凡人, 下門 顕太郎	下門 顕太郎,大渡凡人講義SBOs2, 3
8	4/18	12:50-13:40	歯学科第4講義室	高齢者歯科医療の確立と新しい画像診断法の開発	大渡 凡人, 角 保徳	角 保徳,大渡凡人講義SBOs4
9	4/18	13:50-14:40	歯学科第4講義室	高齢者の身体機能	大渡 凡人	大渡凡人講義SBOs2, 3, 4, 5
10	4/18	14:50-15:40	歯学科第4講義室	介護保険、在宅医療	大渡 凡人	大渡凡人講義SBOs6
11	4/24	12:50-13:40	歯学科第4講義室	高齢社会と病院歯科	大渡 凡人, 大野 友久	大野 友久,大渡凡人講義SBOs6
12	4/24	13:50-14:40	歯学科第4講義室	がん緩和医療と歯科	大渡 凡人, 大野 友久	大野 友久,大渡凡人講義SBOs6
13	5/1	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	大渡 凡人	
成績評価の方法 ・ユニット最終日(H26年5月1日)に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						

<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>教科書</p> <p>高齢者歯科診療ガイドブック／日本老年歯科医学会 監修, 下山和弘, 櫻井薫, 深山治久, 米山武義 編: 口腔保健協会, 2010</p> <p>老年医学テキスト／日本老年医学会 編: メジカルビュー社, 2008</p> <p>全身的偶発症とリスクマネジメント : 高齢者歯科診療のストラテジー／大渡凡人 著, : 医歯薬出版, 2012</p> <p>訪問歯科診療ではじめる摂食・嚥下障害へのアプローチ／植松 宏／監修, 戸原 玄／編著, 野原 幹司／編著, 石田 暲／編著, : 医歯薬出版, 2007</p>
<p>参考書</p> <p>5 疾病の口腔ケア : チーム医療による全身疾患対応型口腔ケアのすすめ／藤本篤士, 武井典子, 片倉朗, 大野友久, 糸田昌隆, 杉山勝, 吉江弘正, 小林芳友 編著, : 医歯薬出版, 2013</p> <p>歯科医師・歯科衛生士のための専門的な口腔ケア : 超高齢社会で求められる全身と口腔への視点・知識／角保徳 著, : 医歯薬出版, 2012</p> <p>新編 5分のできる口腔ケア : 介護のための普及型口腔ケアシステム／角保徳 編著, : 医歯薬出版, 2012</p>
<p>連絡先</p> <p>towatari.gerd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>月～金 19:00～22:00 10号館5階 高齢者歯科学分野 准教授室</p>

時間割番号	021543					
科目名	歯科医療と麻酔					
担当教員	深山 治久					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:33+1 授業形態:講義・実習 ユニット番号:02						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な麻酔学の知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医療における麻酔学の役割を理解できる。全身状態評価の概要を理解できる。 2) 全身状態評価の概要を理解できる。 3) 全身麻酔法が理解できる。 4) 日帰り全身麻酔法の概念を理解できる。 5) 局所麻酔の方法・種類について理解できる。 6) 局所麻酔が実施できる。 7) 精神鎮静法について理解できる。 8) 歯科治療中の呼吸・循環管理の概要が理解できる。 9) 歯科治療中の全身異常の診断と処置が理解できる。 10) 障害者歯科治療における麻酔の役割を理解できる。 11) ペインクリニックにおける病態と治療法を理解できる。 12) 歯科における東洋医学について理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/21	12:50-15:40	歯学科第4講義室	歯科麻酔学総論, 全身状態評価1	深山 治久	
4-6	4/28	12:50-15:40	歯学科第4講義室	全身状態評価2, 全身麻酔総論	深山 治久	
7-9	5/2	12:50-15:40	歯学科第4講義室	全身麻酔法	深山 治久	
10-11	5/8	12:50-14:40	歯学科第4講義室	全身麻酔の合併症	深山 治久	
12-14	5/12	12:50-15:40	歯学科第4講義室	局所麻酔概論・薬剤	深山 治久	
15-16	5/22	12:50-14:40	歯学科第4講義室	局所麻酔法, 局所麻酔の合併症	深山 治久	
17-19	5/23	12:50-15:40	歯学科第4講義室	精神鎮静法・モニタリング	深山 治久	
20-21	5/29	12:50-14:40	歯学科第4講義室	心電図学	瀬畑 宏	
22-24	5/30	12:50-15:40		局所麻酔・精神鎮静法実習	深山 治久	4階外来, 7階外来
25-27	6/2	12:50-15:40	歯学科第4講義室	ペインクリニック	嶋田 昌彦	
28-30	6/9	12:50-15:40	歯学科第4講義室	東洋(漢方)医学療法	室賀 一宏	
31-33	6/12	11:00-14:40		局所麻酔・精神鎮静法実習	深山 治久	4階外来, 7階外来
34	6/23	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	深山 治久	
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット最終日(H26年6月23日)に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						

連絡先

fukayama.anph@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月 10:00-18:00 10号館4階教授室(ただし、部屋のドアが開いているときにはいつでも可)

時間割番号	021545					
科目名	歯科医療と救急医療					
担当教員	小長谷 光					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:13+1 授業形態:講義・実習 ユニット番号:03						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な救急医学の基本的知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症を理解できる。 2) 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症に対処できる。 3) 心肺蘇生法が行える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	6/5	12:50-14:40	歯学科第4講義室	基本的心肺蘇生法の理論	小長谷 光	
3-4	6/23	11:00-13:40	歯学科第4講義室	高度救命処置の理論1	小長谷 光	
5-7	6/26	12:50-15:40	歯学科第4講義室	高度救命処置の理論2と偶発症	小長谷 光	
8-10	6/30	09:00-11:50	歯学科第4講義室	救急蘇生法の理論と実際(実習を含む)	小長谷 光	
11-13	6/30	12:50-15:40	保存矯正実習室	救急蘇生法の理論と実際(実習を含む)	脇田 亮 宮本 智行, 吉川 文広	実習は複数の場所で行います。
14	7/7	12:50-13:40	歯学科第4講義室	試験	小長谷 光	
成績評価の方法						
H26年7月7日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
連絡先						
hkohase.anph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・木 17:00-18:00						

時間割番号	021546					
科目名	歯科医療と内科診断学					
担当教員	吉川 文広					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:5+1 授業形態:講義・実習 ユニット番号:04						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な内科診断学の基本的知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 主訴, 既往歴, 現病歴, 現症, 身体所見を正確に把握できる。 2) 意識, 血圧, 脈拍, 呼吸数, 体温などのバイタルサインを測定し, 評価できる。 3) 基本的な臨床検査の目的と検査法が説明できる。 4) 代表的な内科学的な疾患の概念を理解しており, その詳細を調べることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	6/23	13:50-15:40	歯学科第4講義室	身体所見の取り方、バイタルサイン・各種臨床検査法とその評価	吉川 文広	1,2,3,4
3-5	7/4	12:50-15:40	歯学科第4講義室	バイタルサイン・各種の臨床検査法とその評価・実習	吉川 文広, 小長谷 光	1,2,3,4
6	7/29	11:00-11:50	歯学科第4講義室	試験	吉川 文広	
成績評価の方法						
・H26年7月29日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。						
備考						
このユニットの実習は歯科医療と救急医療実習とリンクしている						
連絡先						
yoshikawa.anph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月 17:00-18:00						

時間割番号	021547						
科目名	歯科医療と血液・内分泌・膠原病・消化器疾患						
担当教員	宮本 智行						
開講時期	前期	対象年次	5				
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:05							
授業の目的、概要等							
歯科医療に必要な血液・内分泌疾患・膠原病・消化器疾患に関する基本的知識を修得する。さらに歯科医療との関連性を理解する。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 代表的な血液・内分泌疾患・膠原病・消化器疾患の概念を理解できる。 2) 代表的な血液・内分泌疾患・膠原病・消化器疾患の詳細を調べることができる。 3) 血液・内分泌疾患・膠原病・消化器疾患を合併している患者の歯科治療上の注意点を述べるができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	7/3	12:50-14:40	歯学科第4講義室	内分泌疾患	講義	南 勲	関連 SBOs 1,2,3
3	7/11	12:50-13:40	歯学科第4講義室	膠原病	講義	細矢 匡	関連 SBOs 1,2,3
4-5	7/11	13:50-15:40	歯学科第4講義室	血液疾患	講義	山本 正英	
6-7	7/16	12:50-14:40	歯学科第4講義室	消化器疾患	講義	永石 宇司, 藤田 めぐみ	関連 SBOs 1,2,3
8	7/16	14:50-15:40	歯学科第4講義室	未定		篠塚 修	
9	7/29	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験	試験	宮本 智行	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・原則的にユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。 							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。 							
連絡先							
to-miyamo.anph@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
火 17:00-18:00							

時間割番号	021548					
科目名	歯科医療と遺伝疾患					
担当教員	吉川 文広					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:6+1 授業形態:講義 ユニット番号:06						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な遺伝病学の基本的知識を 修得する。歯科医療との関連性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 代表的な遺伝病の概念を理解できる。 2) 代表的な遺伝病を詳細に調べることができる。 3) 歯科治療が、合併する遺伝病に及ぼす影響を予想できる。 4) 歯科治療が、合併する遺伝病に及ぼす影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	7/23	09:00-11:50	歯学科第4講義室	遺伝性疾患の診断と治療	木村 彰方	1,2
4-5	7/24	09:00-10:50	歯学科第4講義室	染色体異常症候群	稲澤 譲治	1,2
6	7/24	11:00-11:50	歯学科第4講義室	遺伝病を合併した患者の歯科治療	篠塚 修	3,4
7	7/29	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	吉川 文広	
成績評価の方法						
・ユニット最終日(26年7月29日)に、筆記試験を行い、総合的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。						
連絡先						
yoshikawa.anph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月 17:00-18:00						

時間割番号	021549					
科目名	歯科医療と循環器・腎尿路・神経・呼吸器疾患					
担当教員	脇田 亮					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:12+3 授業形態:講義 ユニット番号:07						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な循環器病学と呼吸器内科学の基本的知識を修得する。さらに歯科医療との関連性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 代表的な循環器病の概念を理解しており、その詳細を調べられる。 2) 歯科治療が、合併する循環器病に及ぼす影響を予想できる。 3) 歯科治療が、合併する循環器病に及ぼす影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。 4) 代表的な神経疾患の概念を理解しておりその概略を述べることができる。 5) 歯科治療が合併する神経疾患について及ぼす影響を予想できる。 6) 代表的な腎尿路疾患の概念を理解しておりその概略を述べることができる。 7) 歯科治療が合併する腎尿路疾患について及ぼす影響を予想できる。 8) 代表的な呼吸器病の概念を理解しており、その詳細を調べられる。 9) 歯科治療が、合併する呼吸器病に及ぼす影響を予想できる。 10) 歯科治療が、合併する呼吸器病に及ぼす影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/8	12:50-13:40	歯学科第4講義室	1. 虚血性心疾患	足利 貴志	1
2	9/8	13:50-14:40	歯学科第4講義室	2. 高血圧・動脈硬化症・弁疾患	吉川 俊治	1
3	9/8	14:50-15:40	歯学科第4講義室	3. 不整脈	合屋 雅彦	1
4-5	9/10	12:50-14:40	歯学科第4講義室	4. 神経疾患	横田 隆徳	4
6	9/10	14:50-15:40	歯学科第4講義室	5. 睡眠時無呼吸症候群	佐藤 光生	8,9
7-8	9/12	12:50-14:40	歯学科第4講義室	6. 呼吸器疾患	坂下 博之	8
9	9/12	14:50-15:40	歯学科第4講義室	7. OSAS の歯科的アプローチ	佐藤 光生	9,1
10-11	9/16	09:00-10:50	歯学科第4講義室	8. 腎尿路疾患	蘇原 映誠	7
12	9/16	11:00-11:50	歯学科第4講義室	9. 循環器病・呼吸器病を合併した患者の歯科治療	篠塚 修	2,3,5,7,9,10
13	9/22	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験①(1,2,3,4)までの範囲)	脇田 亮	
14	9/22	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験②(5,6,7,8)までの範囲)	脇田 亮	
15	9/22	11:00-11:50	歯学科第4講義室	試験③(9の範囲)	脇田 亮	
成績評価の方法						
・ユニット最終日(H26年9月22日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
ryoanph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火・金 17:00-18:00 10号館4階						

時間割番号	021550				
科目名	歯科医療と小児疾患				
担当教員	吉川 文広				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:9+2 授業形態:講義 ユニット番号:08					
授業の目的、概要等					
歯科医療に必要な小児科学の基本的知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 代表的な小児の疾患の概念を理解しており、その詳細を調べることができる。 2) 歯科治療が、合併する小児科疾患に及ぼす影響を予想できる。 3) 歯科治療が、合併する小児科疾患に及ぼす影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	9/17	09:00-10:50	歯学科第4講義室	小児の呼吸器・循環器疾患	土井 庄三郎 元吉 八重子
3	9/17	11:00-11:50	歯学科第4講義室	小児の消化器疾患と・腎・尿路疾患	元吉 八重子
4-6	9/17	12:50-15:40	歯学科第4講義室	小児の感染症・アレルギー疾患	高木 正稔
7-8	9/24	12:50-14:40	歯学科第4講義室	小児の血液・内分泌・代謝疾患	高木 正稔 鹿島田 健一
9	9/24	14:50-15:40	歯学科第4講義室	5.小児疾患を合併した患者の歯科治療	篠塚 修
10	9/25	13:50-14:40	歯学科第4講義室	試験(5の範囲)1,2,3,4の範囲)	吉川 文広
11	9/25	14:50-15:40	歯学科第4講義室	試験(5の範囲)	吉川 文広
成績評価の方法					
・ユニット最終日(H26年9月25日)に、筆記試験行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。					
連絡先					
yoshikawa.anph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月 17:00-18:00					

時間割番号	021551				
科目名	歯科医療と精神疾患				
担当教員	神野 成治				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:全身と歯科医療 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:09					
授業の目的、概要等					
歯科医療に必要な精神医学の基本的知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 代表的な精神疾患の概念を理解できる。 2) 代表的な精神疾患の詳細を調べられる。 3) 歯科治療が、合併する精神疾患に及ぼす影響を予想できる。 4) 歯科治療が、合併する精神疾患に及ぼす影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/18	12:50-13:40	歯学科第4講義室	てんかんとその他の精神疾患	車地 暁生
2	9/18	13:50-14:40	歯学科第4講義室	躁鬱病と睡眠障害	西川 徹
3	9/19	09:00-09:50	歯学科第4講義室	精神障害を合併した患者の歯科治療	豊福 明
4	9/19	10:00-10:50	歯学科第4講義室	精神障害を合併した患者の歯科治療	豊福 明
5	9/19	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯科心身医学	豊福 明
6	9/24	09:00-09:50	歯学科第4講義室	人格障害	阿部 又一郎
7	9/24	10:00-10:50	歯学科第4講義室	統合失調症	山本 直樹
8	9/24	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯科心身医学	豊福 明
9	9/29	12:50-13:40	歯学科第4講義室	試験	神野 成治
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット最終日(H26年9月29日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。 					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。 					
連絡先					
sjinno.anph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
火 17:00-18:00					

時間割番号	021552				
科目名	顎口腔医療				
担当教員	原田 清, 原田 浩之, 山口 聡				
開講時期	通年	対象年次	5	単位数	5
コマ数: 162(13) (必要自習時間49時間) 授業形態: 講義 モジュール番号: 22					
授業の目的、概要等					
外科的治療を要する口腔・頭蓋・顎顔面領域における疾患の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を修得する。					
成績評価の方法					
ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 					
構成ユニット					
01 顔面・顎・口腔疾患					
02 皮膚疾患					
03 眼疾患					
04 耳鼻咽喉疾患					
05 消化器系・乳腺疾患					
06 循環器・呼吸器系疾患(外科系)					
07 腎・泌尿器系疾患					
08 生殖器系疾患					
09 脳神経疾患					
10 運動器系疾患					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、新歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
原田 浩之: hiro-harada.osur@tmd.ac.jp					
山口 聡: yamachan.mfs@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
原田 浩之: 火・木 16:00-17:00					
山口 聡: 月・水 17:00-18:00					

時間割番号	021553					
科目名	顔面・顎・口腔疾患					
担当教員	原田 浩之					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 70+4(必要自習時間31時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
顔面・顎・口腔の構造と機能を理解し、顔面・顎口腔疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶとともに、基本的な技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。 2) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態、診断、治療と予後を説明できる。 3) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 4) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 5) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態、診断、治療と予後を説明できる。 6) 口腔領域に発生する粘膜疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 7) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 8) 顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。 9) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。 10) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 11) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。 12) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。 13) 顎関節疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 14) 前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。 15) 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 16) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態、診断(組織診、画像診断)、治療と予後を概説できる。 17) エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 18) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態、診断(組織診、画像診断)、治療と予後を概説できる。 19) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。 20) 唾液腺疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 21) 顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して、基本的検査とカルテ記載ができる。 22) 顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して、基本的な外科処置ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/7	09:00-11:50	歯学科第4講義室	口腔外科学総論	原田 清	講義: SBOs1,21,22
4-6	4/10	09:00-11:50	歯学科第4講義室	炎症	佐藤 昌	講義: SBOs4
7	4/11	09:00-09:50	歯学科第4講義室	外科総論(概念、侵襲と生体)	飯田 聡	講義: SBOs7,22
8	4/11	10:00-10:50	歯学科第4講義室	外科総論(感染症、腫瘍)	石黒 めぐみ	講義: SBOs8,9,22
9	4/11	11:00-11:50	歯学科第4講義室	外科総論(輸液・輸血、栄養管理)	医学科教員	講義: SBOs21,22
10-12	4/14	09:00-11:50	歯学科第4講義室	先天異常	吉増 秀實	講義: SBOs2
13-15	4/17	09:00-11:50	歯学科第4講義室	顎変形症	原田 清	講義: SBOs3
16	4/18	09:00-09:50	歯学科第4講義室	外科総論(基本手技、無菌・消毒)	植竹 宏之	講義: SBOs21,22
17	4/18	10:00-10:50	歯学科第4講義室	外科総論(創傷治療、出血・止血)	東海林 裕	講義: SBOs7,22
18-19	4/21	09:00-10:50	歯学科第4講義室	外傷	生田 稔	講義: SBOs5
20-21	4/24	09:00-10:50	歯学科第4講義室	血液疾患	道 泰之	講義: SBOs7
22	4/24	11:00-11:50	歯学科第4講義室	骨系統疾患1	佐藤 豊	講義: SBOs2
23-25	4/25	09:00-11:50	歯学科第4講義室	嚢胞性疾患	山口 聡	講義: SBOs11,12

26-28	4/28	09:00-11:50	歯学科第4講義室	口腔粘膜疾患	櫻井 仁亨	講義:SBOs6
29-30	5/1	12:50-14:40	歯学科第4講義室	外科総論(災害医学)	大友 康裕	講義:SBOs22
31-33	5/2	09:00-11:50	歯学科第4講義室	歯源性腫瘍	鶴澤 成一	講義:SBOs16,17
34-35	5/8	09:00-10:50	歯学科第4講義室	基本手術(抜歯)	佐藤 昌	講義:SBOs21,22
36	5/8	11:00-11:50	歯学科第4講義室	骨系統疾患2	佐藤 豊	講義:SBOs2
37	5/12	09:00-09:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(診断法)	原田 浩之	講義:SBOs18
38	5/12	10:00-10:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(治療法)	原田 浩之	講義:SBOs18
39	5/12	11:00-11:50	歯学科第4講義室	良性腫瘍	鶴澤 成一	講義:SBOs16
40-42	5/14	09:00-11:50	歯学科第4講義室	唾液腺疾患	原田 清	講義:SBOs20
43	5/19	09:00-09:50	歯学科第4講義室	基本手術(根切)	丸川 恵理子	講義:SBOs21,22
44	5/19	10:00-10:50	歯学科第4講義室	基本手術(骨整形)	丸川 恵理子	講義:SBOs21,22
45	5/19	11:00-11:50	歯学科第4講義室	基本手術(歯の再植)	丸川 恵理子	講義:SBOs21,22
46-47	5/22	09:00-10:50	歯学科第4講義室	神経疾患	嶋田 昌彦	講義:SBOs10
48	5/22	11:00-11:50	歯学科第4講義室	前癌病変	山口 聡	講義:SBOs14,15
49-51	5/23	09:00-11:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(癌腫)	原田 浩之	講義:SBOs18
52	5/29	09:00-09:50	歯学科第4講義室	外科総論(移植・人工臓器)	落合 高德	講義:SBOs21,22
53	5/29	10:00-10:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(肉腫・黒色腫)	島本 裕彰	講義:SBOs18,19
54	5/29	11:00-11:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(悪性リンパ腫)	島本 裕彰	講義:SBOs18
55-57	6/2	09:00-11:50	歯学科第4講義室 歯学部基礎実習室	消毒(実習)	富岡 寛文, 澤井 俊宏	実習:SBOs22
58-60	6/9	09:00-11:50	歯学科第4講義室 歯学部基礎実習室	抜歯の基本手技(実習)	丸川 恵理子, 津島 文彦, 森 正次	実習:SBOs22:
61-62	6/12	09:00-10:50	歯学科第4講義室 歯学部基礎実習室	臨床検査	黒原 一人, 和氣 裕之	実習:SBOs21:
63-64	6/16	10:00-11:50	歯学科第4講義室	顎関節疾患	木野 孔司	講義:SBOs13
65-67	6/16	12:50-15:40	歯学科第4講義室 歯学部基礎実習室	切開・縫合(実習)	中久木 康一, 小林 淳二, 山田 隆史	実習:SBOs22:
68-70	6/19	11:00-14:40	歯学部基礎実習室	顎間固定	儀武 啓幸, 小林 明子	実習:SBOs22
71	7/7	09:00-09:50	歯学科第4講義室	外科総論筆記試験	儀武 啓幸	
72-74	7/15	09:00-11:50	歯学科第4講義室	口腔外科筆記試験	原田 浩之	

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

hiro-harada.osur@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・木 16:00-17:00

時間割番号	021554					
科目名	皮膚疾患					
担当教員	津島 文彦					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 6+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等						
皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 皮膚の構造と機能を説明できる。 2) 湿疹・皮膚炎を概説できる。 3) 蕁麻疹を概説できる。 4) 薬疹・水疱症・膿疱症を概説できる。 5) 皮膚悪性腫瘍を概説できる。 6) 皮膚感染症を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	7/14	12:50-13:40	歯学科第4講義室	解剖と機能	井川 健	講義: SBOs1
2	7/14	13:50-14:40	歯学科第4講義室	診断	井川 健	講義: SBOs2?6
3	7/14	14:50-15:40	歯学科第4講義室	湿疹・皮膚炎	井川 健	講義: SBOs2
4	7/17	09:00-09:50	歯学科第4講義室	蕁麻疹・紅斑症、紅皮症	井川 健	講義: SBOs3
5	7/17	10:00-10:50	歯学科第4講義室	薬疹・水疱症・膿疱症	井川 健	講義: SBOs4
6	7/17	11:00-11:50	歯学科第4講義室	腫瘍・感染症	井川 健	講義: SBOs5,6
7	7/30	09:00-09:50	歯学科第4講義室	筆記試験	津島 文彦	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
皮膚疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
ft.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00						

時間割番号	021555					
科目名	眼疾患					
担当教員	津島 文彦					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 4+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等						
眼の構造と機能を理解し、主な眼疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 2) 基本的眼科検査法を列挙できる。 3) 屈折異常(近視, 遠視, 乱視)を概説できる。 4) 結膜・角膜疾患を列挙できる。 5) 白内障を概説できる。 6) 緑内障を概説できる。 7) ぶどう膜炎を概説できる。 8) 網膜疾患を列挙できる。 9) 全身性疾患の眼底変化を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	7/3	09:00-09:50	歯学科第4講義室	解剖と機能・屈折異常	医学科教員	講義: SBOs1,2,3
2	7/3	10:00-10:50	歯学科第4講義室	結膜・角膜疾患・白内障	医学科教員	講義: SBOs4,5
3	7/10	09:00-09:50	歯学科第4講義室	緑内障・ぶどう膜炎	医学科教員	講義: SBOs6,7
4	7/10	10:00-10:50	歯学科第4講義室	網膜疾患・全身疾患	医学科教員	講義: SBOs8,9
5	7/14	11:00-11:50	歯学科第4講義室	筆記試験	津島 文彦	
成績評価の方法						
・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
眼疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
ft.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00						

時間割番号	021556					
科目名	耳・鼻・咽喉疾患					
担当教員	島本 裕彰					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 8+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 04						
授業の目的、概要等						
耳・鼻・咽喉の構造と機能を理解し、主な耳鼻咽喉疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 耳・鼻・咽喉の構造と機能を説明できる。 2) 難聴を概説できる。 3) 眩暈を概説できる。 4) 中耳炎を概説できる。 5) 副鼻腔炎を概説できる。 6) アレルギー性鼻炎を概説できる。 7) 扁桃疾患を列挙できる。 8) 喉頭疾患を列挙できる。 9) 甲状腺疾患を列挙できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/9	09:00-09:50	歯学科第4講義室	扁桃疾患	杉本 太郎	講義:SBOs1,7
2	9/9	10:00-10:50	歯学科第4講義室	喉頭疾患	杉本 太郎	講義:SBOs8
3	9/9	11:00-11:50	歯学科第4講義室	甲状腺疾患	杉本 太郎	講義:SBOs9
4	9/10	09:00-09:50	歯学科第4講義室	鼻疾患	角田 篤信	講義:SBOs1,6
5	9/10	10:00-10:50	歯学科第4講義室	副鼻腔疾患	角田 篤信	講義:SBOs5
6	9/18	09:00-09:50	歯学科第4講義室	耳疾患(炎症)	野口 佳裕	講義:SBOs4
7	9/18	10:00-10:50	歯学科第4講義室	耳疾患(難聴)	野口 佳裕	講義:SBOs2
8	9/18	11:00-11:50	歯学科第4講義室	耳疾患(眩暈)	野口 佳裕	講義:SBOs3
9	9/29	13:50-14:40	歯学科第4講義室	筆記試験	島本 裕彰	
成績評価の方法						
・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						
連絡先						
hiroaki.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火・木 16:00 ~ 17:00						

時間割番号	021557																																																																								
科目名	消化器・乳腺疾患																																																																								
担当教員	佐藤 豊																																																																								
開講時期	前期	対象年次	5																																																																						
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 8+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 05																																																																									
授業の目的、概要等 消化器系および乳腺の構造と機能を理解し、主な消化器疾患、乳腺疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。																																																																									
授業の到達目標(SBOs) 1) 消化器系の構造と機能を説明できる。 2) 主な食道疾患を列挙できる。 3) 主な胃・十二指腸疾患を列挙できる。 4) 主な胆・肝・膵疾患を列挙できる。 5) 主な小腸疾患を列挙できる。 6) 主な大腸疾患を列挙できる。 7) 乳腺の構造と機能、乳腺疾患を説明できる。																																																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小腸、大腸の解剖と機能、小腸疾患</td> <td>石川 敏昭</td> <td>講義: SBOs1.5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/26</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>大腸疾患</td> <td>石川 敏昭</td> <td>講義: SBOs6</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>食道の解剖と機能、食道疾患</td> <td>川田 研郎</td> <td>講義: SBOs1.2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/5</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患</td> <td>大槻 将</td> <td>講義: SBOs1.3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>乳腺の解剖と機能</td> <td>中川 剛士</td> <td>講義: SBOs7</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6/13</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>乳腺疾患</td> <td>中川 剛士</td> <td>講義: SBOs7</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/19</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>胆・肝・膵の解剖と機能</td> <td>工藤 篤</td> <td>講義: SBOs1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/19</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>胆・肝・膵疾患</td> <td>松村 聡</td> <td>講義: SBOs4</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7/7</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>佐藤 豊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	5/26	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小腸、大腸の解剖と機能、小腸疾患	石川 敏昭	講義: SBOs1.5	2	5/26	10:00-10:50	歯学科第4講義室	大腸疾患	石川 敏昭	講義: SBOs6	3	6/5	09:00-09:50	歯学科第4講義室	食道の解剖と機能、食道疾患	川田 研郎	講義: SBOs1.2	4	6/5	10:00-10:50	歯学科第4講義室	胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患	大槻 将	講義: SBOs1.3	5	6/13	09:00-09:50	歯学科第4講義室	乳腺の解剖と機能	中川 剛士	講義: SBOs7	6	6/13	10:00-10:50	歯学科第4講義室	乳腺疾患	中川 剛士	講義: SBOs7	7	6/19	09:00-09:50	歯学科第4講義室	胆・肝・膵の解剖と機能	工藤 篤	講義: SBOs1	8	6/19	10:00-10:50	歯学科第4講義室	胆・肝・膵疾患	松村 聡	講義: SBOs4	9	7/7	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験	佐藤 豊	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																																			
1	5/26	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小腸、大腸の解剖と機能、小腸疾患	石川 敏昭	講義: SBOs1.5																																																																			
2	5/26	10:00-10:50	歯学科第4講義室	大腸疾患	石川 敏昭	講義: SBOs6																																																																			
3	6/5	09:00-09:50	歯学科第4講義室	食道の解剖と機能、食道疾患	川田 研郎	講義: SBOs1.2																																																																			
4	6/5	10:00-10:50	歯学科第4講義室	胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患	大槻 将	講義: SBOs1.3																																																																			
5	6/13	09:00-09:50	歯学科第4講義室	乳腺の解剖と機能	中川 剛士	講義: SBOs7																																																																			
6	6/13	10:00-10:50	歯学科第4講義室	乳腺疾患	中川 剛士	講義: SBOs7																																																																			
7	6/19	09:00-09:50	歯学科第4講義室	胆・肝・膵の解剖と機能	工藤 篤	講義: SBOs1																																																																			
8	6/19	10:00-10:50	歯学科第4講義室	胆・肝・膵疾患	松村 聡	講義: SBOs4																																																																			
9	7/7	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験	佐藤 豊																																																																				
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。																																																																									
準備学習などについての具体的な指示 受講前に参考図書に関連領域の部分に一通り目を通しておくことが望ましい。																																																																									
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																									
連絡先 yu-sato.mfs@tmd.ac.jp																																																																									
オフィスアワー 毎週 月・水 16:30～ 18:00 歯学部附属病院6F 顎顔面外科外来																																																																									

時間割番号	021558					
科目名	循環器・呼吸器系疾患					
担当教員	黒原 一人					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 6+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 06						
授業の目的、概要等						
循環器・呼吸器系の構造と機能を理解し、主な循環器・呼吸器系疾患(外科系)の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 循環器系の構造と機能を説明できる。 2) 主な心像・大動脈疾患を列挙できる。 3) 主な動脈・静脈疾患を列挙できる。 4) 原発性肺癌と転移性肺腫瘍を概説できる。 5) 胸膜・縦隔疾患を列挙できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	9/11	09:00-10:50	歯学科第4講義室	心臓・胸部大動脈疾患の外科治療	大井 啓司	講義:SBOs1,2
3-4	9/11	11:00-13:40	歯学科第4講義室	動静脈疾患	工藤 敏文	講義:SBOs1,3
5	9/11	13:50-14:40	歯学科第4講義室	肺腫瘍	石橋 洋則	講義:SBOs4
6	9/11	14:50-15:40	歯学科第4講義室	胸膜・縦隔疾患	石橋 洋則	講義:SBOs5
7	9/29	09:00-09:50	歯学科第4講義室	筆記試験	黒原 一人	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
kuzkuroh.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月 16:00-17:00						

時間割番号	021559					
科目名	腎・泌尿器系疾患					
担当教員	鵜澤 成一					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 2+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 07						
授業の目的、概要等						
腎・泌尿器系の構造と機能を理解し、主な腎・泌尿器系疾患(外科系)の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 腎・泌尿器系の構造と機能を説明できる。 2) 尿路系結石を概説できる。 3) 腎嚢胞・腫瘍を概説できる。 4) 主な膀胱疾患を列挙できる。 5) 前立腺・精巣疾患を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/25	09:00-09:50	歯学科第4講義室	尿路の解剖と機能	横山 みなと	講義:SBOs1,2
2	9/25	10:00-10:50	歯学科第4講義室	腎・膀胱疾患	横山 みなと	講義:SBOs3,4,5
3	9/29	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験	鵜澤 成一	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
n-uzawa.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水 17:00-18:00						

時間割番号	021560					
科目名	生殖器系疾患					
担当教員	津島 文彦					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 4+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 08						
授業の目的、概要等						
生殖器系の構造と機能を理解し、主な生殖器系疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 女性の生殖器系の構造と機能を説明できる。 2) 妊娠・不妊を概説できる。 3) 外陰・陰疾患を列挙できる。 4) 子宮疾患を列挙できる。 5) 卵巣疾患を列挙できる。 6) 妊婦の歯科治療時の注意点を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/8	09:00-09:50	歯学科第4講義室	妊娠と不妊症	江川 真希子	講義: SBOs1,2
2-3	9/8	10:00-11:50	歯学科第4講義室	女性生殖器疾患	吉木 尚之	講義: SBOs3,4,5
4	9/10	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯科治療と妊娠の関連	和泉 雄一	講義: SBOs6
5	9/22	13:50-14:40	歯学科第4講義室		津島 文彦	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
生殖器系疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
ft.osur@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00						

時間割番号	021561					
科目名	脳神経疾患					
担当教員	儀武 啓幸					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 3+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 3+1						
授業の目的、概要等						
脳神経系の構造と機能を理解し、主な脳神経疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。 2) 頭蓋内圧亢進を概説できる。 3) 脳血管障害(脳梗塞, 脳内出血, くも膜下出血)を概説できる。 4) 頭部外傷を概説できる。 5) 頭蓋内血腫を列挙できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/12	09:00-09:50	歯学科第4講義室	解剖と機能	稲次 基希	講義:SBOs1
2	9/12	10:00-10:50	歯学科第4講義室	頭蓋内圧亢進	稲次 基希	講義:SBOs2,4,5
3	9/12	11:00-11:50	歯学科第4講義室	血管障害	稲次 基希	講義:SBOs3,4,5
4	9/22	12:50-13:40	歯学科第4講義室	筆記試験	儀武 啓幸	
成績評価の方法						
・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
受講前に参考図書に関連領域の部分に一通り目を通しておく事が望ましい。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
h-yoshitake.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水 16:30-17:30						

時間割番号	021562					
科目名	運動器疾患					
担当教員	山口 聡					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 顎口腔医療 コマ数: 3+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 10						
授業の目的、概要等						
運動器の構造と機能を理解し、主な運動器疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。 2) 骨粗鬆症を概説できる。 3) 関節疾患を列挙できる。 4) 骨肉腫、ユーイング肉腫を概説できる。 5) 椎間板ヘルニアを概説できる。 6) 脊髄損傷を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/26	09:00-09:50	歯学科第4講義室	解剖と機能・脊髄疾患	川端 茂徳	講義: SBOs1,5,6
2	9/26	10:00-10:50	歯学科第4講義室	下肢疾患	神野 哲也	講義: SBOs2,3,4
3	9/26	11:00-11:50	歯学科第4講義室	上肢疾患	石井 宣一	講義: SBOs2,3,4
4	9/29	11:00-11:50	歯学科第4講義室	筆記試験	山口 聡	
成績評価の方法						
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
連絡先						
yamachan.mfs@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水 17:00-18:00						

時間割番号	021563				
科目名	包括臨床実習				
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之				
開講時期	通年	対象年次	5~6	単位数	44
コマ数: 5年次552(O) 6年次 授業全コマ 授業形態: 実習 モジュール番号: 23					
授業の目的、概要等					
診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能は何であるのかを理解する。患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 包括臨床実習 Phase I					
02 包括臨床実習 Phase II (A)					
03 包括臨床実習 Phase II (B)					
04 包括臨床実習 Phase III					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
荒木 孝二: karaki.gend@tmd.ac.jp					
小田 茂: oda.peri@tmd.ac.jp					
秀島 雅之: m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
荒木 孝二: 月~金 16:30-18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)					
小田 茂: 月~金 16:30-18:00					
秀島 雅之: 水 17:00-18:00					

時間割番号	021564					
科目名	包括臨床実習 Phase I					
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 包括臨床実習 コマ数: 228+0(必要自習時間35時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 01						
主な講義場所						
各診療科により集合場所は異なる。包括臨床実習 Phase I オリエンテーション時に説明する。						
授業の目的、概要等						
診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能は何であるのかを理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 2) 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 3) 患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 4) 歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 5) 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。 6) 診療室への患者の誘導を適切にできる。 7) 患者に挨拶して自己紹介できる。 8) 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。 9) 患者との信頼関係を築くことができる。 10) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 11) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 12) 患者に最も適した医療を説明できる。 13) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 14) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 15) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 16) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 17) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
	9/30	09:00-13:40	特別講堂	包括臨床実習 Phase I オリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	講義: 4.5
	9/30	13:50-16:30	特別講堂	包括臨床実習 Phase I (臨床関連講義)	砂川 光宏	講義: 1~17
	10/1	09:00-16:30	病院演習室	患者対応接遇研修		セミナー: 1,2,3,6,7
	10/6から	09:00-16:30		各科実習		臨床指導教員: 実習: 1~17
	11/7	09:00-11:50	病院演習室	包括臨床実習 Phase I (オーバーラップ説明)	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	講義: 4.5
	11/7	12:50-16:30	病院演習室	包括臨床実習 Phase I (第一総合診療室関連講義)	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	1 総診看護師: 講義: 4.5
	11/10から	09:00-16:30		オーバーラップ(D6と)		臨床指導教員: 実習: 1~17
	11/26	09:00-16:30		オーバーラップ(D6と)		臨床指導教員: 実習: 1~17

成績評価の方法

- ・各診療科における指導教員のチェックリスト(形成評価)。
- ・ポートフォリオによる自己チェック(形成評価)。
- ・オーバーラップ時の引き継ぎ予定患者に対する医療面接の観察。
- ・各科実習、オーバーラップ時の平常実習態度。
- ・必要に応じて臨床指導教員が適宜口頭試問を行う。また、適宜レポートを出す。

準備学習などについての具体的な指示

必要実習時間35時間: ほぼ1週間毎に、各診療系を班別にローテーション方式で実習していくので、各診療系に関係する5年前期までに履修した講義・模型実習について再確認しておくこと。特に相互実習や実際の患者への医療面接などを行う診療系がいくつかあるので、関係者に迷惑をかけないための準備学習をしておくこと。

試験の受験資格

- ・5年後期の包括臨床実習 Phase I の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ包括臨床実習 Phase II (A) を履修できない。

教科書

口腔科学 = Stomatology / 戸塚靖則, 高戸毅 監修, 飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集, 朝倉書店, 2013

備考

- ・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 Phase I の日程は別に定める。

連絡先

荒木 孝二: k.araki.gend@tmd.ac.jp

小田 茂: oda.peri@tmd.ac.jp

秀島 雅之: m.hideshowima.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

荒木 孝二: 月～金 16:30～18:00 1号館西5階教室(必ず事前にメール連絡をすること)

小田 茂: 月～金 16:30～18:00

秀島 雅之: 水 17:00～18:00

時間割番号	021565					
科目名	包括臨床実習 Phase II (A)					
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之					
開講時期	後期	対象年次	5			
モジュール名: 包括臨床実習 コマ数: 450+0(必要自習時間70時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者との信頼関係を築くことができる。 2) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 3) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 4) 患者に最も適した医療を説明できる。 5) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 6) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 7) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 8) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 9) 医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。 12) インフォームドコンセントを行うことができる。 13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。 14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。 16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。 17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。 18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。 19) 症例報告の準備ができる。 20) 症例報告ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
	11/27	09:00-11:50	歯学科第4講義室	包括臨床実習 Phase II オリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	講義: 4.5
	11/27	12:50-16:30	歯学科第4講義室	薬剤剤間関連講義	原澤 秀樹	講義: 13
	11/28	09:00-16:30	歯学科第4講義室	包括臨床実習 Phase II オリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	講義: 1~8
	12/1	09:00-16:30		包括臨床実習 Phase II オリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	講義: 1~8
	12/2 から	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員: 実習: 1~20
	12/19	09:00-14:40		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員: 実習: 1~20
	12/22	09:00-11:50	鈴木章夫記念講堂	TOEFL 試験	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
						冬季休業

	1/5 から	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員・実習:1 ~20
	3/31	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員・実習:1 ~20

成績評価の方法

- ・ポートフォリオによる自己チェック(形成評価)。
- ・エッセンシャルリクワイヤメント達成度
- ・平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録)

準備学習などについての具体的な指示

必要自習時間70時間: ほぼ2日に1日の割合で患者治療を行うので、次に行う治療内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療予定についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。

試験の受験資格

- ・ 5年後期の包括臨床実習 Phase II (A) の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ第6学年に進級できない。

参考書

1 からわかるコンポジットレジン修復 : レジンが簡単にとれないためのテクニック / 猪越重久 著 : クインテッセンス出版, 2012
 歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編 : クインテッセンス出版, 2013

備考

- ・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 Phase II (A) の日程は別に定める
- ・エッセンシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める。

連絡先

荒木 孝二: k.araki.gend@tmd.ac.jp
 小田 茂: oda.peri@tmd.ac.jp
 秀島 雅之: m.hideshowima.pro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

荒木 孝二: 月~金 16:30-18:00 1号館西5階教室(必ず事前にメール連絡をすること)
 小田 茂: 月~金 16:30-18:00
 秀島 雅之: 水 17:00-18:00

時間割番号	021566					
科目名	包括臨床実習 Phase II (B)					
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之					
開講時期	通年	対象年次	6			
モジュール名: 包括臨床実習 コマ数: 676+0(必要自習時間150時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等						
患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 患者との信頼関係を築くことができる。 2) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 3) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 4) 患者に最も適した医療を説明できる。 5) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 6) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 7) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 8) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 9) 医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。 12) インフォームドコンセントを行うことができる。 13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。 14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。 16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。 17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。 18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。 19) 症例報告の準備ができる。 20) 症例報告ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
	4/1 から	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員: 実習: 1 ~20
	7/18	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員: 実習: 1 ~20
	8/18 から	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員: 実習: 1 ~20
	11/28	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		臨床指導教員: 実習: 1 ~20
	11/10 から	09:00-16:30		オーバーラップと(D5と) 包括臨床 実習		臨床指導教員: 実習: 1 ~20
	11/26	09:00-16:30		オーバーラップと(D5と) 包括臨床 実習		臨床指導教員: 実習: 1 ~20
	11/27	09:00-16:30		器具回収	荒木 孝二, 小田 茂 秀島 雅之	

	11/28	09:00-14:40		技工室大清掃	荒木 孝二、小田 茂 秀島 雅之	
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・エッセンシャルリクワイヤメント達成度 ・臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験+OSCE、症例発表) ・ポートフォリオの提出状況 ・平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録) 						
準備学習などについての具体的な指示						
必要自習時間150時間:ほぼ2日に1日の割合で患者治療を行うので、次に行う治療内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療予定についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。						
試験の受験資格						
・6年の包括臨床実習 Phase II (B)の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験+OSCE、症例発表)を受験することができない。						
参考書						
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人、木下淳博、沼部幸博、松村英雄 編:クインテッセンス出版, 2013 1からわかるコンポジットレジン修復: レジンが簡単にとれないためのテクニック / 猪越重久 著:クインテッセンス出版, 2012						
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 Phase II (B)の日程は別に定める ・エッセンシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める。 ・臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験+OSCE、症例発表)の実施方法、合格基準等は別に定める。 						
連絡先						
荒木 孝二: karaki.gend@tmd.ac.jp 小田 茂: oda.peri@tmd.ac.jp 秀島 雅之: m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
荒木 孝二: 月～金 16:30-18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること) 小田 茂: 月～金 16:30-18:00 秀島 雅之: 水 17:00-18:00						

時間割番号	021567					
科目名	包括臨床実習 PhaseⅢ					
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之					
開講時期	後期	対象年次	6			
モジュール名: 包括臨床実習 コマ数: 30+0(必要自習時間20時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等						
卒後臨床研修の現場を体験するとともに、卒後臨床研修へ円滑に進めるために必要な態度・知識・技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 卒後臨床研修の意義を説明できる。 2) 卒後臨床研修の現場を体験する。 3) 診療の補助・介助が円滑にできる。 4) 症例報告に対して適切な質疑応答ができる。 5) 包括臨床実習 PhaseⅡで習得した基本的治療技術を実施できる。 6) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 7) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 8) 患者に最も適した医療を説明できる。 9) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 10) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 11) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 12) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
	11/28	14:50-16:30	歯学科第4講義室	包括臨床実習 PhaseⅢオリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	講義: 1
	2/9 から	09:00-16:30		包括臨床実習 PhaseⅢ		臨床指導教員: 実習: 1 ~12
	3/6	09:00-16:30		包括臨床実習 PhaseⅢ		臨床指導教員: 実習: 1 ~12
成績評価の方法						
・詳細は PhaseⅢオリエンテーション時に示す。						
準備学習などについての具体的な指示						
必要自習時間20時間: 既に PhaseⅡ 終了時までには、最低限の基本的な歯科治療内容の理解と実践は達成されているが、これだけでは卒後臨床研修を行うに当たり決して十分な準備が出来ているとは言い難い。そこで PhaseⅡで修得した知識・技術の再確認とさらなる向上を目指すために PhaseⅢを履修するのであるが、時間の許す限り、スキスルラボなどでの歯科技術の訓練を行うことが望ましい。						
試験の受験資格						
・ ユニット試験は行わないが、6年の包括臨床実習 PhaseⅢで各診療科が提示するアドバンス選択実習科目(1コース3コマ)を選択し、10コース(30コマ)以上出席していなければユニット履修を認めない。						
参考書						
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編: クインテッセンス出版, 2013 1からわかるコンポジットレジン修復: レジンが簡単にとれないためのテクニック / 猪越重久 著: クインテッセンス出版, 2012						
備考						
・詳細な包括臨床実習 PhaseⅢの内容・実施日程は別に定める						
連絡先						
荒木 孝二: karaki.gend@tmd.ac.jp						
小田 茂: oda.peri@tmd.ac.jp						
秀島 雅之: m.hideshow@tmd.ac.jp						

オフィスアワー

荒木 孝二: 月～金 16:30～18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)

小田 茂: 月～金 16:30～18:00

秀島 雅之: 水 17:00～18:00

平成26年度歯学科 2 年次学生

連携教育（教養教育）

平成26年度連携教育(歯学科2年一教養教育)授業カレンダー

火曜日授業

月日	曜日	1時限(8:50-10:20)	使用講義室	2時限(10:30-12:00)	使用講義室	3時限(12:50~14:20)	4時限(14:30~16:00)	使用講義室
4月15日	火	生命科学 (生物物理化学)	第1講義室	教養英語	第4ゼミ室、共用セミナー室2・3	生命科学(人体の生物学)		第1講義室
4月22日	火		第1講義室		第4ゼミ室、共用セミナー室2・3		第1講義室	
5月13日	火		第1講義室		第4ゼミ室、共用セミナー室2・3		第1講義室	
5月20日	火		第1講義室		第4ゼミ室、共用セミナー室2・3		第1講義室	
5月27日	火		第1講義室	生命科学 (生物物理化学)	第1講義室	/		
6月3日	火		第1講義室		第1講義室			
6月10日	火		第1講義室		第1講義室			
6月17日	火		第1講義室		第1講義室			
6月24日	火		第1講義室		第4ゼミ室、病院演習室			
7月1日	火		第1講義室		第4ゼミ室、病院演習室			
7月8日	火	第1講義室	第4ゼミ室、病院演習室					
7月15日	火	教養英語	第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室			
7月22日	火		第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室			
7月29日	火		第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室			
7月30日	水		第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室	第4ゼミ室、病院演習室			
9月16日	火	教養試験	第1講義室	教養試験	第1講義室	/		
9月30日	火	教養英語	大学院講義室2・情報検索室	人文社会科学総合講義	第1講義室		第1講義室	
10月7日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		歯学科演習室6~11	
10月14日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		歯学科演習室6~11	
10月21日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		症例検討室	
10月28日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		歯学科演習室6~11	
11月4日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		歯学科演習室6~11	
11月11日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		症例検討室	
11月18日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		歯学科演習室6~11	
11月25日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室		/	
12月2日	火		大学院講義室2・情報検索室		第1講義室			
12月9日	火		大学院講義室2・情報検索室	第1講義室				
12月16日	火		大学院講義室2・情報検索室	第1講義室				
1月6日	火		大学院講義室2・情報検索室	第1講義室				
1月13日	火		大学院講義室2・情報検索室	第1講義室				
1月20日	火	大学院講義室2・情報検索室	第1講義室					
1月27日	火	教養試験(試験)	第1講義室	教養試験(試験)	第1講義室			
2月3日	火	教養試験:再試験	第1講義室	教養試験:再試験	第1講義室			

木曜日授業

月日	曜日	3時限(12:50~14:20)	4時限(14:30~16:00)	使用講義室
4月17日	木	生命科学(人体の生物学)		第1講義室
4月24日	木		第1講義室	
5月1日	木		第1講義室	
5月8日	木		第1講義室	
/				
11月27日	木	情報科学演習		情報検索室
12月4日	木		情報検索室	
12月11日	木		情報検索室	
12月18日	木		情報検索室	
1月8日	木		情報検索室	
1月15日	木		情報検索室	
1月22日	木		情報検索室	
1月29日	木		情報検索室	

時間割番号	000402				
科目名	教養英語				
担当教員	PATRICK FOSS, オニール セオドル ローレンス, 畔柳 和代				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4
<p>・曜日・時間:火曜1～2限 ・対象学科:歯学科</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>This is a two-part course. Depending on the instructor and the semester, students will study speaking and listening skills through conversations and presentations or concentrate on reading and writing particularly via summarizing, paraphrasing, or other techniques. New vocabulary will be introduced and tested in both sections of the course.</p> <p>The primary goal of this course is to improve the overall reading, writing, speaking, and listening skills of students majoring in dentistry.</p>					
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>Objectives for particular classes will depend on the semester and instructor. The following are example objectives for particular classes:</p> <p>To improve the ability to speak with and in front of others using English. (Foss)</p> <p>To develop skills in summarizing, citing and referencing source material. (O' Neill)</p> <p>To improve the ability to write concise reports and responses in English. (畔柳)</p>					
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>					
<p>授業内容</p> <p>Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment</p> <p>Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Grading schemes will vary by class and instructor. See the syllabus for your specific class for more details. Students in particular classes may be required to submit assignments online.</p> <p>再評価: 有(再評価方法「教養英語」としての学年末課題)</p>					
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>					
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>					
<p>試験の受験資格</p> <p>「教養英語」は前期と後期の2クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。</p>					
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>					
<p>参照ホームページ</p> <p>Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.</p>					
<p>連絡先</p> <p>PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp 畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp オニール セオドル ローレンス:oneill.las@tmd.ac.jp</p>					

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

オニール セオール ローレンス:毎週月曜日 PM12:00-PM2:00

管理研究棟3階研究室

時間割番号	000403				
科目名	情報科学演習				
担当教員	中口 悦史, 水口 俊介, 金澤 学				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
対象学科・学年: 歯学科2年次 曜日・時限: (第9～15週のみ) 木曜日3・4時限(12:50～16:00)					
主な講義場所 湯島・図書館情報検索室					
授業の目的、概要等 歯科・歯科技工の分野においても, CAD/CAM/CAE の応用, あるいは薬物動態や歯垢形成など非線形現象の数理解析など, シミュレーションを含むコンピュータ利用技術の研究が進められている。この授業ではシミュレーションや CAE の基礎となる数値解析法について概説し, コンピュータプログラミングによって基礎的なシミュレーションを含む演習を行うことにより, コンピュータ利用技術へのより深い理解と, プログラミングを通じた論理的思考力の向上を目指す。					
授業の到達目標(SBOs) 数理モデルと数値解析法, コンピュータプログラミングの基礎を理解する。					
授業方法 スライドによる講義と, コンピュータを用いた演習によって進める。					
授業内容 第1回(11/27) オリエンテーション, 数値解析法講義 第2回(12/04) プログラミング演習1 第3回(12/11) プログラミング演習2 第4回(12/18) プログラミング演習3 第5回(1/08) 数値解析法演習1 第6回(1/15) 数値解析法演習2 第7回(1/22) 総合演習					
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題) 100% 再評価: 有(筆記試験) 毎回出題する演習課題によって評価する。筆記試験は行わない。 ただし期限までに提出されない課題があったものには単位を認めないことがある。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示 ・ 1年次に学習した数学, 物理学(力学), 情報処理をよく復習のこと。微分方程式や連続体の力学など高度な内容は授業で取り上げるので, 特に予習しなくてもよい。 ・ 各回の課題は前回までの内容も含むので, 必要に応じて復習し, 不明な点があれば早めに担当教員に質問して, 授業に臨むこと。					
参考書 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編: 医歯薬出版, 2012 CAD/CAM/CAE 入門／雨宮好文 監修, 安田仁彦 著: オーム社, 1999 有限要素法／Jacob Fish, Ted Belytschko [原著], 山田貴博 監訳, 永井学志, 松井和己 訳: 丸善, 2008 有限要素法概説: 理工学における基礎と応用／菊地文雄 著: サイエンス社, 1999 数値計算／洲之内治男 著: サイエンス社, 2002					
履修上の注意事項 ・ 出欠確認は出欠管理システムでなく, LMS の出席管理機能を用いる。 LMS の出席管理機能の設定: 受付開始 13:00, 受付終了時刻 16:00。 ・ 利用するフリーウェアや課題プログラムを保存するため, USB メモリを必ず持参のこと。					
連絡先 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp 水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 金澤 学:m.kanazawa.ore@tmd.ac.jp					

オフィスアワー

中口 悦史:[国府台・ヒポ4階研究室](前期)水・木 12:00～13:00(後期)月・水 12:00～13:00/[湯島・2号館2階教養部連絡室](11/27～2/5のみ)木 11:45～12:45, 16:00～17:00/電子メールによる質問等は随時受け付ける。

水口 俊介随時

金澤 学火木金

16:00- 18:00

時間割番号	000404				
科目名	サイエンスPBL				
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 澤野 頼子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
<p>・曜日・時間: 火曜日3・4限 ・対象学科・専攻: 歯学科</p>					
<p>主な講義場所 歯学科演習室(6～11) 9月30日: 第1講義室 10月21日、11月11日: 症例検討室(医学部付属病院5階)</p>					
<p>授業の目的、概要等 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決する技術を習得する。学生間での話し合いと教員による指導によって、問題点を解決する方法と正解は必ずしも1つでは無いことを理解すると同時に、自身の学習方法の欠点を理解し、改善する。加えて、簡潔かつ解り易い言葉で説明する技術と建設的な話し合いを行ううえで必要なコミュニケーション技術を習得する。</p>					
<p>授業の到達目標(SBOs) 1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。 2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。 3. 建設的な話し合いを行うことができる。</p>					
<p>授業方法 グループ学習による。</p>					
<p>授業内容 10名前後から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。 具体的には、次の①から③の順に行う。 ①配布資料の内容を理解し、学生間で話し合い、具体的な問題点を抽出する。 ②各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。 ③整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答を導き出す。 従って、この授業では学生間での話し合いが中心となり、話し合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習態度が必要である。</p>					
<p>成績評価の方法 評価: その他 100% 出席状況、話し合い等の平常点とパワーポイントを用いた発表などによる。 詳細は第1週のガイダンスで説明する。 再評価: 無</p>					
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>					
<p>準備学習などについての具体的な指示 各自、問題点を解決するために必要な情報を積極的に集め、事前に情報を整理しておくこと。</p>					
<p>連絡先 服部 淳彦: ahattori.las@tmd.ac.jp 清田 正夫: kiyota.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之: nara.las@tmd.ac.jp</p>					
<p>オフィスアワー 服部 淳彦: 毎週 水曜: 12:30～14:00 金曜: 10:30～12:30 ヒポ4F 教員研究室(A2) 清田 正夫: 毎週月曜日、木曜日 12:00～13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田) 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00～PM.1:00 ヒポクラテス4階 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00～PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00～PM.1:00 ヒポクラテス4階</p>					

時間割番号	000405				
科目名	生命科学(人体の生物学)				
担当教員	松本 幸久, 伊藤 正則				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2
<p>・曜日・時間: 火・木曜日3・4限</p> <p>・対象学科・専攻: 歯学科</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>歯学の専門教育の基盤となる生物学を総合的に学習し、専門教育へスムーズにつなげることを目的とする。</p>					
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>生命現象の発現・制御機構を器官、組織、細胞、分子レベルで説明することができる。</p>					
<p>授業方法</p> <p>講義形式で行う。</p>					
<p>授業内容</p> <p>代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統発生的・進化的な観点を加えて説明する。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験 80%・レポート 0%</p> <p>その他(授業期間内での試験 20%)</p> <p>再評価: 有</p>					
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>					
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理する。</p>					
<p>教科書</p> <p>ヒューマンバイオロジー 第7版/シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳: 医学書院, 2005</p>					
<p>参考書</p> <p>改定第2版 はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学/前野正夫, 磯川桂太郎 著,: 羊土社, 2008</p> <p>Essential 細胞生物学/Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳: 南江堂, 2011</p> <p>からだの構造と機能/A.シェフラー, S.シュミット 著,三木明德, 井上貴央 監訳: 西村書店, 1998</p>					
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。</p>					
<p>連絡先</p> <p>松本 幸久,yukihisa.las@tmd.ac.jp</p> <p>伊藤 正則,itohmt.las@tmd.ac.jp</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール3階生物教員実験室</p> <p>伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>					

時間割番号	000406				
科目名	生命科学(生物物理化学)				
担当教員	奈良 雅之, 本郷 敏雄				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2
<p>・曜日・時間: 火曜日1時限(または1, 2時限)</p> <p>・対象学科: 歯学科</p>					
授業の目的、概要等					
<p>1年生の化学(一般化学)で勉強した原子・分子の構造論、化学熱力学をさらに深めることにより、生命現象を物理化学の理論に基づいて理解します。構造化学、化学熱力学全般を奈良が、電気生理学入門を本郷が担当することにより、教養部教育から学部教育への「円滑な橋渡し」を心掛けています。講義内容はかなり高度になりますので、受講者は授業にしっかり取り組まないと「大きなギャップ」とも受け止められるかもしれません。</p>					
授業の到達目標(SBOs)					
<p>①量子論の基礎を理解できる。</p> <p>②相平衡、化学平衡、酸化還元平衡を熱力学の原理に基づいて理解できる。</p> <p>③電気生理学を具体例として、学部で詳しく学ぶ内容と教養部で習う自然科学が深く関わっていることを理解できる。</p> <p>④講義内容に関する演習問題や参考文献を自学自習で取り組むことができる。</p>					
授業方法					
授業は基本的に講義形式で進めます。					
授業内容					
<p>①ガイダンス、ものの見方</p> <p>②原子・分子の構造論① 量子論の原理</p> <p>③原子・分子の構造論② 量子論の原理</p> <p>④原子・分子の構造論③ 量子論の応用</p> <p>⑤熱力学の原理① ギブスエネルギーと熱力学的関係式</p> <p>⑥熱力学の原理② 開放系の熱力学: 化学ポテンシャル</p> <p>⑦相平衡①: 相律、溶液の熱力学</p> <p>⑧相平衡②: 二成分系の状態図の見方、使い方</p> <p>⑨化学平衡: ギブスエネルギーと平衡定数、平衡定数の温度変化</p> <p>⑩化学熱力学の生化学反応への応用: 生化学的標準状態、反応の共役</p> <p>⑪電気化学①: 電解質、酸化還元反応、電池</p> <p>⑫電気化学②: ネルンストの式、標準電極電位、濃淡電池</p> <p>⑬電気化学③: 電気化学ポテンシャル、膜電位・膜平衡</p> <p>⑭電気生理学入門①</p> <p>⑮電気生理学入門②</p>					
成績評価の方法					
<p>評価: 試験(定期試験)100%・レポート0%</p> <p>その他 10%(授業中の演習、出席カードの回答状況を考慮する)</p> <p>再評価: 有(再評価方法 再試験)</p>					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
<p>予習: 資料・参考書などで該当する箇所に目を通しておく。</p> <p>復習: 講義に関連した演習問題を解いて、理解していることを確認する。</p>					
試験の受験資格					
定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上の出席					
教科書					
一般化学 / Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳: オーム社, 1995					

参考書

量子化学：基礎からのアプローチ／真船文隆 著,：化学同人, 2008

化学熱力学(修正版)／原田義也 著,：裳華房, 2002

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

本郷 敏雄:生命科学(生物物理化学):教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	000407				
科目名	人文社会科学総合講義				
担当教員	田中 智彦, 土佐 朋子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2
<p>・曜日・時間:火曜2限</p> <p>・対象学科:歯学科</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人文科学的なものの考え方や見方に触れ、人間という存在ならびに人間が構築する世界について、多角的にとらえ観察する力と、継続して自ら思考し続ける力を身につけることを目的とする。</p> <p>人間という存在は、得体の知れない、不可思議な存在である。これまで、人間は、そのような自らの存在について、あらゆる角度からアプローチを試みてきた。その営みの蓄積は、文学、思想、文化などの形をとって、我々の目の前に存在している。</p> <p>本授業では、主に、歴史、文学、思想の立場から、「人間とはどのような存在なのか」ということについて、思索をめぐらしてみることとする。</p>					
<p>授業の到達目標(SB0s)</p> <p>①「人間とは何か」について、主体的に考える姿勢を養う。</p> <p>②人間の創造してきた歴史、思想、文学に関する基礎的な知識を身につけ、自ら進んで享受しようとする意識を持てるようにする。</p>					
<p>授業方法</p> <p>歴史学、哲学、文学の教員によるリレー方式。講義中心である。</p>					
<p>授業内容</p> <p>1、オリエンテーション・思想①【担当:田中智彦】</p> <p>2、思想②</p> <p>3、思想③</p> <p>4、思想④</p> <p>5、思想⑤</p> <p>6、歴史①【担当:】</p> <p>7、歴史②</p> <p>8、歴史③</p> <p>9、歴史④</p> <p>10、歴史⑤</p> <p>11、文学①【担当:土佐朋子】</p> <p>12、文学②</p> <p>13、文学③</p> <p>14、文学④</p> <p>15、文学⑤</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験0%・レポート50%</p> <p>その他50%(各教員が課す小レポート等)</p> <p>再評価:有(再評価方法 原則として再レポート)</p>					
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>					
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>授業中の講義をしっかりと聴き、提起される問題について自分なりの考察を行うこと。</p>					
<p>試験の受験資格</p> <p>レポート提出:3人の担当者の授業それぞれにつき、3分の2以上の出席が必要。</p>					
<p>他科目との関連</p> <p>1年次の人文社会科学科目を総合的に発展させた内容となる。</p>					

履修上の注意事項

1、レポート提出のためには、思想①～⑤、歴史①～⑤、文学①～⑤、それぞれについて3分の2以上の出席が必要である。 2、また、単位取得のためには、思想、歴史、文学すべてのレポート課題に合格することが必要である。 3、それぞれ5回目にまとめの作業(レポート執筆)を行うが、万が一その日に欠席をした場合には、欠席届などによる所定の手続きをとると同時に、メールなどでできるだけ早く担当者に連絡を取ること。

連絡先

土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50

管理研究棟 2 階文学研究室

田中 智彦:毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

